

(様式第 10)

長大総第 476 号
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人
長崎大学長 片峰 茂 (印)

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町 1 - 1 4
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人 長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	電話 (095) 819-7200
---------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 消化器内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 血液内科 5 内分泌・代謝内科 6 腎臓内科 7 神経内科 8 感染症内科 9 リウマチ科 10 脳神経内科 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
1 心臓血管外科 2 形成外科 3 消化器外科 4 呼吸器外科 5 小児外科 6 乳腺・内分泌外科 7 移植外科 8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

- (注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科 2 矯正歯科 3 歯科口腔外科 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
42床	2床	6床	0床	812床	862床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	303人	288人	578.9人	看 護 補 助 者	76人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	98人	34人	130.9人	理 学 療 法 士	20人	臨 床 検 査 技 師	69人
薬 剤 師	66人	0人	66人	作 業 療 法 士	5人	検 査 衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	4人
助 産 師	30人	0人	30人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	850人	11人	857.9人	臨 床 工 学 士	20人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	3人
歯 科 衛 生 士	16人	0人	16人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	261人
管 理 栄 養 士	15人	0人	15人	診 療 放 射 線 技 師	46人	そ の 他 の 職 員	70人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	21人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	54人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	10人
精 神 科 専 門 医	7人	放 射 線 科 専 門 医	12人
小 児 科 専 門 医	28人	脳 神 経 外 科 専 門 医	12人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	22人
泌 尿 器 科 専 門 医	20人	麻 酔 科 専 門 医	24人
産 婦 人 科 専 門 医	15人	救 急 科 専 門 医	8人
		合 計	253人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	678人	19人	697人
1日当たり平均外来患者数	1,244人	411人	1,655人
1日当たり平均調剤数			2,710剤
必要医師数			147人
必要歯科医師数			23人
必要薬剤師数			34人
必要(准)看護師数			405人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	333.6m ²	鉄筋コンクリート	病床数	16床	心電計	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			人工呼吸装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	心細動除去装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			その他の救急蘇生装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ペースメーカー	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 474.5 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	49	床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	126m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動血液ガス分析装置等			
細菌検査室	126m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動細菌同定薬剤感受性分析装置、自動血液培養装置、質量分析装置、安全キャビネット等			
病理検査室	135m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、ラミナーテーブル、安全キャビネット等			
病理解剖室	63.3m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラマイクシステム等			
研究室	3,249m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172m ² 第4講義室 389m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	第3講義室：132人 第4講義室：312人
図書室	142m ²		室数	1室	蔵書数	14,400冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	85.7%	逆紹介率	58.6%
算出根拠 A：紹介患者の数			15,609人
B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,829人
C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,682人
D：初診の患者の数			20,163人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	18人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	6人
食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	29人
有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	0人
金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	3人
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	2人
アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	0人
残存聴力活用型人工内耳挿入術 両側性感音難聴 (高音障害急墜型又は高音障害漸傾型の聴力像を呈するものに限る)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である。			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			
医療技術名	頭部血管肉腫に対するソラフェニブによる治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 腎臓癌に適応が認められているソラフェニブを、非常に予後不良である頭部血管肉腫に対して使用し、著効した。			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められた。			
医療技術名	色素性乾皮症の迅速診断	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 色素性乾皮症の診断のため、患者由来培養皮膚線維芽細胞に、既知NER遺伝子(XPA～XPG)のcDNAを発現するレンチウイルスを感染させ、不定期DNA合成(UDS)試験及びRNA合成回復(RRS)試験を実施し、相補された遺伝子を疾患責任遺伝子として一義的に決定する			
医療技術名	有棘細胞癌、乳房外パジェット癌に対するセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 有棘細胞癌、乳房外パジェット病においてRI法、色素法を併用しセンチネルリンパ節を同定。所属リンパ節転移の評価を行っている。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するパクリタキセル療法	取扱患者数	1-2人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められた。			
医療技術名	LSFGによる抗VEGF薬治療の効果判定	取扱患者数	約50人
当該医療技術の概要 網膜静脈閉塞症や、糖尿病網膜症などの血流障害が病態の中心になる疾患に対し、非侵襲的、かつ定量的に血流を計測することにより、抗VEGF薬の効果判定を行うことができる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 心房細動の治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレーター(高速回転式アテレクトミー)による経皮的冠動脈形成術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 石灰化した冠動脈硬化病変をロータブレーターで削り、バルーンやステントで冠動脈形成術を行う			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症の肺動脈病変(血栓閉塞など)へのバルーン拡張術			
医療技術名	脳死両肺移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 全国10施設でしか実施できない高度医療である。血液型と肺のサイズの適合した脳死ドナーの両肺を摘出しフラッシング後速やかに長崎大学に搬送する。レシピエントの両肺を摘出するため人工心肺が必要で、摘出されたドナー肺が到着後滞りなく片方ずつ移植手技を完了させる。肺の虚血許容時間は8時間と短く、摘出から搬送、移植手術まで高度な医療技術と知識を必要とする。			
医療技術名	胆管癌に対する光線力学療法による治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 光増感剤であるレザフィリンと半導体レーザーにより腫瘍特異性に活性酸素を発生させ腫瘍壊死を引き起こすことにより胆道癌の病勢をコントロールする			
医療技術名	小児ヒルシュスプルング病に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 長域型以上のヒルシュスプルング病に対し、従来の開腹手術に比較して侵襲の低い腹腔鏡手術を選択する			
医療技術名	小児先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 侵襲性、術後回復、術後合併症の見地から、より低侵襲である腹腔鏡手術を行う			
医療技術名	RituximabによるABO不適合腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 Rituximab使用によりABO血液型不適合生体腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	Rituximabによる抗HLA抗体陽性腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 Rituximab使用によりドナー特異的HLA抗体陽性腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			
医療技術名	移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximab療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 抗ドナー特異的抗体による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximabの臨床応用			
医療技術名	難治性間質性膀胱炎に対するヘパリン-リドカイン膀胱内注入療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 既存の治療法では症状の改善を得られない重度の間質性膀胱炎患者に対して、ヘパリン-リドカイン混合液を膀胱内に注入し、症状の改善を図る治療			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	58人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	49人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	87人	・原発性胆汁性肝硬変	65人
・全身性エリテマトーデス	261人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	62人
・再生不良性貧血	38人	・混合性結合組織病	62人
・サルコイドーシス	101人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	6人	・特発性間質性肺炎	26人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	224人	・網膜色素変性症	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	60人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	182人	・神経線維腫症	27人
・大動脈炎症候群	36人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	18人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	14人
・脊髄小脳変性症	31人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	118人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	29人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	66人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	1人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	11人
・後縦靭帯骨化症	54人	・肥大型心筋症	29人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	70人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	61人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・黄色靭帯骨化症	8人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	78人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染防止対策地域連携加算
・歯科外来診療環境体制加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・退院調整加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・臨床研修病院入院診療加算	・呼吸ケアチーム加算
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・診療録管理体制加算1	・救命救急入院料1
・急性期看護補助体制加算(一般病棟 25対1 看護補助者5割未満)	・特定集中治療室管理料4
・看護職員夜間配置加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・新生児特定集中治療室管理料1
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1	・(小児入院医療管理料に係る加算)
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・検体検査管理加算(IV)
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・遺伝カウンセリング加算
・喘息治療管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・院内トリアージ実施料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・認知症専門診断管理料	・歯科画像診断管理加算1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・歯科画像診断管理加算2
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・外傷全身CT加算
・持続血糖測定器加算	・大腸CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1

施設基準の種類	施設基準の種類
・無菌製剤処理料	・人工内耳植込術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型(拡大副鼻腔手術)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・(呼吸器リハビリテーション初期加算)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・がん患者リハビリテーション料	・同種死体肺移植術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・生体部分肺移植術
・精神科作業療法	・経皮的冠動脈形成術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・処置の休日加算1、時間外加算及び深夜加算1	・経皮的中隔心筋焼灼術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・透析液水質確保加算2	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・CAD/CAM冠	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・歯科技工加算	・補助人工心臓
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る)	・植込型補助人工心臓(拍動流型)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)[乳房(再建手術)の場合に限る]	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的動脈遮断術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・ダメージコントロール手術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・体外衝撃波胆石破砕術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下肝切除術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・生体部分肝移植術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体肝移植術
・網膜再建術	・体外衝撃波膵石破砕術

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・高エネルギー放射線治療
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・病理診断管理加算2
・生体腎移植術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・膀胱水圧拡張術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・
・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・輸血管理料 I	・
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・自己生体組織接着剤作成術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
必要十分細胞数に着目した脳梗塞に対する骨髄間葉系幹細胞移植投与方法の確立	福田 雄高	脳神経外科	5,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脳梗塞治療効果の飛躍的向上への戦略～急性期薬物治療と幹細胞移植の融合～	堀江 信貴	脳神経外科	5,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
投与細胞の違いに着目した脳梗塞に対する幹細胞移植投与方法の確立	山口 将	脳神経外科	4,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
高血糖による血液脳関門障害におけるペリサイト的作用	林 健太郎	脳神経外科	4,650,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脳虚血時における血液脳関門の破綻及び修復機序の解明	諸藤 陽一	脳神経外科	4,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
「ネッツ」の制御による重症患者に対する新しい治療戦略の提案	田崎 修	救命救急センター	4,550,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
bFGF徐放能と自浄機能を有するマルチファンクション型軟質リイン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学第二	4,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
顧みられない熱帯病に対する予防および治療を目的とした革新的技術の開発	佐々木 均	薬剤部	4,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
内臓脂肪が増加しやすいハイリスク青年期成人男性の予知因子の同定	山崎浩則	第一内科	3,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脂肪組織由来多能性幹細胞移植による肝代謝性疾患治療の試み	山之内 孝彰	第二外科	3,460,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
島嶼地域住民における口腔と全身健康状態の相互関連性に関するコホート研究	齋藤 俊行	予防歯科学	3,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

47,860,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
濃縮骨髄幹細胞のキャラクタライズと骨粗鬆症治療への応用可能性検討	縣 秀樹	口腔外科学第二	3,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
関節リウマチにおける3テスラ高解像度MRIによる手関節の骨・軟骨病変解析の研究	上谷 雅孝	放射線科	3,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
アポトーシスおよび非アポトーシス細胞死機序におけるcPLA2の関与について	中村 卓	歯科放射線学	3,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
一人手術を目指した装着型筋活動センサによる内視鏡下手術支援器具の開発	黒木 保	第二外科	2,970,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
小腸幹細胞Organoid Unitを用いた人工小腸作製	虎島 泰洋	第二外科	2,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
性同一性障害の遺伝的発症基盤から探る性差	黒滝 直弘	精神科神経科	2,800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
インプラントの咬合力調節機構は天然歯とどのように違うのか?	田中 美保子	歯科補綴学第二	2,800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
培養操作を介さない末梢血由来単核細胞を利用した骨再生法の確立	大場 誠悟	口腔外科学第二	2,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ケニア無歯科医地域での健康人口学的調査を活用した統合型口腔環境疫学データの構築	林 善彦	齶蝕学	2,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
bFGF徐放能と自浄機能を有するマルチファンクション型軟質リイン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学第二	2,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
五島市における口腔と全身健康状態の相互関連性に関する追跡調査	齋藤 俊行	予防歯科学	2,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

31,270,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
拡張型心筋症の診断における心内膜心筋生検の有用性の検討	河野 浩章	循環器内科	2,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
われわれは転移リンパ節のSUV上昇に何を 見ているのか?	佐々木 美穂	歯科放射線学	2,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ヒト肝細胞/非実質細胞複合シートによる異所性血管誘導肝組織の構築	堺 裕輔	第二外科	2,360,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診診断における53BP1核内フォーカスの有用性の検討	矢野 洋	第一外科	2,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
プロテインビーズを含有した治癒促進効果を持つティッシュコンディショナーの開発	黒木 唯文	歯科補綴学第二	2,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
microRNAによる滑膜細胞の制圧-骨分化誘導および薬剤応答の改善の検討-	岩本 直樹	第一内科	2,210,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脈波伝播速度と血管壁硬化との関係について:2管球型CTと光造形モデルによる検討	坂本 一郎	放射線科	2,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
胎児・胎盤特異的 mRNA/microRNAの機能解析とその臨床応用に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	2,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
メタゲノム解析を応用したインプラント周囲炎の病態解明	綿本 隆生	歯科補綴学第一	2,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
多施設共同前向きランダム化比較試験による放射線性口腔粘膜炎の重症化抑制効果の検討	梅田 正博	口腔外科学第一	2,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築	藤原 卓	小児歯科学	2,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
迅速な肝細胞複合シート作製技術を基盤とした急性肝不全治療	江口 晋	第二外科	2,077,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
成熟脂肪細胞のDirect Reprogrammingによる骨再生システムの開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	2,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
膵癌患者における腹腔内血中循環癌細胞を介した肝転移巣形成機構の解明	足立 智彦	第二外科	2,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
羊水塞栓症の分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	東島 愛	産科婦人科	2,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
High-Resolution Manometryによる高齢者嚥下咽頭圧の評価	原 稔	耳鼻咽喉科	2,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
新規インプラント周囲炎治療機器の開発	宮原 健治	歯科補綴学第一	2,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
骨再生過程におけるCCNファミリー分子の役割の解析と骨再生療法への応用	松下 祐樹	口腔外科学第一	2,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
常染色体優性遺伝形式で発症する家族性肺癌家系における原因遺伝子の同定	宮崎 拓郎	第一外科	1,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
長崎感染制御ネットワークを活用した中小医療施設における感染制御に関する介入調査	塚本 美鈴	感染制御教育センター	1,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
全身性エリテマトーデスに合併するループス腎炎の疾患標的分子と機能解析	一瀬 邦弘	第一内科	1,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
iPS細胞の供給源としての乳歯歯髄細胞の有用性について	釜崎 陽子	小児歯科学	1,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
垂直歯根破折歯の総合的修復法の検討	辻本 真規	歯科保存学第一	1,900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
膵島β細胞破壊評価法の確立と1型糖尿病の発症・進展予知への応用	川崎 英二	第一内科	1,800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

26,947,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
BRONJモデルマウスの免疫機能解析と制御性T細胞を応用した予防治療法の開発	梯 裕恵	口腔外科学第二	1,800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
自家脂肪由来幹細胞による放射線潰瘍の治療と予防および再照射への試み	吉本 浩	形成外科	1,800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
早期発症型小児齲蝕(ECC)発症患児の口腔細菌叢解析とその原因菌の再考察	佐藤 恭子	小児歯科学	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
羊膜と再生刺激を用いた肝再生医療	高槻 光寿	第二外科	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
EGFRカスケードと5-FU代謝酵素のクロストーク解明による肺癌治療の個別化戦略	永安 武	第一外科	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
バランス麻酔の虚血心筋保護戦略—心肺蘇生モデルによる検討—	吉富 修	集中治療部	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
TTウイルス～常在ウイルス叢としての宿主防御における役割は？	森内 昌子	小児科	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯石中のリン酸カルシウム結晶によるインフラマソームの活性化が歯周組織に及ぼす影響	中村 弘隆	歯科保存学第二	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
体性幹細胞ホーミング因子による新規歯髄再生誘導技術の開発	松裏 貴史	歯科保存学第一	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
象牙芽細胞分離培養法の樹立と象牙細管形成機構解明	中島 和慶	歯科補綴学第一	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
骨粗鬆症治療新薬の矯正治療への影響:骨粗鬆症ラットを用いた歯槽骨と歯根吸収の評価	橋本 恵	矯正歯科	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
HTLV-I関連シェーグレン症候群の発症機序の解明	中村 英樹	第一内科	1,690,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

25,100,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
歯周組織およびインプラント周囲組織の破壊機序解明に関する実験病理学的研究	原 宜興	歯科保存学第二	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
PGE2受容体阻害と緑茶ポリフェノールのHuR抑制を利用した前立腺癌の化学予防	酒井 英樹	泌尿器科	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
カンジダ抑制作用を有するTea tree oilの義歯用歯磨剤への応用と開発	山下 利佳	義歯補綴治療室	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
高血糖における心保護戦略の開発:PDE3阻害薬の効果	原 哲也	麻酔科	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
間質性肺疾患の新規血清マーカーの開発と革新的分子標的治療法の確立	角川 智之	第二内科	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
細胞外マトリックス分子バーシカンと細胞遊走	富田 元	皮膚科	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
HTLV-1キャリア妊婦の血中ウイルス量と母子感染成立に関する研究	築山 尚史	産科婦人科	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
インフラマソームを標的とした新規敗血症治療法の開発	田島 吾郎	救命救急センター	1,600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
近未来の関節リウマチ診断・治療・重症化予測をMRI骨炎から考察する多角的な研究	玉井 慎美	第一内科	1,560,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
遺伝性プリオン病の診断法の確立と新規分類・解析法の開発	佐藤克也	第一内科	1,560,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
五島市における口腔と全身健康状態の相互関連性に関する追跡調査	齋藤 俊行	予防歯科学	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
薬剤耐性アスペルギルスの耐性機序解明と病原因子制御による新治療戦略の開発	泉川 公一	感染制御教育センター	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

20,390,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
全身性強皮症モデルマウスの皮膚硬化・肺線維症に対するvorinostatの効果	小川 文秀	皮膚科	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
膀胱癌における4N1K-peptideの臨床病理学的意義と進展抑制効果の研究	宮田 康好	泌尿器科	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脂肪幹細胞を用いた肛門括約筋再生に関する研究	藤田 文彦	第二外科	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
シェーグレン症候群発症におけるtau蛋白の役割について	中村 卓	歯科放射線学	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
HPV 持続感染に関する遺伝的要因の同定	阿部 修平	産科婦人科	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
インフルエンザ後の二次性肺炎球菌性肺炎の発症および重症化における関連因子の解明	中村 茂樹	第二内科	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯肉線維芽細胞のダイレクトリプログラミングによる骨芽細胞の作成	白石 剛士	口腔外科学第二	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
プロテアソーム活性低下に起因する自己炎症病態の解明	有馬和彦	第一内科	1,430,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
被虐待児のエピジェネティック異常仮説の臨床応用についての検討	今村 明	精神科神経科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
子宮内膜症の病態における抗菌性ペプチドと細菌性エンドトキシンの役割に関する研究	KHAN KHALEQUE	産科婦人科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原因子とアディポカインの相互作用が血管内皮細胞や肝細胞に与える影響	古堅 麗子	予防歯科学	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
人工甘味料摂取が気管支喘息に与える影響	河野 哲也	第二内科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
原爆被爆者にみられる骨髄異形成症候群の臨床的特徴と遺伝子変化の解明	宮崎 泰司	原研内科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

20,320,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高濃度酸素吸入が幹細胞の動員と臓器虚血再灌流障害に与える影響	稲富 千亜紀	麻酔科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
嚥下中の体幹筋群の役割の解明と介助用下肢ロボットスーツの嚥下訓練応用の可能性	鮎瀬 てるみ	特殊歯科総合治療部	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
機能性microRNAの生体内deliveryによる骨再生促進システムの開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
濃縮幹細胞と機能性microRNAのデリバリーによる唾液腺再生促進システムの開発	住田 吉慶	口腔外科学第二	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
機能性microRNAデリバリーシステムによる非培養脂肪組織幹細胞からの骨再生	田島 暢崇	口腔外科学第二	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
複合型下垂体機能低下症における新規原因遺伝子の同定	伊達木 澄人	小児科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
高品質培養再生角膜上皮細胞シート作製法の開発	上松 聖典	眼科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
骨格形成におけるRunx2によるFGFシグナル調節機構の解明	六反田 賢	口腔外科学第一	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
義歯粘着剤の評価方法および創傷治癒促進機能をもつ材料の新規開発	加納 拓	歯科補綴学第二	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
口腔癌浸潤の新たな分子機構と治療への応用～miR-21による分子制御の解明～	高橋 英哲	口腔外科学第一	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯根吸収予防と歯の効率的移動を目指した天然化合物フラボノイド応用の試みとその解析	森田 幸子	矯正歯科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
臨床検査に貢献する汎用的遺伝子検査技術の開発	宇野 直輝	臨床検査医学	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
皮膚アミロイド線維形成機序の解明	峯 嘉子	皮膚科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

18,730,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
歯質表面損失症候群の診断法の確立と接着技法を応用した治療法の開発	久保 至誠	医療教育開発センター	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
関節リウマチに対するリハビリテーションの効果と客観的評価指標の探索	折口智樹	第一内科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
気分障害の脳情報伝達不均衡仮説に基づく内性神経幹細胞活性化療法の可能性	小澤 寛樹	精神科神経科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
新生血管の局在に着目した頸動脈プラークの症候化における因子の解析	永田 泉	脳神経外科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
増殖因子と細胞内シグナル制御による糖尿病網膜症の病的血管の再生治療	鈴間 潔	眼科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
SHIPノックアウトマウスを用いたメカニカルストレス誘導骨代謝に関する研究	吉松 昌子	矯正歯科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
Toll様受容体を標的とした歯周組織の炎症制御に関する基礎的研究	吉村 篤利	歯科保存学第二	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
医師の燃え尽き症候群克服のためのワークライフバランスからのアクションリサーチ	伊東 昌子	メディカルワークライフ バランスセンター	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯周病におけるレジスチンの病態生理学的意義の解明	林田 秀明	予防歯科室	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
臨床実用を目指した癌幹細胞標的放射線力学的療法の基礎研究	磯本 一	光学医療診療部	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
肺アスペルギルス症におけるグレリンの有用性と作用機序の解析	今村 圭文	第二内科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
麻酔薬によるアレルギー性気道リモデリングの抑制—喘息の重症化を防ぐために	西岡 健治	手術部	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

18,200,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
シェーグレン症候群 ACR診断基準修正案 の策定	高木 幸則	歯科放射線学	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
根面う蝕の予防および 初期活動性根面う蝕の 再石灰化に関するラン ダム化比較試験	久保 至誠	医療教育開発セン ター	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
患者の視点に立った2 次活用システムDWH の構築とナショナルDB への展開研究	本多 正幸	医療情報部	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
生体親和性を向上する アパットメント表面処理 方法の確立	尾立 哲郎	歯科補綴学第一	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
色素性乾皮症の迅速 診断法の確立	富村 沙織	皮膚科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脳梗塞に対する幹細 胞移植後の機能回復 の内在性修復メカニ ズムの解明	日宇 健	脳神経外科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
子宮内膜の機能調節 における抗ミュラー 管ホルモン(AMH)の役 割に関する研究	谷口 憲	産科婦人科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
T細胞を基盤とした歯 槽骨吸収およびポケッ ト形成の発症メカニ ズム解明	藏本 明子	歯科保存学第二	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原細菌排除に おけるカスパーゼの役 割と炎症反応制御に関 する研究	金子 高士	歯科保存学第二	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
免疫組織化学及び微 細構造からみた筋無力 症候群の神経伝達障 害機序の解明	吉村 俊朗	第一内科	1,300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脾臓・樹状細胞標的型 ナノデバイスを用いた 安全なワクチン技術開 発と臨床応用への研究	北原 隆志	薬剤部	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
微小環境変化による肝 癌細胞の上皮間葉移 行とオートファジーの関 連について	中尾 一彦	消化器内科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

15,600,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ブタ希釈性凝固障害モデルにおけるROTEMガイド下凝固管理法の開発	前川 拓治	手術部	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
子宮内膜症による骨盤内炎症が卵巣予備能に及ぼす影響に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
分子標的治療薬mTOR阻害剤と放射線を併用した新たな口腔癌治療開発の基礎的研究	飛田 尚慶	口腔外科学第二	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
レミフェンタニルの二量体化オピオイド受容体脱感作メカニズムの解明	倉田 眞治	歯科麻酔学	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
矯正学的歯の移動促進を目指した低出力超音波応用への試みとその解析	藤村 裕治	矯正歯科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
統合失調症と双極性障害におけるミッシング・ヘリタビリティの探索	黒滝 直弘	精神科神経科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
GLP-1の心筋虚血再灌流障害に対する役割と分子機序の解明	柴田 伊津子	麻酔科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
二量体化オピオイド受容体の多様性に立脚したオピオイド鎮痛法確立とその最適化	村田 寛明	麻酔科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
p53とFEN1が創り出す細胞の運命	片山 郁夫	歯科放射線学	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ARMSと発達障害特性を中間表現型とした統合失調症大家系の遺伝子解析	今村 明	精神科神経科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
病原真菌における多剤耐性機序の解明と臨床的重要性の評価	宮崎 泰可	第二内科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ビスフォスフォネート関連顎骨壊死の病因解明と治療・予防方法の開発	黒嶋 伸一郎	歯科補綴学第一	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
内耳における社会的ストレスの影響について	寺門 万里子	耳鼻咽喉科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

15,200,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高機能改良型Gene Activated Matrixによる骨再生能の評価	三浦 桂一郎	口腔外科学第二	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
非アルコール性脂肪肝炎に対する麻酔薬による肝ポストコンディショニング法の開発	趙 成三	麻酔科	1,200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
生物発光を利用した重症筋無力症関連自己抗体の包括的測定法の確立	白石 裕一	第一内科	1,170,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
アポトーシスおよび非アポトーシス細胞死機序におけるcPLA2の関与について	中村 卓	歯科放射線学	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
オピオイドおよびカナビノイドと二量体化受容体の相互作用の分子機構の解明	北條 美能留	麻酔科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
Nanofluidic法を用いた肺炎症例の肺炎球菌血清型サーベイランスの構築	古本 朗嗣	熱研内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
心不全における概日リズムの破綻と時間治療学的観点からの治療	前村 浩二	循環器内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
真菌関連喘息の病態解明と治療法の確立	松瀬 厚人	第二内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
難治性気道疾患と重症肺疾患への新たな治療法の開発	松本 桂太郎	第一外科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ストレス応答マイクロRNAが制御するMUC1の役割について	田代 茂樹	臨床研究センター	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
破骨細胞前駆細胞に着目した咬合性外傷メカニズム解明のための基礎的研究	鵜飼 孝	歯周病治療室	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
パルミトレイン酸によるクローン病の炎症制御	竹島 史直	消化器内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

15,600,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺高血圧症の早期診断における新規酸化ストレスマーカーの探索的検討	池田 聡司	循環器内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
クリプトコックスに対する免疫応答の解明と、菌の臓器指向性と免疫応答の関係の解明	河野 茂	第二内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
組織再生起点となる血管形成におけるCCN3の役割解明と創薬基盤の構築	南里 篤太郎	口腔外科学第二	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
成長軟骨細胞が自ら産生する分泌性蛋白質による分化制御	日高 聖	小児歯科学	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
骨関連細胞ネットワークによるオッセオインテグレーション獲得機構の解明	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
3次元リアルタイム培養システムによる歯周病とNASH関連機序のイメージング解析	齋藤 俊行	予防歯科学	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
真菌関連過敏性肺炎の早期診断法の確立	原 信太郎	第二内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
気道免疫からの肺炎重症化カスケードの解明と抗炎症マネジメントへの展開	森永 芳智	臨床検査	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ケロイド発生病態におけるエピジェネティクス制御の検討	鋤塚 大	皮膚科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
抑うつ状態における心筋保護機構阻害因子の解明とその制御	一ノ宮 大雅	麻酔科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
IVIM MRイメージングを用いた顎骨腫瘍性病変コンパートメント仮説の検証	市川 陽子	口腔外科学第一	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
高い耐久性を有する硬質リライン材の開発	吉田 和弘	歯科補綴学第二	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

13,270,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ボツリヌス毒素誘発性の機能低下モデルを用いた形態成長と機能発達に関する統合的研究	内海 大	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
口腔内細菌菌体破砕物及び外傷性咬合の歯周ポケット形成への関与の検討	藏本 明子【繰越】	歯科保存学第二	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
Bevacizumabuの治療反応予測因子のスパイラルアレイを用いた探索	田畑 和宏	病理部	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
間接リウマチの「免疫学的寛解」を目指したCaMK4を標的とした治療の開発	古賀 智裕	医療教育開発センター	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
Iデュアルスキャンを用いた大学生における内臓脂肪量の変化に関する研究	古林正和	第一内科	1,100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
IVIM MRイメージングを用いたリンパ節転移診断	角 美佐	歯科放射線学	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
糖鎖連結クロリンを用いた新しい光線力学的療法による胆管癌の次世代局所治療法の開発	七島 篤志	第一外科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
個人識別に最適化する歯式メタデータと歯式データベースに関する基礎的研究	丸山 陽市	矯正歯科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
腎癌細胞と癌間質組織におけるHO-1の病理学的な役割の解析と新たな治療戦略の構築	松尾 朋博	泌尿器科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脱細胞化、再細胞化技術を使った再生肺の脆弱性の改善と、臓器保護に関わる基礎研究	土谷 智史	第一外科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
microRNAを用いたオーダーメイド顔面骨形成法の開発的研究	矢野 浩規	形成外科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌におけるHSP90 α とHIF-1 α に対する分子標的治療の基礎的研究	山田 慎一	口腔外科学第一	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

13,200,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
骨芽細胞におけるBcl-xLの役割	河井 洋祐	口腔外科学第二	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
巨舌症モデルマウスを用いた摂食・嚥下機能発達と顎顔面形態成長の相互制御機構の解明	中村 文	矯正歯科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
甲状腺再生医療による甲状腺機能低下症に対する新たな治療戦略	南 恵樹	第二外科	905,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ケニア無歯科医地域での健康人口学的調査を活用した統合型口腔環境疫学データの構築	林 善彦	齶蝕学	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
高血糖ハイリスクの歯根吸収への影響	佛坂 齊社	矯正歯科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
未固定肺癌検体を用いた抗癌剤耐性・感受性因子の測定による肺癌個別化治療の確立	中村 洋一	第二内科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
細胞外マトリックスに着目した創傷治癒研究	宇谷 厚志	皮膚科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
バイオフィーム形成に影響する人工生体材料因子と環境因子	依田 周	整形外科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ストレス応答タンパクの多様性について- α NACとMUC1の核内での働き-	佛坂 由可	歯科放射線学	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
組織拡散を決定する因子としての細胞膜表面糖タンパク構造について	榮田 智	歯科放射線学	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
VR Systemと3D-Printing技術を応用した新規外科教育の開発	日高 重和	第一外科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
白金ナノコロイドとキマーゼ阻害薬を応用したドライマウス用粘膜活性保湿ジェル創製の創製	村田 比呂司	歯科補綴学第二	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
NShcホスホチロシンアダプター分子のてんかん原獲得・進展への関与	馬場 史郎	脳神経外科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

13,205,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
遺伝子導入による老化肝若返りによる移植肝の肝再生促進、肝虚血再灌流障害克服	日高 匡章	第二外科	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原細菌によるインフラマソーム活性化機構に着目した歯周炎症反応の制御	金子 高士	歯科保存学第二	900,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築	藤原 卓	小児歯科学	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
MALTリンパ腫に対するマクロライド系抗菌薬の抗腫瘍効果	石松 祐二	第二内科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
マイクロRNAの発現と上皮性卵巣がんの臨床像との関連に関する研究	金内 優典	産科婦人科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
医療安全に対する直接効果を発揮するインシデントレポート管理システムの開発と評価	松本 武浩	医療情報部	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
生体材料関連感染症に対する光触媒酸化チタンの臨床応用に向けた研究	日浦 健	整形外科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
iPS細胞由来歯髄幹細胞の均質化・大量増幅による歯髄・象牙質再生療法の実現化	池田 毅	歯科保存学第一	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
雲仙普賢岳災害被災者におけるトラウマティックストレスの長期経過研究	木下 裕久	精神科神経科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
常位胎盤早期剥離の分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	増崎 英明	産科婦人科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
エストロゲン受容体シグナルを応用したぶどう膜炎治療法開発	藤川 亜月茶	眼科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
何が咬みしめ習癖における疼痛過敏化のトリガーになっているのか？	鳥巢 哲朗	歯科補綴学第二	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

11,600,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
食道胃接合部癌における新規バイオマーカー(Runx3,EZH2)の機能解析	國崎 真己	第一外科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
細胞親和性を担持させたセラミックスと海洋性コラーゲンを用いた歯科治療の新規開発	池田 香	歯科保存学第一	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
新規神経癌関連因子SKAP2を中心とした脳腫瘍悪性化機構の解析	島村 真太郎	第二内科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
糖尿病網膜症憎悪に関与する因子	松本 牧子	眼科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
肝線維化に伴うmicroRNA発現変化を介した肝癌幹細胞維持メカニズムの解明	三馬 聡	消化器内科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
慢性肺アスペルギルス症発症に関与する新規病原因子の検索	高園 貴弘	第二内科	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
離島僻地住民を対象とした口腔健康状態とADLおよびQOLとの相関性の検証	井川 一成	歯科保存学第一	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
未知なる歯髄細胞の機能を解析し、新たな歯髄再生療法の臨床的展開を目指す	池田 毅	歯科保存学第一	800,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ヒト肝再構築シートを用いた肝再生医療の前臨床研究	江口 晋	第二外科	755,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
成熟脂肪細胞のDirect Reprogrammingによる骨再生システムの開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
ファイバー補強接着ポテンティック補綴法の確立	田上 直美	小児歯科学	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
放射線治療を受ける頭頸部癌患者への口腔ケアの介入効果	川下 由美子	予防歯科学	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

10,400,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
バイオアクティブ材料を用いた象牙質接着を革新する新規プライマーの開発	添野 光洋	歯科補綴学第一	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
Pentraxin3による冠動脈不安定プラークの存在と破綻の予測	古賀 聖士	循環器内科	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
核蛋白Ki67を指標とした喘息患者における気道リモデリングの機序の解明	石井 浩二	麻酔科	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
口腔外科手術を想定した各種操作が声門上器具に与える影響	讃岐 拓郎	歯科麻酔学	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
心臓手術を受ける心疾患患者への口腔管理の介入効果	吉富 泉	口腔外科学第一	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
全ゲノムシーケンスを用いた統合失調症一卵性双生児不一致例のゲノム解析	小野 慎治	精神科神経科	700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
エフェクター細胞を標的とした1型糖尿病の新規治療法の開発	阿比留 教生	第一内科	650,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
MRIによる心筋遅延造影法を用いた心筋線維化定量化法の確立	末吉 英純	放射線医学	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
アトミックレイヤーデポジション(ALD)法による新規ハイブリッド矯正材料の開発	中尾 紀子	矯正歯科	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
若年性歯周炎原因菌に対するアンチセンス法を用いた分子標的治療の開発	星野 倫範	小児歯科学	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
石灰化に影響する微量元素ホウ素の骨芽細胞増殖・分化にはCaイオンチャンネル系が関与	林 善彦	齶蝕学	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
パルスレーザー堆積法による次世代ハイブリッド歯冠修復	日野 直樹	歯科補綴学第一	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

9,555,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
慢性腎臓病の発症進展におけるエピジェネティック制御機構の関与と新治療戦略	小畑 陽子	医療教育開発センター	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
高齢女性における加齢に伴う筋萎縮への新たな治療法の開発を目指した基礎的研究	北島 百合子	産科婦人科	600,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
HTLV-I関連脊髄症発症に関与する細胞内骨格再構成シグナル伝達機構の解明	中村 龍文	第一内科	500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
冠虚血危険因子による心筋コンディショニング阻害の分子機序とその制御	東島 潮	集中治療部	500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
心筋薬理学的コンディショニング修飾因子の解明:pH補正の影響と分子機序	松本 周平	麻酔科	500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
地域医療データベースの活用による地域医療需要と医療資源からみた地域医療の効率化	本多 正幸	医療情報部	500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
減量に難渋する肥満症患者の原料阻害要因の検索	本郷 良子	栄養管理室	500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
天然生理活性ペプチド画分の前骨芽細胞系におけるコラーゲン翻訳後修飾制御の解析	山田 志津香	歯科保存学第一	400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
細胞の電子伝達系をモデルにしたレジンの高耐久接着による歯根象牙質の新規再生	平 曜輔	歯科補綴学第一	400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
細胞移植による唾液腺再生メカニズムの解明と臓器再生を目指した器官培養法の開発	住田 吉慶	口腔外科学第二	400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
心肺蘇生時における脳循環の解明	田崎 修	救命救急センター	300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
脈管再生能を主体とする顎堤増生治療の開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	300,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

7,050,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
アセチルコリン受容体主要免疫原性領域を標的とした免疫グロブリン療法:動物実験	白石 裕一	第一内科	200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
アセチルコリン受容体主要免疫原性領域を標的とした免疫グロブリン療法:動物実験	中田 るか	第一内科	200,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
日本人の人工弁置換術後における抗血小板療法の有効性及び安全性に関する臨床研究	江石 清行	心臓血管外科	150,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
放射線腸炎に対する自家脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた再生治療	磯本 一	光学医療診療部	100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
放射線腸炎に対する自家脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた再生治療	吉本 浩	形成外科	100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
義歯安定剤利用ガイドライン構築に関する基礎研究:マルチセンター前向き臨床試験	村田 比呂司	歯科補綴学第二	100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
PM2.5による喘息様気道炎症におけるPM2.5付着蛋白質の関与	尾長谷 靖	第二内科	100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
自発的骨膜挙上能をもつ骨補填材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学第二	100,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原細菌排除におけるカスパーゼの役割と炎症反応制御に関する研究	原 宜興	歯科保存学第二	50,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原細菌排除におけるカスパーゼの役割と炎症反応制御に関する研究	吉村 篤利	歯科保存学第二	50,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
エクソゾーム内封小分子RNAを用いた妊娠早期における妊娠高血圧症候群の発症予知	金内 優典	産科婦人科	30,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
硫化水素産生能に着目したアンギノーサスグループプレナ球菌による膿瘍形成機構の解明	藤原 卓	小児歯科学	10,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

3,550,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
遺伝子変異に基づくFMFインフラマソーム病態解明と炎症制御に向けたトランスレーショナル研究	川上 純	第一内科	36,400,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
真菌感染症の病態解明及び検査・治療法の確立とサーベイランスに関する研究	河野 茂	第二内科	14,941,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	宇谷 厚志	皮膚科	8,000,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性SLEに対するボルトゾミブ療法の有効性・安全性検証試験	川上 純	第一内科	2,000,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患群の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明研究	宇谷 厚志	皮膚科	2,000,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
発作性運動誘発性舞踏アテトーゼ(PKD)の重症度評価及びQOLに関する研究	黒滝 直弘	精神科神経科	1,700,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	吉村 俊朗	第一内科	1,120,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
HAM及びHTLV-1関連稀少難治性炎症性疾患の実態調査に基づく診療指針作成と診療基盤の構築をめざした政策研究	川上 純	第一内科	1,000,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
ミトコンドリア脳筋症MELASの脳卒中発作に対するタウリン療法の開発	白石 裕一	第一内科	1,000,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫疾患におけるT細胞サブセットの機能異常とその修復法の開発	川上 純	第一内科	1,000,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金

63,781,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	眼科	700,000	補	厚生労働省 科学研究費補助金
新規ナノ粒子を用いた皮内siRNAデリバリーによる皮膚の恒常性維持	佐々木 均	薬剤部	1,000,000	補	公益財団法人 コスメトロジー研究振興財団
シャーガス病に対する革新的なワクチン・治療薬の開発	佐々木 均	薬剤部	5,000,000	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団
(特受)「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」(白血病ゲノムに基づく層別化治療の確立)	宮崎 泰司	原研内科	5,000,000	委	名古屋医療センター
術後急性肝不全予防のための自己ヒト肝細胞移植技術の確立	堺 裕輔	第二外科	2,000,000	委	公益財団法人 先端医療振興財団
Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第III相比較臨床試験	藤田 文彦	第二外科	105,000	委	公益財団法人 先端医療振興財団
治療切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究(B-CAST)	藤田 文彦	第二外科	56,000	委	公益財団法人 先端医療振興財団
新技術Ultrahigh density pile up array(UHPA)の研究利用モデル確立事業	福岡順也	病理部	1,098,750	委	独立行政法人科学技術振興機構
(特受)高齢者造血器障害における層別化治療を目指した分子疫学的研究	宮崎 泰司	原研内科	700,000	委	長寿医療研究センター

19,520,000円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
(特受)障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科健診及びその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小児歯科学	363,000	委	佐世保市
Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討 (JFMC41-1001-C2)	藤田 文彦	第二外科	760,000	委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
医師主導観察研究「Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFRm+)の進行・再発非小細胞肺癌(NSCLC)治療の観察研究」	中村 洋一	第二内科	86,400	委	パブリックヘルスリサーチセンター
冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験【OAC-ALONE Study: Optimizing Antithrombotic Care in patients with Atrial fibrillation and coronary stent study】	前村 浩二	循環器内科	324,000	委	生産開発科学研究所
緑膿菌を用いた接種菌量による影響と抗菌薬の治療効果—TAZ/PIPCとDRPMの比較検討—	柳原 克紀	検査部	1,950,000	委	塩野義製薬株式会社
治癒切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	澤井 照光	第一外科	73,500	委	財団法人先端医療振興財団
KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と周術期化学療法mFOLFOX6+セツキシマブの第III相ランダム化比較試験(研究略称:ESPRT)	江口 晋	第二外科	80,000	委	公益財団法人先端医療振興財団

3,169,150円

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたペバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)	山之内 孝彰	第二外科	46,000	委	一般社団法人 JBCRG
HER2陰性局所進行乳癌に対するアンスラサイクリン・タキサン・エリブリン逐次療法の有用性確認試験(JBCRG-17)	山之内 孝彰	第二外科	23,000	委	一般社団法人 JBCRG

2,496,500円

総計 426,013,650円

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A case of cutaneous polyarteritis nodosa with elevated serum interleukin-6 levels complicated by leg arterial stenosis and destructive arthropathy of the left ankle.	Mod Rheumatol. 24(1):206-211,2014.(IF 2.206)
2	Ichinose K	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A case of microscopic polyangiitis in an elderly patient presenting predominantly with cholecystitis successfully treated with mizoribine.	Mod Rheumatol. 24(6):1011-1014,2014.(IF 2.206)
3	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Methicillin-resistant Staphylococcus aureus-related septic pulmonary embolism and sacroiliitis treated with long-term linezolid in a patient with adult-onset Still's disease.	Intern Med. 53(9):1023-1027,2014.(IF 0.967)
4	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Serum interferon-alpha is a useful biomarker in patients with anti-melanoma differentiation-associated gene 5 (MDA5) antibody-positive dermatomyositis.	Mod Rheumatol. 25(1):85-89,2014.(IF 2.206)
5	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University	Anti-citrullinated Protein Antibody-positive Rheumatoid Arthritis Associated with RS3PE Syndrome-like Symptoms and an Elevated Serum Vascular Endothelial Growth Factor Level in a Patient with Myasthenia Gravis.	Intern Med. 53(8):895-898,2014(IF 0.967)
6	Kataoka H	Unit of Physical Therapy and Occupational Therapy Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Hyperglycemia inhibits recovery from disuse-induced skeletal muscle atrophy in rats.	Physiol Res. 63(4):465-474,2014.(IF 1.487)
7	Maekawa A	The Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine, Japan.	Continuous inflammation and ascites 10 months after the initiation of peritoneal dialysis.	Intern Med. 53:767-770, 2014(IF 0.967)
8	Sakamoto N	The Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Bronchiolitis in a patient with ulcerative colitis treated with erythromycin.	Intern Med. 53:875-877, 2014 (IF 0.967)
9	Harada T	The Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	An autopsy case of Hermansky-Pudlak syndrome: A case report and review of the literature on treatment.	Internal Med. 53:2705-2709, 2014(IF 0.967)
10	Ishimatsu Y	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine.	A Japanese patient with Löfgren's syndrome with an HLA-DR12 allele and review of literature on Japanese patients.	Tohoku J Exp Med. 234: 137-141, 2014(IF 1.283)
11	Kitamura M	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	New insights into therapeutic strategies for the treatment of peritoneal fibrosis: learning from histochemical analyses of animal models.	Acta Histochem Cytochem. 47:133-143, 2014.(IF 1.224)
12	Kitajima M	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Enhanced follicular recruitment and atresia in cortex derived from ovaries with endometriomas.	Fertil Steril 101(4):1031-1037, 2014(IF 4.295)
13	Tomonaga M	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Comparison of Pulmonary Involvement Between Patients Expressing Anti-PL-7 and Anti-Jo-1 Antibodies.	Lung. 193(1):79-83,2014.(IF 2.171)
14	Kohno S	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Contradiction between in vitro and clinical outcome: Intravenous followed by oral azithromycin therapy demonstrated clinical efficacy in macrolide-resistant pneumococcal pneumonia.	J Infect Chemother 20: 199-207, 2014(IF 1.384)
15	Kakugawa T	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Serum heat shock protein 47 levels are elevated in acute interstitial pneumonia.	BMC Pulm Med. 14 :48, 2014 (IF 2.489)
16	Kakugawa T	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Acute exacerbation of airspace enlargement with fibrosis.	Respiratory Medicine Case Reports. 13:19-23, 2014 ※
17	Fukahori S	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Clearance of Aspergillus fumigatus is impaired in the airway in allergic inflammation.	Ann Allergy Asthma Immunol 113 : 180-186, 2014(IF 2.746)
18	Nakamura Y	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Secondary EML4-ALK-positive lung adenocarcinoma in a patient previously treated for acute lymphoblastic leukemia in childhood: a case report.	Jpn J Clin Oncol. 44: 593-596, 2014.(IF 1.747)
19	Hayashi W	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Spontaneous bladder rupture diagnosis based on urinary appearance of mesothelial cells: a case report.	J Med Case Rep 8, 46, 2014 ※
20	Kohno S	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Clinical features of pulmonary cryptococcosis in non-HIV patients in Japan.	J Infect Chemothe 21:23-30,2014(IF 1.384)
21	Kawano T	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University Hospital	Cysteinyl leukotriene receptor antagonist regulates allergic airway inflammation in an organ- and cytokine-specific manner.	Med Sci Monit 20: 297-302, 2014(IF 1.216)
22	Matsuse H	Nagasaki University School of Medicine, Second Department of Internal Medicine	Leukotriene receptor antagonists pranlukast and montelukast for treating asthma.	Expert Opin Pharmacother 15 : 353-363, 2014(IF 3.085)
23	Tanaka K	Nagasaki University	Lipid-colloid dressing shows improved reepithelialization, pain relief, and corneal barrier function in split-thickness skin-graft donor wound healing.	Int J Low Extrem Wounds13(3):220-5, 2014(IF 1.194)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
24	Ito M	Medical Work-Life-Balance Center, Nagasaki University Hospital	The effects of once-weekly teriparatide on hip structure and biomechanical properties assessed by CT.	Osteoporos Int 25(3): 1163-1172, 2014(IF 4.165)
25	Horie N	From the Departments of Neurosurgery (N.H., Y.M., T.H., T.I., K.H., I.N.) and Radiology (M.M.), Nagasaki University School	De novo ivy sign indicates postoperative hyperperfusion in moyamoya disease.	Stroke 45:1488-1491,2014(IF 6.018)
26	Horie N	From the Departments of Neurosurgery (N.H., Y.M., T.H., T.I., K.H., I.N.) and Radiology (M.M.), Nagasaki University School	Indocyanine Green Videoangiography for Assessment of Postoperative Hyperperfusion in Moyamoya Disease.	Acta Neurochir (Wien) 156(5): 919-926, 2014(IF 1.788)
27	Horie N	From the Departments of Neurosurgery (N.H., Y.M., T.H., T.I., K.H., I.N.) and Radiology (M.M.), Nagasaki University School	Impact of Aneurysm Location on Cardiopulmonary Dysfunction after Subarachnoid Hemorrhage.	J Stroke Cerebrovasc Dis 23(7): 1795-1804, 2014(IF 1.022)
28	Horie N	From the Departments of Neurosurgery (N.H., Y.M., T.H., T.I., K.H., I.N.) and Radiology (M.M.), Nagasaki University School	Impact of Clipping versus Coiling on Postoperative Hemodynamics and Pulmonary Edema after Subarachnoid Hemorrhage.	Biomed Research International Vol.2014, Article ID 807064, 9 pages
29	Abe K	From the Departments of Molecular Physiology (K.A., T.M., D.T.H., T.I., Y.T., N.M.), Pediatrics (H.Y., H.M.), and Cardiovascular Medicine (S.F., M.K., K.M.), Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Sodium channelopathy underlying familial sick sinus syndrome with early onset and predominantly male characteristics.	Circ- Arrhythm Electrophysiol 7(3): 511-517, 2014(IF 5.417)
30	Tsuchiya T	Division of Surgical Oncology; Department of Surgery; Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Future prospects for tissue engineered lung transplantation: decellularization and recellularization-based whole lung regeneration.	Organogenesis 10(2): 196-207, 2014(IF 2.596)
31	Tsuchiya T	Division of Surgical Oncology; Department of Surgery; Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Influence of pH on Extracellular Matrix Preservation During Lung Decellularization.	Tissue Eng Part C Methods 20(12): 1028-1036, 2014
32	Tagawa T	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Science, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Thoracoscopic versus transsternal resection for early stage thymoma: long-term outcomes.	Surg Today 44(12): 2275-2280, 2014(IF 1.208)
33	Matsumoto H	Division of Surgical Oncology, Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	ABCC11/MRP8 Expression in the Gastrointestinal Tract and a Novel Role for Pepsinogen Secretion.	Acta Histochem Cytochem 47(3): 85-94, 2014(IF 1.224)
34	Mochinaga K	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	High expression of dihydropyrimidine dehydrogenase in lung adenocarcinoma is associated with mutations in epidermal growth factor receptor: implications for the treatment of non-small-cell lung cancer using 5-fluorouracil.	Clin Lung Cancer 15(2): 136-144, 2014(IF 3.220)
35	Tominaga T	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Science	Successful Colectomy for Hemorrhagic Colitis with Hemolytic Uremic Syndrome and Acute Encephalopathy due to Escherichia coli O157 Infection.	Case Rep Gastroenterol 8(1): 82-88, 2014
36	Nakamura T	Division of Radiology (M.I.), Nagasaki University School of Medicine	Fracture Intervention Randomized Placebo Controlled Trial (DIRECT).	J Clin Endocrinol Metab 99(7): 2599-2607, 2014(IF 6.310)
37	Haraguchi A	Division of Endocrinology and Metabolism Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Multiple drug combination of anti-diabetic agents as a predictor for poor clinical response to Liraglutide.	Minerva Endocrinol.39(4):289-297, 2014.(IF 1.323)
38	Haraguchi A	Division of Endocrinology and Metabolism Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Uptake of aortic 18F-FDG is correlated with low-density lipoprotein cholesterol and leptin in a general population.	PLoS One. 9(11):e111990,2014.(IF 3.534)
39	Kakoki K	Division of Cytokine Signaling, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Androgen-independent proliferation of LNCaP prostate cancer cells infected by xenotropic murine leukemia virus-related virus.	Biochem Biophys Res Commun.447(1):216-
40	Kakoki K	Division of Cytokine Signaling, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Susceptibility of muridae cell lines to ecotropic murine leukemia virus and the cationic amino acid transporter 1 viral receptor sequences: implications for evolution of the viral receptor.	Virus Genes. 48(3):448-456, 2014(IF 1.837)
41	Hisata Y	Division of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University School of Medicine	Right infarction response to coronary artery bypass and the Abiomed BVS 5000.	ASIAN Cardiovasc & Thoracic Ann 22(3):329-331,2014
42	Ono S	Departments of Surgery, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Sciences	Simultaneous Pancreas and Kidney Composite Graft Transplantation with Retroperitoneal Systemic-Enteric Drainage.	Ann Transplant 12(19): 586-590, 2014(IF 1.430)
43	Hakariya T	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki	Feasibility of simultaneous integrated boost IMRT (SIB-IMRT) for castration-resistant prostate cancer.	Anticancer Res. 34(8):4261-4265. 2014(IF 1.872)
44	Ohba K	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences Nagasaki	High expression of Twist is associated with tumor aggressiveness and poor prognosis in patients with renal cell carcinoma.	Int J Clin Exp Pathol. 7(6):3158-3165, 2014(IF 2.242)
45	Matsuo T	Department of Urology and Renal Transplantation, Nagasaki University Hospital	Recovery from life-threatening pelvic organ prolapse in an 80-year-old Japanese woman: a case report.	Clin Case Rep. 2(4):118-121, 2014

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
46	Matsuo T	Department of Urology and Renal Transplantation, Nagasaki University Hospital	Unilateral Basal Interhemispheric Approach through the sphenoid sinus to retrochiasmatic and intrasellar craniopharyngiomas: surgical technique and results.	World neurosurg 82(5): 799-805, 2014(IF 2.417)
47	Matsuo T	Department of Urology and Renal Transplantation, Nagasaki University Hospital	Linear accelerator-based radiosurgery alone for arteriovenous malformation: more than 12 years of observation.	Int J Radiat Oncol Biol Phys 89(3): 576-583, 2014(IF 0.649)
48	Matsuo T	Department of Urology and Renal Transplantation, Nagasaki University Hospital	Indication and Limitations of Endoscopic Extended Transsphenoidal Surgery for Craniopharyngioma.	Neurol med chir(Tokyo) 54(12): 974-982, 2014(IF 0.649)
49	Matsuo T	Department of Urology and Renal Transplantation, Nagasaki University Hospital	Cyst formation after linac-based radiosurgery for arteriovenous malformation: Examination of predictive factors using magnetic resonance imaging.	Clin Neurol Neurosurg 121:10-16, 2014(IF 1.248)
50	Mussazhanova Z	Department of Tumor and Diagnostic Pathology, Nagasaki	Radiation-associated small cell neuroendocrine carcinoma of the thyroid: a case report with molecular analyses.	Thyroid 24(3): 593-598, 2014.(IF 3.843)
51	Otsubo R	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Hospital	Novel diagnostic procedure for determining metastasis to sentinel lymph nodes in breast cancer using a semi-dry dot-blot method.	Int J Cancer 134(4): 905-912, 2014(IF 5.007)
52	Takagi K	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Three-Dimensional Printing Model of Liver for Operative Simulation in Perihilar Cholangiocarcinoma.	Hepato-Gastroenterology 61(136): 2315-1316, 2014(IF 0.907)
53	Kuroki T	Department of Surgery, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Sciences	Single-Incision Laparoscopic Distal Pancreatectomy:Our Initial Experience.	Hepato-Gastroenterology 61(129): 212-214, 2014(IF 0.907)
54	Kuroki T	Department of Surgery, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Sciences	Learning Curve for Laparoscopic Pancreaticoduodenectomy:A Single Surgeon's Experience with Consecutive Patients.	Hepato-Gastroenterology 131(61): 838-841, 2014(IF 0.907)
55	Matsushima H	Department of Surgery, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Sciences	Laparoscopic spleen-preserving distal pancreatectomy with and without splenic vessel preservation: the role of the Warshaw procedure.	Pancreatology 14(6): 530-535, 2014(IF 2.504)
56	Kuroki T	Department of Surgery, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Sciences	Laparoscopic parenchyma-sparing pancreatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 May;21(5):323-7
57	Yoneda A	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Spontaneous Colon Perforations Associated with a Vascular Type of Ehlers-Danlos Syndrome	Case reports in Gastroenterology 8: 175-181, 2014
58	Yoneda A	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	The detection of gastric cancer cells in intraoperative peritoneal lavage using the reverse transcription-loop-mediated isothermal amplification method.	J Surg Res 187(1): e1-6, 2014(IF 2.121)
59	Eguchi S	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Analysis of the Hepatic Functional Reserve, Portal Hypertension, and Prognosis of Patients With Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis C Virus Coinfection Through Contaminated Blood Products in Japan.	Transplant Proc 46(3): 736-738, 2014 (IF: 0.984)
60	Tanaka T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Is a fluorescence navigation system with indocyanine green effective enough to detect liver malignancies?	Hepatobiliary Pancreat Sci 21(3):199-204,
61	Minami S	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Timing of drainage tube removal after thyroid surgery: a retrospective study.	Surg Today 44(1):137-141, 2014(IF 1.208)
62	Takatsuki M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Post-operative complications requiring hospitalization more than one yr after living donor liver transplantation.	Clin Transplant 28(1):105-110, 2014(IF 1.486)
63	Hirabaru M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Expresion of alpha smooth muscle actin in living donor liver transplant recipients:	World Journal of Gastroenterology 20(22): 7067-7074, 2014(IF 2.433)
64	Tanaka T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Endoscopic Sphincterotomy Using the Redezvous Technique for Choledocholithiasis during Laparoscopic Cholecystectomy	A Case Report: Case reports in Gastroenterology 8: 245-250, 2014
65	Soyama A	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A hybrid method of laparoscopic-assisted open liver resection through a short upper midline laparotomy can be applied for all types of hepatectomies.	Surg Endosc 28(1): 203-211, 2014(IF 3.313)
66	Soyama A	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A correlation between the graft volume evaluation and the prognosis in consideration of hepatic "compliance" in living donor liver transplantation.	Hepatogastroenterology. 2015 Jan-Feb;62(137):151-2
67	Mishima T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Dietary zinc supplementation to the donor improves insulin secretion after islet transplantation in chemically induced diabetic rats.	Pancreas 43(2): 236-239, 2014(IF 3.008)
68	Adachi T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Lymph node dissection for intrahepatic cholangiocarcinoma: a critical review of the literature to date.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 21(3): 162-168, 2014(IF 2.313)
69	Takatsuki M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Liver transplantation for HIV/hepatitis C virus co-infected patients.	Hepatol Res 44(1): 17-21, 2014(IF 2.218)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
70	Eguchi S	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Liver transplantation for patients with human immunodeficiency virus and hepatitis C virus co-infection: update in 2013.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 21(4): 263-268, 2014(IF 2.313)
71	Fujita F	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The risk factors and predictive factors for anastomotic leakage after resection for colorectal cancer: reappraisal of the literature.	Surg Today 44: 1595-1602, 2014(IF 1.208)
72	Baimakhanov Z	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Effective balloon-occluded retrograde transvenous obliteration of the SMV-IVC shunt in a patient with hepatic encephalopathy after LDLT.	HPB 16(2): 544, 2014
73	Hirabaru M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A novel method for performing islet transplantation using tissue engineered sheets composed of islets and mesenchymal stem cells.	2014 Clinical Congress of the American College of Surgeons(ACS). p109, 2014
74	Adachi T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Safety and efficacy of early drain removal and triple-drug therapy to prevent pancreatic fistula after distal pancreatectomy:A prospective study at a Single Institute.	2014 Clinical Congress of the American College of Surgeons(ACS). p159, 2014
75	Natsuda K	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The Efficacy of the ImmuKnow Assay for Evaluating the Immune Status in Human Immunodeficiency Virus and Hepatitis C Virus-Coinfected Patients.	Transplantation Proceedings 46:733-735, 2014
76	Takatsuki M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Obstructing spontaneous major shunt vessels might not be mandatory to maintain adequate portal inflow in living donor liver transplantation.	Transplantation. 2014 May 15;97(9):e52-3
77	Eguchi S	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	How to explant a diseased liver for living donor liver transplantation after previous gastrectomy with severe adhesion (with video).	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 Aug;21(8):E62-4
78	Yamanouchi K	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Predictive factors for intraoperative excessive bleeding in Graves' disease.	Asian J Surg. 2015 Jan;38(1):1-5
79	Baimakhanov Z	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Preoperative simulation with a 3-dimensional printed solid model for one-step reconstruction of multiple hepatic veins during living donor liver transplantation.	Liver Transpl. 2015 Feb;21(2):266-8
80	Hara T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The impact of treated bacterial infections within one month before living donor liver transplantation in adults.	Ann Transplant. 2014 Dec 23;19:674-9
81	Sadykov N	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Peritoneal recurrence of initially controlled hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation.	Case Rep Gastroenterol. 2015 Jan 24;9(1):29-35
82	Miyazaki K	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Hand-assisted laparoscopic subtotal colectomy with cecorectal anastomosis for chronic idiopathic colonic pseudo-obstruction:report of a case.	Surg Today 44(3):581-585, 2014(IF 1.208)
83	Kitasato A	Department of Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	A selective cyclooxygenase-2 inhibitor (Etodolac) prevents spontaneous biliary tumorigenesis in a hamster bilioenterostomy model.	Eur Surg Res 52(1-2): 73-82, 2014(IF 1.431)
84	Umeda M	Department of Rheumatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Hemophagocytic syndrome and inflammatory myopathy with abundant macrophages in a patient with adult-onset Still's disease.	Intern Med. 53(20):2385-2389,2014.(IF 0.967)
85	Sakamoto A	Department of Radiology, Nagasaki University School of Medicine	Quantification of lung perfusion blood volume by dual-energy CT for assessment of the severity of acute pulmonary thromboembolism.	AJR Am J Roentgenol 203:287-291,2014(IF 2.744)
86	Koike H	Department of Radiology, Nagasaki University School of Medicine	Discrepancy between dual-energy computed tomography lung perfusion blood volume and lung perfusion single-photon emission computed tomography/computed tomography images in pulmonary	Am J Respir Crit Care Med. 15:189(12):e71-2,
87	Sueyoshi E	Department of Radiology, Nagasaki University School of Biomedical Sciences	Computed tomography evaluation of aortic remodeling after endovascular treatment for complicated ulcer-like projection in patients with type B aortic intramural hematoma.	J Vasc Surg 59:693-699,2014(IF 2.980)
88	Sueyoshi E	Department of Radiology, Nagasaki University School of Biomedical Sciences	Fate of aorta and clinical outcomes in patients with chronic type B aortic dissection: over 20-year experience.	J Cardiovasc Surg 55:247-255,2014(IF 1.365)
89	Sueyoshi E	Department of Radiology, Nagasaki University School of Biomedical Sciences	Endovascular repair of aortic dissection and intramural hematoma: indications and serial changes.	Springerplus 3:670,2014
90	Shimamoto A	Department of Radiology, Nagasaki University Hospital	The MRI findings in a case of ovarian mucinous borderline tumor mimicking a serous surface borderline tumor.	Jpn J Radiol 32:552-555,2014(IF 0.742)
91	Takagi Y	Department of Radiology and Cancer Biology, Nagasaki University School of Dentistry and Unit of Translational Medicine	Ultrasonography as an additional item in the American College of Rheumatology classification of Sjögren's syndrome.	Rheumatology (Oxford).53(11):1977-1983,2014.(IF 4.435)
92	Mori K	Department of Radiation Medical Sciences, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University	Potential of osteoclastogenesis by adipogenic conversion of bone marrow-derived mesenchymal stem cells.	Biomedical Research 35(2):153-159, 2014(IF 1.10)
93	Yamamoto N	Department of Public Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Mental health problems and influencing factors in Japanese women 4 months after delivery.	J Physiol Anthropol. 33:32,2014.(IF 1.160)
94	Kawashiri S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Improvement of plasma endothelin-1 and nitric oxide in patients with systemic sclerosis by bosentan therapy.	Rheumatol Int. 34(2):221-225,2014.(IF 1.627)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
95	Kawashiri S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Synovial inflammation assessed by ultrasonography correlates with MRI-proven osteitis in patients with rheumatoid arthritis.	Rheumatology (Oxford). 53(8):1452-1456,2014.(IF 4.435)
96	Kawashiri S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Ultrasonographic examination of rheumatoid arthritis patients who are free of physical synovitis: power Doppler subclinical synovitis is associated with bone erosion.	Rheumatology (Oxford). 53(3):562-569,2014.(IF 4.435)
97	Kawashiri S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Ultrasonography and magnetic resonance imaging findings of rheumatoid arthritis-like arthritis in a patient with adult T-cell leukemia	Mod Rheumatol 1-5,2014.(IF 2.206)
98	Kawashiri S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Baseline low modified health assessment questionnaire (MHAQ) predicts the state of remission estimated by clinical disease activity index and MHAQ at 1 year in tocilizumab-treated rheumatoid arthritis	Clin Exp Rheumatol. 32(3):445,2014.(IF 2.973)
99	Kawashiri S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Presence of ultrasound subclinical synovitis and increment of serum vascular endothelial growth factor in a patient with rheumatoid arthritis achieved in sustained clinical remission by treatment with adalimumab and methotrexate.	Mod Rheumatol. 24(4):681-684,2014(IF 2.206)
100	Mizukami S	Department of Public Health, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Accuracy of spinal curvature assessed by a computer-assisted device and anthropometric indicators in discriminating vertebral fractures among individuals with back pain.	Osteoporos Int. 25(6):1727-1734,2014.(IF 4.165)
101	Akita S	Department of Plastic Surgery, Nagasaki University Hospital	Management of vascular malformations.	Plast Reconstr Surg Glob Open 2(3): e128, 2014
102	Akita S	Department of Plastic Surgery, Nagasaki University Hospital	Treatment of Radiation Injury.	Adv Wound Care (New Rochelle). 2014 Jan 1;3(1):1-11.
103	Yoshimoto H	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nagasaki University Hospital	Breast Reconstruction After Radiotherapy.	Adv Wound Care (New Rochelle). 2014 Jan 1;3(1):12-15
104	Mori R	Department of Pathology, School of Medicine, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Reduced FOXO1 expression accelerates skin wound healing and attenuates scarring.	Am J Pathol 184 (9): 2465-79, 2014(IF 4.602)
105	Sumikawa H	Department of Pathology, Nagasaki University School of Medicine	Pathologically proved nonspecific interstitial pneumonia: CT pattern analysis as compared with usual interstitial pneumonia CT Pattern.	Radiology 272(2): 549-556, 2014(IF 6.214)
106	Tabata K	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Ki-67 is a strong prognostic marker of non-small cell lung cancer when tissue heterogeneity is considered.	BMC clinical pathology 14: 23, 2014
107	Hara Y	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Anti-glycyl tRNA synthetase antibody associated interstitial lung disease without symptoms of polymyositis/dermatomyositis.	Pathology international. 2014, 64: 148-150.(IF 1.585)
108	Tabata K	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Histopathologic features of usual interstitial pneumonia and related patterns: what is important for radiologists?.	Seminars in ultrasound, CT, and MR 35: 2-11, 2014(IF 1.082)
109	Akiyama N	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Influence of continuous negative pressure in the rat middle ear.	Virus Genes. 48(3):448-456, 2014(IF 1.837)
110	Ishimaru K	Department of Otolaryngology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki	Efficacy of aprepitant for nausea in patients with head and neck cancer receiving daily Cisplatin therapy.	Asian Pac J Cancer Prev 15:9627-9630, 2014.
111	Yoshida H	Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Relationship between CT findings and sensorineural hearing loss in chronic otitis media.	Auris Nasus Larynx 41:259-263, 2014. (IF 1.004)
112	Chiba K	Department of Orthopedic Surgery, Nagasaki University School of	Three-dimensional analysis of subchondral cysts in hip osteoarthritis: an ex vivo HR-pQCT study.	Bone 66:140-145, 2014 (IF 4.46)
113	Yoda I	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Effect surface roughness of biomaterials on Staphylococcus epidermidis adhesion.	BMC Microbiology 14(1):234, 2014(IF 2.98)
114	Koseki H	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Early staphylococcal biofilm formation on solid orthopaedic implant materials:	in vitro study. PLOS ONE 9(10), 2014(IF 3.53)
115	Okazaki N	Department of Orthopaedic Surgery, Nagasaki University School	Trabecular microfractures in the femoral head with osteoporosis: analysis of microcallus formations by synchrotron radiation micro CT.	Bone 64:82-87, 2014(IF 4.46)
116	Kumagami T	Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Comparison of corneal safety and intraocular pressure-lowering effect of tafuprost ophthalmic solution with other prostaglandin ophthalmic solutions.	J Ocul Pharmacol Th 30: 340-345, 2014(IF 1.42)
117	Onizuka N	Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Influence of different additives and their concentrations on corneal toxicity and antimicrobial effect of benzalkonium chloride.	Cornea 33: 521-526, 2014(IF 2.36)
118	Kinoshita H	Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Cyclic stretch and hypertension increase retinal succinate: potential mechanisms for exacerbation of ocular neovascularization by mechanical stress.	Invest Ophth Vis Sci 55: 4320-4326, 2014(IF 3.661)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
119	Matsumoto M	Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Retinal blood flow levels measured by laser speckle flowgraphy in patients who received intravitreal bevacizumab injection for macular edema secondary to central retinal vein occlusion.	Retin Cases Brief Rep 8: 60-6, 2014
120	Masuzaki H	Department of Obstetrics and Gynecology, School of Medicine	Annual report of Subcommittee for Examination of Causes of Maternal Death and their Prevention in Perinatology Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2013.	J Obstet Gynaecol Res 40(2): 336-337, 2014(IF 0.931)
121	Masuzaki H	Department of Obstetrics and Gynecology, School of Medicine	Annual report of Perinatology Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2013: Development of Perinatal Emergency Care Systems and Suggestions.	J Obstet Gynaecol Res 40(2): 335, 2014(IF 0.931)
122	Abe S	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Single human papillomavirus 16 or 52 infection and later cytological findings in Japanese women with NILM or ASC-US.	Journal of Human Genetics 59: 251-255, 2014(IF 2.526)
123	Hiraki K	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Uterine preservation surgery for placental polyp.	J Obstet Gynaecol Res 40(1): 89-95, 2014(IF 0.931)
124	Tsukamoto O	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Identification of endometrioid endometrial carcinoma-associated microRNAs in tissue and plasma.	Gynecol Oncol 132(3): 715-721, 2014(IF 3.687)
125	Matsuwaki T	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Evaluation of obstetrical factors related to Sheehan syndrome.	J Obstet Gynaecol Res 40(1): 46-52, 2014(IF 0.931)
126	Khan KN	Department of Obstetrics and Gynecology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Occult microscopic endometriosis: undetectable by laparoscopy in normal peritoneum.	Hum Reprod 2(3): 462-472, 2014(IF 4.585)
127	Khan KN	Department of Obstetrics and Gynecology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Intra-uterine microbial colonization and occurrence of endometritis in women with endometriosis.	Hum Reprod. 29(11): 2446-2456, 2014(IF 4.585)
128	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	A case of iliac artery injury treated by covered stent during carotid artery stenting.	Acta Neurochir 156:561-564, 2014(IF 1.788)
129	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	Pathophysiology of flow impairment during carotid artery stenting with an embolus protection filter.	Acta Neurochir 156:1721-1728, 2014(IF 1.788)
130	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	Usefulness of C-stopper coil for neurointervention.	Neurol Med-Chir (Tokyo) 54:450-456, 2014(IF 0.649)
131	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	Current Status of Endovascular Treatment for Vasospasm Following Subarachnoid Hemorrhage: Analysis of JR-NET2.	Neurol Med Chir (Tokyo) 54(2): 107-112, 2014(IF 0.649)
132	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	Nationwide survey on quasi-moyamoya disease in Japan.	Acta Neurochir 156(5): 935-940, 2014(IF 1.788)
133	Miyata Y	Department of Nephro-Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Heme oxygenase-1 expression is associated with tumor aggressiveness and outcomes in patients with bladder cancer: a correlation with smoking intensity.	Transl Res. 164(6):468-476, 2014(IF 4.044)
134	Miyata Y	Department of Nephro-Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficacy and safety of systemic chemotherapy and intra-arterial chemotherapy with/without radiotherapy for bladder preservation or as neo-adjuvant therapy in patients with muscle-invasive bladder cancer: A single-centre study of 163 patients.	Eur J Surg Oncol 41:361-367, 2014(IF 2.892)
135	Igawa T	Department of Nephro-urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Successful treatment for retroperitoneal cavernous hemangioma adjacent to the renal hilum via the laparoscopic approach: a case report.	J Med Case Rep. 8:73, 2014.
136	Igawa T	Department of Nephro-urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Oncological outcomes of hormonal therapy with a gonadotropin-releasing hormone agonist combined with a steroidal or non-steroidal antiandrogen in patients with prostate cancer.	Anticancer Res. 34(4):1983-1988, 2014(IF 1.872) *
137	Igawa T	Department of Nephro-urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Stability of [-2]Pro-PSA in whole blood and serum: analysis for optimal measurement conditions.	J Clin Lab Anal. 28(4):315-319, 2014(IF 1.144) *
138	Ohba K	Department of Nephro-Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Left atrial metastasis of renal cell carcinoma: a case report and review of the literature.	BMC Res Notes. 7:520, 2014
139	Miyazaki T	Department of Molecular Microbiology and Immunology; Nagasaki University School of	Elucidation of multiantifungal resistance mechanisms in pathogenic fungi and their clinical impacts.	Jpn J Antibiot 67: 263-271, 2014
140	Miyazaki T	Department of Molecular Microbiology and Immunology; Nagasaki University School of	ER stress response mechanisms in the pathogenic yeast Candida glabrata and their roles in virulence.	Virulence 5: 365-370, 2014(IF 3.319)
141	Miyazaki T	Department of Molecular Microbiology and Immunology; Nagasaki University School of	Chest tube insertion is one important factor leading to intercostal nerve impairment in thoracic surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 62(1): 58-63, 2014
142	Miyazaki T	Department of Molecular Microbiology and Immunology; Nagasaki University School of Medicine	Video-assisted thoracoscopic lobectomy with the patient in the semi-prone position: initial experience and benefits of lymph node dissection.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 62(10): 614-619, 2014

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
143	Miyazaki T	Department of Molecular Microbiology and Immunology; Nagasaki University School of Medicine	Pulmonary Resection for Lung Cancer in Nonagenarians: A Report of Five Cases.	Ann Thorac Cardiovasc Surg 20(Suppl): 497-500, 2014(IF 0.687)
144	Izumikawa K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Clinical features, risk factors and treatment of fulminant Mycoplasma pneumoniae pneumonia: a review of the Japanese literature.	J Infect Chemother 20: 181-185, 2014(IF 1.384)
145	Izumikawa K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Pathogenesis and clinical features of chronic pulmonary aspergillosis - Is it possible to distinguish CNPA and CCPA clinically?	J Infect Chemother 20: 208-212, 2014(IF 1.384)
146	Izumikawa K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficacy and safety of garenoxacin tablets on bacterial pneumonia: Postmarketing surveillance in Japan.	J Infect Chemother 20:549-557, 2014(IF 1.384)
147	Izumikawa K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficacy and safety of garenoxacin tablets on clinically diagnosed atypical pneumonia: Postmarketing surveillance in Japan.	J Infect Chemother 20:541-548, 2014 (1.384)
148	Mihara T	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficacy of aerosolized liposomal amphotericin B against murine invasive pulmonary mucormycosis.	J Infect Chemother 20: 104-108, 2014(IF 1.384)
149	Nagayoshi Y	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Contribution of the Sit2-regulated transcription factors to echinocandin tolerance in <i>Candida glabrata</i> .	FEMS Yeast Res 14: 1128-1131, 2014(IF 2.436)
150	Miyakawa M	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Seroprevalence of rubella in the cord blood of pregnant women and congenital rubella incidence in Nha Trang, Vietnam.	Vaccine 32(10):1192-1198, 2014(IF 3.485)
151	Nakamura T	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Pentosan polysulfate treatment ameliorates motor function with increased serum soluble vascular cell adhesion molecule-1 in HTLV-1-associated neurologic disease.	J Neurovirol 20 (3): 269-277, 2014(IF 3.323)
152	Yamamoto Y	Department of Molecular Microbiology and Immunology	A study on the management of acute respiratory tract infection in adults.	Jpn J Antibiot 67: 223-232, 2014 ※
153	Kawasaki E	Department of Metabolism/Diabetes and Clinical Nutrition, Nagasaki University Hospital	Novel enzyme-linked immunosorbent assay for bivalent ZnT8 autoantibodies.	Acta Diabetol. 51(3):429-434,2014.(IF 3.679)
154	Kawasaki E	Department of Metabolism/Diabetes and Clinical Nutrition, Nagasaki University Hospital	Diagnostic criteria for acute-onset type 1 diabetes mellitus (2012): Report of the Committee of Japan Diabetes Society on the Research of Fulminant and Acute-onset Type 1 Diabetes Mellitus.	J Diabetes Invest 5(1): 115-118, 2014(IF 1.496)
155	Imamura T	Department of Macroscopic Anatomy, Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki University	Characterization of individuals with sacroiliac joint bridging in a skeletal population: analysis of degenerative changes in spinal vertebrae.	BioMed Research International 2014; Article ID 879645, 9 pages
156	Imamura T	Department of Macroscopic Anatomy, Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki University	Effect of GnRH agonist therapy on the expression of human heat shock protein 70 in eutopic and ectopic endometria of women with endometriosis.	Euro J Obstet Gyneco Reprod Biol 180: 16-23, 2014(IF 1.617)
157	Sekino Y	Department of Locomotive Rehabilitation Science, Unit of Rehabilitation Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Sensory hyperinnervation and increase in NGF, TRPV1 and P2X3 expression in the epidermis following cast immobilization in rats.	Eur J Pain. 18(5):639-948,2014.(IF 3.218)
158	Uno N	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Ligation-independent mechanism of multiplex ligation-dependent probe amplification.	Anal Sci 30(8):805-10, 2014.(IF 1.403)
159	Yamada K	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University Hospital	Azithromycin inhibits MUC5AC induction via multidrug-resistant <i>Acinetobacter baumannii</i> in human airway epithelial cells.	Pulm Pharmacol Ther 28: 165-170, 2014(IF 2.57)
160	Nagaoka K	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Predictors of the pathogenicity of methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> nosocomial pneumonia.	Respirology 19: 556-562, 2014(IF 3.495)
161	Nagaoka K	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	<i>Prevotella intermedia</i> induces severe bacteremic pneumococcal pneumonia in mice with upregulated platelet-activating factor receptor expression.	Infect Immun 82: 587-593, 2014(IF 4.156)
162	Harada Y	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	In vitro and in vivo activities of piperacillin-tazobactam and meropenem at different inoculum sizes of ESBL-producing <i>Klebsiella pneumoniae</i> .	Clin Microbiol Infect 20:O831-839, 2014(IF 5.197)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
163	Kaku N	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Immunomodulatory effect of linezolid on methicillin-resistant Staphylococcus aureus supernatant-induced MUC5AC overexpression in human airway epithelial cells.	Antimicrob Agents Chemother 58: 4131-4137, 2014(IF
164	Kaku N	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Influence of antimicrobial regimen on decreased in-hospital mortality of patients with MRSA bacteremia.	J Infect Chemother 20: 350-355, 2014(IF 1.384)
165	Takazono T	Department of Internal Medicine, Nagasaki Municipal Hospital, Nagasaki	A retrospective comparative study of recombinant human thrombomodulin and gabexate mesilate in sepsis-induced disseminated intravascular coagulation patients.	J Infect Chemother 20: 484-488, 2014(IF 1.384)
166	Takazono T	Department of Internal Medicine, Nagasaki Municipal Hospital, Nagasaki	Paradoxical response to disseminated non-tuberculosis mycobacteriosis treatment in a patient receiving tumor necrosis factor- α inhibitor: a case report.	BMC Infect Dis 14:114, 2014(IF 2.561)
167	Tamai M	Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Combination of MRI-detected bone marrow oedema with 2010 rheumatoid arthritis classification criteria improves the diagnostic probability of early rheumatoid arthritis.	Ann Rheum Dis. 73(12):2219-2220,2014.(IF 9.270)
168	Cherif M S	Department of Immunogenetics, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University	Nanoparticle formulation enhanced protective immunity provoked by PYGPI8p-transamidase related protein (PyTAM) DNA vaccine in Plasmodium yoelii malaria model.	Vaccine 32 (17): 1998-2006, 2014(IF 3.485)
169	Imamura M	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital.	Ternary complex of plasmid DNA electrostatically assembled with polyamidoamine dendrimer and chondroitin sulfate for effective and secure gene delivery.	Biol Pharm Bull 37 (4): 552-559, 2014(IF 1.778)
170	Kodama Y	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Biodegradable nanoparticles composed of dendrigraft poly-L-lysine for gene delivery.	Eur J Pharm Biopharm 87 (3): 472-479, 2014(IF 4.245)
171	Kodama Y	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Novel siRNA delivery system using a ternary polymer complex with strong silencing effect and no cytotoxicity.	Biol Pharm Bull 37 (8): 1274-1281, 2014(IF 1.778)
172	Yamamoto-Fukuda	Department of Histology and Cell Biology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	In vivo over-expression of KGF mimic human middle ear cholesteatoma.	Eur Arch Otorhinolaryngol, 2014.(IF 1.608)
173	Yamamoto-Fukuda	Department of Histology and Cell Biology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	KGFR as a possible therapeutic target in middle ear cholesteatoma.	Acta Otolaryngol 134:1121-1127, 2014.(IF 0.99)
174	Taniguchi H	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Heat shock protein 90 inhibitor NVP-AUY922 exerts potent activity against adult T-cell leukemia-lymphoma cells.	Cancer Sci 105(12):1601-8 2014.(IF 3.534)
175	Itonaga H	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusya Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University Graduate School of	Expression of myeloperoxidase in acute myeloid leukemia blasts mirrors the distinct DNA methylation pattern involving the downregulation of DNA methyltransferase DNMT3B.	Leukemia 28(7):1459-66, 2014.(IF 9.379)
176	Itonaga H	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusya Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University Graduate School of	Molecular analysis of the BCR-ABL1 kinase domain in chronic-phase chronic myelogenous leukemia treated with tyrosine kinase inhibitors in practice: study by the Nagasaki CML Study Group.	Leuk Res 38(1):76-83, 2014.(IF 2.692)
177	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Peroral endoscopic myotomy for esophageal achalasia: Clinical impact of 28 cases.	Dig Endosc 26(1): 43-51, 2014 (IF: 1.999)
178	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Background coloration of squamous epithelium in esophago-pharyngeal squamous cell carcinoma: what causes the color change?	PLoS One 9(1): e85553, 2014 (IF: 3.534)
179	Shoji H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Oral prednisolone and triamcinolone injection for gastric stricture after endoscopic submucosal dissection.	Ann Transl Med 2(3): 22, 2014 ※
180	Ohnita K	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Early and long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in a large patient series.	Exp Ther Med 7(3): 594-598, 2014 (IF: 0.941)
181	Akazawa Y	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Infliximab therapy for Crohn's-like disease in common variable immunodeficiency complicated by massive intestinal hemorrhage: a case report.	BMC Res Notes 7(1): 382, 2014
182	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Significance of Background Coloration in Endoscopic Detection of Early Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Digestion 89(1): 6-11, 2014 (IF: 2.032)
183	Takeshima F	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficacy of Long-Term 4.0 g/Day Mesalazine (Pentasa) for Maintenance Therapy in Ulcerative Colitis.	Med Sci Monit 20: 1314-1318, 2014 (IF: 1.216)
184	Miyaaki H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Significance of serum and hepatic microRNA-122 levels in patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Liver Int 34(7): e302-e307, 2014 (IF: 4.412)
185	Miyaaki H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Endoscopic management of esophagogastric varices in Japan.	Ann Transl Med 2(5): 42, 2014
186	Akahoshi M	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, Nagasaki	Sleep disturbances and quality of life in patients after living donor liver transplantation.	Transplant Proc 46(10): 3515-3522, 2014(IF: 0.984)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
187	Morisaki T	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	High Serum Vaspin Concentrations in Patients with Ulcerative Colitis.	Dig Dis Sci 59(2): 315-321, 2014 (IF: 2.55)
188	Hashiguchi K	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Bamboo Joint-Like Appearance of the Stomach: A Stable Endoscopic Landmark for Crohn's Disease Regardless of Anti-Tumor Necrosis Factor alpha Treatment.	Med Sci Monit 20: 1918-1924, 2014 (IF: 1.216)
189	Nakao K	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Antitumor function of microRNA-122 against hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol 49(4): 589-593, 2014 (IF: 4.02)
190	Ikeoka T	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Left ventricular infiltration from thyroid papillary carcinoma mimicking the electrocardiographic changes of acute myocardial infarction	Endocrine. 47(2):652-653,2014.(IF 3.527)
191	Ikeoka T	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The A>T polymorphism of the tribbles homolog 1 gene is associated with serum triglyceride concentrations in Japanese community-dwelling women.	Tohoku J Exp Med. 233(2):149-153,2014.(IF 1.283)
192	Ando T	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Liraglutide as a potentially useful agent for regulating appetite in diabetic patients with hypothalamic hyperphagia and obesity.	Intern Med. 53(16):1791-1795,2014.(IF 0.967)
193	Oyama K	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Deoxycorticosterone-producing adenoma concomitant with aldosterone-producing microadenoma: a challenging combination.	Endocr Pract. 20(9):e171-175,2014.(IF 2.588)
194	Ikeoka T	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Moderate to severe nausea in radioactive iodine (RAI) therapy is associated with the RAI dose per body weight and was not prevented by ramosetron.	Endocrine. 46(1):131-137,2014.(IF 3.527)
195	Tomita H	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Angiosarcoma of the scalp successfully treated with pazopanib.	J Am Acad Dermatol 70(1):e19-21, 2014(IF 5.004)
196	Kuwatsuka Y	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Yusho patients show increased serum IL-17, IL-23, IL-1beta, and TNFalpha levels more than 40 years after accidental polychlorinated biphenyl poisoning.	J Immunotoxicol 11(3): 246-9, 2014(IF 1.907)
197	Mine Y	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Pseudoxanthoma elasticum-like skin lesions with congenital erythropoietic porphyria.	Eur J Dermatol 24(3): 401-2, 2014(IF 1.953)
198	Koike Y	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Cold agglutinin disease-associated digital gangrene treated with plasmapheresis.	Indian J Dermatol Venereol Leprol 80(6): 575-576, 2014(IF 1.325)
199	Mizokami F	Department of Dermatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Sacral pressure ulcer successfully treated with traction, resulting in a reduction of wound deformity.	Int Wound J 11(1): 106-107, 2014(IF 2.023)
200	Takenaka M	Department of Dermatology and Allergology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki	A survey of 165 sporotrichosis cases examined in Nagasaki prefecture from 1951 to 2012.	Mycoses 57(5): 294-8, 2014(IF 1.805)
201	Ichinomiya A	Department of Dermatology and Allergology, Nagasaki University Hospital	Mycetoma caused by Nocardia transvalensis with repeated local recurrences for 25 years without dissemination to viscera.	J Dermatol 41(6): 556-7, 2014(IF 2.354)
202	Shimizu Y	Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Association between the hemoglobin levels and hypertension in relation to the BMI status in a rural Japanese population: the Nagasaki Islands Study.	Intern Med. 53(5):435-440,2014.(IF 0.967)
203	Shimizu Y	Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Subclinical carotid atherosclerosis and hyperuricemia in relation to renal impairment in a rural Japanese population: the Nagasaki Islands study.	Atherosclerosis. 233(2):525-529,2014.(IF 3.971)
204	Shimizu Y	Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Association between renal impairment and anemia in older, rural Japanese men: the Nagasaki Islands study.	J Physiol Anthropol33:7. 2014(IF 1.164)
205	Shimizu Y	Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Association between hemoglobin and diabetes in relation to the triglycerides-to-high-density lipoprotein cholesterol (TG-HDL) ratio in Japanese individuals: the Nagasaki Islands Study.	Intern Med. 2014;53(8):837-43(IF 0.973)
206	Sanuki T	Department of Clinical Physiology, Unit of Translational Medicine, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Upside-down mask ventilation technique for a patient with a long and narrow mandible	Anesthesia Progress. 61(4)169-170, 2014
207	Okayasu I	Department of Clinical Physiology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Tactile sensory and pain thresholds in the face and tongue of subjects asymptomatic for oro-facial pain and headache	Journal of Oral Rehabilitation. 41(12)875-880, 2014
208	Igawa K	Department of Cariology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	D-glucosamine promotes transfection efficiency during electroporation	BioMed Res Int, 2014,ID485867,4 pages,2014
209	Ikeda T	Department of Cariology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Fabrication and characteristics of chitosan sponge as a tissue engineering scaffold	BioMed res Int,2014,ID786892,8 pages,2014
210	Yamamoto K	Department of Cariology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Biological safety of fish (tilapia collagen)	BioMed Res Int,2014,ID630757,9 pages,2014

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
211	Yamada S	Department of Cariology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Potency of fish collagen as a scaffold for regenerative medicine	BioMed Res Int,2014,ID302932,8 pages,2014
212	Matsumaru I	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	Clinical and Pathological Features of Degenerative Mitral Valve Disease: Billowing Mitral Leaflet Versus Fibroelastic Deficiency.	Ann Thorac Cardiovasc Surg 20(6): 987-994, 2014(IF 0.687)
213	Miura T	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	Outcome of surgical management for active mitral native valve infective endocarditis: a collective review of 57 patients.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 62(8):488-98, 2014
214	Miura K	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	Clinical applications of analysis of plasma circulating complete hydatidiform mole pregnancy-associated miRNAs in gestational trophoblastic neoplasia: A preliminary investigation.	Placenta 35(9): 787-789, 2014(IF 3.285)
215	Miura K	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University	Circulating levels of maternal plasma cell-free pregnancy-associated placenta-specific microRNAs are associated with placental weight.	Placenta 35(10): 848-851, 2014(IF
216	Miura K	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	Genome-wide Association Study of HPV Associated Cervical Cancer in Japanese Women.	Journal of Medical Virology 86:1153-8, 2014 (IF 2.217)
217	Miura K	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University	Predominantly placenta-expressed mRNAs in maternal plasma as predictive markers for twin-twin transfusion syndrome.	Prenat Diagn 34:345-349, 2014(IF
218	Sumi M	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Graduate School of Medicine	Are Octogenarians in Good Condition after Cardiac Valvular Surgery?	Ann Thorac Cardiovasc Surg.20(6):1021-1025,2014(IF 0.687)
219	Yasunaga T	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Plasma pentraxin 3 is a more potent predictor of endothelial dysfunction than high-sensitive C-reactive protein.	Int Heart J 55(2): 160-164, 2014(IF 1.127)
220	Maemura K	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	[clock genes and circadian rhythm of blood pressure].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine 72(8): 1354-1360, 2014
221	Kusumoto S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Right bundle branch block without overt heart disease predicts higher risk of pacemaker implantation: the study of atomic-bomb survivors.	Int J Cardiol 174 (1): 77-82, 2014(IF 6.175)
222	Eguchi M	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Adipose-derived regenerative cell therapy inhibits the progression of monocrotaline-induced pulmonary hypertension in rats.	Life Sci 118(2): 306-312, 2014(IF 2.296)
223	Ikeda S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Longitudinal strain of right ventricular free wall by 2-dimensional speckle-tracking echocardiography is useful for detecting pulmonary hypertension.	Life Sci 111(1-2): 12-17, 2014(IF 2.296)
224	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Effect of pimobendan in addition to standard therapy for heart failure on prevention of readmission in elderly patients with severe chronic heart failure.	Geriatr Gerontol Int 14(1): 109-114, 2014(IF 1.575)
225	Koga S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Honeycomb-like neointima of sirolimus-eluting stent in saphenous vein graft: insights from OCT and IVUS.	Int J Cardiol 172(2): 522-523, 2014(IF 6.175)
226	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Successful treatment of a ruptured spontaneous dissecting coronary artery pseudoaneurysm with a covered stent in a patient with cardiac tamponade.	Intern Med 53(10): 1067-1070, 2014(IF 0.967)
227	Tanaka E	Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of	Anesthetic management of peroral endoscopic myotomy for esophageal achalasia: a retrospective case series.	J Anesth 28(3): 456-459, 2014(IF: 1.117)
228	Murata H	Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of	In reply: preventing aspiration during peroral endoscopic myotomy.	J Anesth 28(6): 960, 2014(IF: 1.117)
229	Aoki H	Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of	Extent of sympathectomy affects postoperative compensatory sweating and satisfaction in patients with palmar hyperhidrosis.	J Anesth 28(2): 210-213, 2014(IF 1.117)
230	Sakai T	Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of	Phantom limb pain exacerbated by intravenous ketamine.	J Anesth 28(4): 643, 2014(IF 1.117)
231	Toyoda T	Department of Anesthesiology, Nagasaki University	Milrinone-induced postconditioning reduces hepatic ischemia-reperfusion injury in rats: the roles of phosphatidylinositol 3-kinase and nitric oxide.	J Surg Res 186(1): 446-451, 2014(IF 2.121)
232	Egashira T	Department of Anesthesia, Nagasaki Rosai Hospital, Nagasaki, Japan; Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of	Comparative efficacy of levobupivacaine and ropivacaine for epidural block in outpatients with degenerative spinal disease.	Pain Physician 17: 525-529, 2014(IF 4.766)
233	Tateishi Y	Cerebrovascular Center, The Nagasaki University Hospital	Cardiac diastolic dysfunction predicts in-hospital mortality in acute ischemic stroke with atrial fibrillation.	J Neurol Sci 345(1-2): 83-86, 2014(IF 2.296)
234	Tateishi Y	Cerebrovascular Center, Nagasaki University Hospital, Nagasaki City	"Snake Fang" Sign without Carotid Stenosis on Duplex Ultrasonography Indicates High Risk of Artery-to-Artery Embolic Stroke.	Journal of Neuroimaging 24(4) : 407-410, 2014(IF 1.818)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
235	Houbara S	All authors are affiliated with the Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nagasaki University Hospital	Vascular malformations that were diagnosed as or accompanied by malignant tumors.	Dermatol Surg 40(11):1225-32, 2014(IF 2.467)
236	Ishihara K	a Central Diagnostic Laboratory, Nagasaki University Hospital	Relevance of molecular tests for HTLV-1 infection as confirmatory tests after the first sero-screening.	J Immunoassay Immunochem 35(1):74-82, 2014(IF 0.727)
237	Imaizumi M	2First Department of Internal Medicine, Graduate School of Biochemical Sciences, Nagasaki University	Association of Radiation Dose With Prevalence of Thyroid Nodules Among Atomic Bomb Survivors Exposed in Childhood (2007-2011).	JAMA Intern Med. 175(2):228-236,2014.(IF 13.25)
238	Le MN	1Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki	Impact of 2009 pandemic influenza among Vietnamese children based on a population-based prospective surveillance from 2007 to 2011.	Influenza Other Respir Viruses 8(4):389-96, 2014(IF 1.895)
239	Hatachi G	1Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The Poly(Adenosine Diphosphate-Ribose) Polymerase Inhibitor PJ34 Reduces Pulmonary Ischemia-Reperfusion Injury in Rats.	Transplantation 98(6): 618-624, 2014(IF 3.535)
240	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	How to access photodynamic therapy for bile duct carcinoma.	Ann Transl Med 2(3): 23, 2014 ※
241	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Associated factors with surgical site infections after hepatectomy: Predictions and countermeasures by a retrospective cohort study.	Int J Surg 12(4): 310-314, 2014(IF 1.650)
242	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Recruitment of Young Medical Apprentices (RYOMA) Project: A Comprehensive Surgical Education Program at a Local Academic Institute in Japan.	J Surg Educ 71(4): 587-592, 2014(IF 1.386)
243	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Clinicopathological parameters associated with surgical site infections in patients who underwent pancreatic resection.	Hepatogastroenterology 61(134): 1793-1743, 2014(IF 0.907)
244	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Clinical significance of vessel-sealing device usage for pancreatectomy: a retrospective cohort study.	Hepatogastroenterology 61(134): 1767-1774, 2014(IF 0.907)
245	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Prognostic influence of the liver hanging maneuver for patients with hepatobiliary malignancies who underwent hepatic resections.	Eur J Surg Oncol 40(11): 1540-1549, 2014(IF 1.000)
246	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Usefulness of evaluating hepatic elasticity using artificial acoustic radiation force ultrasonography before hepatectomy.	Hepatol Res 44(13): 138-1319, 2014(IF 2.218)
247	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Prediction of portal pressure from intraoperative ultrasonography.	J Surg Res 192(2): 395-101, 2014(IF 2.121)
248	Enokizono M	Department of Neurosurgery, University of Nagasaki	The Rim Pattern of Meningioma on 3D FLAIR Imaging: Correlation with Tumor-brain Adhesion and Histological Grading.	Magn Reson Med Sci 13:251-260,2014(IF 1.038)
249	Erickson MA	Department of Neurosurgery, University of Nagasaki	Rapid transport of CCL11 across the blood-brain barrier: regional variation and importance of blood cells.	J Pharmacol Exp Ther 349(3): 497-507, 2014(IF 3.855)

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	本多正幸, 瓜生匡 拓, 川原健司	医療情報学	地域見守り支援システムにおけるフリースポットを用いた地域情報配信.	日本遠隔医療学会 雑誌第10巻第2号: 152-154, 2014
2	本多正幸	医療情報学	新総合病院情報システムにおける重要 案件とその対応.	日本健康医学会雑 誌 第23巻第3号: 182-183, 2014
3	中村洋一, 福井龍 太, 中野正孝, 西 出りつ子, 本多正 幸	医療情報学	健康医学研究の基盤としての情報教育 の在り方について—看護系大学院にお けるWebによるシラバス調査から—.	日本健康医学会雑 誌 第23巻第3号: 180-181, 2014
4	長谷川高志, 酒巻 哲夫, 本多正幸	医療情報学	日本の遠隔医療の展望.	医療情報学34 (Suppl.): 60-63, 2014
5	本多正幸, 荒木孝 二, 森本徳明, 豊 田 建, 児島純司, 合地 明他	医療情報学	適正な保険診療のための電子カルテシ ステムのあり方.	医療情報学34 (Suppl.): 106-107, 2014
6	松本武浩, 岡田み ずほ, 廣瀬弥幸, 浅田眞瑞, 本多正 幸	医療情報学	地域医療ICT連携システム「あじさい ネット」における効果に関する評価.	医療情報学34 (Suppl.): 244-245, 2014
7	鈴木隆弘, 土井俊 祐, 嶋田 元, 高崎 光浩, 津本周作, 畠山 豊, 本多正 幸, 松村泰志, 横 井英人, 高林克日 己	医療情報学	多施設データを集約した退院サマリー 検索システムの構築.	医療情報学34 (Suppl.): 570-571, 2014
8	浅田 眞瑞, 山田 一岳, 小田部 昭, 松本武浩, 本多正 幸	医療情報学	当院における個人情報管理について.	医療情報学34 (Suppl.): 1002- 1004, 2014
9	本多正幸, 松本武 浩, 浅田眞瑞, 小 畑恭弘	医療情報学	新総合病院情報システムの概要と患者 情報2次活用システム—長崎大学病院 における取組とその評価—.	医療情報学34 (Suppl.): 814-815, 2014
10	松本武浩, 岡田み ずほ, 廣瀬弥幸, 浅田眞瑞, 本多正 幸	医療情報学	長崎大学病院における電子クリティカル パス導入5年間の取り組みと評価.	医療情報学34 (Suppl.): 928-930, 2014
11	嶺 豊春, 樋口則 英, 伊藤直子, 岸 川礼子, 佐藤加代 子, 中村忠博, 松 本武浩, 北原隆 志, 佐々木 均	医療情報学	電子カルテでの一元管理を可能とした 持参薬管理施設の構築.	日病薬誌: 50(1), 55-59, 2014
12	松本武浩	医療情報学	地域連携クリティカルパスの電子化にお ける現状と課題.	IRYO(68): 547-460, 2014
13	松本武浩	医療情報学	地域連携と電子カルテ.	JOHNS 30(12): 1773-1778, 2014
14	岸川礼子, 室 高 広, 岡田みずほ, 松本武浩, 樋口則 英, 佐々木 均, 北 原隆志	医療情報学	手術関連クリニカルパスの抗菌薬使用 適正化への取り組み.	日本クリニカルパス 学会誌: 49-252, 16(3), 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
15	廣瀬弥幸, 森田知之, 越智駒生, 松本武浩, 本多正幸, 河野 茂	医療情報学	医師と診療録管理士共同による診療録の質的監査.	長崎医学会雑誌: 89(2):103-107, 2014
16	岡部浩祐, 和泉泰衛, 宮下賜一郎, 入野健佑, 川原千瑛子, 地内友香, 野中文陽, 江口勝美, 川上 純, 右田清志.	第一内科	MEFV遺伝子変異を有し大動脈・中枢神経病変を認めた特殊型ベーチェット病の1例.	日本臨床免疫学会会誌. 37(1):61-67,2014.
17	一瀬邦弘, 大坪俊夫, 川上 純.	第一内科	維持血液透析中の全身性エリテマトーデス患者に発症した被嚢性腹膜硬化症	日本腎臓学会誌. 56(2):138-144,2014.
18	川尻真也, 西野文子, 鈴木貴久, 中島好一, 寶來吉朗, 岩本直樹, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 中村英樹, 川上 純, 折口智樹, 有馬和彦, 青柳	第一内科	筋炎・腹膜病変を合併したIgA血管炎(Henoch-Schoenlein紫斑病)の1例	九州リウマチ. 34(1):45-50,2014
19	藤川敬太, 塚田敏昭, 徳山鮎子, 鈴木貴久, 中村英樹, 川上 純	第一内科	仙腸関節炎を合併した関節リウマチにインフリキシマブが奏功した1例	九州リウマチ. 34(1):23-27,2014
20	清水俊匡, 野中文陽, 川上 純, 右田清志, 江口勝美	第一内科	コルヒチンが著効したMEFV遺伝子多型/変異を有する偽痛風の1例	佐世保市立総合病院紀要第39巻月刷.17-20,2014
21	江口勝美, 野中文陽, 清水俊匡, 住吉玲美, 明島淳也, 右田清志	第一内科	MEFV(Mediterranean Fever)遺伝子多型は多遺伝子異常による自己炎症疾患の疾患感受性遺伝子でもある	佐世保市立総合病院紀要第39巻月刷. 1-4,2014
22	川尻真也, 青柳潔, 西野文子, 吉村聡志, 鈴木貴久, 中島好一, 寶來吉朗, 岩本直樹, 一瀬邦弘, 折口智樹, 加島志郎, 福岡順也.	第一内科	強皮症と鑑別を要した抗Scl-70抗体陽性の好酸球性筋膜炎の1例	九州リウマチ. 34(2):141-145,2014
23	池田貴裕, 梅田雅孝, 荒牧俊幸, 寺田馨, 竹尾 剛, 米満伸久, 植木幸孝, 藤川敬太, 吉村俊朗, 川上 純.	第一内科	成人発症スティル病との鑑別を要したinflammatory myopathy with abundant macrophages (IMAM)の1例	九州リウマチ. 34(2):116-122,2014
24	荒牧俊幸, 梅田雅孝, 寺田馨, 植木幸孝, 川上 純	第一内科	当院における呼吸器疾患合併関節リウマチ患者に対する治療選択	九州リウマチ. 34(2):93-99,2014
25	荒木由希子, 川上 純, 折口智樹	第一内科	関節リウマチ患者に対する上肢のリウマチ体操の有効性について	日本RAのリハビリ研究会誌. 28:60-63,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
26	西野文子, 川尻真也, 道辻 徹, 辻 創介, 梅田雅孝, 福井翔一, 川上 純, 折口智樹	第一内科	多彩な血管閉塞性病変を合併した高安動脈炎の1例	九州リウマチ. 34(2):135-140,2014
27	安井順一, 川崎英二, 原口 愛, 池岡俊幸, 植木郁子, 赤澤 諭, 堀江一郎, 古林正和, 阿比留教生, 山崎浩則, 川上 純	第一内科	発症時に複数の膵島関連自己抗体の同時出現を認めた急性発症1型糖尿病の1例	糖尿病. 57(2):108-112,2014
28	大坪敬子, 林田雅希, 前田真由美, 山崎浩則, 玉井慎美, 浅尾加奈子, 調 漸	第一内科	新入学短期留学生の活動性肺結核への対応について	CAMPUS HEALTH. 51(1):228-230,2014
29	堀江一郎, 川崎英二, 坂中亜衣, 前山美和, 高島美和, 花田浩和, 川上 純	第一内科	妊娠初期に妊娠糖尿病と診断され、適切な栄養指導により妊娠中期に耐糖能が正常化した妊婦の臨床像	糖尿病と妊娠. 14(1):100-104,2014
30	川上 純	第一内科	関節リウマチ:わかってきたエビデンスと将来への展望	長崎市医師会報. 48(4):6-10,2014
31	川上 純, 川尻真也, 玉井慎美, 上谷雅孝	第一内科	特集 関節疾患の画像診断:変形性関節症(OA)と関節リウマチ(RA)「早期関節リウマチの診断と治療戦略」	映像情報Medical. 46(1):29-34,2014
32	川上 純	第一内科	TNFR1の選択的遮断による培養ヒト関節リウマチ滑膜細胞内の炎症性サイトカインおよびケモカイン産生の抑制	Arthritis & Rheumatism. 日本語版. 出版社:WILEY Blackwell1.4(3):3,201
33	川尻真也, 川上 純	第一内科	関節疾患の画像診断:変形性関節症(OA)と関節リウマチ(RA)「関節リウマチの超音波による評価」	映像情報Medical. 46(1):35-39,2014
34	右田清志, 和泉泰衛, 地内友香, 川原千瑛子, 川上	第一内科	自己炎症症候群の診断と治療「家族性地中海熱」. 分子リウマチ治療	7(1):7-12,2014
35	中村英樹, 川上 純	第一内科	リウマチ・膠原病における分子標的治療の最前線「IL-1の作用と臨床効果」	最新医学社.69(2):220-225,2014
36	川尻真也, 青柳 潔, 川上 純	第一内科	RAのマネジメントにおける関節画像診断の利用に関するEULAR	リウマチ科. 51(4):481-485,2014
37	玉井慎美, 川尻真也, 上谷雅孝, 川上 純	第一内科	特集 関節リウマチ—診断と治療の進歩「早期診断における画像検査の役割」	Current Therapy. 32(5):19-24,2014
38	右田清志, 和泉泰衛, 地内友香, 川原千瑛子, 川上	第一内科	特集自己炎症症候群の診断と治療「家族性地中海熱」. 分子リウマチ治療	7(1):7-12,2014
39	玉井慎美, 上谷雅孝, 川尻真也, 川上 純	第一内科	最新関節リウマチ学 —寛解・治癒を目指した研究と最新治療— IV.関節リウマチの検査・診断 関節MRI, 超音波検査	日本臨牀. 72(3):253-257,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
40	一瀬邦弘, 川上純	第一内科	最新関節リウマチ学 —寛解・治癒を目指した研究と最新治療— Ⅲ.関節リウマチの発症要因と発症メカニズム Th17細胞	日本臨牀. 72(3):53-58,2014
41	川尻真也, 青柳潔, 川上純	第一内科	特集:関節リウマチ —生物学的製剤の登場から10年、今後の10年—「生物学的製剤:使い方と安全性 エタネルセプ	Mebio. 31(5):24-30,2014
42	川尻真也, 川上純	第一内科	【分子標的療法による炎症制御の現状と未来】TNF阻害薬 セルトリズマブ. 別冊 BIOClinica	慢性炎症と疾患. 2(1):72-76,2014
43	中村英樹	第一内科	シェーグレン症候群唾液腺細胞死とHTLV-Iの関与	日本臨床免疫学会会誌. 37(3):117-124,2014
44	中村英樹, 川上純	第一内科	EULAR2013改訂診療recommendationについて	リウマチ科. 51(5):581-589,2014
45	川尻真也, 川上純.	第一内科	特集 関節リウマチの診療 身体機能障害をきたさないためのアプローチ ①RAの早期診断はどこまで可能か?	Modern Physician. 34(8):873-877,2014
46	一瀬邦弘, 古賀智裕, 川上純	第一内科	キナーゼ阻害によるリウマチ性疾患の治療 -現在と未来-. 分子リウマチ治療	7(4):211-215,2014
47	右田清志, 川上純, 江口勝美	第一内科	医学と医療の最前線 自己炎症疾患の診断と治療	日本内科学会雑誌. 103(10):2594-2602,2014
48	川尻真也, 青柳潔, 川上純	第一内科	関節リウマチの臨床的寛解達成患者における画像的非寛解患者では, 血管新生バイオマーカーが上昇している	リウマチ科. 51(5):535-540,2014
49	大山 要, 川上純, 黒田直敬	第一内科	リウマチ性疾患 知っておきたいバイオマーカー(第6回) 免疫複合体の網羅的解析による自己免疫疾患の新たな病態	Rheumatology Clinical Research. 3(2):127-129,2014.
50	岩本直樹, 川上純	第一内科	【自己免疫性血液疾患:診断と治療の進歩】病態の基礎 自己抗体の産生機序	日本内科学会雑誌. 103(7):1564-1569,2014
51	今泉美彩, 古川恭治	第一内科	福島原発事故と低線量被ばくの影響 広島・長崎原発被爆者の甲状腺疾患	広島医学.67(4):284-286,2014
52	川上純, 中村英樹	第一内科	X-5 シェーグレン症候群	(門脇 孝, 小室一成, 宮地良樹(編):診療ガイドライン UP-TO-DATE2014-2015. メディカルビュー社, 東京都, PP590-59所収)2014
53	川上純, 中村英樹	第一内科	全身性疾患/膠原病	(泉 孝英(編):「シェーグレン症候群」. ガイドライン 外来診療2014, 日経メディカル開発出版, 東京都, PP526-528所収)2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
54	川上 純	第一内科	関節リウマチクリニカルクエスチョン100 関節リウマチの診断	(住田孝之(編):「Q 関節リウマチの診断 における画像検査の ポイントはなんです か?」. 診断と治療 社, 東京都, PP27-
55	堀江一郎	第一内科	糖尿病研修ノート	(門脇 孝(編):イン スリン受容体抗体, 診断と治療社, 東京 都.PP 224-227所収) 2014
56	阿比留教生	第一内科	糖尿病研修ノート	(門脇 孝(編):IA-2 抗体, ZnT8抗体, そ の他の抗体. 診断と 治療社, 東京 都.PP226-228所収)
57	阿比留教生	第一内科	今日の治療指針2014版, (福井次矢, 高 木 誠, 小室一成(編):糖尿病性ケトア シドーシス	医学書院, 東京都 PP686-687所収) 2014
58	川上 純, 一瀬邦 弘, 柳原克紀	第一内科	全身性エリテマトーデスにおける CD4+CD52+細胞の免疫調節に関する 研究	厚生労働省科学研 究費補助金 難治性 疾患等克服研究事 業 免疫アレルギー 疾患等予防・治療 研究事業平成25年度 分担報告書.32-
59	川上 純, 中村英 樹, 寶來吉朗	第一内科	シェーグレン症候群唾液腺上皮細胞に おけるToll-like receptor3による細胞死 調整シグナルに関する研究	厚生労働省科学研 究補助金 難治性疾 患等克服研究事業 (難治性疾患克服事 業)分担研究報告 書.73-74,2014
60	住田孝之, 山本一 彦, 上阪 等, 竹内 勤, 田中良哉, 渥 美達也, 天野浩 文, 広瀬幸子, 三 森明夫, 三村俊 英, 三宅幸子, 山 田 亮, 三森紀世, 神田 隆, 藤本 学, 川口鎮司, 室 慶直, 清水 潤, 石 原正一郎, 太田晶 子, 神人正寿, 梅 原久範, 川上 純, 佐野 統, 坪田一 男, 斎藤一郎, 中 村誠司, 高村悦 子, 坪井洋人	第一内科	自己免疫に関する調査研究	厚生労働省科学研 究補助金 難治性疾 患等克服研究事業 (難治性疾患克服事 業)平成25年度総合 研究報告書. 3- 18,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
61	川上 純, 玉井慎美, 中島好一, 岡田覚丈, 川尻真也, 岩本直樹, 青柳 潔, 上谷雅孝	第一内科	関節リウマチの関節破壊の進展に寄与する因子の解析研究	厚生労働省科学研究補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)平成23~25年度総合研究報告書. 21-
62	田中良哉, 川上純, 小池隆夫, 上坂 等, 住田孝之, 竹内 勤, 三森紀世, 山中 寿, 山本一彦	第一内科	関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究	厚生労働省科学研究補助金 難治性疾患等克服研究事業 総合研究報告書. 3-9,2014
63	針谷正祥, 天野宏一, 川上 純, 金子祐子, 松井利浩	第一内科	関節リウマチ臨床疫学データベース構築に関する研究	厚生労働省科学研究補助金 難治性疾患等克服研究事業 (免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)平成23~25年度 総合研究報告書. 29-
64	住田孝之, 山本一彦, 上坂 等, 竹内勤, 田中良哉, 渥美達也, 天野浩文, 広瀬幸子, 三森明夫, 三村俊英, 三宅幸子, 山田 亮, 三森紀世, 神田 隆, 藤本学, 川口鎮司, 室慶直, 清水 潤, 石原正一郎, 太田晶子, 神人正寿, 梅原久範, 川上 純, 佐野 統, 坪田一男, 斎藤一郎, 中村誠司, 高村悦子, 坪井洋人	第一内科	自己免疫に関する調査研究	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)平成23~25年度統括研究報告書. 3-12,2014
65	川上 純, 玉井慎美, 中島好一, 川尻真也, 岩本直樹, 青柳 潔, 上谷雅孝	第一内科	関節リウマチの関節破壊の進展に寄与する因子の解析研究	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 (免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)平成25年度分研究担報告書. 17-
66	田中良哉, 川上純, 小池隆夫, 上坂 等, 住田孝之, 竹内 勤, 三森紀世, 山中 寿, 山本一彦	第一内科	関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究	厚生労働省科学研究費補助金 (免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)平成25年度研究代表報告書. 5-11,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
67	宮坂信之, 天野宏一, 伊藤 宣, 遠藤平仁, 金子祐子, 鎌谷直之, 川上純, 川人 豊, 岸本暢将, 小池隆夫, 小嶋俊久, 小嶋雅代, 瀬戸洋平, 中山健夫, 西田圭一郎, 針谷正祥, 平田信太郎, 松井利浩, 松下 功, 山中 寿, 岩橋充啓, 太田修二, 奥田泰章, 金子佳代子, 齋藤和義, 酒井良子, 杉原毅彦, 田村直人, 土橋浩章, 長坂憲治, 野々村美紀, 萩山裕之, 林 太智, 日高利彦, 平田真哉, 藤井隆夫, 吉見竜介, 池田 啓, 谷村一秀	第一内科	我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー分野)平成23~25年度総合研究報告書. 7-11,2014
68	川上 純, 一瀬邦弘	第一内科	難治性SLEに対するボルデゾミブ療法の有効性・安全性検証試験 ループス腎炎のpodocyteにおけるCD86分子を介した蛋白尿発現メカニズムに関する研究	厚生労働省科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業. 平成25年度 総括・分担研究報告書.
69	針谷正祥, 天野宏一, 川上 純, 金子祐子, 松井利浩	第一内科	活動性早期RA患者におけるMTXをアンカードラックとする計画的強化治療の有効性と安全性に関するランダム化並行群間比較試験(活動性早期RA強化治療試験)	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)分担研究報告書. 29-32,2014
70	針谷正祥, 天野宏一, 川上 純, 金子祐子, 松井利浩	第一内科	中・高疾患活動性リウマチ患者における「目標達成に向けた治療」に関する臨床疫学的研究(T2T疫学研究)	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)研究分担報告書. 33-

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
71	川上 純, 小池隆夫, 川尻真也, 玉井慎美, 藤川敬太, 上谷雅孝, 青柳 潔	第一内科	関節超音波検査を用いた早期リウマチの分類(診断)基準(新Nagasaki criteria)の有用性の検討	厚生労働省科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)分担研究報告書. 60-63,2014
72	宮坂信之, 川上純	第一内科	我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)統括研究報告書. 7-11,2014
73	山崎浩則, 前田真由美, 浅尾加奈子, 大坪敬子, 脇浜直子, 阿比留教生, 古林正和, 田山 淳, 林田雅希, 調 漸	第一内科	大学生の腹囲と内臓脂肪面積	CAMPUS HEALTH. 51(1):282-283,2014
74	高島治子, 堀江一郎, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 井下尚子, 川上 純	第一内科	非機能性下垂体癌に対してテモゾロミドを投与した1例	Progress in Medicine. 34(11):2080-2081,2014
75	大坪敬子, 林田雅希, 前田真由美, 山崎浩則, 玉井慎美, 浅雄加奈子, 柳原克紀, 富田勉, 貞方久人, 河野 茂	第一内科	新入学短期留学生の活動性肺結核への対応について	CAMPUS HEALTH. 51(1):228-230,2014
76	澤井豊光, 吉岡寿麻子, 松尾信子, 須山尚史, 河野	第二内科	顕微鏡映像による抗MRSA薬の抗菌作用の検討	BIO Clinica 29: 915-919,2014
77	中道聖子, 泉川公一, 井上圭太, 坂本憲穂, 石松祐二, 河野 茂, 大園惠幸	第二内科	摘出に難渋した魚骨による気管支異物の1例	気管支学 36:193-196, 2014
78	中村茂樹, 柳原克紀, 河野 茂	第二内科	第XII脳神経症状を伴い, 緩徐な経過で高齢発症したLemierre症候群の1例	日本感染症学会雑誌 88: 704-707, 2014
79	東 祥嗣, 中村茂樹, 大島一浩, 岩永直樹, 平山達朗, 梶原俊毅, 高園貴弘, 宮崎泰可, 泉川公一, 柳原克紀, 田代隆良, 河野 茂	第二内科	肺炎球菌はいかにして自然免疫を克服し感染症を発症するのか—鼻咽頭定着を中心とした解析—	日本感染症学会雑誌 88: 669-677, 2014
80			保存的治療単独で救命し得た気腫性尿路感染症の二例	日本感染症学会雑誌 88: 855-860, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
81	石松祐二, 中島章太, 朝長正臣, 原田達彦, 原 敦子, 原 信太郎, 角川智之, 坂本憲穂, 福岡順也, 河野	第二内科	BAL液が白濁を呈さなかった骨髄異形成症候群に伴う続発性肺胞蛋白症の1例	長崎医学会雑誌 89: 130-135, 2014
82	長島聖二, 中村洋一, 谷口寛和, 飯田哲也, 池田喬哉, 溝口孝輔, 元島幸平, 竹本真之輔, 嶋田 緑, 早田宏, 河野 茂	第二内科	実臨床における気管支腔内超音波併用ガイドシース法と通常気管支鏡検査の比較 肺悪性腫瘍の診断に関して	気管支学 36: 126-131, 2014
83	七島篤志, 飯田哲也, 本田琢也, 西田暁史, 小林和真, 福田 実, 澤井照光, 芦澤和人	第二内科	癌医療におけるCancer Boardの役割 - 多科・多職種によるチーム医療の現状 -	臨床と研究 91:92-98, 2014
84	廣瀬弥幸, 森田知之, 越智駒生, 井上公介, 山田奈保美, 國弘 遵, 小森朋子, 秋山久美子, 佐藤裕美, 大宅吉宏, 浅田眞瑞, 横山哲也, 松本武浩, 河野 茂	第二内科	医師と診療情報管理士の共同による診療録の質的監査	長崎医学会雑誌 89:103-107, 2014
85	小畑陽子, 浜田久之, 宮本俊之, 松島加代子, 原 信太郎, 中田るか, 成田智子, 柴田英貴, 中田智夫, 近藤久義, 中桶了太	第二内科	医師臨床研修到達目標達成における外来研修プログラムの効果	日本プライマリ・ケア連合学会誌 37:333-339, 2014
86	泉川公一, 宮村拓人, 原信太郎, 住吉 誠, 高園貴弘, 中村茂樹, 今村圭文, 宮崎泰可, 河野 茂, 早坂大輔, 余 福勲, 森田公	第二内科	リケッチア感染症と臨床的鑑別が困難であった軽症の重症熱性血小板減少症候群の1例	IASR 35: 39-40, 2014
87	太田祐樹, 崎村直史, 三原 智, 林田謙, 久松 貴, 原 耕平, 泉川欣一, 西野友哉, 泉川公一, 河野 茂, 柳原	第二内科	透析患者に併発したFusobacterium nucleatumによる腹膜膿瘍の1例	腎と透析 76: 763-765, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
88	柳原克紀, 山田康一, 長岡健太郎, 右山洋平, 小佐井康介, 森永芳智, 中村茂樹, 金子幸弘, 掛屋 弘, 興梠博次, 河野 茂	第二内科	抗菌薬の有効性を高めるための工夫 マクロライド系抗菌薬の効果と病原因子の制御について	日本化学療法学会雑誌 62: 483-493, 2014
89	廣瀬弥幸, 松瀬厚人, 蝶名林直彦, 弦間昭彦, 河野 茂	第二内科	内科系21領域における診療報酬上の課題 IV.内科系21領域における診療報酬上の課題 7.呼吸器関連委員会	日本内科学会雑誌 103: 3042-3044, 2014
90	宮崎泰可	第二内科	抗HIV治療ガイドラインの改訂	日本医事新報 No.4716: 49, 2014
91	宮崎泰可	第二内科	肺炎マイコプラズマ感染症の迅速診断法	日本医事新報 No.4723: 50, 2014
92	宮崎泰可	第二内科	慢性肺アスペルギルス症の診断と治療	日本医事新報 No.4726: 53, 2014
93	中村茂樹	第二内科	高用量投与による治療	感染と抗菌薬 17: 206-211, 2014
94	中村茂樹, 河野 茂	第二内科	糖尿病診療と感染症 肺炎	プラクティス 31: 732-741, 2014
95	西條知見, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	耐性病原体up-to-date~耐性メカニズムから治療戦略まで~ 耐性病原体 真菌 クリプトコックスの薬剤耐性と治療戦	化学療法の領域 30 巻増刊: 1025-1034, 2014
96	高園貴弘, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	呼吸器真菌症の病態生理と免疫応答	分子呼吸器病 18: 59-62, 2014
97	田代将人, 松瀬厚人	第二内科	重症肺炎—病態と治療—	最新医学 69: 1301-1306, 2014
98	田代将人, 泉川公一	第二内科	アスペルギルス感染症	呼吸と循環 62: 886-892, 2014
99	田代将人	第二内科	高脂血症治療薬スタチンの予期せぬ作用	検査と技術 42: 824-826, 2014
100	井手昇太郎, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	肺真菌症の診断・治療におけるピットフォール クリプトコックス症	治療の実際とピットフォール. 呼吸器内科 25: 20-27, 2014
101	松瀬厚人, 福島千鶴, 河野 茂	第二内科	特集【喘息診療最前線】真菌と重症喘息	Mebio 31 1月号: 74-80, 2014
102	井手昇太郎, 今村圭文, 河野 茂	第二内科	高齢者の呼吸器疾患—若年・高齢者発症との違い— 肺炎	日本胸部臨床 73: 925-937, 2014
103	平野勝治, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	クリニカルピックス 抗真菌薬(前編)	BIO Clinica 29: 93-96, 2014
104	平野勝治, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	クリニカルピックス 抗真菌薬(後編)	BIO Clinica 29: 91-95, 2014
105	松瀬厚人, 河野 茂	第二内科	今月のテーマ【アレルギー疾患の实地診療】感染症による喘息増悪への対応	Medical Practice 31: 291-294, 2014
106	武田和明, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	深在性真菌症を学ぶ アスペルギルス症	臨床検査 58: 81-89, 2014
107	平山達朗, 宮崎泰可, 河野 茂	第二内科	抗真菌薬選択のポイント—使い方と注意点 ポリエン系抗真菌薬	小児内科 46: 1803-1806, 2014
108	松瀬厚人, 河野 茂	第二内科	今月のテーマ【COPD著しく進歩したこれからの实地診療の実際】インフルエンザワクチン, 肺炎球菌ワクチンの重要さ	Medical Practice 31: 656-657, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
109	土田朋子, 松瀬厚人	第二内科	【専門医のためのアレルギー学講座】妊娠とアレルギー疾患 4. 妊娠と気管支喘	アレルギー 63: 155-162, 2014
110	石松祐二	第二内科	「すべての臨床医が知っておくべき薬剤性肺障害」(症例から見る)薬剤ごとの多彩な特徴 OTCおよび漢方薬	Mebio 31 12月号: 46-51, 2014
111	角川智之	第二内科	「Current topics from major journals」重症呼吸窮迫症候群における腹臥位	日本胸部臨床 73:116, 2014
112	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第1回 卒煙事始(そつえんことはじめ)-喫煙治療学のススメ-」	Mebio 31 3月号: 112-121, 2014
113	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第2回 禁煙を阻む真の敵とは? -Don't be an Enabler!!-」	Mebio 31 4月号: 96-102, 2014
114	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第3回 “条件付き”保険適応の高い壁(1)-重病ってどのくら	Mebio 31 5月号: 108-114, 2014
115	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第4回 “条件付き”保険適応の高い壁(2)-高校生がやってき	Mebio 31 6月号: 78-83, 2014
116	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第5回 最後に吸ったのはいつ? -YesかNoかで終わらせな	Mebio 31 7月号: 82-88, 2014
117	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第6回 未成年の喫煙問題(1)-喫煙天国日本におけるオトナノカイダン?-」	Mebio 31 8月号: 86-95, 2014
118	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第7回 未成年の喫煙問題(2)-喫煙業界に狙われている子	Mebio 31 9月号: 106-115, 2014
119	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第8回 未成年の喫煙問題(3)-親から子への負の連鎖-」	Mebio 31 10月号: 72-83, 2014
120	河野哲也	第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第9回 受動喫煙問題(1)-身近に潜むケミカルテロ-」	Mebio 31 11月号: 82-90, 2014
121		第二内科	かわの先生のタバコ談義 タバコ憎んで喫煙者を憎まず!「第10回 受動喫煙問題(2)-「分煙」という名の都市伝説-」	Mebio 31 12月号: 66-78, 2014
122	宮崎泰可	第二内科	I 部ガイドラインオーバービュー 4.日本医真菌学会のガイドライン(竹末芳生, 三嶋廣繁(編): 侵襲性カンジダ症	医学ジャーナル社, 大阪, pp.32-36所収)2014
123	宮崎泰可	第二内科	抗菌薬(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版	医学書院, 東京, pp.268-280所収)2014
124	中村茂樹	第二内科	インフルエンザを疑うとき(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版	医学書院, 東京, pp.51-58所収)2014
125	中村茂樹	第二内科	呼吸器内科医への留学のすすめ アメリカ単身留学	(呼吸と循環, 医学書院, 東京, pp.713-716所収)2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
126	高園貴弘, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	感染症関連ガイドラインと使用上の注意	真菌症(神経感染症を究める, 中山書店, 東京, pp.334-338所収)2014
127	高園貴弘, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	肺アスペルギルス症	臨床雑誌内科 内科疾患最新の治療 明日への指針, 南江堂, 東京, pp.1007-1009所収)2014
128	武田和明, 今村圭文, 河野 茂	第二内科	1. 呼吸器感染症 市中肺炎(細菌性肺炎を中心に)	(呼吸器疾患診療最新ガイドライン, 総合医学社, 東京, pp.21-26所収)2014
129	小畑陽子, 西野友哉	第二内科	補助療法・支持療法CQ23~CQ30	(松尾清一 監修, 厚生労働省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班 編集: エビデンスに基づくネフローゼ症候群診療ガイドライン2014, 東京医学社, 東京, pp. 53-64所収)
130	吉田将孝, 泉川公一, 河野 茂	第二内科	6.呼吸器科・慢性呼吸器疾患	(亀井克彦(編):目で見る真菌と真菌症, 医学ジャーナル社, 大阪, pp.94-108所収)2014
131	石松祐二	第二内科	マクロライド長期療法	(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版, 医学書院, 東京, pp.286-291所収)2014
132	松瀬厚人	第二内科	慢性の咳をみたら	(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版, 医学書院, 東京, pp.133-138所収)2014
133	松瀬厚人	第二内科	呼吸ケアチーム (respiratory care team)	(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版, 医学書院, 東京, pp.188-192所収)2014
134	河野哲也	第二内科	気管支拡張薬/抗炎症薬	(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版, 医学書院, 東京, pp.281-285所収)2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
135	土田朋子	第二内科	妊婦の呼吸器疾患を診療するときの注意	(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版, 医学書院, 東京, pp.177-180所収)2014
136	角川智之	第二内科	: Sjögren症候群	(久保惠嗣, 藤田次郎(編): 間質性肺疾患診療マニュアル改訂第2版, 南江堂, 東京, pp.292-295所収)2014
137	河野 茂, 宮崎義継, 三嶋廣繁, 谷口修一, 渋谷和俊, 榎村浩一, 比留間政太郎, 望月隆, 亀井克彦, 川上和義, 宮崎泰可, 山越 智, 掛屋弘	第二内科	真菌感染症の病態解明及び検査・治療法の確立とサーベイランスに関する研究	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 平成25年度 総括・分担研究年度終了報告書 河野茂担当分: p1-4, 宮崎泰可担当分: p.61-66, 2014
138	井生久美子, 小畑陽子, 西野友哉, 北村峰昭, 阿部伸一, 南 香名, 小路武彦, 河野 茂	第二内科	Dahl salt-sensitive ratの腎硬化症におけるヒストン修飾の関与.	日本腎臓学会誌 56: 304, 2014
139	阿部伸一, 西野友哉, 小畑陽子, 南香名, 井生久美子, 廣瀬弥幸, 山下 裕, 浦松 正, 尾池雄一, 河野 茂	第二内科	腹膜透析患者におけるAngiopietin-like protein 2の検討	日本腎臓学会誌 56: 505, 2014
140	阿部伸一, 西野友哉, 小畑陽子, 井生久美子, 南 香名, 小路武彦, 河	第二内科	マウス腹膜線維症モデルにおけるコンドロイチン硫酸の腹膜線維化抑制効果の検討	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 505, 2014
141	森永裕士, 杉山 齊, 伊藤恭彦, 鶴屋和彦, 吉田寿子, 丸山弘樹, 後藤 眞, 西野友哉, 寺脇博之, 中山昌明, 中元秀友, 松尾清一	第二内科	榎野博史: PDのWithdrawal/Mortalityに関するアウトカム研究~PDR-CSの結果から~	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 588, 2014
142	梅根隆介, 西野友哉, 久原拓哉, 北村峰昭, 北村里子, 山下 裕, 廣瀬弥幸, 浦松 正, 小畑陽子, 錦戸雅春, 河野 茂	第二内科	Mitomycin Cによる血栓性微小血管障害症をきたした一例	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 747, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
143	川口祐輝, 佐々木修, 前田千恵, 河津多代, 牧山純也, 吉田真一郎, 西野友哉, 河野	第二内科	血液透析により早期に急性腎不全を離脱した, 発作性夜間血色素尿症の長期罹患症例	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 810, 2014
144	井生久美子, 西野友哉, 小畑陽子, 阿部伸一, 南香名, 小路武彦, 河	第二内科	マウス腹膜線維症モデルにおけるSAHAの線維化抑制効果	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 819, 2014
145	藤岡真知子, 西野友哉, 辻清和, 牟田久美子, 川崎智子, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 田口尚, 河野茂	第二内科	腎生検が活動性評価に有用であったANCA関連血管炎の一例	日本腎臓学会誌 56:686, 2014
146	梅根隆介, 西野友哉, 久原拓哉, 北村峰昭, 森篤史, 北村里子, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 錦戸雅春, 田口尚, 河野茂	第二内科	: Mitomycin Cによる溶血性尿毒症症候群をきたした一例	日本腎臓学会誌 56:689, 2014
147	荒木萌, 徳山鮎子, 鳥越健太, 新井英之, 村谷良昭, 中島正洋, 田口尚, 西野友哉, 河野茂	第二内科	微小変化型ネフローゼ症候群に右卵巣静脈血栓症を合併した一例	日本腎臓学会誌 56:693, 2014
148	崎村直史, 西野友哉, 上野茉央, 牟田久美子, 川崎智子, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 田口尚, 河野茂	第二内科	原因検索に苦慮した急性肉芽腫性尿管間質性腎炎の一例	日本腎臓学会誌 56:697, 2014
149	平光寿, 前田千恵, 川口祐輝, 山下裕, 河津多代, 牧山純也, 吉田真一郎, 田口尚, 西野友哉, 河野茂	第二内科	自己免疫性溶血性貧血を合併しIgG4高値を認めた膜性腎症の一例	日本腎臓学会誌 56:715, 2014
150	秋山郁人, 上野茉央, 前川明洋, 中沢将之, 清水俊匡, 高原靖, 早田宏, 西野友哉, 江口勝美, 河野茂	第二内科	原因不明の著明な乳酸アシドーシスを呈した一例	日本腎臓学会誌 56:721, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
151	大山かほり, 上野 茉央, 前川明洋, 中沢将之, 東島 愛, 岩崎啓介, 早 田 宏, 西野友哉, 田口 尚, 江口勝 美, 河野 茂	第二内科	妊娠を契機に発見された髄質嚢胞性腎 疾患(MCKD)疑いの一例	日本腎臓学会誌 56:731, 2014
152	虎島泰洋, 峯 由 華, 高槻光寿, 曾 山明彦, 足立智 彦, 北里 周, 山之 内孝彰, 藤田文 彦, 金高賢悟, 南 恵樹, 黒木 保, 木 下直江, 市川辰 樹, 中尾一彦, 江	消化内科	糖原病Ⅲ型に対して脳死肝移植を施行 した1例	長崎医学会雑誌 89(1):58-61, 2014
153	夏田孔史, 曾山明 彦, 高槻光寿, 山 口東平, 虎島泰 洋, 北里 周, 足立 智彦, 黒木 保, 市 川辰樹, 中尾一	消化内科	HIV/HCV重複感染患者の肝障害病期 診断におけるacoustic radiation force impulse(ARFI)elastographyの有用性.	日本消化器病学会 雑誌 111(4): 737- 742, 2014
154	法村大輔, 竹島史 直, 佐藤賀昭, 中 越 亨, 大仁田 賢, 磯本 一, 中尾一	消化内科	: Enterococcus faecalis感染に起因した 上行結腸粘膜下膿瘍, 肝膿瘍と門脈・ 上腸間膜静脈血栓症を併発した1例	日本消化器病学会 雑誌 111(6): 1135- 1140, 2014
155	松山睦美, 七條和 子, 松田勝也, 赤 澤祐子, 三浦史 郎, 関根一郎, 中 島正洋	消化内科	ラット甲状腺濾上皮の放射線腫瘍に対 する年齢影響とオートファジーの関与 (第2報)	長崎医学会雑誌 89(特集号): 306-309, 2014
156	柴田英貴, 北山 素, 加茂泰広, 本 田琢也, 三馬 聡, 宮明寿光, 田浦直 太, 市川辰樹, 中 尾一彦	消化内科	精神疾患を有するC型慢性肝炎に対し てインターフェロンBによる治療を行った 例の検討	肝臓 55(12): 764- 766, 2014
157	本田琢也, 田浦直 太, 柴田英貴, 三 馬 聡, 宮明寿光, 市川辰樹, 中尾一 彦	消化内科	ソラフェニブ治療におけるバイオマー カーの検討	The LIVER CANCER JOURNAL 6(4): 58(262)-59(263), 2014
158	鬼塚康徳, 竹島史 直, 林 洋子, 下川 功, 河野 茂, 中尾 一彦	消化内科	低蛋白血症を契機に発見されたエソメ プラゾール起因性不完全型顕微鏡的大 腸炎の1例	消化器内科 59(6): 568-573, 2014
159	松島加代子, 磯本 一, 竹島史直, 中 尾一彦, 平山壽哉	消化内科	【最新胃癌学-基礎と臨床の最新研究 動向-】胃癌の分子生物学と発癌機序 発癌機序 H.pylori感染粘膜とマイクロ	日本臨牀 72(増刊1 最新胃癌学): 131- 134, 2014
160	田浦直太, 市川辰 樹, 中尾一彦	消化内科	高齢者肝癌症例の特徴と予後について の検討	58(1): 72-76, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
161	田浦直太, 加藤有史, 市川辰樹, 中尾一彦	消化内科	住民検診によるT地区におけるHBs抗原消失についての検討	消化器内科 58(2): 203-206, 2014
162	南ひとみ, 卜部繁俊, 山口直之, 磯本一, 中尾一彦, 井上晴洋	消化内科	【食道内視鏡外科手術-必修技術-】良性疾患の手術 食道アカラシアに対する内視鏡的食道筋層切開術(POEM)の実際	手術 68(6): 771-775, 2014
163	南ひとみ, 中尾一彦, 井上晴洋	消化内科	【これが癌?癌じゃないの?-食道・胃編】食道胃接合部のびらん性病変	消化器内視鏡 26(7): 961-962, 2014
164	西山仁, 宿輪三郎, 荻原久美, 村田朋哉, 後藤高介, 吉田亮, 東俊太朗, 山口直之, 大仁田賢, 磯本一, 竹島史直, 中	消化内科	【大腸T1(SM)癌に対する内視鏡治療の適応拡大】大腸T1(SM)深部浸潤癌に対する完全摘除生検としてのEMR/ESD 私はこう考える 積極的な立場から	胃と腸 49(7): 1049-1050, 2014
165	山口直之, 磯本一, 中尾一彦, 大和雅之	消化内科	代表的な食道ESD後狭窄の予防法	消化器内視鏡 26(9): 1264-1270, 2014
166	七島篤志, 飯田哲也, 本田琢也, 西田暁史, 小林和真, 福田実, 澤井照光, 芦澤和人	消化内科	癌医療におけるCancer Boardの役割-多科・多職種によるチーム医療の現状-	臨床と研究 91(7): 954-960, 2014
167	松島加代子, 磯本一, 石居公之, 東俊太朗, 塩田純也, 西山仁, 竹島史直, 宿輪三郎, 中尾一彦, 中山敏幸, 田畑和宏, 中島正	消化内科	小腸疾患の診断における拡大観察の意義. 炎症性腸炎疾患における回腸末端の内視鏡拡大観察は必要か. 胃と腸	49(9): 1309-1316, 2014
168	山口直之, 福田浩子, 磯本一, 南ひとみ, 松島加代子, 赤澤祐子, 大仁田賢, 竹島史直, 宿輪三郎, 中尾一彦	消化内科	抗血小板薬内服継続下および抗凝固薬・ヘパリン置換法下大腸ESDの治療成績-PGAフェルト+フィブリン糊被覆法を用いた新たな後出血予防対策-	INTESTINE 18(5): 507-515, 2014
169	田浦直太, 中尾一彦	消化内科	再発サーベイランス.(金子周一, 竹原徹郎 持田 智(編))	肝癌の診療を極める~基本から最前線まで~第5巻, 文光堂, 東京, pp290-295所収), 2014
170	竹島史直	消化内科	感染性腸炎	(松川正明(監)長浜隆司, 中島寛隆, 高木靖寛, 牛尾 純, 鶴田 修(編): 消化器疾患の臨床分類~一目でわかる分類95と内視鏡アトラス~, 羊土社, 東京, pp172-188所収), 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
171	竹島史直	消化内科	薬剤性腸炎	(松川正明(監)長浜隆司, 中島寛隆, 高木靖寛, 牛尾 純, 鶴田 修(編): 消化器疾患の臨床分類〜一目でわかる分類95と内視鏡アトラス〜, 羊土社, 東京, pp189-194所収), 2014
172	柴田英貴, 中尾一彦	消化内科	肝硬変患者における血中カルニチン濃度とレボカルニチン経口剤投与の効果	(森脇久隆(監)川口巧, 清水雅仁(編): 慢性肝不全 病像と治療の現状, 中外医学社, 東京, pp96-102), 2014
173	片山敏郎, 前村浩二	循環器内科	急性冠症候群後の重症難治性虚血性心不全にトルバプタンが有効であった一	Pharma Medica 32(9): 107-110, 2014
174	池田聡司	循環器内科	新規経口抗凝固薬とワルファリン, アスピリンの静脈血栓塞栓症の2次予防効	MMJ 10: 76-77, 2014
175	前村浩二	循環器内科	書評: β 遮断薬の真価がわかる一冊「 β 遮断薬を臨床で生かす! -エキスパートからキーマッセージ50」	medicina 51(5): 849, 2014.
176	古賀聖士, 池田聡司, 前村浩二	循環器内科	心筋梗塞最前線 心筋梗塞における薬物療法	265-269, 2014
177	前村浩二	循環器内科	特集 血圧変動へのRAS への関与を探る 血圧日内変動とRAS: 時計遺伝子を	AngiotensinResearch 11(3): 22-27, 2014
178	前村浩二	循環器内科	特集 ここが知りたい循環器診察一パールとピットフォールー: 巻頭言	medicina 51(9): 1587, 2014
179	前村浩二	循環器内科	特集 ここが知りたい循環器診察一パールとピットフォールー: 座談会 循環器疾患への苦手意識をどのように克服する	medicina 51(9): 1588-1596, 2014
180	前村浩二	循環器内科	特集 ここが知りたい循環器診察一パールとピットフォールー: 救急でよくみる循環器疾患 急性冠症候群を見逃さないた	medicina 51(9): 1644-1648, 2014
181	荒川修司, 深江学芸, 前村浩二	循環器内科	特集 ここが知りたい循環器診察一パールとピットフォールー 一般外来でよくみる循環器疾患 不整脈: 徐脈の患者の診	medicina 51(9): 1712-1715, 2014
182	前村浩二	循環器内科	特集: 血液サーカディアンリズム-24時間血圧管理の重要性-: 時計遺伝子と血圧サーカディアンリズム	日本臨牀 72(8): 1354-1360, 2014
183	中田智夫, 池田聡司, 前村浩二	循環器内科	特集 虚血性心疾患-診断と治療の最前線-: 虚血性心疾患の疫学	CURRENT THERAPY32(7): 8-13, 2014
184	前村浩二	循環器内科	最新臨床高血圧学 高血圧発症の最前線: V高血圧発症・進展因子の関わり: 血圧リズムと時計遺伝子	日本臨牀 72(増刊号6): 258-262, 2014
185	池田聡司	循環器内科	A15急性の胸痛・呼吸困難をみたら(河野 茂, 早田 茂編	レジデントのための呼吸器診療マニュアル 第2版 医学書院, 東京, pp.118-125所収) 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
186	小出優史, 前村浩二	循環器内科	7.外科手術前後または歯科治療時の血圧管理について教えてください.	(北風政史編: 高血圧診療Q&A155 エキスパートからの回答, 中外医学社, 東京, pp.378-379所収) 2014
187	小出優史, 前村浩二	循環器内科	8.一時的な高血圧に対する降圧薬頓服について, どのような薬剤が勧められますか?	(北風政史編: 高血圧診療Q&A155 エキスパートからの回答, 中外医学社, 東京, pp.380-381所収) 2014
188	楠本三郎, 吉田健夫, 米倉剛, 江口正倫, 武野正義, 池田聡司, 小出優史, 河野浩章, 前村浩二	循環器内科	冠動脈疾患残余リスクの臨床指標としてのEPA/AA比	日本内科学会雑誌(臨時増刊号) 103: 190, 2014
189	吉田和朗, 二宮暁代, 前村浩二	循環器内科	超高齢者の慢性心不全増悪症例に対するトルバプタンの使用経験	日本内科学会雑誌(臨時増刊号) 103: 192, 2014
190	吉田和朗, 前村浩二	循環器内科	超高齢者の慢性心不全急性増悪症例に対するTolvaptanの有効性と安全性についての検証	日本老年医学会雑誌 臨時増刊号(学術集会講演抄録集) 51(Suppl. I): P70, 2014
191	楠本三郎, 河野浩章, 小出優史, 池田聡司, 前村浩二	循環器内科	明らかな器質的心疾患のない右脚ブロック症例では, ペースメーカー植え込みのリスクが高くなる; 原爆被爆者における調査	日本老年医学会雑誌 臨時増刊号(学術集会講演抄録集) 51(Suppl. I): P72, 2014
192	河野浩章, 楠本三郎, 吉田健夫, 土居寿志, 池田聡司, 小出優史, 前村浩二	循環器内科	当科外来での糖尿病を合併する高齢者高血圧症例の血圧コントロール状況について	日本老年医学会雑誌 臨時増刊号(学術集会講演抄録集) 51(Suppl. I): P83, 2014
193	小出優史, 池田聡司, 河野浩章, 前村浩二	循環器内科	高齢者心不全の特徴	日本老年医学会雑誌 臨時増刊号(学術集会講演抄録集) 51(Suppl. I): P138, 2014
194	古島早苗, 恒任章, 池田聡司, 南貴子, 白石亜季, 川浪のぞみ, 坂口能理子, 浅田綾子, 山近史郎, 前村浩二, 柳原克紀	循環器内科	肺高血圧予測における右室部位別2DST解析の有用性	超音波検査技術 39 suppl: 89, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
195	浅田綾子, 恒任章, 南 貴子, 白石亜季, 川浪のぞみ, 木村由美子, 坂口能理子, 森内拓治, 山近史郎,	循環器内科	心エコー図から診断が導かれた, 右冠動脈左室左房瘻の一例	Japanese Journal of Medical Ultrasonics 42(1): 116, 2015
196	南 貴子, 恒任章, 内田祐里, 河野浩章, 浅田綾子, 吉住敏男, 古島早苗, 山近史郎, 江石清行, 前	循環器内科	左房内に回遊するボール状血栓を認めた1例	Japanese Journal of Medical Ultrasonics 42(1): 126, 2015
197	木下裕久	精神科神経科	PTSDをめぐる最近の動向—中・長期ケアの視点から—	「精神科」24巻6号 Page688—690.2014
198	久保達哉, 森本芳郎, 田中大三, 大橋愛子, 杉本 流, 黒滝直弘, 小澤寛	精神科神経科	ベンゾジアゼピン系薬およびmECTでの治療にて改善した緊張病(カタトニア)症候群の2症例	精神科 24(4): 468-492, 2014
199	石井浩二, 北條美能留, 川畑哲史, 池田津奈子, 松尾久美, 中島由紀子, 宗像千恵, 龍恵美, 木下裕久,	精神科神経科	直腸がんの仙骨部局所再発症例に対するメサドンの使用経験	抄録集 19回 p271.2014
200	福田和久, 船本優子, 生塩詞子, 井川 掌, 井上統夫, 金子賢一, 田中克己, 岩永竜一郎, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村 明, 中根秀之, 小澤寛樹	精神科神経科	長崎大学病院性同一性障害外来における受診者の特徴	GID学会誌 in-press
201	黒滝直弘	精神科神経科	ソトス症候群	神経症候群IV 別冊, 697-702, 2014
202	小澤寛樹	精神科神経科	メンタルヘルス診療の新たな展開(I) グローバル・メンタルヘルス	(ドクターサロン58巻 10月号, キョーリンメディカルサプライ株式会社, 東京, pp.47-50所収)2014
203	小澤寛樹	精神科神経科	グローカリゼーションにおける内観療法の意義	第17回日本内観医学会p35, 2014
204	小澤寛樹	精神科神経科	上海シンドローム—グローバルの視点から—	心と文化13巻(2), p80-84, 2014
205	小澤寛樹	精神科神経科	長崎県に於ける基幹型認知症疾患医療センターの意義—いま私たちが取り組んでいること	みんなの精神保健福祉32号 p1, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
206	山口尚宏, 森本芳郎, 小野慎治, 松本一隆, 松本俊二, 中根秀之, 今村明, 黒滝直弘, 吉本静志, 中根允文, 岡崎祐土, 小	精神科神経科	O15-2. マウスにおける低濃度リチウム長期投与による衝動性の変化の検討	第36回日本生物学的精神医学会, 2014
207	吉田真太郎, 山口尚宏, 橋口知幸, 楠本優子, 岩倉由佳, 黒滝直弘, 小澤寛樹	精神科神経科	長崎大学病院精神神経科におけるラモトリギンの使用状況～抗うつ薬の減量効果をふまえて～	第24回日本臨床精神神経薬理学会, 第44回日本神経精神薬理学会合同年会プログラム・抄録集, p159, 2014
208	小林典子, 田山達之, 鬼塚芙美, 久保達哉, 黒滝直弘, 小澤寛樹	精神科神経科	留学生のメンタルヘルスにおける問題点～双極性感情障害を発症し入院に至った一例から～	第67回九州精神神経学会, 第60回九州精神医療学会, プログラム・抄録集, p70,
209	福田和久, 船本優子, 生塩詞子, 井川 掌, 井上統夫, 金子賢一, 田中克己, 岩永竜一郎, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村明, 中根秀之, 小澤寛樹	精神科神経科	:長崎大学病院性同一性障害外来の現況	GID(性同一性障害)学会第16回研究大会シンポジウムp48, 2014
210	福田和久, 井手みのり, 池井ありさ, 岩倉由佳, 楠本優子, 船本優子, 増田瑤子, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村明, 小澤寛樹	精神科神経科	高齢者の自殺企図に関する臨床的特徴の検討ー65歳以上の受診搬送者に着目してー	第11回日本うつ病学会総会p202, 2014. 9 福田和久, 井手みのり, 池井ありさ, 岩倉由佳, 楠本優子, 船本優子, 増田瑤子, 木下裕
211	福田和久, 井手みのり, 池井ありさ, 岩倉由佳, 楠本優子, 船本優子, 増田瑤子, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村明, 小澤寛樹	精神科神経科	二次救急医療機関を対象とした自殺未遂者支援の取り組み	第38回日本自殺予防学会総会p103, 2014
212	福田和久, 井手みのり, 池井ありさ, 岩倉由佳, 楠本優子, 船本優子, 増田瑤子, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村明, 小澤寛樹	精神科神経科	二次救急医療機関を対象とした自殺未遂者支援の取り組みー未遂者支援と連携状況に関する調査を通してー	第54回日本心身医学会九州地方会p61, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
213	増田瑤子, 船本優子, 池井ありさ, 楠本優子, 岩倉由香, 福田和久, 久保達哉, 木下裕久, 黒滝直弘, 小澤寛樹	精神科神経科	認知症疾患センターの活動報告と展望 —アンケート結果より考察	第3回 日本認知症予防学会学術集会 p113, 2014
214	宮崎弘美, 小澤寛樹	精神科神経科	発達障害を持つ生徒への「外来内観ワーク」導入の試み	第37回日本内観学会 p60, 2014
215	伊藤暢宏, 西川拓朗, 澤 大介, 中島健太郎, 深野玲司, 岡村 純, 井上要二郎, 稲垣二郎	小児科	急性リンパ性白血病に対するドナーリンパ球輸注後の重症皮膚移植片宿主病に併発し診断が困難であった壊死性軟部組織感染症	日本小児血液・がん学会雑誌51(1):52-56, 2014
216	伊達木澄人, 中富明子, 渡辺 聡, 近河日智, 福田友子, 木下英一, 森内浩幸	小児科	セレスタミン®(ベタメタゾン/d-クロルフェニラミンマレイン酸塩)長期内服により医原性Cushing症候群と続発性副腎機能不全をきたした11歳女児例	長崎医学会雑誌 89(1):39-43, 2014
217	濱口 陽, 白川利彦, 中嶋有美子, 中山裕介, 久野高大, 原田定智, 船越康智, 里 龍晴, 中嶋一寿, 岡田雅彦, 杠葉美樹, 木原敏晴, 森内浩幸	小児科	両側上部尿路閉塞による急性腎不全の2症例	日本小児腎不全学会雑誌34:210-212, 2014
218	樋泉道子, 本村秀樹, 吉田レイミン, 橋爪真弘, 森内浩幸	小児科	先天性風疹症候群-日本と世界での撲滅に向けて	小児科55(2):231-239, 2014
219	森内浩幸	小児科	特集 母乳をめぐる諸問題 母乳とヒトT細胞白血病ウイルス I 型(HTLV-1)感染	東京小児科医会報 32(3):14-19, 2014
220	森内浩幸(委員長)	小児科	第116回日本小児科学会学術集会 総合シンポジウム 小児科領域における医学用語およびコミュニケーション手段を	日本小児科学会雑誌118(5):762-772, 2014
221	本間和宏, 森内浩幸	小児科	シンポジウムⅡ:母親の感染症と母乳育児	日本母乳哺育学会雑誌8(1):26-28,
222	森内昌子	小児科	シンポジウムⅡ「母親の感染症と母乳育児」サイトメガロウイルス	日本母乳哺育学会雑誌8(1):41-47,
223	森内浩幸	小児科	: 感染症診療update II章 主要な臓器感染症 E.気道感染症 クループ症候群	日本医師会雑誌 143(2):S124-S126, 2014
224	森内浩幸	小児科	感染症診療update II章 主要な臓器感染症 O.母子感染症 先天性サイトメガロウイルス感染症	日本医師会雑誌 143(2):S247-S249, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
225	橋本邦生, 森内浩幸	小児科	医療関連感染と制御③ 医療関連感染で問題となる病原微生物・感染性因子の制御(2)ウイルス	Jorunal of Antibacterial and Antifungal Agents, Japan(日本防菌防黴学会誌) 42(10): 565-571, 2014
226	岡田雅彦	小児科	神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-V XI 内科疾患にみられる神経障害(疾患)内分泌疾患, 糖尿病視床下部・下垂体疾患間脳症候群	別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ 30: 210-213, 2014
227	森内昌子 森内浩幸	小児科	予防接種の現在と未来を考える サイトメガロウイルスワクチン, 単純ヘルペスウイルスワクチン	臨床と微生物41(6): 755-762, 2014
228	森内浩幸	小児科	新生児から見た周産期感染症 2.臨床編-各論 起因菌からみた感染症 34.先天性サイトメガロウイルス感染症	周産期医学44(増刊号): 418-423, 2014
229	森内昌子, 森内浩幸	小児科	: VI.感染症-47 HTLV-I感染症	小児内科46(増刊号): 1039-1043, 2014 B-
230	若田幸樹, 黨和夫, 古川克郎, 柴崎信一, 内藤慎二, 岡忠之	第一外科	虫垂切除断端に発生した虫垂粘液嚢胞腺腫に対する腹腔鏡補助下回盲部切除術の1例	日本内視鏡外科学会雑誌 19(1): 41-47, 2014
231	大畠雅之, 山根裕介, 田浦康明, 小坂太一郎, 永安	第一外科	新生児に対する鏡視下手術	長崎医学会雑誌 89(1): 19-26, 2014
232	宮崎拓郎, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 永安武	第一外科	【第3章 呼吸器外科・看護の各論Ⅱ】疾患、転移性肺腫瘍	呼吸器外科の術前術後ケア ナースのためのパーフェクトガイド 呼吸器ケア2014年(臨時増刊): 160-170, 2014
233	小山正三朗, 日高重和, 高木克典, 國崎真己, 黨和夫, 阿保貴章, 竹下浩明, 七島篤志, 澤井照光, 安武亨, 永安武	第一外科	腹腔鏡下噴門側胃切除術後Double-tract再建を施行した1例	長崎医学会雑誌 89(1): 33-38, 2014
234	七島篤志, 阿保貴章, 荒井淳一, 永安武	第一外科	【特集: 超高齢者に対する外科治療の問題点】Ⅱ	各論 6. 超高齢者に対する肝・膵手術の問題点. 外科 76(5): 514-519, 2014
235	富永哲郎, 福田大輔, 竹下浩明, 黨和夫, 阿保貴章, 日高重和, 七島篤志, 木下直江, 永安武, 澤井照光	第一外科	リンパ管侵襲を伴った腸管子宮内膜症の1例	日本消化器外科学会雑誌 47(6): 351-356, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
236	七島篤志, 飯田哲也, 本田琢也, 西田暁史, 小林和真, 福田実, 澤井照光, 芦澤和人	第一外科	癌医療における Cancer Board の役割ー多科・多職種によるチーム医療の現状ー	臨牀と指針 91(7): 92(954)-98(960), 2014
237	日高重和, 黨和夫, 國崎真己, 竹下浩明, 七島篤志, 永安武	第一外科	腹腔鏡下胃切除術におけるリンパ節郭清手技の工夫ー術者と助手が協調した術野展開の定型化ー	手術 68(8): 1093-1099, 2014
238	矢野洋, 松本恵, 進藤久和, 大坪竜太, 馬場雅之, 福嶋絢子, 永安武	第一外科	乳癌センチネルリンパ節生検転移陰性例における5年腋窩無再発生存率について	長崎医学会雑誌 89(3): 161-164, 2014
239	富永哲郎, 七島篤志, 阿保貴章, 日高重和, 竹下浩明, 永安武	第一外科	術後に発症した悪性症候群の1例	外科 76(9): 1072-1074, 2014
240	永安武	第一外科	【第50回日本移植学会総会】学術・教育委員会中間報告 移植後二次発がんの頻度は約5%	Medical Tribune 47(42): 20, 2014
241	富永哲郎, 竹下浩明, 黨和夫, 七島篤志, 澤井照光, 永安武	第一外科	術後9年目に大動脈周囲リンパ節再発をきたした直腸癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 75(10): 2828-2833, 2014
242	大畠雅之	第一外科	【特集:エンジョイ! 症例報告:まれな病態・疾患(1)]術後26年目に挙上有茎空腸吻合部潰瘍からの大量出血を生じたA型食道閉鎖症	小児外科 46(12): 1229-1233, 2014
243	七島篤志, 阿保貴章, 永安武	第一外科	【特集:外科領域の pros and cons】6. 肝切除にhangingは必要か: a)必要派	外科 76(13): 1595-1599, 2014
244	山根裕介, 田浦康明, 小坂太一郎, 大畠雅之, 永安武	第一外科	感染を契機に発見され胸腔鏡下に切除した縦隔リンパ管腫の1例	日本小児外科学会雑誌 50(7): 1109-1112, 2014
245	日高重和, 野中隆, 角田順久, 畑地豪, 矢野洋, 土谷智史, 山崎直哉, 七島篤志, 澤井照光, 永安武	第一外科	【第114回日本外科学会定期学術集会記録】特別企画 若手外科医の育成ー大学と関係病院の連携ー. 地方大学の若手外科医育成にむけた修練プログラムの成果と課題ー“龍馬プロジェクト”6年間の歩みー	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号3): 20-21, 2014
246	七島篤志	第一外科	肝胆道膵手術におけるグレリン研究. 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん対策総合戦略研究事業	癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究, 平成25度総括・分担研究報告書, 27-29, 2014
247	七島篤志	第一外科	肝胆道膵手術におけるグレリン研究. 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん対策総合戦略研究事業	癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究, 平成22~25度総合研究報告書, 49-50,

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
248	内田史武, 黨和夫, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 阿保貴章, 竹下浩明, 七島篤志, 澤井照光, 永	第一外科	自傷および他傷の腹部刺創の2症例	日本腹部救急医学会雑誌 34(2): 466, 2014
249	荒井淳一, 黨和夫, 竹下浩明, 澤井照光, 永安武	第一外科	緊急手術により救命しえた急速な転帰をたどった潰瘍性大腸炎の1症例	日本腹部救急医学会雑誌 34(2): 470, 2014
250	黨和夫, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 阿保貴章, 竹下浩明, 日高重和, 七島篤志, 澤井照光, 永	第一外科	混合性結合組織病患者に併発した盲腸軸捻転の1例	日本腹部救急医学会雑誌 34(2): 566, 2014
251	日高重和, 野中隆, 角田順久, 畑地豪, 矢野洋, 土谷智史, 山崎直哉, 七島篤志, 澤井照光, 安武亨,	第一外科	地方大学の若手外科医育成にむけた修練プログラムの成果と課題—“龍馬プロジェクト”6年間の歩み	日本外科学会雑誌 115臨時増刊号(1): 65, 2014
252	七島篤志, 阿保貴章, 日高重和, 竹下浩明, 永安武	第一外科	必要派	日本外科学会雑誌 115臨時増刊号(1): 259, 2014
253	松本桂太郎, 山崎直哉, 土谷智史, 宮崎拓郎, 町野隆介, 荻原幸宏, 林秀行, 上谷雅孝, 芦澤和人, 永安	第一外科	小型肺癌における病理学的因子予測における術前3次元CTを用いた腫瘍体積測定の有用性	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 434, 2014
254	山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 畑地豪, 朝重耕一, 扇玉秀順, 渡邊洋之助, 土肥良一郎, 町野隆介, 永安	第一外科	悪性胸膜中皮腫に対する手術治療を含む集学的治療の成績と術式選択	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 504, 2014
255	荒井淳一, 七島篤志, 阿保貴章, 高木克典, 和田英雄, 竹下浩明, 日高重和, 永安武	第一外科	胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)の臨床病態と外科治療成績	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 596, 2014
256	富永哲郎, 土谷智史, 朝重耕一, 畑地豪, 荒井淳一, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 山崎直哉,	第一外科	非小細胞肺癌におけるEGFR変異とDPDおよびその関連因子に対する検討	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 632, 2014
257	畑地豪, 土谷智史, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 山崎直哉, 七島篤志, 樋上賀一, 永安武	第一外科	肺虚血再灌流障害に対するPARP阻害薬の臓器保護効果の検討	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 635, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
258	竹下浩明, 澤井照光, 辻孝, 黨和夫, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 阿保貴章, 日高重和, 七島篤	第一外科	大腸癌術前の血清LCTPは壁深達度マーカーであり術後再発予測因子である	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 632, 2014
259	松本 恵, 矢野 洋, 大坪竜太, 及川将弘, 南 恵樹, 山之内孝彰, 久芳さやか, 佐々木規子, 松本 正, 三浦清徳, 永安 武	第一外科	遺伝性乳がん・卵巣がん症候群診療体制の整備	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 711, 2014
260	大島雅之, 小坂太一郎, 山根裕介, 田浦康明, 永安	第一外科	気道閉塞症状を呈する小児頸部・縦隔リンパ管腫の治療戦略	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 716, 2014
261	矢野 洋, 松本 恵, 大坪竜太, 永安 武	第一外科	甲状腺機能亢進症術後再発と甲状腺ホルモン補充についての検討	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 723, 2014
262	高木克典, 七島篤志, 阿保貴章, 荒井淳一, 國崎真己, 黨 和夫, 日高重和, 竹下浩明,	第一外科	肝切除術前の肝エラストグラフィーARFIの有用性の検討	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 893, 2014
263	土谷智史, 山崎直哉, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 寺谷工, 扇玉秀順, 土肥良一郎, 小林英司, 永安 武	第一外科	肺における小型, 大型動物の脱細胞化骨格を用いた, ドナー臓器再生・移植医療への可能性	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 928, 2014
264	黨 和夫, 竹下浩明, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 阿保貴章, 日高重和, 七島篤志, 澤井照光, 安	第一外科	腹腔鏡時代の下部直腸癌手術をいかにして安全に行うか. ~高位前方切除および開腹低位前方切除との比較を通して~	日本外科学会雑誌 115(臨時増刊号1): 967, 2014
265	黨 和夫, 竹下浩明, 磯本 一	第一外科	当院における大腸カルチノイドの治療成績. ESD, TEM および開腹手術の比較検討	日本消化器内視鏡学会雑誌 56(Suppl, 1): 942, 2014
266	高村祐磨, 矢野洋, 進藤久和, 松本 恵, 石丸英樹, 林 健太郎, 木下直江, 永安 武	第一外科	Basedow病に対して術前コイル塞栓術を施行した1例	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 31(増刊号): S90, 2014
267	進藤久和, 小林 薫, 福島光浩, 中山彩子, 山田 理, 舛岡裕雄, 藪田智範, 東山卓也, 木原 実, 伊藤康弘, 宮 章博, 宮内 昭,	第一外科	大濾胞型乳頭癌の超音波所見と病理診断	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 31(増刊号): S98, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
268	松本桂太郎, 山崎直哉, 土谷智史, 宮崎拓郎, 町野隆介, 永安武	第一外科	Dual Vision(2 カメラ、3 モニター)を用いた胸腔鏡下肺葉切除術 —より安全な胸腔鏡下肺手術を求めて—	日本呼吸器外科学会雑誌 28(3): , 2014
269	宮崎拓郎, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 永安武	第一外科	高齢者肺癌の予後予測因子は何か? 「簡便かつ有用な指標の探索」	日本呼吸器外科学会雑誌 28(3): , 2014
270	山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 町野隆介, 中村洋一, 福岡順也, 永安武	第一外科	N2 IIIA 期非小細胞肺癌の診断と治療戦略	日本呼吸器外科学会雑誌 28(3): , 2014
271	土谷智史, 山崎直哉, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 町野隆介, 永安武	第一外科	当科での気管管状切除再建症例の検討	日本呼吸器外科学会雑誌 28(3): , 2014
272	松本桂太郎, 山崎直哉, 土谷智史, 宮崎拓郎, 町野隆介, 永安武	第一外科	アンスロンチューブを用いた内頸静脈圧モニタリング下にSVC 再建を施行した巨大縦隔腫瘍の1例	日本呼吸器外科学会雑誌 28(3): , 2014
273	町野隆介, 山崎直哉, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 土谷智史, 永安武	第一外科	頭頸部癌肺転移に関する検討	日本呼吸器外科学会雑誌 28(3): , 2014
274	山根裕介, 田浦康明, 小坂太一郎, 大畠雅之, 江口晋, 永安武	第一外科	ラリンジアルマスクによる気道確保下に軟性気管支鏡下異物摘出術を施行した1例	日本小児救急医学会雑誌 13(2): 221, 2014
275	七島篤志, 日高重和, 田浦康明, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 山崎直哉, 野中隆, 永安武	第一外科	若手外科医獲得に向けた修練プログラムの成果と課題—“龍馬プロジェクト”6年の歩み	日本外科系連合会学会誌 39(3): 511, 2014
276	日高重和, 竹下浩明, 阿保貴章, 矢野洋, 山崎直哉, 七島篤志, 大畠雅之, 澤井照光, 安武亨, 永安武	第一外科	大学病院の若手外科医獲得育成プロジェクトの取り組みと成果	日本外科系連合会学会誌 39(3): 551, 2014
277	七島篤志, 畑地豪, 阿保貴章, 澤井照光	第一外科	肝内胆管癌における癌幹細胞マーカーCD44, glioma associated oncogene homolog 1(GLI1)の発現と臨床的意義	肝臓 55(1): A334, 2014
278	七島篤志, 阿保貴章, 中島正洋, 近藤久義, 高木克典, 荒井淳一, 永	第一外科	膵癌を伴う重複癌症例における臨床病理学的特性	膵臓 29(3): 350:634, 2014
279	Masayuki Obatake, Yasuaki Taura, Yusuke Yamane, Takeshi	第一外科	Is serum direct bilirubin valuable for the neonatal diagnosis of biliary atresia?: A study in Nagasaki Prefecture. 胆道閉鎖症の診断に直接ビリルビン測定は有用	日本マス・スクリーニング学会誌 24(2): 48(164), 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
280	泉野浩生, 七島篤志, 阿保貴章, 荒井淳一, 高木克典, 永安武	第一外科	胆道癌のバイオマーカーとしての尿中8_OHdGの意義	胆道 28(3): 163:427, 2014
281	七島篤志, 阿保貴章, 荒井淳一, 高木克典, 和田英雄, 村上豪志, 永	第一外科	胆道癌を含む重複癌症例の臨床的特徴と術後予後に関する検討	胆道 28(3): 181:445, 2014
282	和田英雄, 七島篤志, 阿保貴章, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 黨和夫, 日高重和, 竹下浩明, 永安	第一外科	肝内胆管癌におけるNogo-B発現と臨床像	胆道 28(3): 186:450, 2014
283	村上豪志, 七島篤志, 阿保貴章, 國崎真己, 黨和夫, 日高重和, 竹下浩明, 永安武	第一外科	胆道癌に対する糖鎖連結クロリンによるPDT療法の基礎研究	胆道 28(3): 231:495, 2014
284	山根裕介, 田浦康明, 小坂太一郎, 大畠雅之, 江口晋, 永安武	第一外科	成人外科から学ぶ小児内視鏡外科手術	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 368, 2014
285	七島篤志, 山崎直哉, 阿保貴章, 松本桂太郎, 日高重和, 竹下浩明, 土谷智史, 宮崎拓郎, 永安武	第一外科	多臓器グループの教室ならではの鏡視下肝切除と肺切除手技の共有	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 398, 2014
286	中司交明, 山根裕介, 田浦康明, 大畠雅之, 永安武	第一外科	外科医として1例目の腹腔鏡下手術に際し、単孔式腹腔鏡下虫垂切除術にて体内結紮を行った1例	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 440, 2014
287	山根裕介, 田浦康明, 小坂太一郎, 大畠雅之, 江口晋, 永安武	第一外科	当科における肝管空腸吻合の実際	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 446, 2014
288	高木克典, 村上豪志, 松本桂太郎, 黨和夫, 日高重和, 山崎直哉, 永	第一外科	鏡視下手術のための体腔内スコープ洗浄装置の開発	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 497, 2014
289	日高重和, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 黨和夫, 阿保貴章, 竹下浩明, 七島篤志, 澤井照光, 安武亨, 永安武	第一外科	腹腔鏡下胃切除術の術野展開における第一助手の役割	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 628, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
290	黨 和夫, 竹下浩明, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 阿保貴章, 日高重和, 七島篤志, 澤井照光, 永安 武	第一外科	当科における進行結腸癌に対する安全な腹腔鏡下手術手技	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 659, 2014
291	荒井淳一, 日高重和, 國崎真己, 高木克典, 黨 和夫, 阿保貴章, 竹下浩明, 七島篤志, 澤井照光, 安武 亨, 永安 武	第一外科	経口アンビル法による再建術の工夫とそのトラブルへの対処法	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 686, 2014
292	荒木政人, 福田明子, 松本 彩, 柴崎信一, 岡 忠之, 日高重和	第一外科	定型化された腹腔鏡下胃切除の導入による効果について	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 727, 2014
293	宮崎拓郎, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 谷口大輔, 永安 武	第一外科	胸腔鏡下右中葉切除の肺胞漏を減らす工夫	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 846, 2014
294	松本桂太郎	第一外科	Dual Vision(2カメラ、3モニター)を用いた胸腔鏡下肺葉切除術一見上げ法の短所のサポートー	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 847, 2014
295	永安 武, 村上豪志, 西田教行, 柳原克紀, 田中澄子, 濱田正久	第一外科	精密医療機器対応の次世代洗浄装置開発に向けて	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 871, 2014
296	七島篤志, 阿保貴章, 永安 武	第一外科	音響放射圧(ARFI)を用いた肝弾性力評価の肝切除症例における臨床的意義	肝臓 55(Supplement2):
297	國崎真己, 日高重和, 黨 和夫, 高木克典, 荒井淳一, 阿保貴章, 竹下浩明, 七島篤志, 澤井照光, 安武 亨, 永安 武	第一外科	残胃癌の治療戦略に向けた臨床病理学的検討	日本消化器内視鏡学会雑誌 56(Supplement2): 3088, 2014
298	村上豪志, 七島篤志, 阿保貴章, 國崎真己, 黨 和夫, 日高重和, 竹下浩明, 永安 武	第一外科	胆道癌に対する糖鎖連結クロリンを用いた光線力学療法の基礎研究	日本消化器病学会雑誌 111(臨時増刊号): A948, 2014
299	黨 和夫, 竹下浩明, 阿保貴章, 澤井照光, 永安 武	第一外科	当科における脾湾部結腸癌に対する腹腔鏡下手術手技	日本大腸肛門病学会誌 67(9): 670, 2014
300	荒井淳一, 竹下浩明, 黨 和夫, 澤井照光, 永安 武	第一外科	腹腔鏡下低位前方切除術後の新直腸腸壊死に対して待機的にISR施行し肛門温存可能だった1例	日本大腸肛門病学会誌 67(9): 833, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
301	山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 谷口大輔, 永安 武	第一外科	慢性腎不全・透析患者に対する肺切除術と周術期管理	肺癌 54(5): 393, 2014
302	松本桂太郎, 荻原幸宏, 山崎直哉, 土谷智史, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 谷口大輔, 林 秀行, 上谷雅孝, 芦澤和人, 永安 武	第一外科	小型肺癌の病理学的因子予測における術前3次元CTによる腫瘍体積測定の有用性	肺癌 54(5): 397, 2014
303	朝重耕一, 土谷智史, 大坪竜太, 及川将弘, 山崎直哉, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 土肥良一郎, 渡邊洋之助, 扇玉秀順, 木下直江, 永安 武	第一外科	Semi-dry dot-blot 法を用いた新しい肺癌術中リンパ節転移診断法	肺癌 54(5): 442, 2014
304	土谷智史, 山崎直哉, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 谷口大輔, 田端和宏, 永安 武	第一外科	肺の縮小手術の盲点; 左肺上区域切除後に、Micropapillary adenocarcinomaの肺胞内散布が認められた症例	肺癌 54(5): 513, 2014
305	谷口大輔, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 町野隆介	第一外科	化学療法後に切除したIVa期胸腺腫の1例	肺癌 54(5): 595, 2014
306	宮崎拓郎, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 谷口大輔, 永安 武	第一外科	近年の肺癌の手術は安全に行えているのか? 「当院の術死・在院死症例を振り返る」	肺癌 54(5): 688, 2014
307	永安 武, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 谷口大輔, 下山孝一郎	第一外科	気管支形成術における私のこだわり	日本臨床外科学会雑誌 75(増刊号): 277, 2014
308	谷口大輔, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 榊原優香, 永安 武	第一外科	当科における間質性肺炎を合併した肺癌手術症例の検討	日本臨床外科学会雑誌 75(増刊号): 317, 2014
309	國崎真己, 日高重和, 荒井淳一, 高木克典, 黨 和夫, 竹下浩明, 阿保貴章, 七島篤志, 澤井照光, 安武 亨, 永安 武	第一外科	経口アンビル法による再建術の工夫と定型化への取り組み	日本臨床外科学会雑誌 75(増刊号): 384, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
310	黨 和夫, 竹下浩明, 荒井淳一, 高木克典, 國崎真己, 阿保貴章, 日高重和, 七島篤志, 澤井照光, 永	第一外科	当科における腹腔鏡下直腸癌手術の定型化の工夫とコツ	日本臨床外科学会雑誌 75(増刊号): 404, 2014
311	高木克典, 大畠雅之, 山根裕介, 田浦康明, 松尾直門, 黨 和夫, 山崎直哉, 永安 武	第一外科	3Dプリンターを用いた先天性気管狭窄症に対する術前シミュレーション	日本臨床外科学会雑誌 75(増刊号): 783, 2014
312	船越康智, 伊藤暢宏, 岡田雅彦, 武田敬子, 石橋麻奈美, 楊井章紀, 森内浩幸, 山根裕介, 小坂太一郎, 大畠雅之, 谷岡真	第一外科	重篤なカサバツハ・メリット現象を伴った頸部カポジ型血管内皮細胞腫の新生児例	日本小児血液・がん学会雑誌 51(4): 351, 2014
313	扇玉秀順, 土谷智史, 土肥良一郎, 山崎直哉, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 七島篤志, 永安	第一外科	NaOH-PBSによるラット肺の脱細胞化・再細胞化	Organ Biology 21(3): 86, 2014
314	大石海道, 田浦康明, 山根裕介, 阿保貴章, 七島篤志, 大畠雅之, 永	第一外科	先天性胆道拡張症に対する胆嚢空腸吻合術後43年目に胆管癌を発症した1例	第37回日本膵・胆管合流異常研究会 Proceedings 37: 26, 2014
315	大畠雅之, 山根裕介, 田浦康明, 小坂太一郎, 永安 武	第一外科	当科における腹腔鏡下胆道拡張症手術	第37回日本膵・胆管合流異常研究会 Proceedings 37: 80, 2014
316	今村一步, 川下雄丈, 古賀直樹, 東尚, 林 徳真吉, 江口 晋	第二外科	虫垂炎に起因した虫垂憩室穿孔を伴った虫垂炎腫内癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 75巻2号: 484-488, 2014
317	夏田孔史, 曾山明彦, 高槻光寿, 山口東平, 虎島泰洋, 北里 周, 足立智彦, 黒木 保, 市川辰樹, 中尾一彦, 江口 晋	第二外科	HIV/HCV重複感染患者の肝障害病期診断におけるacoustic radiation force impulse(ARFI)elastography	日本消化器病学会雑誌 111巻4号: 737-742, 2014
318	三島壯太, 藤田文彦, 岡田怜美, 崎村千香, 松島 肇, 藤井美緒, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	腹腔鏡下低位前方切除術後に直腸精嚢嚢を呈した2例	日本消化器外科学会雑誌 47巻4号: 244-250, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
319	井上悠介, 曾山明彦, 日高匡章, 足立智彦, 北里周, 高槻光寿, 黒木保, 江口晋	第二外科	巨大肝嚢胞に対するreduced port laparoscopic surgery	日本外科系連合学会誌 39巻2号: 253-257, 2014
320	丸屋安広, 高槻光寿, 曾山明彦, 日高匡章, 江口晋	第二外科	生体肝移植ドナー手術中に急性膵炎を発症した1例	日本腹部救急医学会雑誌 34巻4号: 865-869, 2014
321	虎島泰洋, 峯由華, 高槻光寿, 曾山明彦, 足立智彦, 北里周, 山之内孝彰, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保, 木下直江, 市川辰樹, 中尾一彦, 江口晋	第二外科	糖原病Ⅲ型に対して脳死肝移植を施行した1例	長崎医学会雑誌 89巻1号:58-61, 2014
322	森内博紀, 岩田亨, 甲 拓子, 谷口堅, 江口晋, 内橋和芳	第二外科	乳腺基質産生癌の1例	長崎医学会雑誌 89巻1号: 27-32, 2014
323	藤井美緒, 藤田文彦, 虎島泰洋, 井上悠介, 黒木保, 江口晋	第二外科	腹膜透析の既往がない被嚢性腹膜硬化症の1例	日本臨床外科学会雑誌 75巻6号: 2514-2518, 2014
324	井上悠介, 藤田文彦, 虎島泰洋, 黒木保, 中山敏幸, 江口晋	第二外科	腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術を施行したPaget現象を伴う直腸癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 75巻9号: 2514-2518, 2014
325	井上啓爾, 北島正親, 原村智子, 渡海大隆, 伊藤信一郎, 野田和雅, 南恵樹, 原口正史, 鬼塚伸也, 入江準二, 江口晋	第二外科	術前診断困難であった肺定型カルチノイド腫瘍の1例	長崎医学会雑誌 89巻2号: 136-141, 2014
326	北島正親, 井上啓爾, 原村智子, 渡海大隆, 野田和雅, 伊藤信一郎, 南恵樹, 原口正史, 入江準二, 木下直江, 江口晋	第二外科	術前診断困難であった肺定型カルチノイド腫瘍の1例	長崎医学会雑誌89巻2号:136-141, 2014
327	曾山明彦, 高槻光寿, 小倉靖弘, 大西康晴, 亀井秀弥, 山口尚子, 坪井千里, 日高匡章, 黒木保, 江口晋	第二外科	Regional organ procurementを用いて円滑に施行しえた脳死肝移植の1例	移植 49巻6号: 428-431, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
328	藤田文彦, 松島肇, 井上悠介, 川原大輔, 虎島泰洋, 金高賢悟, 高槻光寿, 南 恵樹, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	完全腹腔鏡下小腸切除術を施行した原発性小腸癌の1例	日本外科系連合学会誌 39巻6号: 1122-1126, 2014
329	崎村千香, 江口 晋, 伊東昌子	第二外科	最近の新規女性外科医師数は増えているのか? 減っているのか? - 全国外科教室でのアンケート結果 -	日本外科学会雑誌 115巻: 44-49, 2014
330	藤田文彦, 井上悠介, 江口 晋	第二外科	虚血性腸疾患の診断と治療 非閉塞性腸間膜虚血症(NOMI)	消化器外科 37(5):1011-1017, 2014
331	小林慎一郎, 岡野光夫, 江口 晋	第二外科	臨床応用に向けた再生医学研究 細胞シート	消化器外科 37(8):1321-1332, 2014
332	江口 晋	第二外科	生体部分肝移植手術; 拡大左葉グラフトを用いたレシピエントの手術手技	消化器外科 37(10):1489-1502, 2014
333	北里 周, 黒木 保, 足立智彦, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	早期胆嚢癌に対する腹腔鏡下手術—腹腔鏡下胆嚢床切除術—	手術 68(11):1429-1433, 2014
334	江口 晋	第二外科	低侵襲術式による肝臓手術—上腹部正中切開によるハイブリッド肝切除のコツ	手術 68(13):1649-1656, 2014
335	黒木 保, 北里 周, 足立智彦, 田中貴之, 松島 肇, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	慢性膵炎に対する腹腔鏡下膵管空腸側々吻合術—高難度手術を安全に行うための工夫—	胆と膵 35(11):1271-1275, 2014
336	黒木 保, 江口 晋	第二外科	8.膵 c) 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除のピットフォールと対策	外科 76(12):1484-1488, 2014
337	高槻光寿, 江口 晋	第二外科	: V 肝臓の手術 肝移植『ドナー手術(腹腔鏡補助下)』	消化器外科 37巻:812-816, 2014
338	江口 晋	第二外科	II.年表~欧米の動きと対比して 肝移植	(日本移植学会設立50周年記念誌 編集委員会(編):日本移植学会設立50周年記念誌, 日本移植学会, 丸善プラネット株式会社, 東京, pp. 13-14)2014
339	曾山明彦, 江口 晋	第二外科	: C.肝胆膵脾 1.肝切除術 a.肝右葉病変に対する肝切除術b.肝左葉転移に対する肝切除術	(HALS研究会(編): HALS—用手補助腹腔鏡下手術の実際, 株式会社 南江堂, 東京, pp. 198-204) 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
340	曾山明彦, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	肝移植	(「消化器病診療(第2版)」編集委員会(編):消化器病診療第2版, 一般社団法人日本消化器病学会, 株式会社医学書院, 東京, pp. 415-419)2014
341	江口 晋	第二外科	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植適応に関する研究	厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)平成25年度 総括・分担研究報告書, pp.1-4,
342	虎島泰洋	第二外科	培養幹細胞を用いたTissue Engineered Small Intestine(TEI)の作成	長崎県医師会報 818:91, 2014
343	日高匡章	第二外科	肝細胞癌に対する局所療法部位における接着分子発現—移植摘出肝を用いて	長崎県医師会報 818:100, 2014
344	江口 晋	第二外科	長崎での再生医療	長崎県医師会報 826: 74-75, 2014
345	江口 晋, 高槻光寿, 日高匡章, 曾山明彦, 藤田文彦, 金高賢悟, 黒木保	第二外科	生体肝移植術中のcolonic gas explosion	日本腹部救急医学会雑誌 34巻2号: 426, 2014
346	井上悠介, 藤田文彦, 虎島泰洋, 川原大輔, 米田 晃, 曾山明彦, 足立智彦, 日高匡章, 北里周, 山之内孝彰, 小林和真, 金高賢悟, 高槻光寿, 南 恵樹, 黒木保, 江口 晋	第二外科	: 当科におけるNOMI20例の検討	日本腹部救急医学会雑誌 34巻2号: 434, 2014
347	濱田隆志, 金高賢悟, 米田 晃, 虎島泰洋, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木保, 江口 晋	第二外科	保存的治療で軽快した胸部上部～中部特発性食道破裂の1例	日本腹部救急医学会雑誌 34巻2号: 486, 2014
348	堺 裕輔, 小池真章子, 長谷川英子, 山之内孝彰, 日高匡章, 曾山明彦, 高槻光寿, 黒木保, 江口 晋	第二外科	ヒト初代肝細胞複合シート移植における支持細胞の種類の効果	日本再生医療学会雑誌 13巻増刊号: 327, 2014
349	小池真章子, 堺 裕輔, 黒木保, 江口 晋	第二外科	肝細胞複合シートの構造と機能発現	日本再生医療学会雑誌 13巻増刊号: 326, 2014
350	日高匡章, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	EOB-MRIによる早期肝細胞癌診断の限界点—移植摘出肝を用いて—	日本消化器病学会雑誌 111巻臨増: A80, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
351	高槻光寿, 日高匡章, 曾山明彦, 足立智彦, 北里周, 堺裕輔, 木下綾華, 原貴信, 村岡いづみ, Zhassulan Baimakhanov, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保	第二外科	生体肝移植におけるイノベーション:長崎大学の場合	長崎大学の場合. 日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 136, 2014
352	黒木保, 北里周, 足立智彦, 平原正隆, 松島肇, 曾山明彦, 日高匡章, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口晋	第二外科	当科における腹腔鏡下脾頭十二指腸切除術の現状と今後の展望ー導入後の5年間を振り返ってー	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 165, 2014
353	小林慎一郎, 金井信雄, 田中信行, 前田真法, 細井孝洋, 高木亮, 大和雅之, 江口晋, 岡野光夫	第二外科	組織工学製品化を目指した再生医療研究 外科医と工学技術者が考案した細胞シート移植デバイス	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 218, 2014
354	松島肇, 黒木保, 北里周, 足立智彦, 平原正隆, 日高匡章, 曾山明彦, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 高槻光寿, 木下直江, 江口晋	第二外科	肝内胆管癌の発癌過程におけるSOX9の関与とその臨床的意義	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 283, 2014
355	平原正隆, 足立智彦, 松島肇, 北里周, 藤田文彦, 南恵樹, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木保, 江口晋	第二外科	間葉系幹細胞シートを利用した新たな脾臓細胞移植	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 284, 2014
356	久芳さやか, 南恵樹, 足立利幸, 川上総子, 山之内孝彰, 松本恵, 矢野洋, 安倍邦子, 藤田文彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木保, 永安武, 江口晋	第二外科	乳房温存療法における術中迅速組織診断の有用性の検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2:341, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
357	藤井美緒, 山之内孝彰, 堺 裕輔, 日高匡章, 曾山明彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 藤田文彦, 南 恵樹, 黒木保, 江口 晋	第二外科	肝非実質細胞シートを用いた皮下肝組織構築の試み	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 359, 2014
358	井上悠介, 藤田文彦, 山口 泉, 堺 裕輔, 山之内孝彰, 虎島泰洋, 川原大輔, 金高賢悟, 高槻光寿, 南 恵樹, 黒木 保, 江	第二外科	組織工学を用いた肛門機能不全動物モデルに対する機能再生	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 360, 2014
359	小林和真, 金高賢悟, 米田 晃, 南 恵樹, 高槻光寿, 藤田文彦, 山之内孝彰, 日高匡章, 北里 周, 足立智彦, 曾山明彦, 虎島泰洋, 小坂太一郎, 黒木 保, 江口	第二外科	治癒切除不能進行・再発胃癌に対するS-1(ノ併用)療法(S-1+ α)を用いた集学的治療戦略の検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 386, 2014
360	金高賢悟, 小林慎一郎, 堺 裕輔, 曾山明彦, 山之内孝彰, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋, 大木岳志, 山本雅一, 長井一浩, 朝比奈 泉, 大脇敏之, 高木 亮, 金井信雄, 大和雅之, 岡野光夫	第二外科	細胞シートトランスポートシステムの構築に向けて—遠距離施設間における口腔粘膜上皮細胞シートの輸送試験—	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 442, 2014
361	崎村千香, 南 恵樹, 久芳さやか, 山之内孝彰, 藤田文彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木保, 江口 晋, 伊東	第二外科	あなたは外科を続けますか?—長崎大学病院における女性医師のアンケート調査をもとに—	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 470, 2014
362	曾山明彦, 高槻光寿, 日高匡章, 北里 周, 足立智彦, 米田 晃, 小坂太一郎, 虎島泰洋, 山之内孝彰, 小林和真, 藤田文彦, 金高賢悟, 南 恵樹, 黒木 保, 江口	第二外科	生体臓器移植ドナーの危機管理プログラム—“when” not “if”—	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 473, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
363	夏田孔史, 曾山明彦, 高槻光寿, 日高匡章, 北里周, 足立智彦, 米田晃, 小坂太一郎, 虎島泰洋, 山之内孝彰, 小林和真, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保, 江口晋	第二外科	肝細胞癌治癒切除症例における予後予測因子としての非侵襲的肝線維化インデックスの有用性	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 493, 2014
364	南恵樹, 山之内孝彰, 森田道, 崎村千香, 川上総子, 久芳さやか, 藤田文彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木保, 江口晋	第二外科	若年者甲状腺腫瘍の診断と若年者甲状腺癌の再発危険因子に基づく治療方針	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 519, 2014
365	井上諭, 小坂太一郎, 高槻光寿, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保, 江口晋	第二外科	ラットモデルを用いた食道閉鎖症に対する体外牽引食道延長術の組織学的検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 547, 2014
366	藤田文彦, 虎島泰洋, 井上悠介, 川原大輔, 米田晃, 金高賢悟, 高槻光寿, 南恵樹, 黒木保, 江口晋	第二外科	腹腔鏡下直腸癌手術における縫合不全をゼロにする工夫	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 566, 2014
367	原村智子, 日高匡章, 曾山明彦, 高槻光寿, 足立智彦, 北里周, 米田晃, 小坂太一郎, 虎島泰洋, 山之内孝彰, 小林和真, 金高賢悟, 藤田文彦, 南恵樹, 黒木保, 江口晋	第二外科	生体肝移植後カンジダ感染症に対する予測因子の検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 578, 2014
368	丸屋安広, 曾山明彦, 高槻光寿, 日高匡章, 足立智彦, 北里周, 米田晃, 小坂太一郎, 虎島泰洋, 山之内孝彰, 小林和真, 金高賢悟, 藤田文彦, 南恵樹, 黒木保, 江口晋	第二外科	生体肝移植後経過における術前 Skeletal muscle index(SMI)の意義	日本外科学会雑誌 114臨増2: 580, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
369	米田 晃, 金高賢悟, 藤井美緒, 田中史朗, 虎島泰洋, 小林和真, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	CY1P0胃癌に対しての胃切除先行後の化学療法による治療は妥当か?	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 688, 2014
370	足立利幸, 久芳さやか, 川上総子, 山之内孝彰, 南恵樹, 藤田文彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	低・中等度危険群甲状腺乳頭癌に対する摘術および葉切除術後の予後の検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 722, 2014
371	日高匡章, 高槻光寿, 曾山明彦, 足立智彦, 北里 周, 木下綾華, 夏田孔史, 釘山統太, 藤田文彦, 南 恵樹, 金高賢悟, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	現在のガイドライン非因子である術中門脈圧からみた肝細胞癌の肝切除後合併症と予後の検証	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 732, 2014
372	山下万平, 北里 周, 足立智彦, 曾山明彦, 日高匡章, 虎島泰洋, 藤田文彦, 小林和真, 南 恵樹, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	医原性十二指腸穿孔に対する外科的治療の検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 794, 2014
373	濱田隆志, 金高賢悟, 米田 晃, 虎島泰洋, 藤田文彦, 足立智彦, 曾山明彦, 北里 周, 日高匡章, 小林和真, 南 恵樹, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	食道癌におけるPET-CTIによる深達度診断の有用性	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 833, 2014
374	田中史朗, 金高賢悟, 堺 裕輔, 米田 晃, 小坂太一郎, 虎島泰洋, 曾山明彦, 足立智彦, 北里 周, 日高匡章, 林田直美, 山之内孝彰, 小林和真, 藤田文彦, 高槻光寿, 南 恵樹, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	胃穿孔ラットモデルを用いた細胞シートの創傷治癒効果の検討	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 923, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
375	虎島泰洋, 藤田文彦, 酒井裕輔, 川原大輔, 井上悠介, Zhassulan Baimakhanov, 山之内孝彰, 高槻光寿, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保, Tracy Grikscheit, 江口晋	第二外科	:マウス小腸虚血再灌流モデルの確立とFgf10の関与	日本外科学会雑誌 114巻臨増2: 929, 2014
376	日高匡章, 高槻光寿, 曾山明彦, 奥平定之, 釘山統太, 足立智彦, 北里周, 木下綾華, 夏田孔史, 米田晃, 虎島泰洋, 藤田文彦, 金高賢悟, 黒木保, 江口晋	第二外科	画像診断はどこまで肝細胞癌を検出できるか?—移植摘出肝全肝検索からの検討—	肝臓 55巻臨増1: A188, 2014
377	小坂太一郎, 大畠雅之, 山根裕介, 田浦康明, 高槻光寿, 永安武, 江口晋	第二外科	新生児先天性C型食道閉鎖に対する胸腔鏡下根治術	日本小児外科学会雑誌 50(3): 550, 2014
378	山下万平, 小坂太一郎, 内田史武, 山根裕介, 田浦康明, 大畠雅之, 永安武, 江口晋	第二外科	ミルクカード症候群により腸管穿孔を来した1例	日本小児外科学会雑誌 50(3): 720, 2014
379	崎村千香, 川上総子, 久芳さやか, 林田直美, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 南恵樹, 黒木保, 伊東昌	第二外科	外科の継続には何が必要か—長崎大学病院における女性医師アンケート結果をもとに—	日本外科系連合学会誌 39(3): 484, 2014
380	曾山明彦, 高槻光寿, 日高匡章, 北里周, 足立智彦, 木下綾華, 夏田孔史, バイマカノフジャスラン, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保, 江口晋	第二外科	生体肝移植レシピエントの妊娠と出産	日本外科系連合学会誌 39(3): 489, 2014
381	足立智彦, 黒木保, 北里周, 曾山明彦, 日高匡章, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口晋	第二外科	胆道・膵臓領域における術前シミュレーション	術中ナビゲーション手術. 日本外科系連合学会誌 39(3): 501, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
382	黒木 保, 江口 晋	第二外科	若手外科医人材確保への当科の取り組み	日本外科系連合学会誌 39(3): 514,
383	丸屋安広, 日高匡章, 曾山明彦, 足立智彦, 北里 周, 前川恭一郎, 虎島泰洋, 藤田文彦, 金高賢悟, 南 恵樹, 小林和真, 高槻光寿, 黒木 保, 木下直江, 江口 晋	第二外科	L-OHPによる肝障害をきたした直腸癌肝転移に対しPmab単剤投与後に肝切除を施行した1例	日本外科系連合学会誌 39(3): 605, 2014
384	平山昂仙, 北里 周, 足立智彦, 黒木 保, 曾山明彦, 日高匡章, 米田 晃, 虎島泰洋, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	腹腔鏡下膵中央部切除術を施行した膵体部IPMNの一例	日本外科系連合学会誌 39(3): 611, 2014
385	黒木 保, 北里 周, 足立智彦, 平原正隆, 松島 肇, 曾山明彦, 日高匡章, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	当科における腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の現状—より安全な術式とするための工夫	膵臓 29(3): 196:480, 2014
386	足立智彦, 黒木 保, 北里 周, 平原正隆, 松島 肇, 曾山明彦, 日高匡章, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	Borderline resectable膵癌に対する治療方針	予後予測因子としてのSMA周囲神経叢進展. 膵臓 29(3): 303:587, 2014
387	北里 周, 黒木 保, 足立智彦, 松島 肇, 平原正隆, 曾山明彦, 日高匡章, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	膵管ナビゲーションを応用した腹腔鏡下膵中央部切除術	膵臓 29(3): 313:597, 2014
388	久芳さやか, 山之内孝彰, 崎村千香, 川上総子, 南 恵樹, 藤田文彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	甲状腺分化癌に対する手術術式と予後の検討	日本癌治療学会誌 49(1):895, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
389	小林和真, 北里周, 足立智彦, 南恵樹, 金高賢悟, 高槻光寿, 藤田文彦, 林田直美, 山之内孝彰, 日高匡章, 曾山明彦, 小坂太一郎, 久芳さやか, 黒木保, 江口晋	第二外科	切除不能進行・再発胆道癌のCDDP/GEM療法は一次治療に限定すべきである	日本癌治療学会誌 49(1): 2069, 2014
390	藤田文彦, 虎島泰洋, 井上悠介, 江口晋	第二外科	脾弯曲部横行結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除術定型化の試み	日本大腸肛門病会誌 69(7): 656, 2014
391	金高賢悟, 米田晃, 藤井美緒, 平山昂仙, 虎島泰洋, 足立智彦, 曾山明彦, 日高匡章, 北里周, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木保, 江口晋	第二外科	気胸を併用した左側臥位胸腔鏡下食道切除術における術野展開	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 369, 2014
392	日高匡章, 高槻光寿, 曾山明彦, 北里周, 足立智彦, 木下綾華, 村岡いづみ, 夏田孔史, 釘山統太, バイマカノフ ジャスラン, 藤田文彦, 金高賢悟, 黒木保, 江口晋	第二外科	腹腔鏡下肝切除の定型化と普及へ向けて-PureとHybridの使い分け-	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 395, 2014
393	黒木保, 北里周, 足立智彦, 松島肇, 曾山明彦, 日高匡章, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口晋	第二外科	当科における腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術—こだわりの術式とその理由—	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 400, 2014
394	足立智彦, 黒木保, 北里周, 松島肇, 黒島直樹, 平山昂仙, 曾山明彦, 日高匡章, 高槻光寿, 江口晋	第二外科	腹腔鏡下脾温存尾側膵切除における脾動静脈切除の安全性	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 488, 2014
395	崎村千香, 米田晃, 金高賢悟, 山之内孝彰, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木保, 江口晋	第二外科	ペアンガーゼを用いた小切開創からのセプラフィルム挿入法	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 499, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
396	藤田文彦, 虎島泰洋, 峯由華, 井上悠介, 甲 拓子, 米田 晃, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木保, 江口 晋	第二外科	当科への腹腔鏡下大腸切除術の導入と指導医の育成	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 516, 2014
397	米田 晃, 金高賢悟, 平山昂仙, 藤井美緒, 虎島泰洋, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木保, 江口 晋	第二外科	胃噴門部の粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 551, 2014
398	虎島泰洋, 藤田文彦, 峯由華, 井上悠介, 米田 晃, 金高賢悟, 北里周, 足立智彦, 曾山明彦, 小坂太一郎, 山之内孝彰, 高槻光寿, 黒木保, 江口 晋	第二外科	当科における進化型TEP法	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 681, 2014
399	今村一步, 北里周, 足立智彦, 松村尚美, 曾山明彦, 日高匡章, 高槻光寿, 黒木保, 江口 晋	第二外科	腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)にて治療し得た早期十二指腸癌の1例	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 706, 2014
400	北里周, 黒木保, 足立智彦, 松島肇, 平山昂仙, 黒島直樹, 米田 晃, 木下綾華, 曾山明彦, 日高匡章, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	術前診断早期胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢床切除術	日本内視鏡外科学会雑誌 19(7): 746, 2014
401	山之内孝彰, 林田直美, 久芳さやか, 崎村千香, 川上総子, 黒木保, 江口 晋	第二外科	バセドウ病手術後の低Ca血症とその期間の予測因子に関する検討	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 31(2): S232, 2014
402	崎村千香, 前田茂人, 足立利幸, 久永真, 野中隆, 永吉茂樹, 徳永隆幸, 北島知夫, 蒲原行雄, 江口 晋, 藤岡ひかる	第二外科	甲状腺乳頭癌を合併したBlack thyroidの1例	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 31(2): S259, 2014
403	曾山明彦, 高槻光寿, 江口 晋	第二外科	生体肝移植レシピエントにおける腎機能障害—AKIとCKDとの関係は?—	肝臓 55(2): A499, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
404	K. Yamanouchi, Y. Sakai, S. Eguchi	第二外科	New approaches to construction of liver tissue in vivo: Less invasive techniques and progenitor cells	肝臓 55(2): A503, 2014
405	山之内孝彰, 林田直美, 久芳さやか, 崎村千香, 川上総子, 南 恵樹, 松村尚美, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	甲状腺手術後ドレーン排液量の検討とドレーン非留置の試み	日本臨床外科学会雑誌 75巻増刊号: 307, 2014
406	井上悠介, 藤田文彦, 虎島泰洋, 甲 拓子, 米田 晃, 曾山明彦, 足立智彦, 北里 周, 日高匡章, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	Acute Care Surgeryを要した閉塞性大腸癌14例の検討	日本臨床外科学会雑誌 75巻増刊号: 433, 2014
407	甲 拓子, 藤田文彦, 峯 由華, 井上悠介, 虎島泰洋, 木下綾華, 米田 晃, 曾山明彦, 足立智彦, 北里 周, 日高匡章, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	直腸癌前方切除後の縫合不全に対するドレーンによる保存的治療の検討	日本臨床外科学会雑誌 75巻増刊号: 435, 2014
408	川上悠介, 金高賢悟, 米田 晃, 藤井美緒, 足立智彦, 曾山明彦, 虎島泰洋, 北里 周, 山之内孝彰, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋	第二外科	確実な共通孔閉鎖のための食道消化管Overlap縫合-3点牽引法を用いた当科での工夫-	日本臨床外科学会雑誌 75巻増刊号: 466, 2014
409	崎村千香, 高槻光寿, 木下綾華, 夏田孔史, 釘山統太, バイマカノフジャスラン, 足立智彦, 北里 周, 黒木 保, 江口 晋, 柳原克紀	第二外科	肝移植患者における迅速LAMP法を用いたMRSAスクリーニング	日本臨床外科学会雑誌 75巻増刊号: 603, 2014
410	岡野邦彦, 松林昌平, 二宮義和	整形外科	イリザロフ創外固定器を用いて変形矯正を行った両側Blount病の1例	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25:127-130, 2014
411	富田雅人, 宮田倫明, 山口健太郎, 有吉貴美代, 尾崎誠	整形外科	軟部肉腫に対する化学療法における新しい制吐療法の有効性	整形外科と災害外科 63(1):149-151, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
412	富田雅人, 宮田倫明, 馬場秀夫, 米倉暁彦, 小関弘展, 小林恭介, 白石和輝, 尾崎 誠	整形外科	当科における重複悪性腫瘍患者の検討	整形外科と災害外科 63(4):682-684, 2014
413	小関弘展, 志田俊之, 依田 周, 堀内英彦, 尾崎 誠, 迫田秀行	整形外科	生体人工材料への表皮ブドウ球菌付着性の比較	日本関節病学会誌 33(1):79-83, 2014
414	宮田倫明, 富田雅人, 松尾洋昭, 近藤超子, 小林恭介, 白石和輝, 馬場秀夫, 林 徳眞吉, 木下直江, 尾崎 誠	整形外科	当科におけるSolitary fibrous tumor (SFT)の予後調査	整形外科と災害外科 63(4):685-687, 2014 梶山史郎, 古川敬三, 松尾洋昭, 尾崎 誠: 結節間溝形態と上腕二頭筋長頭腱所見-3D-CTと鏡視所見の検討- 肩関節 38(2), 637-640, 2014
415	松林昌平, 岡野邦彦, 二宮義和	整形外科	:外反膝変形を伴った恒久性膝蓋骨脱臼の1例	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25:135-141
416	松林昌平, 岡野邦彦, 二宮義和, 宮本俊之	整形外科	Taylor Spatial Frameを用いて治療したPopliteal Pterygium Syndromeの1例	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25:27-31, 2014
417	松林昌平, 宮本力, 穂積 晃, 千葉恒, 米倉暁彦, 小関弘展, 黒木綾子, 金丸由美子, 新見龍士, 西 紘太郎, 尾崎 誠, 岡野邦彦, 二宮義和, 山口和正, 近藤久義	整形外科	先天性股関節脱臼に対するリーメンビューゲルの整復率とペルテス病様変化の発生率	長崎医学会雑誌 89(3):157-160, 2014
418	田上敦士, 馬場秀夫, 津田圭一, 依田 周, 尾崎 誠	整形外科	頸部脊髄症に対する内視鏡下椎弓切除の治療成績 歯突起縦割式椎弓形成術との比較	Journal of Spine Research 5(8):1208-1211, 2014
419	後藤久貴, 穂積 晃, 木寺健一, 尾崎 誠, 和田大志, 西野衆文, 三島初, 秋山慶輔, 中田活也	整形外科	大腿骨髓腔形状とテーパーウェッジ型ステムANTHOLOGYの初期固定様式他施設共同研究	Hip Joint 40:612-615, 2014
420	後藤久貴, 穂積 晃, 木寺健一, 前田純一郎, 尾崎 誠	整形外科	50歳未満特発性大腿骨頭壊死症に対する人工骨頭置換術の長期成績 20年以上経過例の検討	Hip Joint 40:386-389, 2014
421	崎村俊之, 古川敬三, 梶山史郎, 尾崎 誠	整形外科	全身麻酔下関節可動域制限例における鏡視下腱板修復術の治療成績	肩関節 37(2):783-785, 2014
422	前田純一郎, 穂積 晃, 後藤久貴, 尾崎 誠	整形外科	寛骨臼回転骨切り術におけるトラネキサム酸経静脈投与の有効性	Hip Joint 40:344-347, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
423	志田崇之, 小関弘展, 依田周, 尾崎誠, 迫田秀行	整形外科	チタン系人工材料の表面粗さと表皮ブドウ球菌付着量の関係	日本骨・関節感染症学会雑誌 27:91-94, 2014
424	松尾洋昭, 古川敬三, 宮本俊之, 梶山史郎, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	Staged managementを行った重度軟部組織損傷を伴う前腕解放骨折の2例	整形外科と災害外科 63(1):38-40, 2014
425	松尾洋昭, 古川敬三, 梶山史郎, 尾崎誠	整形外科	結節間溝内水腫と肩甲下筋腱断裂との関係	肩関節 38(2), 613-616, 2014
426	黒木綾子, 穂積晃, 宮本力, 木寺健一, 前田純一郎, 尾崎誠	整形外科	大腿骨頭すべり症とスポーツ活動	九州・山口医・科学研究会誌 26:70-73, 2014
427	内山迪子, 宮田倫明, 富田雅人, 松尾洋昭, 前原史朋, 竹内潤, 尾崎誠	整形外科	悪性転帰をたどったSolitary fibrous tumorの治療経験	整形外科と災害外科 63(1):166-169, 2014
428	桑野洋輔, 米倉暁彦, 岡崎成弘, 尾崎誠	整形外科	中高年の大腿骨滑車軟骨欠損に対する骨穿孔術の一例	整形外科と災害外科 63(2):284-287, 2014
429	竹内潤, 富田雅人, 宮田倫明, 安倍邦子, 尾崎誠	整形外科	左前腕に発生した稀な血管芽腫の一例	整形外科と災害外科 63(1):141-144, 2014
430	荒木貴士, 米倉暁彦, 岡崎成弘, 小関弘展, 千葉恒, 馬場秀夫, 富田雅人, 小林恭介, 尾崎誠	整形外科	プレートを抜去せず、沈静化が得られた脛骨骨切り術後感染の2例	整形外科と災害外科 63(3):463-468, 2014
431	小林恭介, 宮本力, 米倉暁彦, 小関弘展, 穂積晃, 木寺健一, 前田純一郎, 黒木綾子, 荒木貴士, 尾崎誠	整形外科	慢性再発性多発性骨髄炎の1男児例	整形外科と災害外科 63(4):849-851, 2014
432	滝田裕之, 馬場秀夫, 富田雅人, 米倉暁彦, 小関弘展, 田上敦士, 津田圭一, 依田周, 根井吾郎, 尾崎誠	整形外科	軸椎歯突起後方偽腫瘍に対する後方固定術の治療経験	整形外科と災害外科 63(3):524-527, 2014
433	根井吾郎, 梶山史郎, 松尾洋昭, 古川敬三, 馬場秀夫, 富田雅人, 米倉暁彦, 小関弘展, 滝田裕之, 尾崎誠	整形外科	変形性肘関節症に対する鏡視下手術の治療成績	整形外科と災害外科 63(3):567-569, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
434	佐々木陽一, 松林昌平, 岡野邦彦, 二宮義和, 山口和正	整形外科	Taylor Spatial Frameの下腿骨へのReference Ring装着手順とX線撮影方法について	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25:89-94, 2014
435	江上美紀, 桑原直子, 松林昌平	整形外科	両大腿部にリング型創外固定をした女性患者のトイレ介助の取り組み	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25:27-31, 2014
436	千葉 恒, 尾崎 誠	整形外科	【関節疾患の画像診断:変形性関節症(OA)と関節リウマチ(RA)】変形性関節症における骨変化の評価	映像情報Medical 46(1):20-28, 2014
437	尾崎 誠, 菅野伸彦, 久保俊一	整形外科	人工股関節一覧表(国内で使用可能な機種))(久保俊一(編):股関節学, 金芳堂, 京都市, pp.1169-1204, 2014
438	馬場秀夫, 田上敦士, 津田圭一, 依田周, 尾崎 誠	整形外科	破壊性脊椎関節症の発生部位の検討	日本整形外科学会雑誌 88(2):S195, 2014
439	馬場秀夫, 田上敦士, 津田圭一, 依田周, 尾崎 誠	整形外科	透析性脊椎関節症再手術例の検討	日本整形外科学会雑誌 88(3):S737, 2014
440	小関弘展, 志田崇之, 依田周, 堀内英彦, 渡邊郁哉, 白石孝信, 馬場恒明, 尾崎 誠	整形外科	炭素イオン注入チタン合金の耐腐食性	日本整形外科学会雑誌 88(8):S1630
441	小関弘展, 志田崇之, 依田周, 堀内英彦, 迫田秀行, 森永芳智, 柳原克紀, 尾崎 誠	整形外科	表皮ブドウ球菌バイオフィルム形成に対する固体表面自由エネルギーの影響	日本骨・関節感染症学会プログラム・抄録集37回:75, 2014
442	小関弘展, 尾崎 誠	整形外科	股関節周囲の筋活動時期の調整によって跛行を改善し得た変形性股関節症骨切り術後の1例	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine
443	小関弘展, 堀内英彦, 依田周, 志田崇之, 野口智恵子, 白石孝信, 渡邊郁哉, 馬場恒明, 尾崎 誠	整形外科	炭素イオン注入金属表面の耐腐食性評価	日本関節病学会誌 33(3):387, 2014
444	富田雅人, 宮田倫明, 野崎義弘, 安倍邦子, 林 徳眞吉, 尾崎 誠	整形外科	骨外性通常型軟骨肉腫の1例	整形外科と災害外科 63(Suppl.1):74, 2014
445	富田雅人, 宮田倫明, 熊谷謙治, 尾崎 誠	整形外科	当科における腫瘍用人工膝関節再置換術における工夫	日本整形外科学会雑誌 88(6):S1290, 2014
446	富田雅人, 宮田倫明, 尾崎 誠	整形外科	当科にて診療を行った重複悪性腫瘍患者の解析	日本整形外科学会雑誌 88(6):S1308, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
447	富田雅人, 宮田倫明, 杉原祐介, 西紘太郎, 林徳眞吉, 尾崎誠	整形外科	下腿三頭筋内に発生した良性線維性組織球種の1例	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 152, 2014
448	米倉暁彦, 小関弘展, 木寺健一, 千葉恒, 尾崎誠	整形外科	高位脛骨骨切りの適応と工夫 進行した変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術(TCVO)	日本整形外科学会雑誌 88(2): S333, 2014
449	米倉暁彦, 小関弘展, 千葉恒, 岡崎成弘, 尾崎誠	整形外科	不安定性を伴う内反型変形性膝関節症に対する関節形成を併用した高位脛骨切り術の治療成績	整形外科と災害外科 63(4): 917, 2014
450	米倉暁彦, 小関弘展, 千葉恒, 尾崎誠	整形外科	脛骨顆外反骨切り術前後における近位脛骨関節面の形状変化の検討	JOSKAS 39(4): 461, 2014
451	辻本律, 前田純一郎, 安部恵代, 有馬和彦, 富田雅人, 小関弘展, 杉山正泰, 貝田英二, 青柳潔, 尾崎誠	整形外科	日本の地域在住中高年女性におけるkienboeck病の有病率とulnar varianceとの関係 community-based study	日本整形外科学会雑誌88(3): S514, 2014
452	宮田倫明, 富田雅人, 松尾洋昭, 飯田健, 荒木貴士, 尾崎誠	整形外科	小児の足関節に発生した滑膜肉腫の1例	整形外科と災害外科 63(Suppl.1): 78, 2014
453	宮田倫明, 富田雅人, 杉原祐介, 西紘太郎, 尾崎誠	整形外科	当科における粘液/円形細胞型脂肪肉腫の治療成績	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 157, 2014
454	宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	長崎大学病院における重症多発外傷患者の治療	日本整形外科学会雑誌 88(2): S106, 2014
455	宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	下腿開放骨折の初期治療 病巣搔爬の範囲決定についてのこだわり	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25: 2015, 2014
456	宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	整形外科医は骨粗鬆症治療に真摯に取り組んでいるか	骨折 36(Suppl.): S184, 2014
457	宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	:外傷治療の進歩 外傷センターにおける外傷治療	. 整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 77, 2014
458	宮本力, 米倉暁彦, 木寺健一, 穂積晃, 前田純一郎, 黒木綾子, 尾崎誠	整形外科	関節リウマチ患者に対する人工膝関節置換術 セメントレスCR typeの臨床成績	九州膝関節研究会誌 63(4): 923, 2014
459	梶山史郎, 松尾洋昭, 古川敬三, 尾崎誠	整形外科	Staged Managementを行い人工関節で治療した銃創による肘関節部解放骨折の1例	日本肘関節学会雑誌 21(1): S70, 2014
460	梶山史郎, 小関弘展, 依田周, 尾崎誠, 崎村俊之	整形外科	吸引ドレーン留置にて術後管理を行った化膿性肩関節炎の治療成績	日本骨・関節感染症学会プログラム・抄録集37回: 80, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
461	穂積 晃, 宮本力, 松林昌平, 千葉 恒, 尾崎 誠	整形外科	変形性関節症に対する手術後のアクティビティー当院における外反骨切り術併用キアリ骨盤骨切り術の治療成績 JHEQを用いた患者調査からみた検討	日本関節病学会誌 33(3):301, 2014
462	松林昌平, 岡野邦彦, 二宮義和, 宮本俊之	整形外科	Taylor Spatial Frameを用いて治療した Popliteal Pterygium Syndromeの1例	日本創外固定・骨延長学会雑誌 25:27-31, 2014
463	松林昌平, 岡野邦彦, 二宮義和, 山口和正, 弦本敏行	整形外科	今日の瘻性尖足の治療選択 エコーガイド下のボツリヌス毒素注射の実際	日本脳性麻痺の外科研究会誌 24:15-20, 2014
464	安達信二, 矢部嘉浩, 田上敦士, 津田圭一, 野口智恵子, 尾崎 誠	整形外科	: 胸腰椎圧迫骨折および破裂骨折の保存的治療画像についての検討	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 165, 2014
465	田上敦士, 尾崎 誠, 馬場秀夫, 津田圭一, 依田 周	整形外科	Keegan型頸椎症の治療成績	日本整形外科学会雑誌 88(2):S208, 2014
466	田上敦士, 尾崎 誠, 馬場秀夫, 津田圭一, 依田 周	整形外科	頸部神経根症に対する内視鏡下key hole foraminotomyの治療成績	日本整形外科学会雑誌 88(3):S749, 2014
467	田上敦士, 尾崎 誠, 馬場秀夫, 津田圭一, 依田 周	整形外科	腰椎外側病変に対する内視鏡下手術の治療成績 術後2年以上経過観察可能であった症例の臨床成績の検討	Journal of Spine Research 5(3):642, 2014
468	田上敦士, 尾崎 誠, 津田圭一, 安達信二, 野口智恵子, 富田雅人, 宮田倫明, 梶山史郎, 松尾洋昭, 近藤超子, 米倉暁彦, 小関弘展, 宮本俊之, 宮本力, 穂積 晃	整形外科	脊椎内視鏡下硬膜縫合術. 整形外科と災害外科	63(Suppl.1): 32, 2014
469	田上敦士, 尾崎 誠, 安達信二, 津田圭一, 野口智恵子, 富田雅人, 横田和明, 梶山史郎, 松尾洋昭, 西紘太郎, 杉原祐介	整形外科	化膿性脊椎炎に対するPPSの有効性の検討	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 106, 2014
470	福島達也, 宮本俊之, 田口憲士, 尾崎 誠	整形外科	ピロン骨折に対する治療成績の検討	骨折 36(Suppl.): S370, 2014
471	福島達也, 宮本俊之, 田口憲士, 高橋国宏, 尾崎 誠	整形外科	: 組織欠損の再建 軟部組織再建を要した重度四肢外傷の治療経験	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 74, 2014
472	田口憲士, 宮本俊之, 福島達也, 尾崎 誠	整形外科	高エネルギー外傷に伴う鎖骨骨折症例の特徴	骨折 36(Suppl.): S230, 2014
473	田口憲士, 宮本俊之, 福島達也, 尾崎 誠	整形外科	鎖骨骨折を有する高エネルギー外傷の特徴	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 191, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
474	千葉 恒, Burghardt Andrew, Majumdar Sharmila, 尾崎 誠	整形外科	HR-pQCTによる新しい骨粗鬆症評価in vivo骨梁構造解析と皮質骨多孔化	日本整形外科学会 雑誌 88(3):S601, 2014
475	千葉 恒, Burghardt Andrew , 岡崎成弘, Majumda Sharmila, 伊東昌	整形外科	HR-pQCTによる新しい骨粗鬆症評価 海綿骨と皮質骨の微細構造の相関	日本骨形態計測学 会雑誌 24(2):S137, 2014
476	千葉 恒, Burghardt Andrew, Majumdar Sharmila, 伊東昌	整形外科	HR-pQCTによる新しい骨粗鬆症評価 皮質骨多孔性に関する因子	日本骨代謝学会学 術集会プログラム抄 録集32回41, 2014
477	志田崇之, 小関弘 展, 依田 周, 堀内 英彦, 森永芳智, 柳原克紀, 迫田秀 行, 尾崎 誠	整形外科	生体金属材料表面特性がバイオフィル ム形成に与える影響	日本整形外科学会 雑誌 88(8):S1666, 2014
478	津田圭一, 馬場秀 夫, 田上敦士, 依 田 周, 尾崎 誠	整形外科	CTを用いた健常日本人の頸椎椎弓根 の解剖学的解析 reconstruction CTを 用いた検討	Journal of Spine Research 5(3):673, 2014
479	津田圭一, 田上敦 士, 安達信二, 野 口智恵子, 宮本俊 之, 福島達也, 田 口憲士, 尾崎 誠	整形外科	不安定型骨盤輪骨折に対してS2-alar- iliac screwやLSITを用いて後方固定を 行った小経験	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 207, 2014
480	依田 周, 馬場秀 夫, 田上敦士, 津 田圭一, 尾崎 誠	整形外科	びまん性特発性骨増殖症の有病率と後 縦靭帯、黄色靭帯骨化症との合併につ いて	Journal of Spine Research 5(3):295, 2014
481	依田 周, 小関弘 展, 志田崇之, 堀 内英彦, 迫田秀 行, 尾崎 誠	整形外科	表皮ブドウ球菌付着に影響する表面粗 さの最小限界域	日本骨・関節感染症 学会プログラム・抄 録集 37回:74, 2014
482	依田 周, 小関 弘 展, 志田崇之, 堀 内英彦, 森永芳 智, 柳原克紀, 迫 田秀行, 尾崎 誠	整形外科	表皮ブドウ球菌付着に影響する表面粗 さの最小限界域	日本整形外科学会 雑誌 88(8):S1501, 2014
483	島内誠一郎, 富田 雅人, 下川 功, 尾 崎 誠	整形外科	ラットにおけるカロリー制限の骨代謝に 対する影響と成長ホルモン系の役割の 検討	日本整形外科学会 雑誌 88(8):S1478, 2014
484	松尾洋昭, 梶山史 郎, 尾崎 誠	整形外科	右上腕骨近位端小結節部変形治療に 対し矯正骨切り術を行った一例	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 171, 2014
485	黒木綾子, 穂積 晃, 宮本 力, 木寺 健一, 前田純一 郎, 尾崎 誠	整形外科	大腿骨頭すべり症とスポーツ活動. 九 州・山口スポーツ医	科研究会誌 26:70- 73, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
486	野口智恵子, 小関弘展, 志田崇之, 依田周, 堀内英彦, 森永芳智, 柳原克紀, 迫田秀行, 尾崎誠	整形外科	初期バイオフィルム形成に影響する表面粗さ以外の材料特性	日本関節病学会誌 33(3):388, 2014
487	野口智恵子, 田上敦士, 安達信二, 津田圭一, 尾崎誠	整形外科	当科における脊椎手術症例の術後合併症についての検討	整形外科と災害外科 63(Suppl.2):102, 2014
488	荒木貴士, 梶山史郎, 松尾洋昭, 尾崎誠, 古川敬三	整形外科	Acnes菌による鏡視下腱板修復術後感染の1例	整形外科と災害外科 63(Suppl.1):63, 2014
489	飯田健, 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	上膝蓋アプローチによる脛骨髄内釘の治療成績	骨折 36(Suppl.): S127, 2014
490	白石和輝, 宮本俊之, 福島達也, 尾崎誠	整形外科	高エネルギー外傷に伴う鎖骨骨折症例の特徴	骨折36(Suppl.): S230, 2014
491	白石和輝, 穂積晃, 宮本力, 木寺健一, 前田純一郎, 黒木綾子, 根井吾郎, 尾崎誠	整形外科	人工股関節置換術後に非外傷性ステム周囲骨折を生じた一例	整形外科と災害外科 63(Suppl.1):41, 2014
492	白石和輝, 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	髄内釘固定術後の大腿骨骨幹部偽関節に対する遅漏法の検討	骨折 36(Suppl.)S315, 2014
493	根井吾郎, 米倉暁彦, 小関弘展, 千葉恒, 白石和輝, 尾崎誠	整形外科	50歳以上の中高年における膝前十字靭帯再建術の治療成績	整形外科と災害外科 63(Suppl.1):105, 2014
494	杉原祐介, 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠	整形外科	長崎大学病院外傷センター・救命救急センターにおける壊死性軟部組織感染症の治療経験	整形外科と災害外科 63(Suppl.2):191, 2014
495	徳永敬介, 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 鶴展寿, 杉原祐介, 尾崎誠	整形外科	Bosworth型足関節脱臼骨折の1例	整形外科と災害外科 63(Suppl.2):237, 2014
496	新見龍士, 米倉暁彦, 小関弘展, 宮本力, 千葉恒, 金丸由美子, 西紘太郎, 尾崎誠	整形外科	大腿骨遠位外反変形を伴う内反型変形性膝関節症に対しdouble osteotomyを行った一例	整形外科と災害外科 63(Suppl.2):118, 2014
497	西亜紀, 富田雅人, 宮田倫明, 飯田健, 尾崎誠	整形外科	腸骨翼に発生した骨巨細胞腫切除後に骨セメントで腸骨翼を再建した1例	整形外科と災害外科 63(Suppl.2):146, 2014
498	西紘太郎, 宮本力, 新見龍士, 千葉恒, 松林昌平, 穂積晃, 尾崎誠, 辻本律	整形外科	多中心性細網組織球症に生じた手指変形に対し関節固定術を行った一症例	整形外科と災害外科 63(Suppl.2):226, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
499	鶴 展寿, 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 杉原祐介, 徳永敬介, 尾崎 誠	整形外科	外傷治療の進歩 偽関節・骨髄炎に対するRIA(Reamer Irrigator Aspirator)の使用経験	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 75, 2014
500	中田活也, 秋山慶輔, 後藤久貴, 穂積 晃, 木寺健一, 尾崎 誠, 和田大志, 西野衆文, 三島 初	整形外科	テーパーウェッジ型ステムANTHOLOGYの初期固定様式に関する三次元的解析 他施設共同研究	日本整形外科学会雑誌 88(3): S806, 2014
501	生田 太, 米田佳, 宮路剛史, 木寺健一, 米倉暁彦, 蒲田和芳	整形外科	: 一次性内側型変形性膝関節における端坐位膝屈伸運動中の異常キネマティクスの進行過程	JOSKAS 39(4): 165, 2014
502	花谷拓也, 松林昌平, 宮本 力, 穂積 晃, 千葉 恒, 米倉暁彦, 小関弘展, 黒木綾子, 金丸由美子, 新見龍士, 西 紘太郎, 尾崎 誠, 岡野邦彦, 榎本 寛	整形外科	当院における広範囲展開法の治療成績	整形外科と災害外科 63(Suppl.2): 210, 2014
503	浅井 幸, 富田 元, 林 徳真吉, 宇谷厚志	皮膚科	稗粒腫様特発性皮膚石灰沈着症を合併したDown症候群の1例	西日本皮膚科76(2): 88-91, 2014
504	富村沙織, 竹中基, 西本勝太郎, 宇谷厚志	皮膚科	ヘアブラシ法によるスクリーニングを実施した幼児頭部Microsporum canis感染症	日本小児皮膚科学会雑誌33(3): 281-285, 2014
505	三長孝輔, 山下幸孝, 宇谷厚志, 谷口洋平, 幡丸景一, 中谷泰樹, 赤松拓司, 瀬田剛史, 浦井俊二, 上	皮膚科	胃粘膜生検後に出血性ショックを来した弾性線維性仮性黄色腫の1例	日本消化器内視鏡学会雑誌56(5): 1756-1762, 2014
506	廣瀬寮二, 武石恵美子, 神尾芳幸, 富村沙織, 三根義	皮膚科	日光角化症の臨床診断の不確かさと危険性	Skin Cancer 29(1): 33-37, 2014
507	富田 元	皮膚科	創傷治癒における細胞外マトリックスの一つであるパーシカンの関与、RNAiによる検討	コスメロジー研究報告22(130-133), 2014
508	神尾芳幸, 原 肇秀, 宇谷厚志	皮膚科	【結節性紅斑とその周辺】<臨床例>結節性紅斑様皮疹を呈したサルコイドーシス	皮膚病診療36(1): 23-26, 2014
509	遠藤雄一郎, 白瀬智之, 戸田憲一, 宇谷厚志, 吉川義	皮膚科	【小児の皮膚病・腫瘍、母斑】頭部に生じた孤立性コラゲノーマ	皮膚病診療36(11): 1053-1056, 2014
510	竹中 基	皮膚科	スポロトリコーシス	小児内科46(12): 1838-1843, 2014
511	宇谷厚志	皮膚科	【新・皮膚科セミナー】真皮細胞外マトリックス病変から全身疾患を診断	日本皮膚科学会雑誌124(5): 909-915, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
512	宇谷厚志	皮膚科	弾性線維性仮性黄色腫の現況と展望	日本臨牀72(11): 2073-2077, 2014
513	竹中 基	皮膚科	【臨床所見による鑑別診断のポイント】 白癬をどのように診るか	Clinical Derma 16(2): 7-8, 2014
514	峯 嘉子	皮膚科	【内科医のための皮疹の診かたのロ ジック】内科医が診る皮膚疾患 診断・ 治療とコンサルテーション 伝染性膿痂疹	Medicina 51(5): 911- 913, 2014
515	宇谷厚志	皮膚科	浮腫性硬化症診断の決め手ー診断に 苦渋したときの解決法は？	(宮地良樹(編): 苦 手な外来皮膚疾患 100の解決法, メディ カルレビュー社, 東 京, pp132-133所収)
516	宇谷厚志, 鍛塚 大	皮膚科	油症認定患者におけるIL-26の検討. 食 品を介したダイオキシン類等の人体へ の影響の把握とその治療法の開発等に 関する研究	平成25年度厚生労 働科学研究費補助 金(食品の安全確保 推進研究事業)総 括・分担研究報告書, pp. 87-91, 2014
517	宇谷厚志, 峯 嘉 子	皮膚科	油症認定患者におけるIL-33の検討. 食 品を介したダイオキシン類等の人体へ の影響の把握とその治療法の開発等に 関する研究	平成25年度厚生労 働科学研究費補助 金(食品の安全確保 推進研究事業)総 括・分担研究報告書, pp. 92-96, 2014
518	宇谷厚志, 谷岡未 樹, 荻 朋男, 山本 洋介, 田村 寛, 佐々木隆子	皮膚科	皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群 の網羅的研究 研究項目: 弾性線維性 仮性黄色腫. 皮膚の遺伝関連性希少難 治性疾患群の網羅的研究	平成24年度~25年 度厚生労働科学研 究費補助金(難治性 疾患等政策研究事 業(難治性疾患政策 研究事業))総合研 究報告書, pp. 118-124,
519	宇谷厚志, 谷岡未 樹, 荻 朋男, 山本 洋介, 田村 寛, 佐々木隆子	皮膚科	皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群 の網羅的研究 研究項目: 弾性線維性 仮性黄色腫. 皮膚の遺伝関連性希少難 治性疾患群の網羅的研究	平成25年度厚生労 働科学研究費補助 金(難治性疾患等政 策研究事業(難治性 疾患政策研究事業)) 総括研究報告書, pp. 72-79, 2014
520	本多 舞, 竹中 基, 吉見公佑, 富村沙 織, 宇谷厚志	皮膚科	繰り返す外陰部潰瘍を呈し、診断に苦 慮した固定薬疹の1例	Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergy 8(5): 507,
521	竹中 基, 富村沙 織, 宇谷厚志	皮膚科	遺伝性血管性浮腫の親子例	アレルギー 63(3-4): 624, 2014
522	山口さやか, 金澤 伸雄, 曾我部陽 子, 安田正人, 伊 崎誠一, 宇谷厚 志, 高橋健造, 上	皮膚科	栄養障害性皮膚炎で共通した表皮ラン ゲルハンス細胞の消失 ペラグラでの解 析	西日本皮膚科 76(2): 170, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
523	岩永 聰, 与崎マリ子, 八木洋輔, 前村浩二, 築城英子, 北岡 隆, 谷岡未樹, 田村 寛, 山本洋介, 服部友保, 磯貝善蔵, 宇谷厚志, 荻 朋男,	皮膚科	皮膚疾患の病態解明と治療の最前線 アレルギー性疾患他 日本人弾性線維性仮性黄色腫症患者におけるABCC6遺伝子変異	西日本皮膚科 76(3): 266, 2014
524	村山直也, 富田元, 八木洋輔, 鋤塚大, 林 徳真吉, 宇谷厚志	皮膚科	Palisaded neutrophilic and granulomatous dermatitisと診断した1例	西日本皮膚科 76(3): 277, 2014
525	竹中 基, 宇谷厚志, 西本勝太郎	皮膚科	長崎県下におけるTrichophyton tonsurans感染症 2003年から2012年の	西日本皮膚科 76(3): 288, 2014
526	富田 元, 鋤塚大, 小池雄太, 浅井幸, 小川文秀, 西村直樹, 谷岡未樹, 宇谷厚志	皮膚科	分子標的薬が奏効した血管肉腫の2例	西日本皮膚科 76(3): 291, 2014
527	富村沙織, 竹中基, 市川辰樹, 宇谷厚志	皮膚科	テラプレビルによる重症薬疹の1例と当院におけるテラプレビルによる皮膚障害のまとめ	西日本皮膚科 76(4): 403, 2014
528	鋤塚さやか, 鋤塚大, 富村沙織, 竹中 基, 中山大介, 宇谷厚志	皮膚科	筋弛緩薬ロクロニウムによるアナフィラキシーショックの1例	西日本皮膚科 76(4): 403, 2014
529	吉見公佑, 横山洋子, 神戸太郎, 原肇秀	皮膚科	黄色腫を契機にシステロール血症の診断に至った幼児例	西日本皮膚科 76(4): 403-404, 2014
530	吉見公佑, 横山洋子, 神戸太郎, 原肇秀	皮膚科	黄色腫を契機にシステロール血症の診断に至った幼児例	西日本皮膚科 76(4): 403-404, 2014
531	東 美智子, 小川文秀, 一ノ宮 愛, 林 徳真吉, 一ノ瀬弥久, 宇谷厚志	皮膚科	IgG4関連疾患の皮膚病変と診断した1例	西日本皮膚科 76(4): 405, 2014
532	浅井 幸, 清水和宏, 宇谷厚志	皮膚科	Parry-Romberg症候群の1例	西日本皮膚科 76(4): 405, 2014
533	富田 元, 宇谷厚志	皮膚科	当院における脱毛症患者の治療と予後に関する報告	西日本皮膚科 76(4): 405, 2014
534	竹中 基, 宇谷厚志, 西本勝太郎	皮膚科	長崎県下におけるTrichophyton tonsurans感染症 2003年から2012年の	西日本皮膚科 76(4): 405, 2014
535	村山直也, 小池雄太, 浅井 幸, 富田元, 宇谷厚志	皮膚科	第2期梅毒の1例	西日本皮膚科 76(4): 405, 2014
536	原 肇秀, 横山洋子, 吉見公佑, 秀	皮膚科	コリン性蕁麻疹の1例	西日本皮膚科 76(4): 405-406, 2014
537	峯 嘉子, 富村沙織, 池原 進, 宇谷	皮膚科	二重膜濾過血漿交換療法(DFPP)が奏効した水疱性類天疱瘡の1例	西日本皮膚科 76(4): 406, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
538	本多 舞, 浅井 幸, 神尾芳幸, 小池雄太, 富田 元, 鋤塚大, 小川文秀, 林徳眞吉, 木下直江, 宇谷厚志	皮膚科	Spindle cell squamous cell carcinoma(SCSCC)の局所再発が疑われた1例	西日本皮膚科 76(4): 407, 2014
539	吉見公佑, 佐藤之恵, 富田 元, 宇谷厚志	皮膚科	シェーグレン症候群に合併した皮膚結節性アミロイドーシスの1例	西日本皮膚科 76(5): 510, 2014
540	東 美智子, 富村沙織, 加島志郎, 福岡順也, 宇谷厚志	皮膚科	融合性細網状乳頭腫症の1例	西日本皮膚科 76(5): 511, 2014
541	村山直也, 小池雄太, 池原 進, 田崎典子, 宇谷厚志	皮膚科	ペバシズマブ投与により創傷治癒遅延を来した1例	西日本皮膚科 76(5): 511, 2014
542	本多 舞, 吉見公佑, 鋤塚大, 富村沙織, 竹中 基, 堀眞, 宇谷厚志	皮膚科	当初蕁麻疹様血管炎を疑ったChurg-Strauss症候群の1例	西日本皮膚科 76(5): 511, 2014
543	一ノ宮 愛, 竹中基, 宇谷厚志, 一ノ瀬弥久, 西本勝	皮膚科	Microsporium gypseumによる小児顔面白癬の1例	西日本皮膚科 76(5): 511, 2014
544	横山洋子, 神尾芳幸, 吉見公佑, 原肇秀	皮膚科	エリスリトールによるアナフィラキシーの1例	西日本皮膚科 76(5): 511, 2014
545	岡田佳与, 遠藤雄一郎, 藤澤章弘, 谷岡未樹, 梶島健治, 宮地良樹, 宇谷厚志	皮膚科	ドセタキセルによる皮膚硬化の病態 真皮コラーゲンとヒアルロン酸の検討	日本皮膚科学会雑誌 124(4): 803, 2014
546	鋤塚さやか, 一ノ瀬弥久, 岩永 聡, 笹岡和夫, 富村沙織, 宇谷厚志	皮膚科	Eruptive Collagenoma近縁疾患の2例	日本皮膚科学会雑誌 124(4): 811, 2014
547	小池真美, 大谷翼伶, 嶋岡弥生, 濱崎洋一郎, 岩永聡, 宇谷厚志, 高望美, 阿久津行永, 旗持 淳	皮膚科	ABCC6遺伝子変異を認めた弾性線維性仮性黄色腫(PXE)の姉妹例	日本皮膚科学会雑誌 124(4): 813, 2014
548	小池雄太, 村山直也, 富田 元, 宇谷厚志	皮膚科	JAK阻害剤投与中に発生したメルケル細胞癌の1例	日本皮膚科学会雑誌 124(4): 820, 2014
549	湯浅千春, 原口康平, 原田定智, 里龍晴, 白川利彦, 中富明子, 森内浩幸, 八木洋輔, 宇谷厚志, 柳原克紀	皮膚科	TSST-1産生黄色ブドウ球菌感染に伴ったシェーンライン・ヘンツホ紫斑病の1例	日本小児科学会雑誌 118(9): 1380, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
550	白川利彦, 原口康平, 湯浅千春, 原田定智, 里龍晴, 森内浩幸, 中富明子, 八木洋輔, 宇谷厚志, 柳原克紀	皮膚科	Leukocytoclastic vasculitisを呈したTSST-1産生黄色ブドウ球菌菌血症の一例	小児感染免疫 26(1): 170-171, 2014
551	吉見公佑, 村山直也, 本多舞, 富田元, 鋤塚大, 宇谷厚志	皮膚科	皮膚原発粘液癌の1例	日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集 30回: 140, 2014
552	竹中基	皮膚科	皮膚糸状菌の最近の動向～真菌培養の重要性～	マルホ皮膚科セミナー放送内容集, 227: 45-49, 2014
553	竹原浩介, 大仁田亨, 望月保志, 宮田康好, 井川掌, 酒井英樹	泌尿器科	婦人科癌および消化器癌による尿管閉塞に対する尿管ステント留置術の検討	泌尿器科紀要60(1): 13-16, 2014
554	竹原浩介, 大仁田亨, 光成健輔, 志田洋平, 計屋知彰, 安井和明, 中村太祐, 江川亜希子, 山崎拓也, 林靖之, 井川掌, 酒	泌尿器科	中間リスク限局性前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源永久挿入治療の検討	泌尿器外科27(8): 1341-1343, 2014
555	志田洋平, 中川武弥, 高山賢一, 井上聡, 井川掌, 酒井英樹, 伊藤敬	泌尿器科	アンドロゲンレセプターによるin vitro転写システムの確立とその応用	泌尿器外科27(8): 1211-1213, 2014
556	大庭康司郎, 宮田康好, 浅井昭宏, 光成健輔, 鹿子木桂, 松尾朋博, 酒井英樹	泌尿器科	: 腹腔鏡下腎摘除術における周術期合併症の臨床的検討	Japanese Journal of Endourology27(1): 132-136, 2014
557	松尾朋博, 大庭康司郎, 宮田康好, 井川掌, 酒井英	泌尿器科	仙髄神経領域の帯状疱疹により排尿障害を合併した高齢患者の4例	泌尿器科紀要60(2): 87-90, 2014
558	竹原浩介, 酒井英樹	泌尿器科	外科医が診る副腎疾患】褐色細胞腫. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌31	175-179, 2014
559	計屋知彰, 酒井英樹	泌尿器科	【そっと教えます 知っていないと恥ずかしい泌尿器科特有の薬物療法と身体の変化】前立腺肥大症の薬物療法と身体の変化	泌尿器ケア19(7): 727-730, 2014
560	錦戸雅春, 岩田隆寿, 望月保志, 酒井英樹	泌尿器科	【透析・腎移植のすべて】腎移植手術透析歴が永く廃用性萎縮膀胱例	腎と透析76増刊: 595-597, 2014
561	宮田康好, 酒井英樹	泌尿器科	腎盂・尿管癌に対する内視鏡手術 腹腔鏡手術と腎温存治療	腎盂・尿管癌に対する内視鏡手術 腹腔鏡手術と腎温存治療
562	竹原浩介, 計屋知彰, 酒井英樹	泌尿器科	Genitourinary Tumor 泌尿器系腫瘍	前立腺癌と化学療法41(1): 47-49, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
563	酒井英樹	泌尿器科	XIV-4 前立腺癌	(門脇孝, 小室一成, 宮地良樹(監):診療ガイドラインUP-TO-DATE 2014-2015, メディカルレビュー社, 大阪, pp.783-787所収)2014
564	渡邊健人, 上松聖典, 藤川亜月茶, 鈴間 潔, 鈴木貴久, 北岡 隆	眼科	角膜実質炎で初発し全身性の炎症性病変を併発したCogan症候群の1例	臨床眼科 68: 1319-1324, 2014
565	鈴間 潔	眼科	特集網膜剥離診療・増殖硝子体網膜症	眼科 56: 1065-1069, 2014
566	鈴間 潔	眼科	網膜・硝子体出血	・(坂本泰二(編):眼科診療クオリファイ 21 眼救急疾患スクラブル, 中山書店, 東京, pp. 79-81所収)
567	上松聖典	眼科	「角膜の検査」に関するギモン10	10. (大長郁恵, 栗津菜摘, 西川雅子(編):眼科ケア16, メディカ出版, 大阪, pp. 64-69所収)2014
568	植木亮太郎	眼科	角膜形状と眼内レンズ選択	・(大鹿哲郎(編):専門医のための眼科診療クオリファイ20 眼内レンズの使い方, 中山書店, 東京, pp. 55-61所収)
569	植木亮太郎	眼科	Terrien角膜辺縁変性	・(井上幸次(編):専門医のための眼科診療クオリファイ25 角膜混濁のすべて, 中山書店, 東京, pp. 110-112所収)2014
570	三島一晃	眼科	【糖尿病と合併症の病態がみえてくる カラー図説で学ぶ糖尿病】糖尿病網膜症 目(網膜)のはたらきと糖尿病網膜症	・(富園千夏, 酒井千裕, 野中美穂, 西川雅子(編):糖尿病ケア11, メディカ出版, 大阪, pp. 140-141) 2014
571	三島一晃	眼科	【糖尿病と合併症の病態がみえてくる カラー図説で学ぶ糖尿病】糖尿病網膜症 単純網膜症の病態と治療	・(富園千夏, 酒井千裕, 野中美穂, 西川雅子(編):糖尿病ケア11, メディカ出版, 大阪, pp. 142-143) 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
572	三島一晃	眼科	【糖尿病と合併症の病態がみえてくる カラー図説で学ぶ糖尿病】糖尿病網膜症増殖前網膜症の病態と治療	・(富園千夏, 酒井千裕, 野中美穂, 西川雅子(編):糖尿病ケア11, メディカ出版, 大坂, pp. 144-145) 2014
573	三島一晃	眼科	【糖尿病と合併症の病態がみえてくる カラー図説で学ぶ糖尿病】糖尿病網膜症増殖網膜症の病態と治療	・(富園千夏, 酒井千裕, 野中美穂, 西川雅子(編):糖尿病ケア11, メディカ出版, 大坂, pp. 146-147) 2014
574	三島一晃	眼科	【糖尿病と合併症の病態がみえてくる カラー図説で学ぶ糖尿病】糖尿病網膜症糖尿病黄斑症・糖尿病緑内障・白内障の病態と治療・予後	・(富園千夏, 酒井千裕, 野中美穂, 西川雅子(編):糖尿病ケア11, メディカ出版, 大坂, pp. 148-149) 2014
575	山口仁平, 金子賢一, 高橋晴雄, 木下直江	耳鼻咽喉科	中咽頭に発生した血管周皮細胞腫例	耳鼻咽喉科臨床 107:31-36, 2014
576	高橋晴雄	耳鼻咽喉科	アルゴリズムに沿った治療法とそのエビデンス-発症後3カ月未満の場合	JOHNS 30:31-32, 2014
577	吉田晴郎, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	【治療アルゴリズムにそった小児滲出性中耳炎の取り扱い】アルゴリズムにそった治療法とそのエビデンス 良聴耳の聴力レベルが正常範囲の場合	JOHNS 30:53-55, 2014
578	高橋晴雄	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科学のパイオニア日本編15-後藤敏郎	JOHNS 30 : 1060-1063, 2014
579	高橋晴雄, 森望, 伊藤健, 遠藤周一郎, 小川洋, 萩森伸一, 山野貴史	耳鼻咽喉科	側頭骨組織病理標本データベース構築	Otology Japan 24:249-252, 2014
580	高橋晴雄, 森望, 伊藤健, 遠藤周一郎, 小川洋, 萩森伸一, 山野貴史	耳鼻咽喉科	【側頭骨手術解剖教育と側頭骨病理組織データベース構築】	側頭骨組織病理標本データベース構築 Otology Japan 24(3):249-252, 2014
581	金子賢一	耳鼻咽喉科	7. 気管切開(飯原弘二(編):脳神経外科診療プラクティス	2 脳神経外科の基本手技、文光堂、東京 大阪府耳鼻咽喉科医会会報 81:34-60, 2014
582	高橋晴雄	耳鼻咽喉科	中耳換気・調圧と中耳病態(講演録)	長崎市医師会報 48:17-20, 2014
583	吉田晴郎, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	高度感音難聴患者への人工内耳医療	日本耳鼻咽喉科学会会報 117(4):467, 2014
584	岩崎聡, 神崎晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 山中昇, 土井勝美, 内藤泰, 暁清文, 東野哲也, 高橋晴	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験 適応と対象者について	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
585	松田圭二, 東野哲也, 神崎 晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 岩崎 聡, 山中昇, 土井勝美, 内藤 泰, 暁 清文, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験 静寂下、雑音下の語音聴取成績	日本耳鼻咽喉科学会会報117(4):467, 2014
586	土井勝美, 岩崎聡, 宇佐美真一, 熊川孝三, 神崎晶, 山中昇, 内藤泰, 暁 清文, 東野哲也, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳MVS(Vibrant Soundbridge)臨床治験 中耳疾患に対するMVS手術の実際	日本耳鼻咽喉科学会会報 117(4):468, 2014
587	熊川孝三, 神崎晶, 宇佐美真一, 岩崎 聡, 山中昇, 土井勝美, 内藤 泰, 暁 清文, 東野哲也, 高橋晴	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳(Vibrant Soundbridge)の臨床治験 アンケートによる自覚的評価結果について	日本耳鼻咽喉科学会会報 117(4):468, 2014
588	神田幸彦, 吉田晴郎, 原 稔, 畑地憲輔, 木原千春, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	人工内耳による耳鳴抑制効果についての考察	日本耳鼻咽喉科学会会報 117(4):557, 2014
589	陣内進也, 高野篤, 石丸幸太郎, 金子賢一, 田中克己, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	: 再建術を要した口腔癌術後原発巣再発症例の手術成績	頭頸部癌 40(2):158, 2014
590	金子賢一, 陣内進也, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	甲状腺弁による再建術を行った輪状軟骨原発軟骨肉腫例頭頸部癌	40(2):234, 2014
591	畑地憲輔, 道祖尾弦, 高橋晴雄, 土井勝美	耳鼻咽喉科	Med-EL製人工中耳システム(VSB)の経験例	聴力改善不成功例の検討 耳鼻咽喉科臨床補冊139:60,
592	花牟禮聡美, 北岡杏子, 吉田晴郎, 高橋晴雄, 田畑和宏	耳鼻咽喉科	当科で経験した側頭骨巨細胞腫の1症例	耳鼻咽喉科臨床補冊139:74, 2014
593	岩崎 聡, 神崎晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 山中昇, 土井勝美, 内藤 泰, 暁 清文, 東野哲也, 高橋晴	耳鼻咽喉科	本邦で実施した人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験について	耳鼻咽喉科臨床補冊139:81, 2014
594	北岡杏子, 吉田晴郎, 神田幸彦, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	長崎県先天性サイトメガロウイルス感染症対策プロジェクト(案)について	耳鼻咽喉科臨床補冊139:125, 2014
595	渡邊 毅, 金子賢一, 山口仁平, 吉田晴郎, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	直達鏡下瘻孔焼灼術および粘膜縫合術を行った下咽頭梨状窩瘻例	耳鼻咽喉科臨床補冊139:131, 2014
596	山口仁平, 金子賢一, 石丸幸太郎, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	遊離空腸再建後に生じた気管空腸瘻の治療経験	耳鼻咽喉科臨床補冊139:133, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
597	穂山直太郎, 福田智美, 高橋晴雄, 小路武彦	耳鼻咽喉科	ペプチドハイドロゲル被包細胞移植によるラット中耳粘膜再生の検討	日本組織細胞化学会総会・学術集会講演プログラム・予稿集 55回:78, 2014
598	原 稔, 畑地憲輔, 神田幸彦, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	Incomplete partition type2と前庭水管拡大症の病態	画像所見と聴力から Otology Japan24(4):591, 2014
599	岩崎 聡, 神崎晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 土井勝美, 内藤 泰, 暁清文, 東野哲也, 高橋晴雄, 神田幸彦	耳鼻咽喉科	本邦で実施した人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験の概要について	Otology Japan 24(4):615, 2014
600	畑地憲輔, 高橋晴雄, 神崎 晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 岩崎 聡, 土井勝美, 内藤 泰, 暁清文, 東野哲也, 神田幸彦	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳(Vibrant Soundbridge)の臨床治験 静寂下、雑音下の語音聴取成績	Otology Japan 24(4):616, 2014
601	土井勝美, 岩崎聡, 神崎 晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 山中 昇, 内藤泰, 暁清文, 東野哲也, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	人工中耳MVSの伝音難聴・混合性難聴に対する有効性・安全性の検証試験 アンケートによる自覚的評価	Otology Japan24(4):617, 2014
602	塚田景大, 茂木英明, 宮川麻衣子, 西尾信哉, 工 穰, 岩崎 聡, 熊川孝三, 内藤 泰, 高橋晴雄, 神田幸彦, 東野哲也, 宇佐美真一	耳鼻咽喉科	残存聴力活用型人工内耳(EAS)30例(32耳)の術後成績について	Otology Japan 24(4):642, 2014
603	神田幸彦, 吉田晴郎, 原 稔, 畑地憲輔, 木原千春, 北岡杏子, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	ES(Electric Stimulation)の一症例	Otology Japan 24(4):644, 2014
604	松田圭二, 東野哲也, 神崎 晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 岩崎 聡, 山中 昇, 土井勝美, 内藤 泰, 暁清文, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	先天性外耳道閉鎖症へのVSB手術 Subfacial approachによるFMTの正円窓留置	Otology Japan 24(4):703, 2014
605	岩崎 聡, 神崎晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 土井勝美, 内藤 泰, 暁清文, 東野哲也, 高橋晴雄, 神田幸彦	耳鼻咽喉科	人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験の概要と安全性について	Audiology Japan 57(5):555-556, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
606	熊谷文愛, 射場恵, 熊川孝三, 武田英彦, 神崎 晶, 宇佐美真一, 岩崎聡, 土井勝美, 内藤 泰, 暁 清文, 東野哲也, 高橋晴雄, 神田幸彦	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験 フィッティング手技について	Audiology Japan 57(5):557-558, 2014
607	松田圭二, 東野哲也, 神崎 晶, 熊川孝三, 宇佐美真一, 岩崎 聡, 山中昇, 土井勝美, 内藤 泰, 暁 清文, 高橋晴雄	耳鼻咽喉科	本邦における人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験 アンケートによる自覚的評価結果について	Audiology Japan 57(5):561-562, 2014
608	神田幸彦, 高橋晴雄, 宇佐美真一, 土井勝美, 熊川孝三, 東野哲也, 内藤 泰, 暁 清文, 小川 郁, 岩崎聡, 加我君孝	耳鼻咽喉科	本邦で実施した人工中耳(Vibrant Soundbridge)臨床治験における補聴器と人工中耳の比較検討	udiology Japan 57(5):565-566, 2014
609	土井勝美, 神崎晶, 岩崎 聡, 熊川孝三, 宇佐美真一, 山中 昇, 内藤 泰, 暁 清文, 東野哲也, 高橋晴雄, 神田幸彦	耳鼻咽喉科	人工中耳MVSの伝音難聴・混合性難聴に対する有効性・安全性の検証試験 静寂下および雑音下の語音聴取成績	Audiology Japan 57(5):567-568, 2014
610	福田修志, 林 健太郎, 堀江信貴, 森川 実, 山口 将, 諸藤陽一, 日宇健, 永田 泉	放射線科	: 頸部放射線照射後の頸動脈狭窄に対してproximalおよびdistal protectionを併用し頸動脈ステント留置術を施行した1例	Neurological Surgery 42:635-639,2014
611	福田修志, 林 健太郎, 山口 将, 堀江信貴, 森川 実, 陶山一彦, 永田	放射線科	Pushable coilで母血管閉塞術を施行したcarotid blowout syndromeの1例	Neurological Surgery 42:615-620,2014
612	竹原浩介, 大仁田亨, 光成健輔, 志田洋平, 計屋知彰, 安井和明, 中村太祐, 江川亜希子, 山崎拓也, 林靖之, 井川 掌, 酒	放射線科	中間リスク限局性前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源永久挿入治療の検討	泌尿器外科 27: 1341-1343 2014
613	川上 純, 川尻真也, 玉井慎美, 上谷雅孝	放射線科	【関節疾患の画像診断:変形性関節症(OA)と関節リウマチ(RA)]早期関節リウマチの診断と治療戦略	映像情報Medical 46:29-34,2014
614	林 秀行, 芦澤和人, 上谷雅孝	放射線科	mosaic patternの鑑別	画像診断 34:196-199,2014
615	林 秀行, 芦澤和人, 上谷雅孝	放射線科	肺動脈内の陰影欠損	画像診断34:200-203,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
616	長山拓希, 芦澤和人, 末吉英純, 坂本一郎, 上谷雅孝	放射線科	呼吸機能障害を来す病態の画像- 肺血栓塞栓症	呼吸と循環 62:154-164,2014
617	川原康弘, 上谷雅孝	放射線科	骨軟部領域のcommon diseaseの画像スペクトラム-股関節-	画像診断 34:293-305,2014
618	末吉英純	放射線科	大動脈解離の画像診断	臨床画像30:338-399,2014
619	玉井慎美, 上谷雅孝, 川尻真也, 川上純	放射線科	【最新関節リウマチ学-寛解・治癒を目指した研究と最新治療-】関節リウマチの検査・診断 検査 画像検査 関節MRI、超音波検査	日本臨床72:最新関節リウマチ学:253-257,2014
620	坂本一郎	放射線科	急性肺血栓閉塞症の診断と治療-肺血栓塞栓症におけるMDCTの役割	映像情報Medical 46:441-443,2014
621	玉井慎美, 川尻真也, 上谷雅孝, 川上純	放射線科	【関節リウマチ-診断と治療の進歩】早期診断における画像検査の役割	カレントセラピー 32:433-438,2014
622	芦澤和人, 林秀行, 上谷雅孝	放射線科	【ビギナーのための胸部画像診断-Q&Aアプローチ-】シルエットサイン シルエットサインの基本について教えてください	画像診断34:818-820, 2014
623	芦澤和人, 林秀行, 上谷雅孝	放射線科	【ビギナーのための胸部画像診断-Q&Aアプローチ-】シルエットサイン シルエットサインの応用にはどのようなものがあるか	画像診断 34:821-823,2014
624	末吉英純	放射線科	循環器領域の放射線画像診断のピットホール	Medicina 51:1639-1643,2014
625	井手口怜子, 森川実, 榎園美香子	放射線科	Tumors of the meninges: Tumor of meningothelial cells	cells.(監修)興梠征典,編集)安陪等思,編著)平井俊範/野口智幸/古川又一:WHO分類による脳腫瘍のMRI,金原出版,東京,126-163所収
626	林秀行	放射線科	第6章 心臓・大血管 心嚢液貯留、収縮性心膜炎、心膜部分欠損、心膜滑膜肉腫、心臓粘液腫、胸部大動脈瘤、胸部大動脈カア瘻理、マルファン症候群、高安動脈炎、肺動脈内膜肉腫、部分肺静脈還流異常	.(芦澤和人(編):Atlas Series CT/MRI編 病理像との対比と参考症例に学ぶ胸部の画像診断2.奇形・縦隔、胸膜他、ベクトルコア,東京,112-133所収) 2014
627	山口哲治	放射線科	7章 血液・骨髄疾患:悪性リンパ腫	.(青木 純,青木隆敏,上谷雅孝,江原 茂,神島 保,杉本英治,福田国彦,藤本 肇(編):骨軟部画像診断スタンダード,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,284-285所収) 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
628	上谷雅孝	放射線科	8章 関節疾患: 関節疾患における単純写真の読影	(青木 純,青木隆敏, 上谷雅孝,江原 茂,神島 保,杉本英治,福田国彦,藤本 肇(編):骨軟部画像診断スタンダード, メディカルサイエンスインターナショナル,294-298 所収)2014
629	山口哲治	放射線科	8章 関節疾患: 腱黄色腫	(青木 純,青木隆敏, 上谷雅孝,江原 茂,神島 保,杉本英治,福田国彦,藤本 肇(編):骨軟部画像診断スタンダード,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,318-319所収) 2014
630	山口哲治	放射線科	8章 関節疾患: アミロイド関節症(主に透析アミロイドーシス)	(青木 純,青木隆敏, 上谷雅孝,江原 茂,神島 保,杉本英治,福田国彦,藤本 肇(編):骨軟部画像診断スタンダード,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,320-323所収) 2014
631	上谷雅孝	放射線科	9章 その他の疾患: 肩甲上神経絞扼	(青木 純,青木隆敏, 上谷雅孝,江原 茂,神島 保,杉本英治,福田国彦,藤本 肇(編):骨軟部画像診断スタンダード,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,368-369所収) 2014
632	山口哲治	放射線科	その他の疾患	一過性大腿骨頭萎縮症(青木 純,青木隆敏,上谷雅孝,江原茂,神島 保,杉本英治,福田国彦,藤本 肇(編):骨軟部画像診断スタンダード,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,372-373所収)
633	上谷雅孝	放射線科	基盤研究(C) 関節リウマチにおける3テスラ高解像度MRIによる手関節の骨・軟骨病変解析の研究	日本学術振興会 平成26年度研究報告書, 2014
634	末吉英純	放射線科	基盤研究(C) MRIによる心筋遅延造影法を用いた心筋線維化定量化法の確立	日本学術振興会 平成26年度研究報告書, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
635	増崎英明	産科婦人科	出生前診断の何が問題か？	日本周産期・新生児 医学会雑誌 49(4):1183-1186, 2014
636	増崎英明	産科婦人科	27年間にわたって継続中のHTLV-1母 子感染予防の実績と将来展望	感染症44(6): 26-31, 2014
637	三浦清徳, 増崎英 明	産科婦人科	母体血を用いた胎児診断 Non-invasive prenatal tests using fetal DNA in maternal circulation	日本産婦人科・新生児 血液学会誌 23(2): 9-18, 2014
638	三浦清徳	産科婦人科	アレイCGHを用いた胎児診断	日本医師会誌 143(6):1164-1165, 2014
639	三浦清徳, 増崎英 明	産科婦人科	「診療ガイドライン産科編2014 改訂と追 加のポイント」出生前診断としての染色 体検査・遺伝子検査の実施上の留意点	臨床婦人科産科 68(8): 763-770, 2014
640	三浦清徳	産科婦人科	第66回日本産科婦人科学会学術講演 会 クリニカルカンファランス13(周産期) 1.胎児発育・形態評価	日本産科婦人科学 会誌6(9): 2167-2171, 2014
641	三浦清徳, 金内優 典, 松本亜由美, 高野 玲, 淵直 樹, 阿部修平, 木 下直江, 福岡順 也, 増崎英明	産科婦人科	腹腔鏡下手術で摘出した卵巣成熟嚢胞 性奇形腫に認められた微小な島状カル チノイドの1例	長崎医学会雑誌 89(4): 232-237, 2014
642	金内優典, 吉田 敦, 松本加奈子, 松本亜由美, 平木 宏一, 阿部修平, 淵直樹, 木下直 江, 三浦清徳, 福 岡順也, 増崎英明	産科婦人科	腹腔鏡下手術で摘出した稀な腔壁原発 充実性腫瘍の1例	長崎医学会雑誌 89(4): 244-249, 2014
643	金内優典, 増崎英 明	産科婦人科	妊娠に合併した卵巣腫瘍 -borderline malignancy-	ペリネイタルケア 33(6): 528-531, 2014
644	吉田 敦, 増崎英 明	産科婦人科	Amniotic fluid sludge と流早産	ペリネイタルケア 33(5): 428-431, 2014
645	井上統夫, 増崎英 明	産科婦人科	子宮奇形合併妊娠の3D所見	ペリネイタルケア 33(2): 114-118, 2014
646	長谷川ゆり, 吉田 敦, 築山尚史, 河 野通晴, 三浦清 徳, 増崎英明	産科婦人科	シンポジウム11「治療困難症例から学 ぶ」後期流産の原因と次回妊娠への対 策	日本周産期・新生児 医学会雑誌 50(1): 139-140, 2014
647	谷川輝美, 的田眞 紀, 阿部彰子, 野 村秀高, 山本阿紀 子, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖 貴, 加藤一喜, 馬 屋原健司, 本山悌 一, 竹島信宏	産科婦人科	筋層浸潤の程度判定に苦慮した腺筋症 合併子宮体癌の一例	関東連合産科婦人 科学会誌 51(1): 57- 62, 2014
648	長谷川ゆり, 吉田 敦, 金内優典, 三 浦清徳, 増崎英明	産科婦人科	長崎大学における若手医師の現状と将 来	九州連合産科婦人 科学会雑誌 65: 30- 32, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
649	今村健仁, 吉田敦, 増崎英明	産科婦人科	産後出血に対する子宮動脈塞栓術	ペリネイタルケア 33(12): 1188-1191, 2014
650	北島百合子, 妹尾悠, 平木裕子, 河野通晴, 浜口大輔, 藤下晃	産科婦人科	若年女性(20歳未満)における子宮内膜症の臨床的検討	日本エンドメトリオシス学会会誌 35: 146-151, 2014
651	浜口大輔, 荒木裕之, 吉田至幸, 河野通晴, 妹尾悠, 北島百合子, 平木裕子, 藤下晃, 荻野歩, 松尾武	産科婦人科	膀胱子宮窩腹膜から発生したと考えられた巨大内膜症性嚢胞の1例	日本エンドメトリオシス学会会誌 35: 174-178, 2014
652	松本加奈子, 増崎英明	産科婦人科	子宮動脈の偽性動脈瘤	ペリネイタルケア 33(11): 1076-1079, 2014
653	河野通晴, 増崎英明	産科婦人科	母体の低身長	ペリネイタルケア 33(3): 220-223, 2014
654	東島愛, 増崎英明	産科婦人科	発症予知と診断法「超音波診断」	産婦人科の実際 6(12):1951-1957, 2014
655	阿部修平, 三浦清徳, 金内優典, 大橋和明, 淵直樹, 松本加奈子, 吉田敦, 木下直江, 福岡順也, 増崎英明	産科婦人科	腹腔鏡下手術で観察された異所性卵巣成熟嚢胞性奇形腫の1例	長崎医学会雑誌 89(4): 250-255, 2014
656	村上優子, 増崎英明	産科婦人科	大腸がん合併妊娠	ペリネイタルケア 33(1): 2-5, 2014
657	立石聖子, 増崎英明	産科婦人科	マイクロキメリズムと強皮症	ペリネイタルケア 33(10): 964-967, 2014
658	村上直子, 北島道夫, 村上優子, 今村健仁, 山崎健太郎, 木下直江, 林徳眞吉, 磯本一郎, 三浦清徳, 増崎英明	産科婦人科	片側付属器摘除後に初発時と異なる発育形態で対側卵巣に生じた卵巣漿液性境界悪性腫瘍の一例	日本磁気共鳴医学会雑誌 34(1): 1-5, 2014
659	淵直樹, 三浦清徳, 増崎英明	産科婦人科	胎児胸腔-羊膜腔シャント術	ペリネイタルケア 33(7): 636-639, 2014
660	淵直樹, 三浦清徳, 金内優典, 阿部修平, 中山大介, 野中文陽, 江口勝美, 岩崎啓介, 増崎英明	産科婦人科	皮膚筋炎を契機に発見され腹腔鏡下手術で摘出された卵管癌の1例	長崎医学会雑誌 89(4): 226-231, 2014
661	村上聡子, 北島道夫, 増崎英明	産科婦人科	妊娠後骨粗鬆症	ペリネイタルケア 33(4): 324-327, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
662	鏡尾聡子, 松脇隆博, 吉田至幸, 森崎佐知子, 長谷川ゆり, 三浦清徳, 中島正洋, 増崎英	産科婦人科	卵巣原発転移性乳癌の1例	長崎医学会雑誌 89(3): 170-176, 2014
663	宮崎恭子, 河野通晴, 阿部修平, 谷口憲, 三浦清徳, 増崎英明	産科婦人科	切迫早産治療中に無顆粒球症を発症した1例	日本産婦人科・新生児血液学会誌 24(1): 18-19, 2014
664	宮崎恭子, 長谷川ゆり, 増崎英明	産科婦人科	リンパ球性下垂体炎合併妊娠	ペリネイタルケア 33(9): 856-859, 2014
665	大橋和明, 吉田敦, 増崎英明	産科婦人科	重症妊娠高血圧腎症に合併した漿液性網膜剥離	ペリネイタルケア 33(8): 744-747, 2014
666	増崎英明	産科婦人科	特集: 出生前診断を考える 画像診断による出生前診断	143(6): 1149-1152, 2014
667	増崎英明	産科婦人科	: D婦人科腫瘍 1.婦人科腫瘍検査法	日産婦誌 66(10): 2644-2649, 2014
668	増崎英明	産科婦人科	妊娠初期超音波のポイントと超音波の安全性に関する基礎知識	第16回日本イアードナルド超音波講座講演要旨集: 32-33,
669	三浦清徳, 増崎英明	産科婦人科	: [今月の臨床]診断ガイドライン産科編 2014 改訂と追加のポイントを読み解く 出生前診断としての染色体検査・遺伝子検査の実施上の留意点	臨床婦人科産科 68(8): 763-770, 2014
670	金内優典, 増崎英明	産科婦人科	: 特集 手術機器と材料のupdate 総論 開腹手術に用いる手術機器と材料の	産婦人科の実際 63(6): 745-753, 2014
671	増崎英明	産科婦人科	一肥満患者の術野の確保法-: OGS NOW No.17知っておくと役立つ腔の展開法, 鉤の使い方 エキスパートの長年の経験から学ぶ	メジカルビュー社, pp.16-21, 2014
672	増崎英明	産科婦人科	第3章 産科 A: 妊娠中・分娩時・産褥期に必要な指導, 管理 1.妊娠中の管理, 健診時のポイント	産婦人科研修ノート, 改訂第2版, 診断と治療社, pp.302-304, 2014
673	増崎英明	産科婦人科	第四章~妊娠・出産~14妊娠中にやってはいけないこと	女と男のディクショナリーHUMAN, 日本産科婦人科学会編著, pp.88, 2014
674	増崎英明	産科婦人科	第四章~妊娠・出産~16お産ってどう進むの?	女と男のディクショナリーHUMAN, 日本産科婦人科学会編著, pp.90-91, 2014
675	増崎英明	産科婦人科	: 生殖補助医療を受ける患者へのインフォームド・コンセント 生殖補助医療が児に与える影響: 生殖医療の必修知識	一般社団法人 日本生殖医学会, pp.266-272, 2014
676	増崎英明	産科婦人科	風疹: 新「名医」の最新治療2015	週刊朝日MOOK, pp.190-193, 2014
677	増崎英明	産科婦人科	動画で学べる産科超音波1 妊婦健診編	メディカ出版, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
678	金内優典	産科婦人科	OGS S(Obstetric and Gynecologic Surgery) NOW 17 知っておくと役立つ腔の展開法, 鉤の使い方 エキスパートの長年の経験から学ぶ, 開腹手術での尿管の発見法	32-41, メジカルビュー社, 2014
679	金内優典	産科婦人科	OGS S(Obstetric and Gynecologic Surgery) NOW 18 よりよい婦人科手術のための器具の使い方 この操作ではこの手術器具をこう使う, ベッセルシーリングの使い方 ベッセルシーリングの基	52-59, メジカルビュー社, 2014
680	北島道夫(作成協力者)	産科婦人科	乳がん患者の妊娠出産と生殖医療に関する診療の手引き 2014年版	「乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドラインの開発」班, 日本がん・生殖医療研究会編, 金原出版, 2014
681	北島道夫, 増崎英明	産科婦人科	D 異所性妊娠 26.異所性妊娠の診断と治療	婦人科診断ハンドブック Handbook of Gynecologic Diagnosis and Treatment, 中外医学社, pp.175-182, 2014
682	増崎英明	産科婦人科	講演会から「長崎のジェームズ・ワトソン」	長崎県医師会報第816号(1月号)pp.60-61, 2014
683	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「分福茶釜—第2回—」	長崎県医師会報第816号(1月号)pp.78-79, 2014
684	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「亀を飼う」	長崎県医師会報第816号(1月号) pp.81, 2014
685	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「森鷗外と松本清張」	長崎県医師会報第817号(2月号)pp.66-72, 2014
686	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「鉄の女」	長崎県医師会報第817号(2月号)p75, 2014
687	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「麦当劳」	長崎県医師会報第818号(3月号)p111, 2014
688	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「分福茶釜—第3回—」	長崎県医師会報第818号(3月号)pp.107-108, 2014
689	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「収穫—桜—」	長崎県医師会報第819号(4月号)pp.32-34, 2014
690	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「大熊町」	長崎県医師会報第819号(4月号)pp.37, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
691	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「分福茶釜－最終回－」	長崎県医師会報第820号(5月号)pp.50-51, 2014
692	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「小さいおうち」	長崎県医師会報第820号(5月号)pp.53, 2014
693	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「鷗外の恋人－前編－」	長崎県医師会報第821号(6月号)pp.66-69, 2014
694	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「揚羽蝶」	長崎県医師会報第821号(6月号)pp.71, 2014
695	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「山の盆栽－九重山－」	長崎県医師会報第822号(7月号)pp.22-25, 2014
696	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「いくら」	長崎県医師会報第822号(7月号)pp.27, 2014
697	増崎英明	産科婦人科	医事小論「家族そのⅠ－男と女の役割分担－」	長崎県医師会報第823号(8月号)pp.71-75, 2014
698	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「逆さまの『ラ・ジャポネーズ』」	長崎県医師会報第823号(8月号)pp.84-86, 2014
699	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「金魚」	長崎県医師会報第823号(8月号)pp.89, 2014
700	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「収穫－梔子－」	長崎県医師会報第824号(9月号)pp.37-39, 2014
701	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「親友」	長崎県医師会報第824号(9月号)pp.43, 2014
702	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「収穫－草木瓜－」	長崎県医師会報第825号(10月号)pp.45-47, 2014
703	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「8月14日の荷風」	長崎県医師会報第825号(10月号)pp.51, 2014
704	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「森鷗外とポンペ・ファン・メールデルフォールト」	長崎県医師会報第826号(11月号)pp.62-65, 2014
705	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「カタルシス」	長崎県医師会報第826号(11月号)pp.57, 2014
706	増崎英明	産科婦人科	会員の広場「収穫－茱萸」	長崎県医師会報第827号(12月号)pp.29-31, 2014
707	増崎英明	産科婦人科	400字の素描「それだけの話」	長崎県医師会報第827号(12月号)pp.33, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
708	増崎英明	産科婦人科	医学分館リニューアル開館に寄せて	長崎医学同窓会,朋百,13号,pp.12,2014
709	増崎英明	産科婦人科	病院長就任あいさつ	長崎大学病院広報誌 朋百,Vol. 78・79,pp.2-3, 2014
710	増崎英明	産科婦人科	医療最前線	長崎大学病院広報誌 朋百,Vol.78・79,pp.7, 2014
711	増崎英明, 吉浦孝一郎, 三浦清徳, 三浦生子, 他	産科婦人科	5年間継続した妊婦のHTLV-I抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証および高精度スクリーニングシステム開発(H23-新興-一般-026)	平成23-25年度厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業), 総合研究報告書, P1-154,2014
712	増崎英明, 三浦清徳	産科婦人科	常位胎盤早期剥離の分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	平成25年度文部科学省科学研究費(基盤研究C)研究報告書, 2014
713	増崎英明, 三浦清徳, 他	産科婦人科	平成25年度長崎県ATLウイルス母子感染予防事業・研究報告	2014
714	三浦清徳	産科婦人科	母体血漿中胎児・胎盤特異的mRNA/microRNAの同定と臨床応用に関する研究	平成25年度文部科学省科学研究費(基盤研究C)研究報告書, 2014
715	穂山大治, 趙成三, 西岡健治, 前川拓治, 久富一輝, 坂本一郎, 原哲也	麻酔科	胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術中に生じたKounis症候群の1例	長崎医学会雑誌 89: 44-48, 2014
716	大路牧人, 境徹也, 田中絵理子, 澄川耕二	麻酔科	メロニダゾールによる薬剤性末梢神経障害に対して薬物療法を行った1症例	日本ペインクリニック学会誌 21(1): 27-30, 2014
717	田中絵理子, 境徹也, 大路牧人, 澄川耕二	麻酔科	バクロフェンが有効であった症候性三叉神経痛の1例	日本ペインクリニック学会誌 21(1): 59-61, 2014
718	境徹也, 澄川耕二	麻酔科	機能性ディスペプシアによる胸腹部痛に柴胡桂枝湯と芍薬甘草湯が有効であった1症例	痛みと漢方 24(1): 38-41, 2014
719	一ノ宮大雅, 望月夏紀, 高松渥子, 吉田操, 石崎泰令, 原哲也	麻酔科	人工心肺中の還流圧管理に関する検討	臨床麻酔 38(8): 1187-1191, 2014
720	大路牧人, 境徹也, 澄川耕二	麻酔科	外傷性頸部症候群に呉茱萸湯が有効であった1症例	痛みと漢方 24(1): 57-60, 2014
721	樋田久美子, 豊川秀樹	麻酔科	頭痛・顔面痛に対する星状神経節ブロック	ペインクリニック 35(2): 171-179, 2014
722	若泉謙太, 樋田久美子, 米川裕子, 豊川秀樹, 上島賢哉, 安部洋一郎	麻酔科	三叉神経節に対する三叉神経痛の治療後に発症した有痛性感覚脱失3症例の治療経験	日本ペインクリニック学会誌 21(1): 31-34, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
723	荒木 寛, 趙 成三, 山下和範, 長谷敦子, 澄川耕二	麻酔科	大学病院一施設における予期せぬ在院死亡症例と院内緊急コール体制の検討	蘇生 33(2): 69-73, 2014
724	井上陽香, 山下彦馬, 長岡京子, 山口美知子	麻酔科	先天性嚢胞腺腫様奇形と動脈管開存症を合併した超低出生体重児の麻酔経験	臨床麻酔 38(11): 1547-1554, 2014
725	望月利昭, 山下和範, 松島久雄, 吉野篤人	麻酔科	IO(骨髄穿刺)実践セミナーおよび超音波カラードプラー骨髄穿刺針位置確認法の紹介	日本臨床麻酔学会誌 34(3): 426-429, 2014
726	猪熊孝実, 長谷敦子, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山下和範, 山梨啓友, 齊藤信夫, 田	麻酔科	悪寒戦慄を伴う高熱, 全身性皮疹で来院した日本紅斑熱の1例	日本臨床救急医学会雑誌 17(3): 481-485, 2014
727	岡田恭子, 一ノ宮大雅, 関野元裕, 村田寛明, 柴田伊津子, 吉富 修, 前川拓治, 原 哲也	麻酔科	大血管への浸潤を伴う巨大縦隔腫瘍摘出術の周術期管理	長崎医学会雑誌 89: 195-199, 2014
728	一ノ宮大雅, 望月夏紀, 高松渥子, 吉田 操, 石崎泰令, 原 哲也	麻酔科	誌上抄読会. 人工心肺中の灌流圧管理に関する検討	臨床麻酔 38: 1187-1191, 2014
729	村田寛明, 大神敬子, 佐伯和信, 弦本敏行, 原 哲也	麻酔科	超音波ガイド下腕神経叢ブロックをより安全に行うために必要な血管走行についての知識	日本ペインクリニック学会誌21(4): 489-498, 2014
730	前川拓治	麻酔科	拡張型心筋症の周術期管理	麻酔 63(1):21-30
731	山下和範, 長谷敦子	麻酔科	挿管チューブと喉頭鏡	救急医学 38(8): 884-887, 2014
732	長谷敦子	麻酔科	教育が救急医療を変える	長崎医学同窓会 133: 17-18, 2014
733	北條美能留, 石井浩二, 原 哲也	麻酔科	アブストラル舌下錠の特徴と使い方	緩和ケア 24: 196-200, 2014
734	北條美能留, 富安志郎, 瀧川千鶴子, 趙 成三, 石井浩二, 原 哲也	麻酔科	神経障害性疼痛	ペインクリニック 35: 611-622, 2014
735	井上陽香, 原 哲也	麻酔科	歯牙損傷	(稲田英一編:麻酔科研修ノート, 診断と治療社, 東京, pp444-445所収)
736	原 哲也, 穂山大治	麻酔科	高齢者に特有の病態	(澄川耕二編, 高齢者の周術期管理, 克誠堂, 東京, pp. 31-46所収)
737	原 哲也	麻酔科	心臓血管外科手術の麻酔	(土肥修司、澄川耕二編集, TEXT麻酔・蘇生学改訂4版, 南山堂, 東京, pp.247-253所収)2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
738	北條美能留, 高田正史	麻酔科	緩和医療と終末期ケア	(土肥修司、澄川耕二編集, TEXT麻酔・蘇生学改訂4版, 南山堂, 東京, pp. 501-535所収) 2014
739	原 哲也	麻酔科	麻酔薬の臓器保護作用	天羽敬祐監修, 麻酔科学レビュー2014, 総合医学社, 東京, pp. 48-53所収) 2014
740	北條美能留, 石井浩二, 原 哲也	麻酔科	フェンタニル即効製剤	(山口重樹ほか編, 症例で身につくがん疼痛治療薬, 羊土社, 東京, pp. 99-103所収) 2014
741	矢野倫太郎, 原 哲也	麻酔科	嘔声	(稲田英一編: 麻酔科研修ノート, 診断と治療社, 東京, pp. 446-447所収) 2014
742	境 徹也	麻酔科	頸椎椎間関節痛に対する頸椎後枝内側枝高周波熱凝固法	インターベンショナル痛み治療ガイドライン. (日本ペインクリニック学会インターベンショナル痛み治療ガイドライン作成チーム編, 真興交易, 東京, pp. 64-65所収)
743	村田寛明, 境 徹也	麻酔科	腕神経叢ブロック. インターベンショナル痛み治療ガイドライン	(日本ペインクリニック学会インターベンショナル痛み治療ガイドライン作成チーム編, 真興交易, 東京, pp. 27-28所収)
744	境 徹也	麻酔科	虚偽性障害-詐病	痛みの診療キーポイント, (川真田樹人編, 文光堂, 東京, pp. 166所収) 2014
745	境 徹也	麻酔科	ケタミン	痛みの診療キーポイント, (川真田樹人編, 文光堂, 東京, pp. 186所収) 2014
746	村田寛明	麻酔科	末梢静脈路確保の基本とトラブルシューティング	(レジデントノート 16(1) 羊土社, 東京, pp. 45-52所収) 2014
747	趙 成三, 前川拓治	麻酔科	V. 周術期における口腔ケアとリハビリテーション, 1. 口腔ケア. (—For Professional Anesthesiologists—高齢者の周術期管理	澄川耕二編 克誠堂出版, 東京, pp. 335-347 所収) 2014
748	趙 成三, 吉富 修	麻酔科	V. 周術期における口腔ケアとリハビリテーション, 2. 周術期リハビリテーション. (—For Professional Anesthesiologists—高齢者の周術期管	澄川耕二編 克誠堂出版, 東京, pp. 348-359所収) 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
749	趙成三, 前川拓治	麻酔科	V. 吸入麻酔薬の臓器保護作用と毒性, 3. 虚血肝・腎保護作用. (—For Professional Anesthesiologists—吸入麻酔	山陰道明編 克誠堂出版, 東京, pp. 163-177所収) 2014
750	前川拓治, 澄川耕二	麻酔科	: 第I部 全身管理の基礎 5全身管理に用いる薬	(TEXT 麻酔・蘇生学 土肥修司, 澄川耕二編 南山堂, 東京, pp. 135-142所収) 2014
751	長谷敦子	麻酔科	CO2ナルコーシス	(今日の治療指針 2014 医学書院, 東京, pp. 34-35所収) 2014
752	石井浩二, 北條美能留, 原哲也	麻酔科	フェンタニル即効製剤	(症例で身につくがん疼痛治療薬 山口重樹, 下山直人編 羊土社, 東京, pp. 99-103所収) 2014
753	長谷敦子	麻酔科	教育が救急医療を変える	長崎医学同窓会 133:17-18, 2014
754	河野茂, 田崎修, 長谷敦子	麻酔科	マンツーマンで地域の救急医療を学ぶ	長崎県医師会報 821: 80-83, 2014
755	原哲也, 一ノ宮大雅, 松本周平, 趙成三	麻酔科	再灌流時の高二酸化炭素血症がブタ気絶心筋の回復に与える影響	第35回日本循環制御医学会総会抄録集, 04-2: 72, 2014
756	境徹也	麻酔科	帯状疱疹関連痛に対する神経ブロック療法の有効性 - 現在のエビデンスと今後の課題	日本ペインクリニック学会誌 21(3): 302, 2014
757	大路牧人, 境徹也, 原哲也	麻酔科	カネミ油症であることが当科受診の契機となった腰部脊柱管狭窄症の1症例.	日本ペインクリニック学会誌 21(2): 157, 2014
758	酒井亜輝子, 村田寛明, 井上陽香, 樋田久美子, 一ノ宮大雅, 原哲也	麻酔科	Pecs blockとデクスメトミジンによる鎮静で乳腺腫瘍切除術を行った90歳代女性2症例	日本臨床麻酔学会誌 34(6): 340, 2014
759	中尾秋葉, 西岡健治, 吉崎真依, 一ノ宮大雅, 柴田伊津子, 原哲也	麻酔科	体外循環下に肝臓全摘出・再移植を必要とした下大静脈原発性腫瘍切除術の麻酔管理	日本臨床麻酔学会誌34(6): 333, 2014
760	石崎泰令, 一ノ宮大雅, 柴田伊津子, 原哲也	麻酔科	エホバの証人患者に対する僧帽弁再々置換術, 三尖弁形成術の一例	Cardiovascular Anesthesia 18 Suppl. 288, 2014
761	石井浩二, 北條美能留, 大路牧人, 原哲也	麻酔科	頭蓋内アスペルギローマによる症候性三叉神経痛に対する治療経験	日本ペインクリニック学会誌 21 (3): 447, 2014
762	境徹也, 村田寛明, 原哲也	麻酔科	膀胱全摘術後に陰部鼠径部痛をきたした1症例	日本臨床麻酔学会誌 34(6): 5280, 2014
763	池田津奈子, 松尾久美, 中嶋由紀子, 石井浩二, 北條美能留	麻酔科	集学的緩和ケアを行いQOL向上につながった1事例	死の臨床 37(2): 329, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
764	中嶋由紀子, 安藤恵美, 松尾久美, 池田津奈子, 石井浩二, 北條美能留	麻酔科	終末期を大学病院で過ごすことの意味を考える	死の臨床 37(2): 323, 2014
765	石井浩二, 池田津奈子, 松尾久美, 中嶋由紀子, 北條美能留	麻酔科	悪性腸腰筋症候群の痛みに対して硬膜外カテーテルを長期留置して放射線治療を行った1症例	死の臨床 37(2): 309, 2014
766	石井浩二, 北條美能留, 川畑哲史, 池田津奈子, 松尾久美, 中嶋由紀子, 宗像千恵, 龍恵美, 木下裕久	麻酔科	直腸がんの仙骨部局所再発症例に対するメサドンの使用経験	日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集 19: 271, 2014
767	江頭 崇, 福崎 誠, 辻 史子, 石崎泰令, 寺尾嘉彰	麻酔科	脊椎術後に脳脊髄液漏出症を来し硬膜外自己血パッチを施行した1症例	日本ペインクリニック学会誌 21(3): 426, 2014
768	趙 成三, 吉富 修	麻酔科	心臓手術でのカテコラミンの使用方法和全身管理への応用	麻酔63: 45, 2014
769	柴田伊津子, 吉富修, 前川拓治, 趙成三, 原 哲也	麻酔科	GLP-1アナログがブタのスタン心筋の回復に与える影響	麻酔63: 48, 2014
770	吉田 操, 戸坂真也, 戸坂玲子, 前川拓治, 趙 成三, 原 哲也	麻酔科	レミフェンタニルの併用が人工心肺を用いた開心術後の急性腎傷害発生率に与える影響	麻酔63: 49, 2014
771	山本裕梨, 荒木寛, 諸岡秋葉, 穠山大治, 吉富修, 原 哲也	麻酔科	高二酸化炭素血症が気絶心筋の回復に与える影響	麻酔63: 55, 2014
772	石崎泰令, 寺尾嘉彰, 谷口美和, 江頭 崇, 辻 史子, 福崎 誠	麻酔科	麻酔導入時のプロポフォールTCIとオピオイドのQTc間隔に対する相互作用の検討	麻酔63: 55, 2014
773	山下春奈, 小出史子, 津田 敦, 諸岡浩明, 澄川耕二	麻酔科	脊髄くも膜下麻酔における術中鎮静が術後鎮痛に与える影響 —デクスメトミジンとミダゾラムの比較—	麻酔63: 99, 2014
774	一ノ宮大雅, 前川拓治, 関野元裕, 山本裕梨, 趙成三, 原 哲也	麻酔科	生体部分肝移植後の凝固・線溶動態についての検討—ROTEMを用いて—	麻酔63: 124, 2014
775	長谷敦子	麻酔科	地方都市における研修医への救急医療教育—救急医療教育室を立ち上げて—	蘇生 33 (3): 141, 2014
776	山下和範, 長谷敦子, 田崎 修	麻酔科	当センターにおけるランジオロール塩酸塩の使用経験	蘇生 33 (3): 177, 2014
777	山下春奈, 西岡健治, 濱田 梢, 原 哲也	麻酔科	麻酔導入時に誤嚥した幽門側胃切除術後の患者の麻酔経験	蘇生 33 (3): 198, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
778	樋田久美子, 玉川隆生, 林 摩耶, 豊川秀樹, 米川裕子, 深澤正之, 明石奈津子, 上島賢哉, 安部洋一郎	麻酔科	手掌多汗症に対する胸腔鏡下胸部交感神経節切除術の有効性と満足度について	切除法とクリップ法の比較. 日本ペインクリニック学会誌 21(3): 387-387, 2014
779	玉川隆生, 林 摩耶, 樋田久美子, 米川裕子, 深澤正之, 明石奈津子, 上島賢哉, 安部洋	麻酔科	頸部痛を主訴に受診した側頭動脈炎の1例	日本ペインクリニック学会誌 21(3): 410-410, 2014
780	若泉謙太, 樋田久美子, 米川裕子, 豊川秀樹, 上島賢哉, 安部洋一郎	麻酔科	三叉神経節に対する三叉神経痛の治療後に発症した有痛性感覚脱失3症例の治療経験	日本ペインクリニック学会誌 21(1): 31-34, 2014
781	高林令奈, 深澤正之, 荒木奈帆, 米川裕子, 本間広則, 玉川隆生, 樋田久美子, 明石奈津子, 林 摩耶, 上島賢哉, 安部洋一	麻酔科	後仙骨孔より硬膜外洗浄を行い有効な鎮痛を得た腰椎椎間板ヘルニアの1例	日本ペインクリニック学会誌 21(2): 162-162, 2014
782	橋詰淳哉, 龍 恵美, 宗像千恵, 有吉貴美代, 能勢誠一, 宮永 圭, 北條美能留, 北原隆志, 佐々木均	麻酔科	デノスマブによる低カルシウム血症に関する研究	長崎県病薬会誌99: 29, 2014
783	猪熊孝実, 長谷敦子, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山下和範, 磯本 一, 竹島史直, 中尾一	麻酔科	上部消化管出血に対する内視鏡治療の有用性と限界についての検討	日本消化器病学会雑誌 111 Suppl. 346, 2014
784	長井一浩, 西岡健治, 中道志織, 川口千穂, 古賀義人, 瀬崎昌代, 吉富修, 深堀由紀子, 原 哲也, 宮崎	麻酔科	術前貯血式自己血輸血製剤内に発生するマクロアグリゲートに関する実態調査	日本輸血細胞治療学会誌 60(1):86-86, 2014
785	中道志織, 西岡健治, 川口千穂, 古賀義人, 瀬崎昌代, 吉富修, 深堀由紀子, 長井一浩, 原 哲也, 宮崎	麻酔科	当院における術前貯血式自己血輸血製剤内のマクロアグリゲートの発生頻度に関する実態調査	日本輸血細胞治療学会誌 60(2):396-396, 2014
786	林 健太郎, 平尾朋仁, 坂井信幸, 堀江信貴, 出雲剛, 永田 泉	脳神経外科	JR-NET2研究班: 脳血管攣縮に対する血管内治療に関する全国調査	脳卒中の外科 42(2): 253-256, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
787	出雲 剛, 松尾孝之, 林 健太郎, 日宇 健, 諸藤陽一, 堀江信貴, 永田	脳神経外科	前交通動脈瘤に対する開頭クリッピング術—当院でのアプローチ選択についての検討—	脳卒中の外科 42(4): 270-277, 2014
788	角田圭司	脳神経外科	C7部分椎弓切除後の棘突起基部での骨折	日本脊髄障害医学会雑誌 27(1): 78-79, 2014
789	福田修志, 林 健太郎, 山口 将, 堀江信貴, 森川 実, 陶山一彦, 永田	脳神経外科	Pushable coilで母血管閉塞術を施行したcarotid blowout syndromeの1例	No Shinkei Geka 42(7): 615-620, 2014
790	福田修志, 林 健太郎, 堀江信貴, 森川 実, 山口 将, 諸藤陽一, 日宇 健, 永田 泉	脳神経外科	頸部放射線照射後の頸動脈狭窄に対してproximalおよびdistal protectionを併用し頸動脈ステント留置術を施行した1例	No Shinkei Geka 42(7): 635-639, 2014
791	山口 将, 堀江信貴, 林 健太郎, 出端亜由美, 福田修志, 諸藤陽一, 日宇 健, 出雲 剛, 松尾孝之, 永田	脳神経外科	緊急頸動脈ステント留置とPenumbraによる急性期血行再建術を要した内頸動脈閉塞の1例	脳神経血管内治療 8(4): 231-237, 2014
792	松永裕希, 堤 圭介, 諸藤陽一, 藤本隆史, 川原一郎, 高畠英昭, 小野智憲, 戸田啓介, 馬場啓至, 横山博明, 林 健太郎, 永田 泉	脳神経外科	脳出血で発症したAplastic or twig-like middle cerebral arteryの小児例	脳卒中の外科 42(1): 51-57, 2014
793	松尾孝之	脳神経外科	【手術のコツとピットフォール 一流術者のここが知りたい】頭蓋咽頭腫手術を成功させる為の術前MRI評価のポイント	脳神経外科速報 24(6): 628-634, 2014
794	林 健太郎, 永田 泉	脳神経外科	アテローム血栓症の外科的治療とRAS	Angiotensin Research 11(2): 104-
795	林 健太郎, 永田 泉	脳神経外科	頸部内頸動脈狭窄症の治療に関するエビデンスの総括	『先端医療シリーズ45臨床医のための最新脳神経外科』先端医療技術研究所(東京): pp.101-103, 2014
796	林 健太郎	脳神経外科	【施設紹介】長崎大学病院脳神経外科	『先端医療シリーズ45臨床医のための最新脳神経外科』先端医療技術研究所(東京): pp.566-567, 2014
797	林 健太郎, 永田 泉	脳神経外科	【V.くも膜下出血の治療】くも膜下出血の診断と治療法の選択	『脳血管障害治療最前線』中山書店(東京): pp.320-325, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
798	林 健太郎	脳神経外科	ガイディングカテーテルの基本手技	『パーフェクトマスター脳血管内治療－必須知識のアップデート(改訂第2版)』メジカルビュー社(東京): pp.154-161,
799	出雲 剛, 永田 泉	脳神経外科	【Ⅲ基本手術手技-総論-】コロラドニードル	『脳神経外科プラクティス2-脳神経外科の基本手技』文光堂(東京): p.77, 2014
800	出雲 剛, 永田 泉	脳神経外科	【2章.中大脳動脈瘤のクリッピング-(6)シミュレーションと手術の実際】B.長いM1凹タイプ②, 『中大脳動脈瘤のすべて』	メディカ出版(大阪): pp.76-82, 2014
801	出雲 剛, 永田 泉	脳神経外科	【2章.中大脳動脈瘤のクリッピング-(6)シミュレーションと手術の実際】G.末梢, その他①, 『中大脳動脈瘤のすべて』	メディカ出版(大阪): pp.127-130, 2014
802	出雲 剛, 永田 泉	脳神経外科	【Ⅰ 総論】3.外科治療の変遷と今後の展望	『日本臨床増刊号-最新臨床脳卒中学(上)』日本臨床社(大阪): pp.20-26,
803	出雲 剛, 永田 泉	脳神経外科	【XVIIクモ膜下出血】9.脳動脈瘤の診断と重症度分類	『日本臨床増刊号-最新臨床脳卒中学(下)』日本臨床社(大阪): pp.484-487, 2014
804	角田圭司	脳神経外科	【X.脊髄・脊椎疾患, 髄液動態異常】7.黄色靱帯骨化症	『別冊日本臨床-神経症候群V(第2版)』日本臨床社(大阪): pp.127-130, 2014
805	堀江信貴, 永田 泉	脳神経外科	【Ⅱ.脳血管障害】脳梗塞・外科的治療	『脳神経外科 周術期管理の全て(第4版)』, メジカルビュー社(東京), pp 117-130, 2014
806	堀江信貴	脳神経外科	【VI.くも膜下出血】2.急性期診断-a.くも膜下出血初期診療手順と留意すべき全身所見	『脳神経外科診療プラクティス 1.脳血管障害の急性期マネジメント』文光堂(東京): pp201-204, 2014
807	堀江信貴, 山口 将, 福田雄高, 福田修志, 諸藤陽一, 日宇 健, 出雲 剛, 林 健太郎, 森川 実, 永田 泉	脳神経外科	AVM/AVFに対する手術支援としての動注ICG videoangiography	『Mt. Fuji Workshop on CVD Vol.32-脳動静脈奇形に対する集学的治療』にゅーん社(東京): pp.113-116, 2014
808	堀江信貴, 日宇 健, 永田 泉	脳神経外科	【2.再生・移植基礎研究】(5)神経幹細胞を用いた再生医療	『最新臨床脳卒中学(上)』日本臨床社(大阪): p.459-462,
809	堀江信貴	脳神経外科	第31回角尾学術賞「脳梗塞に対する幹細胞移植を用いたトランスレーショナルリサーチと再生医療の確立を目指して」	長崎医学同窓会 朋百(ポンペ): pp.5-6, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
810	吉田光一, 松尾孝之	脳神経外科	【5.悪性リンパ腫と造血器腫瘍】(3)顆粒球肉腫	『別冊日本臨床-神経症候群(第2版)Ⅲ』日本臨床社(大阪): pp.336-338,
811	永田泉, 林健太郎	脳神経外科	脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究	厚生労働科学研究費補助金(循環器・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)平成25年総括・分担研究報告書: pp.244-246, 2014
812	林健太郎	脳神経外科	Distal Embolism Protection Filterで回収されたデブリスの定量的検討	Vascular Intervention Today
813	角田圭司, 松尾孝之, 永田泉	脳神経外科	頸椎椎弓形成術後の下位隣接椎間病変	脊髄外科 28(2): 182-186, 2014
814	田中克己, 高橋国宏, 杉原佳奈, 平野明喜	形成外科	小児期に発症した手指変形に対する中高年期での治療経験	日本手外科会誌・30:1031-1034,2014
815	矢野浩規, 芳原聖司, 前場崇宏, 吉本浩, 平野明喜	形成外科	当科における過去10年間の眼窩底骨折手術 われわれの手術適応	日本頭蓋顎顔面外科学会誌30巻1号 P9-15, 2014
816	三村秀文, 大須賀慶悟, 秋田定伯, 渡部茂, 力久直昭, 田中純子, 森井英一, 高倉伸幸, 佐々木了	形成外科	血管腫・血管奇形の全国実態調査に向けての予備調査結果の報告	IVR: Interventional Radiology 29巻1号 P62-67, 2014
817	田中克己	形成外科	整容・修復のための形成術	手・足, 関節部・救急医学 38:1295-1302,2014
818	田中克己, 平野明喜	形成外科	皮弁を用いた坐骨部褥瘡治療	PEPARS 93:46-52,2014
819	田中克己, 平野明喜	形成外科	【再建部位別にみたティッシュ・エキспанション法のコツ】	四肢形成外科・57(6):641-648,2014
820	齋藤大蔵, 池田弘人, 片平次郎, 佐々木淳一, 田熊清継, 樋口良平, 松村一, 田中克己, 安田浩, 山元康德, 上山昌史, 楠本健司	形成外科	日本熱傷学会「熱傷入院患者レジストリー」の現状(第2報)	熱傷 40(1):65-78,2014
821	矢野浩規, 平野明喜	形成外科	顔面骨骨折の骨固定	PEPARS 88号 P32-40, 2014
822		形成外科		厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服事業 難治性血管腫・血管奇形についての調査研究 分担研究報告書

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
823		形成外科		厚生労働科学研究費補助金 エイズ・肝炎・新興再興感染症研究事業 HIV HCV 重複感染血友病患者の長期療養に関する患者参加型研究(指定)分担研究報
824		形成外科		厚生労働科学研究費補助金 エイズ・肝炎・新興再興感染症研究事業 HIV HCV 重複感染血友病患者の長期療養に関する患者参加型研究(指定)総括分担研
825	秋田定伯(研究代表)	形成外科	国際放射線障害治療拠点形成に向けて 研究成果報告書	文部科学省(日本学術振興会)基盤研究(B) 22406030
826	秋田定伯(研究分担)	形成外科	ヒト脂肪由来幹細胞の障害肺, 移植肺への実用化を目指す, 肺生着, 臓器保護の研究 成果報告書	文部科学省(日本学術振興会)基盤研究(C)研究費
827	秋田定伯(研究分担)	形成外科	ファイブロサイト及び関連幹細胞による皮弁生着・延長, 創傷治癒の新規治療法の開発 成果報告書	文部科学省(日本学術振興会)基盤研究(C)研究費
828	江石清行, 三浦崇, 工藤樹彦	心臓血管外科	僧房弁形成における人工腱索再建のコツ	胸部外科 67(11):980-981,
829	松隈誠司, 江石清行, 橋詰浩二, 有吉毅子男, 谷口真一郎, 住 瑞木	心臓血管外科	パルス形成による三尖弁位生体弁機能不全に対し再弁置換術を施行した1例	日本心臓血管外科学会雑誌43(3):97-100, 2014
830	横瀬昭豪, 住 瑞木, 江石清行	心臓血管外科	後期高齢者の心臓弁膜症診療 外科治療の現状と問題点	成人病と生活習慣病 44(7):873-879, 2014
831	三浦 崇, 江石清行, 恒任 章, 橋詰浩二, 谷川和好, 横瀬昭豪, 嶋田隆志, 松隈誠司, 住 瑞木, 久富一輝, 北村哲生, 前村浩二	心臓血管外科	Valsalva洞動脈瘤破裂修復術, およびVSD閉鎖術後, 37年目に施行したAR, AAEに対する再手術の1例	第28回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会抄録集: 36, 2014
832	住 瑞木, 松隈誠司, 谷川和好, 北村哲生, 三浦 崇, 橋詰浩二, 久富一輝, 横瀬昭豪, 嶋田隆志, 江石清行	心臓血管外科	骨形成不全症に伴う弁膜症疾患にたいし, 2弁置換術を行った1症例	第28回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会抄録集: 38, 2014
833	中路 俊, 谷口真一郎, 柴田隆一郎, 平尾幸一, 堀上謙作, 坂本一郎	心臓血管外科	コイル塞栓術により治療を行った肺底区動脈大動脈起始症の一例	第28回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会抄録集: 53, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
834	松隈誠司, 江石清行, 橋詰浩二, 谷川和好, 三浦崇, 恒任章, 横瀬昭豪, 住瑞木, 久富一輝	心臓血管外科	僧帽弁輪石灰化から発生したswinging calcified amorphous tumorの1例	28回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会抄録集:61, 2014
835	尾立朋大, 橋詰浩二, 田崎雄一, 江石清行	心臓血管外科	包丁による心肺刺傷に対し人口心肺下に心修復, 左舌区切除で救命できた1例	第28回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会抄録集:62, 2014
836	江石清行, 谷川和好, 三浦崇, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 久富一輝, 住瑞木, 嶋田隆志, 北村哲生	心臓血管外科	悪夢と外科医	第28回心臓血管外科ウインターセミナー学術紹介抄録集:32, 2014
837	小野原大介, 山田卓史, 佐藤愛子, 田崎雄一	心臓血管外科	繰り返し急性下肢動脈閉塞を発症した遺残坐骨動脈の1例	第28回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会抄録集:74, 2014
838	三浦崇, 江石清行, 恒任章, 橋詰浩二, 谷川和好, 尾立朋大, 横瀬昭豪, 松隈誠司, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆史	心臓血管外科	右開胸による僧帽弁を中心とした低侵襲手術での体外循環の確立と術中・術後合併症	第44回日本心臓血管外科学会学術総会抄録集:180, 2014
839	松丸一郎, 迫史朗, 久田洋一, 溝口裕司, 永松敬	心臓血管外科	術前からの積極的口腔ケア介入は心臓手術術後感染症を抑制しうるか?	第44回日本心臓血管外科学会学術総会抄録集:321, 2014
840	横瀬昭豪, 江石清行, 住瑞木, 橋詰浩二, 三浦崇, 橋本亘, 谷川和好, 尾立朋大, 松隈誠司, 久富一輝, 嶋田隆志, 北村哲生	心臓血管外科	85歳以上の超高齢者における心臓大血管術後QOLと急性期予後に影響を与える因子の検討	第44回日本心臓血管学会学術総会抄録集:359, 2014
841	三浦崇, 江石清行, 橋詰浩二, 谷川和好, 橋本亘, 尾立朋大, 横瀬昭豪, 松隈誠司, 久富一輝, 住瑞木, 北村哲生, 嶋田隆志, 恒任章	心臓血管外科	機能的MRを伴う非虚血性拡張型心筋症に対する僧房弁形成術の短期・長期成績	第44回日本心臓血管外科学会学術総会抄録集:392, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
842	橋本 亘, 橋詰浩二, 谷川和好, 三浦 崇, 松隈誠司, 久富一輝, 横瀬昭豪, 北村哲生, 嶋田隆志, 江石清行, 當山真人, 沖山光則	心臓血管外科	維持透析症例に対する開心術後の遠隔成績及び予後因子の検討	第44回日本心臓血管外科学会学術総会抄録集:505, 2014
843	橋詰浩二, 江石清行, 谷川和好, 三浦 崇, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 住 瑞木, 久富一輝, 嶋田隆志, 北村哲生	心臓血管外科	ルーチンに胸骨再切開前に人工心肺を開始する心臓・胸部大血管再手術	114回日本外科学会定期学術集会抄録集, 第115巻(2):170, 2014
844	泉 賢太, Kappert Utz, Wilbring Manuel, Stumpf Juergen, 江石清行, Matschke Klaus	心臓血管外科	Klaus: Direct reimplantation as an alternative approach for treatment of anomalous aortic origin of the right coronary artery	第114回日本外科学会定期学術集会抄録集, 第115巻(2):914, 2014
845	久田洋一, 迫 史朗, 松丸一朗	心臓血管外科	腸管虚血を伴う急性A型大動脈解離に対しバイパス手術及び二期的上行大動脈置換術を施行した1例	日本血管外科学会雑誌23(2):358, 2014
846	三浦 崇, 江石清行, 坂本一郎, 橋詰浩二, 末吉英純, 横瀬昭豪, 嶋田隆志, 谷川和好, 松隈誠司, 住 瑞木, 北村哲生	心臓血管外科	腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後の拡大に対する人工血管術の1例	日本血管外科学会雑誌23(2):376, 2014
847	嶋田隆志, 江石清行, 橋詰浩二, 谷川和好, 三浦 崇, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 住 瑞木, 久富一輝, 北村哲生	心臓血管外科	左外腸骨静脈破裂によりDVTを生じ, 出血性ショックとなった1例	日本血管外科学会雑誌23(2):398, 2014
848	谷口真一郎, 中路俊, 柴田隆一郎	心臓血管外科	慢性大動脈解離に発症した線溶亢進型播種性血管内凝固症候群に対する治	日本血管外科学会雑誌23(2):411, 2014
849	住 瑞木, 橋詰浩二, 橋本 亘, 三浦 崇, 横瀬昭豪, 田崎雄一, 谷川和好, 北村哲生, 江石清行	心臓血管外科	感染性胸腹部大動脈瘤に対し, LZDIにて観戦コントロールを行った後に人工血管置換術を行った1例	日本血管外科学会雑誌23(2):430, 2014
850	谷川和好, 江石清行, 橋詰浩二, 三浦 崇, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志	心臓血管外科	DeBakey I 型急性大動脈解離に対する弓部大動脈置換術後に右上肢の筋腎代謝症候群をきたした1例	日本血管外科学会雑誌23(2):520, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
851	横瀬昭豪	心臓血管外科	Evaluate Surgical Outcomes and Long-term Functional Status and Quality of Life(QOL)Following AVR in	第78回日本循環器学会学術集会 2014:411
852	嶋田隆志, 江石清行, 谷川和好, 三浦崇, 泉賢太, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 住瑞木, 久富一輝, 北村哲生	心臓血管外科	脳虚血に意識障害を併発した急性大動脈解離に緊急手術を行った1例	第116回日本循環器学会九州地方会:15, 2014
853	上野裕貴, 池田聡司, 河野浩章, 古賀聖士, 中田智夫, 吉田健夫, 江藤幸, 恒任章, 江石清行, 前村浩	心臓血管外科	大動脈炎症候群に合併した肺動脈解離の1例	第116回日本循環器学会九州地方会:15, 2014
854	三浦崇, 谷川和好, 恒任章, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志, 佐藤修身, 芦沢直人, 前村浩二, 江石清行	心臓血管外科	左冠動脈の変位を伴うAAE, ARIに対するmodified bentallの1例	第116回日本循環器学会九州地方会:22, 2014
855	三浦崇, 谷川和好, 恒任章, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 久富一輝, 嶋田隆志, 北村哲生, 前村浩二, 江石清行	心臓血管外科	: Billpwingを伴った広範囲後尖逸脱(Barlow's valve)に対するLeaflet Restoration法の1例	第116回日本循環器学会九州地方会:22 2014
856	松丸一郎	心臓血管外科	右冠動静脈瘻を伴った右冠動脈瘤の1例	第19回日本冠動脈外科学会学術大会:42, 2014
857	久富一輝, 三浦崇, 谷川和好, 泉賢太, 松隈誠司, 松丸一郎, 嶋田隆志, 北村哲生, 谷川陽彦, 江石清行	心臓血管外科	ボール状左房内血栓に対して施行したMICSの1例	第47回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集:34, 2014
858	田崎雄一, 山田卓史, 小野原大介, 佐藤愛子	心臓血管外科	心内血栓を伴う心尖部瘤合併の肥大型心筋症の1症例	第47回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集:47, 2014
859	福嶋絢子, 山崎直哉, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 土谷智史, 三浦崇, 江石清行, 安永武	心臓血管外科	冠動脈肺動脈瘻を合併した肺癌に対する同時手術の1例	第47回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集:59, 2014
860	中路俊, 谷口真一郎, 島田隆一郎, 江石清行	心臓血管外科	未分化乳頭筋に対して僧帽弁形成術を施行した1例	第47回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集:66,

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
861	谷川陽彦, 谷川和好, 三浦崇, 泉賢太, 松隈誠司, 松丸一朗, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志, 江石清行	心臓血管外科	第47回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集	842,014
862	谷川和好, 江石清行, 江口晋, 橋詰浩二, 松丸一朗, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志	心臓血管外科	下大動脈原発性平滑筋肉腫による心臓腫瘍の治療経験	第47回日本胸部外科学会九州地方会総会抄録集:85, 2014
863	北村哲生, 坂本一郎, 末吉英純, 江石清行	心臓血管外科	DebranchingTEVER後の脳血流低下に対し追加バイパスにて改善した1例	第104回日本血管外科学会九州地方会抄録集:2014
864	山口敬史, 西活央	心臓血管外科	マルファン症候群に合併した足背動脈瘤の一切除例	第104回日本血管外科学会九州地方会抄録集:2014
865	三浦崇, 江石清行	心臓血管外科	感染病巣から検討した僧房弁位活動期感染期感染症心内膜炎に対する形成術の根治性	第62回日本心臓病学会学術集会抄録:S7-3,2014
866	恒任章, 江石清行, 三浦崇, 古島早苗, 坂口能理子, 浅田綾子, 川浪のぞみ, 白石亜季, 木村由美子, 小出優史, 池田聡司, 山近史郎, 前村浩二	心臓血管外科	Cosgrove-Edwards Ringの長軸方向の柔軟性と, Sorin Memo 3D Ringの短軸方向の安定性:三次元経食道心エコー図による検討	第62回日本心臓病学会学術集会抄録:O-079,2014
867	河野浩章, 恒任章, 上野裕貴, 戸澤匠, 中田智夫, 古賀聖士, 江藤幸, 池田聡司, 武野正義, 小出優史, 江石清行, 前村浩二	心臓血管外科	当院で経験したCalcified Amorphous Tumor 3例の病理組織所見について	第62回日本心臓病学会学術集会抄録:O-312,2014
868	横瀬昭豪, 江石清行, 住瑞木, 三浦崇, 橋詰浩二, 谷川和好, 松隈誠司, 久富一輝, 久田洋一, 迫史朗, 嶋田隆志, 北村哲生	心臓血管外科	80歳以上の超高齢者に対する心臓大血管術後の早期成績と遠隔期QOLの検討	第67回日本胸部外科学会定期学術集会抄録:PA-001, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
869	三浦 崇, 谷川和好, 泉 賢太, 松隈誠司, 横瀬昭豪, 松丸一朗, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志, 谷川陽彦, 恒任 章, 前村浩二, 江石清行	心臓血管外科	短期成績から検討したMICSによる僧帽弁形成術の妥当性: 形成手技の簡素化とMR制御	第67回日本胸部外科学会定期学術集会抄録: PA-170, 2014
870	谷川和好, 江石清行, 三浦 崇, 泉 賢太, 松隈誠司, 松丸一朗, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志	心臓血管外科	External bandにより弁輪縫縮を用いた二尖弁に対する大動脈弁形成術	第67回日本胸部外科学会定期学術集会抄録: PA-247, 2014
871	三浦 崇, 江石清行, 松本桂太郎, 原 亮介, 河野政末, 谷川和好, 恒任 章, 泉 賢太, 松丸一朗, 久富一輝, 北村哲生, 嶋田隆志	心臓血管外科	右小開胸による僧房弁形成術後の肺ヘルニアの一例	第117回日本循環器学会九州地方会プログラム: 27, 2014
872	谷口真一郎, 中路俊, 柴田隆一郎	心臓血管外科	腹部大動脈(AAA)に対するステントグラフト内挿術後に発症した上腸間膜動脈(SMA)症候群による十二指腸閉塞の1	第105回日本血管外科学会九州地方会プログラム: 8, 2014
873	柳原克紀, 富田勉, 貞方久人, 河西村典孝, 中道志織, 村田美香, 渋谷未来, 森永芳智, 柳原克紀	検査部	顕微鏡映像による抗MRSA薬の抗菌作用の検討	BIO Clinica 29: 915-919, 2014
874	西村典孝, 中道志織, 村田美香, 渋谷未来, 森永芳智, 柳原克紀	検査部	血糖値測定用POCT対応機器の性能評価および採血部位による血糖値の差	臨床病理 (0047-1860)62(9):839-844, 2014
875	中村茂樹, 柳原克紀, 河野 茂	検査部	肺炎球菌はいかにして自然免疫を克服し感染症を発症するのか 鼻咽頭定着を中心とした解析	感染症学雑誌 88(5):669-677,2014
876	東 祥嗣, 中村茂樹, 大島一浩, 岩永直樹, 平山達朗, 梶原俊毅, 高園貴弘, 宮崎泰可, 泉川公一, 柳原克紀, 田代隆	検査部	保存的治療単独で救命し得た気腫性尿路感染症の2例	感染症学雑誌 88(6):861-865,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
877	山口恵三, 石井良和, 館田一博, 岩田守弘, 渡邊直樹, 品川雅明, 萱場広之, 木村正彦, 諏訪部 章, 賀来満夫, 阿部裕子, 金光敬二, 谷口信行, 村上正巳, 前崎繁文, 河村 亨, 野村文夫, 渡邊正治, 菅野治重, 堀内 啓, 田澤庸子, 近藤成美, 三澤成毅, 竹村弘, 中島秀喜, 松戸隆之, 藤本佳則, 石郷潮美, 後藤博一, 渡辺 修, 八木哲也, 嶋岡菜実, 三嶋廣繁, 山岸由佳, 藤田直久, 小森敏明, 一山 智, 河野誠司, 中山章文, 中村文彦, 河野 久, 福田砂織, 草野展周, 能勢資子, 横崎典哉, 小野寺 一, 村尾孝児, 根ヶ山 清	検査部	メロペン特定使用成績調査(全国感受性)研究会: Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2012年臨床分離株の感受性サーベイランス	The Japanese Journal of Antibiotics 67(2):73-107,2014
878	太田祐樹, 崎村直史, 三原 智, 林田謙, 久松 貴, 原 耕平, 泉川欣一, 西野友哉, 泉川公一, 河野 茂, 柳原	検査部	透析患者に併発したFusobacterium nucleatumによる腹膜膿瘍の1例	腎と透析 76(5):763-765,2014
879	室 高広, 北原隆志, 伊東弘樹, 入江利行, 野中敏治, 藤井裕史, 松元一明, 山崎博史, 柳原克紀, 佐々木 均	検査部	九州山口地区における基質拡張型βラクタマーゼ産生菌の検出状況と抗菌薬使用状況に関する合同調査	環境感染誌 29(1):32-39,2014
880	山本善裕, 橋口浩二, 澤井豊光, 福田雄一, 井上祐一, 福島喜代康, 柳原克紀, 河野	検査部	各種肺炎におけるプロカルシトニン測定の臨床的有用性の評価	日本呼吸器学会誌 3(1):50-55,2014
881	柳原克紀	検査部	気道感染症治療UPDATE 下気道感染症の治療戦略(解説)	Clinic Magazine 41(9):24-27,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
882	柳原克紀, 山田康一, 長岡健太郎, 右山洋平, 小佐井康介, 森永芳智, 中村茂樹, 金子幸弘, 掛屋 弘, 興梠博次, 河野 茂	検査部	抗菌薬の有効性を高めるための工夫 マクロライド系抗菌薬の効果と病原因子の制御について	日本化学療法学会 雑誌 62: 483-493, 2014
883	西村典孝, 森永芳智, 柳原克紀	検査部	【微生物検査イエローページ】(III章)菌種別の培養・同定方法 グラム陰性桿菌 レジオネラ(解説/特集)	臨床検査 58(11): 1372-1375,2014
884	村田美香, 小佐井康介, 柳原克紀	検査部	【微生物検査イエローページ】(III章)菌種別の培養・同定方法 グラム陰性桿菌 百日咳菌(解説/特集)	臨床検査 58(11):1369- 1371,2014
885	武田和明, 柳原克紀	検査部	特集 マクロライド研究の新展開 細菌 に対する作用	Respiratory Medical Research 2: 220- 224, 2014
886	二木芳人, 青木信樹, 岩田 敏, 岸田修二, 小林昌宏, 佐藤淳子, 砂川慶介, 高橋 聡, 竹末芳生, 朝野和典, 花木秀明, 堀 誠治, 松下和彦, 松本哲哉, 三嶋廣繁, 光武耕太郎, 吉田耕一郎, 柳原克紀, 渡辺晋一, 大村雅之, 竹村卓哉, 齋藤京二郎, 新井田昌志, 牧野	検査部	MRSA感染症の治療ガイドライン 2014 年改訂版	2014年改訂版 「MRSA感染症の治療ガイドライン2014 年改訂版」公表にあたって(解説), 公益社団法人日本化学療法学会, 一般社団法人日本感染症学会 MRSA感染症の治療ガイドライン作成委員会 感染症学雑誌 88(5):597-668,2014
887	柳原克紀	検査部	特集 日本版Antimicrobial stewardship を考え, 実践する! IDSA/SHEAガイドラインからAntimicrobial stewardshipを読	薬事 56(5):685- 689,2014
888	山田舞子, 柳原克紀	検査部	2章 感染の知識 2-2院内で問題となる 微生物と感染症	1)細菌感染症(小林寛伊, 大久保 憲, 林 純, 松本哲哉(監修), 尾家重治(編) じほう)感染制御標準ガイドp19-31,2014
889	鶴田一人, 長谷川寛雄, 瀧上麻衣, 宇野直輝, 森永芳智, 宮崎泰司, 柳原克紀	検査部	トピックス:造血器悪性腫瘍の新たな分類・ 治療と臨床検査(3) 骨髄異形成症候群の分類と臨床検査	臨床病理 62(4):359- 368,2014
890	赤松紀彦, 瀧上麻衣, 柳原克紀	検査部	医療関連感染をめぐる最近のトピックス 近年注目される病原体感染とその対策 カルバペネム耐性グラム陰性桿菌(緑膿菌, Acinetobacterを中心に)	診断と治療 102(6)817-821,2014
891	森永芳智, 柳原克紀	検査部	特集 種々の疾患におけるARDS 肺炎・ 誤嚥性肺炎とARDS	ARDS(克誠堂出版), 日本胸部臨床 73(6):628-638,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
892	柳原克紀	検査部	:特集(2):第49回POCセミナー 感染症シーズンに向かって~もう準備はお済みですか 2. 呼吸器感染症診療における臨床検査の重要性	医療と検査機器・試薬 37(3):327-356,2014
893	柳原克紀, 山田康一, 長岡健太郎, 右山洋平, 小佐井康介, 森永芳智, 中村茂樹, 金子幸弘, 掛屋 弘, 興梠博次, 河野 茂	検査部	抗菌薬の有用性を高めるための工夫—マクロライド系抗菌薬の効果と病原因子の制御について—	日本化学療法学会誌 62(4):483-493,2014
894	森永芳智, 柳原克紀	検査部	:IV 呼吸器感染症の治療と予防 7. 呼吸器感染症とマクロライド	日本胸部臨床S214-S222,2014
895	賀来敬仁, 柳原克紀	検査部	感染症診療update II章 主要な臓器感染症 F. 肺炎	日本医師会雑誌 143特別号(2):S142-147,2014
896	森永芳智, 柳原克紀	検査部	感染症診療update III章 主要な感染症(原因微生物毎9) C. グラム陰性桿菌感染症	日本医師会雑誌 143特別号(2):S317-S318,2014
897	森永芳智	検査部	特集 PK-PDパラメータから捉える感染症治療 PK-PDパラメータを活用した感染症治療の実例—6 非定型病原体感染症—マイコプラズマ, クラミジア(クラミドフィラ), レジオネラ	感染と抗菌薬 17(4)358-364,2014
898	柳原克紀	検査部	研究の周辺から Host-Pathogen-Antibioticsの視点から考える呼吸器感染症の治療戦略—マクロライド系抗菌薬の役割を再考する—	呼吸 1073-1074,2014
899	長谷川寛雄, 柳原克紀	検査部	話題 EZH2活性変異を有するリンパ腫の新たな治療戦略の可能性	血液内科 69(4),545-552,2014
900	小佐井康介	検査部	Theme 4 NHCAP患者の管理, 第2集 Respiratory Care Seminar, 高齢者肺炎の新しいカテゴリー, 医療・介護関連肺炎(NHCAP)の治療とケア, 呼吸器ケア	メディカ出版, p91-94, 2014
901	長谷川好規, 森下宗彦, 飯沼由嗣, 田坂定智, 田中栄作, 中川 拓, 柳原克紀, 大崎能伸, 棟方 充, 長尾啓一, 四元秀毅, 中島由槻, 松岡 健, 川根博司, 河野茂, 藤村政樹, 田口 修, 矢野修一, 田代隆良, 新美	検査部	日本結核病学会教育委員会	結核症の基礎知識(改訂第4版) 結核 89(4):521-545,2014
902	小佐井康介, 柳原克紀	検査部	1. ASTの基礎知識。(二木 芳人(編), 学ぶ, 取り組む, 実践する! AST(抗菌薬適正使用支援チーム)	, 医薬ジャーナル社, 大阪, p12-32所収)2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
903	柳原 克紀	検査部	b.菌血症. (MRSA感染症の治療ガイドライン作成委員会(編))	MRSA感染症の治療ガイドライン2014年改訂版, 日本化学療法学会・日本感染症学会, p24-28 所収)
904	山口仁平, 金子賢一, 高橋晴雄, 木下直江	病理診断科	中咽頭に発生した血管周皮細胞腫例	耳鼻咽喉科臨床 107(1): 31-36, 2014
905	村上直子, 北島道夫, 村上優子, 今村健仁, 山崎健太郎, 木下直江, 林徳眞吉, 磯本一郎, 三浦清徳, 増	病理診断科	片側付属器摘除後に初発時と異なる発育形態で対側卵巣に生じた卵巣漿液性境界悪性腫瘍の一例	日本磁気共鳴医学会雑誌 34(1): 1-5, 2014
906	虎島泰洋, 峯由華, 高槻光寿, 曾山明彦, 足立智彦, 北里周, 山之内孝彰, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 黒木保, 木下直江, 市川辰樹, 中尾一彦, 江	病理診断科	糖原病III型に対して脳死肝移植を施行した1例	長崎医学会雑誌 89(1): 58-61, 2014
907	竹内潤, 富田雅人, 宮田倫明, 安倍邦子, 尾崎誠	病理診断科	左前腕に発生した稀な血管芽腫の一例	整形外科と災害外科 63(1): 141-144, 2014
908	表紀仁, 谷口博之, 近藤康博, 木村智樹, 片岡健介, 松田俊明, 横山俊樹, 福岡順	病理診断科	家族性特発性間質性肺炎の放射線学的・病理学的特徴の検討	陶生医報 (29): 1-5, 2014
909	富永哲郎, 福田大輔, 竹下浩明, 黨和夫, 阿保貴章, 日高重和, 七島篤志, 木下直江, 永安武, 澤井照光	病理診断科	リンパ管侵襲を伴った腸管子宮内膜症の1例	日本消化器外科学会雑誌 47(6) . 351-356, 2014
910	北島正親, 井上啓爾, 原村智子, 渡海大隆, 野田和雅, 伊藤信一郎, 南恵樹, 原口正史, 入江準二, 木下直江, 江口晋	病理診断科	肺mucosa-associated lymphoid tissue(MALT)リンパ腫の1手術例	長崎医学会雑誌 89(2): 120-124, 2014
911	森真琴, 佐藤典子, 烏山道子, 谷口盛人, 平山三国, 里翼, 布村さゆり, 安倍邦子, 穴見正信, 矢野	病理診断科	乳腺Adenomyoepitheliomaの細胞像	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 45: 65-69, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
912	石松祐二, 中島章太, 朝長正臣, 原田達彦, 原 敦子, 原 信太郎, 角川智之, 坂本憲穂, 福岡順也, 河野	病理診断科	BAL液が白濁を呈さなかった骨髄異形成症候群に伴う続発性肺胞蛋白症の1例	長崎医学会雑誌 89(2): 130-135, 2014
913	松島加代子, 磯本一, 石居公之, 東俊太郎, 塩田純也, 西山 仁, 竹島史直, 宿輪三郎, 中尾一彦, 中山敏幸, 田畑和宏, 中島正洋, 福岡順也	病理診断科	小腸潰瘍の鑑別診断】小腸疾患の診断における拡大観察の意義 炎症性腸疾患における回腸末端の内視鏡拡大観察は必要か	胃と腸 49(9): 1309-1316, 2014
914	宮田倫明, 富田雅人, 松尾洋昭, 近藤超子, 小林恭介, 白石和輝, 馬場秀夫, 林 徳真吉, 木下直江, 尾	病理診断科	当科におけるSolitary fibrous tumor(SFT)の予後調査	整形外科と災害外科 63(4): 685-687, 2014
915	田浦智之, 朝長匡, 飯岡 隆, 池田倫太郎, 入江準二, 木下直江	病理診断科	骨代謝過剰抑制(SSBT)による大腿骨転子下骨折の1例	整形外科と災害外科 63(4): 773-778, 2014
916	川尻真也, 青柳潔, 西野文子, 吉村聡志, 鈴木貴久, 中島好一, 寶來吉朗, 岩本直樹, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 中村英樹, 川上 純, 折口智樹, 加島志郎,	病理診断科	強皮症と鑑別を要した抗Scl-70抗体陽性の好酸球性筋膜炎の一例	九州リウマチ 34(2): 141-145, 2014
917	浅井 幸, 富田 元, 林 徳真吉, 宇谷厚志	病理診断科	稗粒種様特発性皮膚石灰沈着症を合併したDown 症候群の 1例	西日本皮膚科 76(2): 88-91, 2014
918	井上啓爾, 北島正親, 原村智子, 渡海大隆, 伊藤信一郎, 野田和雅, 南恵樹, 原口正史, 鬼塚伸也, 入江準二, 安倍邦子, 江口 普	病理診断科	多発性限局性スリガラス影を呈した肺胞蛋白症の1例	長崎医学会雑誌 89(2): 165-169, 2014
919	鶴野広介, 福岡順也	病理診断科	労作時低酸素血症をきたす疾患の病理	呼吸器内科 25(2): 170-178, 2014
920	新田哲久, 高橋雅士, 園田明永, 大谷秀司, 永谷幸裕, 村田喜代史, 田中伴典, 福岡順	病理診断科	すりガラス影を伴う結節(GGN) 歴史的背景から最近の動向まで	画像診断 34(7): 786-797, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
921	鶴野広介, 福岡順也	病理診断科	【疾患と運動時低酸素血症】労作時低酸素血症を来す疾患の病理	. 呼吸と循環 62(6): 519-525, 2014
922	加島志郎, 唐田博貴, 玉城由佳理, 福岡順也	病理診断科	【新技術の呼吸器への応用を考える】肺病理分類、診断に期待される新技術	THE LUNG-perspectives 22(4): 383-387, 2014
923	福岡順也	病理診断科	「切除可能悪性胸膜中皮腫に対する集学的治療法の確立に関する研究」	厚生科学基盤研究分野 がん臨床研究事業(H23-がん臨床-一般-010)
924	福岡順也	病理診断科	「呼吸器系疾患分野 特発性間質性肺炎」びまん性肺疾患に関する調査研究	厚生労働科学研究平成24年度難治性疾患克服研究事業
925	高村祐磨, 町野隆介, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 土谷智史, 山崎直哉, 永安武, 安倍邦子, 林徳真吉	病理診断科	肺門部に発生した脂肪肉腫の1切除例	第54回日本肺癌学会九州支部学術集会・第37回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会: 2014.2
926	石丸豊, 坂本綾美, 石丸英樹, 木下直江, 林健太郎, 林秀行, 坂本一郎, 上谷雅孝	病理診断科	自己免疫性膵炎患者に合併したIgG4関連胆嚢炎と考えられた一例	第178回日本医学放射線学会九州地方会・第49回日本核医学会九州地方会: 2014.2
927	田代将人, 朝永七枝, 木下明敏, 木下直江, 河野茂	病理診断科	多発性肺嚢胞を伴った夏型過敏性肺臓炎の一例	第54回日本肺癌学会九州支部学術集会・第37回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会: 2014.2
928	赤司沙織, 井手口怜子, 福田俊夫, 崎戸康浩, 南和徳, 中嶋一寿, 大畠雅之, 望月響子, 木下直江, 上	病理診断科	小腸捻転によるイレウスを発症した腸間膜リンパ管腫の1例	Japanese Journal of Radiology 32: 83, 2014
929	町野隆介, 山崎直哉, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 土谷智史, 木下直江, 永	病理診断科	気管支形成を伴った中葉切除により下葉切除を回避できた右中葉気管支入口部原発の気管支カルチノイドの1例	気管支学 36: S200, 2014
930	木下明敏, 田代将人, 朝永七枝, 木下直江, 河野茂	病理診断科	肺アミロイドーシスに伴う多発性肺嚢胞・結節影を呈したシェーグレン症候群の一例	気管支学 36: S277, 2014
931	松島肇, 黒木保, 北里周, 足立智彦, 平原正隆, 日高匡章, 曾山明彦, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 高槻光寿, 木下直	病理診断科	肝内胆管癌の発癌過程におけるSOX9の関与とその臨床的意義	日本外科学会雑誌 115(臨増2): 283, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
932	久芳さやか, 南 恵樹, 足立利幸, 川上総子, 山之内孝彰, 松本 恵, 矢野洋, 安倍邦子, 藤田文彦, 高槻光寿, 金高賢悟, 黒木 保, 永安 武, 江	病理診断科	乳房温存療法における術中迅速組織診断の有用性の検討	日本外科学会雑誌 115(臨増2): 341, 2014
933	入江準二, 安倍邦子, 木下直江, 安井春奈, 森山くるみ, 丸尾俊昭, 上井 元, 河合紀生	病理診断科	当科で経験した乳腺原発性化生癌4例について	日本病理学会会誌 103(1): 310, 2014
934	龍田実代子, 濱田直樹, 緒方彩子, 坪内和哉, 大森雅子, 田村健太郎, 春藤裕樹, 高野智嗣, 原田大志, 伊地知佳世, 橋迫美貴子, 有森陽二郎, 綿屋 洋, 高山浩一, 中西洋一	病理診断科	食道狭窄を来した硬化性縦隔炎の一例	気管支学 36: S270, 2014
935	高野智嗣, 濱田直樹, 大森雅子, 春藤裕樹, 龍田実代子, 田村健太郎, 坪内和哉, 橋迫美貴子, 伊地知佳世, 緒方彩子, 高山浩一, 中西洋一	病理診断科	原発性肺アミロイドーシスの2症例	気管支学 36: S278, 2014
936	坪内和哉, 濱田直樹, 緒方彩子, 大森雅子, 高野智嗣, 龍田実代子, 春藤裕樹, 田村健太郎, 伊地知佳世, 橋迫美貴子, 猪島 一朗, 高山浩	病理診断科	全身ステロイド投与に抵抗性を示した喉頭サルコイドーシスの1例	気管支学36巻Suppl. PageS292(2014.03)
937	稲田順也, 平井文彦, 岩本康男, 山中竹春, 田口健一, 武田晃司, 駄賀晴子, 清水淳市, 田中 薫, 小暮啓人, 木村達郎, 小野 哲, 佐々木秀文, 福岡順也, 西山憲一, 瀬戸貴司, 一瀬幸人, 中	病理診断科	進行胸腺癌に対するCarboplatin+Paclitaxel併用療法の臨床第II相試験 WJOG 4207L	日本呼吸器学会誌 3(増刊): 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
938	武村民子, 蛇澤晶, 寺崎泰弘, 小橋陽一郎, 村上知之, 熊坂利夫, 田畑和宏, 福岡順也, 藤井丈士, 河端美則, 小倉高志	病理診断科	気腫合併肺線維症の病理組織学的検討 分類不能型間質性肺炎に焦点をあてて	日本病理学会会誌 103(1): 205, 2014
939	岡村 岳, 田中伴典, 加島志郎, 田畑和宏, 林 健太郎, 鶴野広介, 片岡健介, 近藤康博, 谷口博之, 渡辺憲太郎, 原田泰	病理診断科	P-index UIP患者における予後予測のための簡易で有効な組織学的ツール	日本病理学会会誌 103(1): 205, 2014
940	牛草 健, 田畑和宏, 田中伴典, 鶴野広介, 峠田直人, 加島志郎, 片岡健介, 近藤康博, 谷口博之, 福	病理診断科	弾力線維症によるperilobular margination 通常型間質性肺炎の堅牢な組織学的マーカー	日本病理学会会誌 103(1): 206, 2014
941	藤本淳也, 堀 隆, Annikka Weissferdt, Neda Kalhor, 福岡順也, Ignacio Wistuba, Cesar Moran	病理診断科	胸腺上皮腫瘍のスパイラルアレイを用いた組織病理学的評価	日本病理学会会誌 103(1): 208, 2014
942	徳満純一, 安井順一, 原口 愛, 堀江一郎, 木下直江, 南 恵樹, 安藤隆雄, 川上 純	病理診断科	頸部リンパ節からの細胞診では診断が困難であった甲状腺乳頭癌の2例	日本内分泌学会雑誌 90(1):372, 2014
943	高村祐磨, 矢野洋, 進藤久和, 松本 恵, 石丸英樹, 林 健太郎, 木下直江, 永安 武	病理診断科	Basedow病に対して術前コイル塞栓術を施行した1例	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 31: S90, 2014
944	池岡俊幸, 野崎彩, 原口 愛, 高島治子, 安井順一, 赤澤 諭, 植木郁子, 堀江一郎, 古林正和, 安藤隆雄, 阿比留教生, 宇佐俊郎, 川崎英二, 山崎浩則, 木	病理診断科	副腎腫瘍摘出後に高度肥満と血糖コントロールの改善を認めた糖尿病の1例	糖尿病 57(4): 310, 2014
945	伊藤達弘, 池岡俊幸, 原口 愛, 植木郁子, 堀江一郎, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 安倍邦子, 川崎英二, 川上 純	病理診断科	急性心筋梗塞が疑われた甲状腺乳頭癌の心臓浸潤の一例	日本内分泌学会雑誌 90(1): 371, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
946	入江準二, 森山くるみ, 丸尾俊昭, 上井元, 安井春奈, 木下直江, 安	病理診断科	当院における乳腺原発の化生癌2例	日本臨床細胞学会雑誌 53(1): 352, 2014
947	吉村俊祐, 太田理絵, 前田泰宏, 宮崎禎一郎, 向野晃弘, 中田るか, 中嶋秀樹, 白石裕一, 本村政勝, 吉村俊朗, 川上純, 林徳真吉, 福岡	病理診断科	造影MRI検査で腫瘍性病変との鑑別が困難であった円錐部脱髄性脊髄炎の1例	臨床神経学 54(4): 374, 2014
948	堀隆, 布村さゆり, 田中伴典, 福岡順也, 小梶恵利, 野本一博	病理診断科	甲状腺の腺腫様結節と濾胞性腫瘍における細胞学的鑑別因子の同定研究	日本臨床細胞学会雑誌 53(1): 215, 2014
949	小梶恵利, 堀隆, 福岡順也, 布村さゆり, 常山幸一, 木屋千恵子, 野本	病理診断科	胸水中に出現したALK陽性肺癌の細胞像に関する検討	日本臨床細胞学会雑誌 53(1): 239, 2014
950	小宮顕, 加藤智規, 堀隆, 福岡順也, 保田賢司, 野崎哲夫, 藤内靖喜, 布施秀樹	病理診断科	針生検標本を用いた組織アレイ、スパイラルアレイの開発と前立腺癌での予後因子の網羅的検討	日本泌尿器科学会総会 102: 452, 2014
951	田上幸憲, 矢野洋, 松本恵, 進藤久和, 大坪竜太, 木下直江, 田中伴典, 田畑和宏, 永安武	病理診断科	ハーセプチン補助療法後に局所再発したHER2陽性乳癌の1例	第51回九州外科学会・第50回九州内分岐外科学会: 2014.5
952	田代将人, 朝永七枝, 木下明敏, 木下直江, 河野茂	病理診断科	多発性肺嚢胞を伴った夏型過敏性肺炎の1例	気管支学 36(3): 321, 2014
953	鎌田健作, 藤本隆史, 出端亜由美, 日宇健, 吉田光一, 木下直江, 松尾孝之, 永田泉	病理診断科	嗅溝部神経鞘腫の1例	Brain Tumor Pathology 31:138, 2014
954	丸安広, 日高匡章, 曾山明彦, 足立智彦, 北里周, 前川恭一郎, 虎島泰洋, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 小林和真, 高槻光寿, 黒木保, 木下直江, 江口	病理診断科	L-OHPによる肝障害をきたした直腸癌肝転移に対しPmab単剤投与後に肝切除を施行した1例	日本外科系連合学会誌 39(3): 605, 2014
955	富田雅人, 宮田倫明, 野崎義宏, 安倍邦子, 林徳真吉, 尾崎誠	病理診断科	骨外性通常型軟骨肉腫の1例	整形外科と災害外科 6(1): 74, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
956	町野隆介, 山崎直哉, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 土谷智史, 田中伴典, 永	病理診断科	肺門部Glomus腫瘍の1例	気管支学 36(3)319, 2014
957	奥平定之, 岡田怜美, 曾山明彦, 日高匡章, 虎島泰洋, 高槻光寿, 江口晋, 山口東平, 宮明寿光, 市川辰樹, 中尾一彦, 林徳真吉, アリファ・ナズニーン, 安倍邦子, 福岡順也	病理診断科	初回及び再肝移植後にVOD(Veno-Occlusive-Disease)を発症したC型肝炎・肝癌の1例	移植 49(1): 161, 2014
958	丸屋安広, 日高匡章, 曾山明彦, 足立智彦, 北里周, 前川恭一郎, 虎島泰広, 藤田文彦, 金高賢悟, 南恵樹, 小林和真, 高槻光寿, 黒木保, 木下直江, 江口	病理診断科	L-OHPによる肝障害をきたした直腸癌肝転移に対しPmab単剤投与後に肝切除を施行した一例	第39回日本外科系連合学会学術集会: 2014.6
959	道喜香奈美, 佐藤典子, 烏山道子, 谷口盛人, 平山三国, 里翼, 濱崎幸恵, 石井洋子, 有働恵美子, 矢野浩夢, 穴見正信, 加島志郎, 田中伴典, 田畑和宏, 木下直江, 安倍邦子, 林徳真吉, 富田雅人, 福岡順也	病理診断科	細胞診で二相性を示した富細胞性神経鞘腫の一例	第29回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会・成人病検診従事者指導講習会: 2014.6
960	小坂太一郎, 大畠雅之, 山根裕介, 田浦康明, 高槻光寿, 永安武, 江口晋, 石橋麻奈美, 楊井章紀, 船越康智, 岡田雅彦, 安	病理診断科	Altman II型仙尾部奇形腫の1例	日本小児血液・がん学会雑誌. 51(2): 178, 2014
961	花牟禮聡美, 北岡杏子, 吉田晴郎, 高橋晴雄, 田畑和	病理診断科	当科で経験した側頭骨巨細胞腫の1症例	耳鼻咽喉科臨床 補冊139: 74, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
962	濱邊順平, 立石洋平, 辻野彰, 久富一輝, 松隈誠司, 谷川和好, 江石清行, 恒任章, 前村浩二, 中山敏幸, 田中伴典, 林徳真吉, 福岡順也	病理診断科	脳梗塞急性期に開心術にて塞栓源を摘出した2症例	臨床神経学 54(6): 528, 2014
963	福岡順也	病理診断科	気腫と線維化を病理から見ると	第72回日本呼吸器学会・日本結核病学会九州支部春季学術講習会: 2014.6
964	久原貴志, 安倍邦子, 穴見正信, 浅田理美, 田口雄大, 岡田怜美, 林徳真吉	病理診断科	男性乳腺の被包性乳頭癌の一例	第29回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会: 2014.6
965	曾根美佳, 田中克己, 矢野浩規, 富田雅人, 宮田倫明, 山崎直哉, 木下直江, 平野明喜	病理診断科	広範囲切除後11年経過してから再発を認めた肩甲部平滑筋肉腫の1例	第95回九州・沖縄形成外科学会学術集会: 2014.7
966	朝長哲生, 松尾光敏, 水谷明正, 塩竈利昭, 木下直江, 林徳真吉, 福井洋	病理診断科	粘膜下出血による高齢者小腸重積の1例	第97回日本消化器内視鏡学会九州支部例会・第103回日本消化器病学会九州支部例会: 2014.7
967	伊藤達弘, 卜部繁俊, 木下直江, 井山玲奈, 木下梨華子, 松本耕輔, 福田浩子, 庄司寛之, 橋口慶一, 南ひとみ, 松島加代子, 赤澤祐子, 塩澤健, 山口直之, 大仁田賢, 磯本一, 竹島史直, 中尾一彦	病理診断科	消化管出血を契機に発見されたガストリノーマの一例	第97回日本消化器内視鏡学会九州支部例会: 2014.7
968	磯本一郎, 石山彩乃, 瀬川景子, 小川直美, 矢野洋, 南恵樹, 安倍邦	病理診断科	腹部MRIで偶然発見された乳腺疾患の検討	日本乳癌学会総会プログラム抄録集 22: 359, 2014
969	瀬川景子, 磯本一郎, 安倍邦子, 矢野洋, 久芳さやか, 南恵樹, 福田	病理診断科	Dual energyイメージングを用いた乳癌広がり診断	日本乳癌学会総会プログラム抄録集22: 362, 2014
970	松本恵, 矢野洋, 進藤久和, 大坪竜太, 安倍邦子, 木下直江, 永安武	病理診断科	サブタイプ別にみた術前化学療法による治療効果の検討	日本乳癌学会総会プログラム抄録集 22: 510, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
971	七島篤志, 阿保貴章, 永安 武, 木下直江, 福岡順也	病理診断科	胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)の臨床病態と外科治療成績—長崎大学—胆管内乳頭状腫瘍とは何か	日本胆道学会シングルピックカンファレンス: 2014.8
972	本多 舞, 浅井 幸, 神尾芳幸, 小池雄太, 富田 元, 鋤塚大, 小川文秀, 林徳真吉, 木下直江, 宇谷厚志	病理診断科	Spindle cell squamous cell carcinoma(SCSCC)の局所再発が疑われた1例	西日本皮膚科 76(4): 407, 2014
973	古賀洋一, 藤田文彦, 峯 由華, 虎島泰洋, 米田 晃, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木 保, 加島志郎, 木下直江, 江口 晋	病理診断科	腹腔鏡下虫垂切除術を施行した穿孔性虫垂憩室炎の1例	第24回九州内視鏡下外科手術研究会: 2014
974	崎村千香, 小坂太一郎, 石井光寿, 稲村幸雄, 大畠雅之, 高槻光寿, 江口 晋, 木下直江	病理診断科	腸管重複症病変を先進部とした乳児腸重積症の1例	日本小児科学会雑誌 118(9): 1384, 2014
975	大西 愛, 中村 裕, 原田定智, 中嶋一寿, 木下史子, 得雄一郎, 堤 卓也, 木下直江, 入江	病理診断科	アセトアミノフェンによりVanishing Bile Duct syndromeを呈した1例	日本小児科学会雑誌 118(9): 1386-1387: 2014
976	黒部由佳, 野崎彩, 原口 愛, 植木郁子, 堀江一郎, 今泉美彩, 安藤隆雄, 木下直江, 宇佐俊郎, 川上 純	病理診断科	びまん性硬化型乳頭癌の一例	日本内分泌学会雑誌 90(2): 539, 2014
977	堀上謙作, 末吉真, 平尾幸一, 本田智大, 赤司良平, 中尾功二郎, 木崎嘉久, 計屋知彰, 竹原浩介, 安	病理診断科	カテコラミン心筋症を契機に発見された傍神経節腫の一例	日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 5: S735, 2014
978	荻原幸宏, 芦澤和人, 林 秀行, 川上純, 山崎直哉, 永安 武, 田中伴典, 田畑和宏, 福岡順也, 上谷雅孝	病理診断科	多発結節影を呈したCaplan症候群の1例	日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 50: S714, 2014
979	森 美央, 林 秀行, 荻原幸宏, 上谷雅孝, 西田暁史, 芦澤和人, 山崎直哉, 永安 武, 田中伴典, 福岡 順也	病理診断科	肺グロームス腫瘍の1例	日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 50: S707-S708, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
980	東 美智子, 富村沙織, 加島志郎, 福岡順也, 宇谷厚	病理診断科	融合性細網状乳頭腫症の1例	西日本皮膚科 76(5): 511, 2014
981	福岡順也, 田畑和宏, 加島志郎, 橋迫美貴子, 唐田博	病理診断科	肺がんの背景に見られる間質性肺炎をどう診断しマネージするか? 肺癌の背景肺を病理学的に分類すると	肺癌 5(5): 277, 2014
982	高畑海音子, 橋迫美貴子, 田中伴典, 田畑和宏, 加島志郎, 山崎直哉, 土谷智史, 松本桂太郎, 宮崎拓郎, 永安 武, 福岡	病理診断科	肺癌背景肺におけるMuc5B発現	肺癌 54(5): 433, 2014
983	鬼塚貴光, 岩浪崇嗣, 川口 誠, 福岡順也, 中川 誠	病理診断科	気腫合併肺線維症を背景にしたDendriform pulmonary ossificationの1例	肺癌 (0386-9628)54巻5号 Page603(2014.10)
984	岩田剛和, 吉野一郎, 吉田成利, 池田徳彦, 長瀬清亮, 坪井正博, 菱田智之, 朝戸裕二, 片上信之, 坂本和裕, 山下芳典, 東山聖彦, 光富徹哉, 山下素弘, 横内 浩, 大久保憲一, 岡田守人, 竹之山光広, 千田雅之, 富井啓介, 松浦求樹, 吾妻安良太, 岩澤多恵, 桑野和善, 坂井修二, 廣島健三, 福岡順也, 吉	病理診断科	特発性肺線維症(IPF)合併非小細胞肺癌に対する周術期pirfenidone療法の効果と安全性に関する第II相試験	肺癌 54(5): 330, 2014
985	久原貴志, 安倍邦子, 穴見正信, 岡田怜美, 林 徳真	病理診断科	男性乳腺に発生した被包型乳頭癌の一例	第53回日本臨床細胞学会秋期大会: 2014.11
986	道喜香奈美, 佐藤典子, 谷口盛人, 平山三国, 里 翼, 二反田隆夫, 穴見正信, 木下直江, 中山敏幸, 福岡順也	病理診断科	診断に苦慮した富細胞性神経鞘腫の一例	第53回日本臨床細胞学会秋期大会: 2014.11

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
987	今泉利信, 穴見正信, 佐藤典子, 谷口盛人, 平山三国, 里翼, 道喜香奈美, 二反田隆夫, 木下直江, 安倍邦子, 林徳真吉, 福岡順也, 岸川 正大	病理診断科	若年者に見られた軟骨肉腫の一例	第53回日本臨床細胞学会秋期大会(2014.11)
988	榊原優香, 進藤久和, 矢野 洋, 馬場雅之, 大坪竜太, 松本 恵, 宮崎拓郎, 松本桂太郎, 土谷智史, 山崎直哉, 木下直江, 安倍邦子, 永安 武	病理診断科	脳死肺移植後4年目に急速に増大した乳腺葉状腫瘍	第76回日本臨床外科学会総会: 2014.11
989	古賀洋一, 米田晃, 峯 由華, 釘山統太, 木下直江, 虎島泰洋, 藤田文彦, 金高賢悟, 高槻光寿, 黒木 保, 福岡順也, 江口	病理診断科	胃癌の肝転移と鑑別が困難であったいわゆる肝炎症性偽腫瘍の1切除例	第104回日本消化器病学会九州支部例会・第98回日本消化器内視鏡学会九州支部例会: 2014.12
990	森田修平, 末廣智之, 田中わかな, 桑原 愛, 一瀬仁美, 原口雅史, 宮副由梨, 山道 忍, 高木裕子, 時村郁子, 中舗 卓, 妹尾健正, 柴田英貴, 本田琢也, 三馬聡, 宮明寿光, 田浦直太, 中尾一彦, 加茂泰広, 阿保貴章, 木下直江	病理診断科	IgG関連硬化性胆嚢炎の一例	消化器病学会第104回九州支部例会: 2014.12
991	福岡順也	病理診断科	症例に対する病理解説	第11回九州びまん性肺疾患カンファレンス: 2014.3
992	福岡順也	病理診断科	肺癌の最近のトピックス - 肺がん病理の基本的な見方 -	久留米大学病院腫瘍センター講演会: 2014.3
993	福岡順也	病理診断科	Focus meeting ATS/ ERS IIRs consensus classification 2013 - その変更点と今後の問題点 - Update and possible confusions in pathological	第73回日本医学放射線学会総会: 2014.4
994	福岡順也	病理診断科	びまん性肺疾患に対する最新情報の提供	第138回びまん性肺疾患研究会: 2014.5

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
995	福岡順也	病理診断科	気腫と線維化を病理から見ると	第72回日本呼吸器学会・日本結核病学会九州支部 春季学術講演会: 2014.6
996	福岡順也	病理診断科	肺がんの周囲を見渡すと	第42回Shiga Chest Disease Conference: 2014.7
997	福岡順也	病理診断科	病理診断の少し違った見方、肺病理を中心に	7大学連携先端のがん教育基盤創造プラン: 2014.9
998	福岡順也	病理診断科	経過が興味深い縦隔腫瘍, びまん性肺疾患	第28回胸部放射線研究会: 2014.9
999	福岡順也	病理診断科	びまん性肺疾患の病理について	第78回東海びまん性肺疾患カンファレンス: 2014.9
1000	福岡順也	病理診断科	肺癌と周囲肺の病理について	第96回北九州肺縦隔疾患研究会および北九州ブロック肺がん検診読影従事者講習会: 2014.11
1001	福岡順也	病理診断科	肺癌の背景 肺を病理学的に分類すると	第55回日本肺癌学会学術集会: 2014.11
1002	福岡順也	病理診断科	急性間質性肺疾患群ー病理診断のup to date	第8回びまん性肺疾患フォーラム:
1003	中道聖子, 泉川公一, 井上圭太, 坂本憲穂, 石松祐二, 河野 茂, 大園	総合診療科	第 XII 脳神経症状を伴い, 緩徐な経過で高齢発症したLemierre 症候群の 1 例	感染症学雑誌 88(5): 704-707, 2014
1004	門田耕一郎, 清水悠路, 永吉真子, 山梨啓友, 小屋松淳, 吉谷清光, 塚本和弘, 齋藤俊行, 青柳 潔, 大園惠幸, 前田隆浩	総合診療科	ヘルスプロモーション実習が参加住民の健康改善に及ぼす効果についての検討	医学教育 45(Suppl): 116, 2014
1005	七島篤志, 飯田哲也, 本田琢也, 西田暁史, 小林和真, 福田 実, 澤井照光, 芦澤和人	臨床腫瘍学	癌医療におけるCancer Boardの役割-多科・多職種によるチーム医療の現状-	臨牀と研究 別冊 91(7): 92-98, 2014
1006	芦澤和人	臨床腫瘍学	カンサーボードー放射線科医が主役ー	画像診断34(2):137, 2014
1007	芦澤和人	臨床腫瘍学	「肺を立体でみる」習慣が身に付く教科書 Medical Library	書評・新刊案内, 週間医学界新聞3070: 6, 2014
1008	芦澤和人, 岸本卓巳, 岡本賢三	臨床腫瘍学	じん肺症の画像診断をめぐって	石綿肺, 日本胸部臨牀12(73): 1416-1423, 2014
1009	芦澤和人	臨床腫瘍学	特集: 胸部画像のとらえ方 胸部CTの所見のとおり方と鑑別のポイント	3)呼吸器感染症, 呼吸器内科26 (5): 357-359, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1010	長山拓希, 芦澤和人, 末吉英純, 坂本一郎, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	呼吸機能障害を来す病態の画像・2	肺血栓塞栓症, 呼吸と循環62(2)別冊: 154-164, 2014
1011	林 秀行, 芦澤和人, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	mosaic patternの鑑別	画像診断 34: 196-199, 2014
1012	林 秀行, 芦澤和人, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	肺動脈内の陰影欠損	画像診断 34: 200-203, 2014
1013	芦澤和人, 林 秀行, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	【ビギナーのための胸部画像診断-Q&A アプローチ】シルエットサインシルエットサインの基本について教えて下さ	画像診断 34: 818-820, 2014
1014	芦澤和人, 林 秀行, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	【ビギナーのための胸部画像診断-Q&A アプローチ】シルエットサインシルエットサインの応用にはどのようなものがありますか?	画像診断 34: 821-823, 2014
1015	芦澤和人	臨床腫瘍学	職業性石綿ばく露による肺・胸膜病変の経過観察と肺がん・中皮腫発生に関する研究	厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)平成25年度分担研究報告書, 2014
1016	林 秀行, 石丸英樹, 坂本一郎, 末吉英純, 西田暁史, 村上友則, 坂本綾美, 長山拓希, 峯 聡美, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	肝外側副路からの血流を有する肝細胞癌におけるB-TACEの有用性	第43回日本IVR学会, P231 2014
1017	西田暁史, 伊東昌子, 河野美香, 中田朋子, 芦澤和人, 上谷雅孝	臨床腫瘍学	健常女性における骨密度およびジオメトリの縦断的検討	第34回日本骨形態計測学会 2014
1018	磯本一郎, 瀬川景子, 石山彩乃, 林 秀行, 西田暁史, 進藤美智子, 安倍邦子, 矢野 洋	臨床腫瘍学	腹部CT・MRIで指摘された乳腺疾患の検討	第28回日本腹部放射線学会, 2014
1019	奥村祐太, 在田修二, 小河原大樹, 中野倫孝, 岩間映二, 鈴木紳介, 徳永えり子, 芦澤和人, 上野真一, 馬場英司	臨床腫瘍学	がん医療の「均てん化」と「集約化」:九州がんプロ韓国研修から考える日韓の医療モデルと社会的基盤の差異	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 03-8-6, 2014
1020	安藤真紀, 青木美帆, 土屋暁美, 中嶋由紀子, 中川博雄, 本田琢也, 小林和真, 福田 実, 川崎浩二, 芦澤和人	臨床腫瘍学	外来化学療法室オリエンテーションにおけるがん相談専門員の役割	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 02-12-5, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1021	小林和真, 藤田文彦, 虎島泰洋, 南恵樹, 金高賢吾, 高槻光寿, 本田琢也, 黒木保, 芦澤和人, 江口晋	臨床腫瘍学	Imatinibによる診断的治療が奏功し, 治療切除が得られた小腸GISTの一例	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 P2-36-4, 2014
1022	小河原大樹, 在田修二, 奥村祐太, 中野倫孝, 岩間映二, 鈴木紳介, 徳永えり子, 上野真一, 馬場英司, 芦澤和人	臨床腫瘍学	がん医療の「均てん化」と「集約化」九州がんプロ韓国研修から考える 日韓の医療モデルと社会的基盤の差異	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1134, 2014
1023	青木美帆, 安藤真紀, 芦澤和人, 川崎浩二, 福田実, 本田琢也, 中嶋由紀子, 大隈輝美, 峰孝志, 谷口英樹, 石川啓, 木下明敏, 吉田真一郎, 山口広之, 碓秀樹	臨床腫瘍学	がん患者・家族アンケート結果調査に基づくがん診療の現状と課題とがん患者・家族の抱える就労問題	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1881, 2014
1024	中嶋由紀子, 矢野洋, 青木美帆, 安藤真紀, 萩原絹子, 本田琢也, 福田実, 芦澤和人	臨床腫瘍学	長崎大学病院における「がん地域連携パス」への取組	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1125, 2014
1025	中嶋由紀子, 安藤恵美, 青木美帆, 安藤真紀, 寺岡征太郎, 萩原絹子, 本田琢也, 福田実, 芦澤和人	臨床腫瘍学	がん患者カウンセリング料に関する実態調査 - 医師と看護師の認識の違い -	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1889, 2014
1026	土屋暁美, 中村絵理花, 鈴木一枝, 川田満栄, 宮本美樹子, 森 寿知, 青木美帆, 安藤真紀, 中嶋由紀子, 中川博雄, 本田琢也, 小林和真, 福田実, 芦澤和人	臨床腫瘍学	がん化学療法におけるDocetaxel先発医薬品と後発医薬品の比較	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P2352, 2014
1027	國弘 遵, 松本武浩, 廣瀬弥幸, 石田清美, 白石好子, 芦澤和人, 浅田真瑞, 河野 茂, 横山哲也	臨床腫瘍学	長崎大学病院院内がん登録における肝細胞癌の生存率分析	第40回日本診療情報管理学会, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1028	國弘 遵, 松本武浩, 廣瀬弥幸, 石田清美, 白石好子, 芦澤和人, 浅田眞瑞, 河野 茂, 横山哲也	臨床腫瘍学	長崎大学病院院内がん登録におけるケースファインディング	第40回日本診療情報管理学会, 2014
1029	安藤真紀, 福田実, 青木美帆, 本田琢也, 川崎浩二, 川田満栄, 安藤恵美, 土屋暁美, 中嶋由紀子, 能勢誠一, 西田暁史, 小河原大樹, 竹本真之輔, 中富克己, 中村洋一, 河野 茂, 芦澤和	臨床腫瘍学	外来化学療法におけるチーム医療～ソーシャルワーカーの取り組	第55回日本肺癌学会学術集会, P-294 P495 2014
1030	土屋暁美, 福田実, 本田琢也, 小林和真, 安藤恵美, 鈴木一枝, 中村絵里花, 青木美帆, 安藤真紀, 中川博雄, 元島幸平, 溝口孝輔, 中村太祐, 中嶋由紀子, 中村洋一, 河野 茂, 芦澤和人	臨床腫瘍学	外来化学療法におけるチーム医療～外来化学療法室カンファレンス～	第55回日本肺癌学会学術集会, P-293 P495 2014
1031	松本桂太郎, 荻原幸宏, 山崎直哉, 土谷智史, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 谷口大輔, 林 秀行, 上谷雅孝, 芦澤和人, 永安 武	臨床腫瘍学	小型肺癌の病理学的因子予測における術前3次元CTによる腫瘍体積測定の有効性	第55回日本肺癌学会学術集会, PD-65 P397 2014
1032	中道聖子, 泉川公一, 井上圭太, 坂本憲穂, 石松祐二, 河野 茂, 大園恵幸	感染症内科	第XII脳神経症状を伴い, 緩徐な経過で高齢発症したLemierre症候群の1例	日本感染症学会雑誌 88: 704-707, 2014
1033	中村茂樹, 柳原克紀, 河野 茂	感染症内科	肺炎球菌はいかにして自然免疫を克服し感染症を発症するのか—鼻咽頭定着を中心とした解析—	日本感染症学会雑誌 88: 669-677, 2014
1034	東 祥嗣, 中村茂樹, 大島一浩, 岩永直樹, 平山達朗, 梶原俊毅, 高園貴弘, 宮崎泰可, 泉川公一, 柳原克紀, 田代隆良, 河野 茂	感染症内科	保存的治療単独で救命し得た気腫性尿路感染症の二例	日本感染症学会雑誌 88: 855-860, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1035	泉川公一, 宮村拓人, 原信太郎, 住吉 誠, 高園貴弘, 中村茂樹, 今村圭文, 宮崎泰可, 河野 茂, 早坂大輔, 余 福勲, 森田公	感染症内科	リケッチア感染症と臨床的鑑別が困難であった軽症の重症熱性血小板減少症候群の1例	IASR 35: 39-40, 2014
1036	柳原克紀, 山田康一, 長岡健太郎, 右山洋平, 小佐井康介, 森永芳智, 中村茂樹, 金子幸弘, 掛屋弘, 興梠博次, 河野 茂	感染症内科	抗菌薬の有効性を高めるための工夫 マクロライド系抗菌薬の効果と病原因子の制御について	日本化学療法学会雑誌 62: 483-493, 2014
1037	泉川公一	感染症内科	【感染症診療update】(III章)主要な感染症(原因微生物毎) 真菌症 アスペルギルス症	日本医師会雑誌 143巻特別2: S348-S350, 2014
1038	泉川公一	感染症内科	マイコプラズマ肺炎と関連病態	日本マイコプラズマ学会雑誌 40: 66-69, 2014
1039	泉川公一	感染症内科	慢性肺アスペルギルス症における病態と新治療戦略	呼吸 33: 291-302, 2014
1040	宮崎泰可	感染症内科	抗HIV治療ガイドラインの改訂	日本医事新報 No.4716: 49, 2014
1041	宮崎泰可	感染症内科	肺炎マイコプラズマ感染症の迅速診断法	日本医事新報 No.4723: 50, 2014
1042	宮崎泰可	感染症内科	慢性肺アスペルギルス症の診断と治療	日本医事新報 No.4726: 53, 2014
1043	中村茂樹	感染症内科	高用量投与による治療	感染と抗菌薬 17: 206-211, 2014
1044	中村茂樹, 河野 茂	感染症内科	糖尿病診療と感染症 肺炎	プラクティス 31: 732-741, 2014
1045	西條知見, 泉川公一, 河野 茂	感染症内科	耐性病原体up-to-date~耐性メカニズムから治療戦略まで~ 耐性病原体 真菌 クリプトコックスの薬剤耐性と治療戦	化学療法の領域 30巻増刊: 1025-1034, 2014
1046	高園貴弘, 泉川公一, 河野 茂	感染症内科	呼吸器真菌症の病態生理と免疫応答	分子呼吸器病 18: 59-62, 2014
1047	田代将人, 松瀬厚人	感染症内科	重症肺炎—病態と治療—	最新医学 69: 1301-1306, 2014
1048	田代将人, 泉川公一	感染症内科	アスペルギルス感染症	呼吸と循環 62: 886-892, 2014
1049	田代将人	感染症内科	高脂血症治療薬スタチンの予期せぬ作用	検査と技術 42: 824-826, 2014
1050	井手昇太郎, 泉川公一, 河野 茂	感染症内科	肺真菌症の診断・治療におけるピットフォール クリプトコックス症: 治療の実際とピットフォール	呼吸器内科 25: 20-27, 2014
1051	井手昇太郎, 泉川公一	感染症内科	深在性真菌症の新しい治療薬の選択法 アスペルギルス症—呼吸器領域での病態と診断・治療	感染と抗菌薬 17: 14-21, 2014
1052	平野勝治, 泉川公一, 河野 茂	感染症内科	クリニカルトピックス 抗真菌薬(前編)	BIO Clinica 29: 93-96, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1053	平野勝治, 泉川公一, 河野茂	感染症内科	クリニカルトピックス 抗真菌薬(後編)	BIO Clinica 29: 91-95, 2014
1054	武田和明, 泉川公一	感染症内科	特集 呼吸器真菌症診療の進歩 クリプトコックス症	日本胸部臨床 73: 1019-1028, 2014
1055	武田和明, 泉川公一, 河野茂	感染症内科	深在性真菌症を学ぶ アスペルギルス症	臨床検査 58: 81-89, 2014
1056	平山達朗, 宮崎泰可, 河野茂	感染症内科	抗真菌薬選択のポイントー使い方と注意点 ポリエン系抗真菌薬	小児内科 46: 1803-1806, 2014
1057	太田祐樹, 崎村直史, 三原 智, 林田謙, 久松 貴, 原 耕平, 泉川公一, 西野友哉, 泉川公一, 河野茂, 柳原	感染症内科	透析患者に併発したFusobacterium nucleatumによる腹膜膿瘍の1例	腎と透析 76: 763-765, 2014
1058	寺坂陽子, 泉川公一	感染症内科	【MDRP対策の道しるべー確実・着実な対応策を求めて】MDRP管理の具体策 尿路系の感染管理 カテーテル管理および排泄物処理	感染対策ICTジャーナル 9: 123-127, 2014
1059	寺坂陽子, 元川津留美, 泉川公一	感染症内科	【“初めてさん”も“自己流さん”もみせて説得!みて納得! 図解でわかる!みんなの感染対策キホンノート】(6章)ベッドサイドで患者に対して実践する感染対策キホンノート 尿道カテーテル管理	INFECTION CONTROL 秋季増刊 151-157, 2014
1060	寺坂陽子, 元川津留美, 泉川公一	感染症内科	【“初めてさん”も“自己流さん”もみせて説得!みて納得! 図解でわかる!みんなの感染対策キホンノート】(6章)ベッドサイドで患者に対して実践する感染対策キホンノート 人工呼吸器関連肺炎の防止	INFECTION CONTROL 秋季増刊 144-150, 2014
1061	泉川公一	感染症内科	3 感染症 深在性真菌症	(今日の治療指針 2014, 医学書院, 東京, pp. 243-244所収)2014
1062	宮崎泰可	感染症内科	I 部ガイドラインオーバービュー 4.日本医真菌学会のガイドライン	(竹末芳生, 三鴨廣繁(編): 侵襲性カンジダ症, 医学ジャーナル社, 大阪, pp.32-36所収)2014
1063	宮崎泰可	感染症内科	: 抗菌薬(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版	医学書院, 東京, pp.268-280所収)2014
1064	中村茂樹	感染症内科	インフルエンザを疑うとき(レジデントのための呼吸器診療マニュアル第二版	医学書院, 東京, pp.51-58所収)2014
1065	中村茂樹	感染症内科	呼吸器内科医への留学のすすめ アメリカ単身留学	(呼吸と循環, 医学書院, 東京, pp.713-716所収)2014
1066	高園貴弘, 泉川公一, 河野茂	感染症内科	感染症関連ガイドラインと使用上の注意	真菌症(神経感染症を究める, 中山書店, 東京, pp.334-338所収)2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1067	高園貴弘, 泉川公一, 河野 茂	感染症内科	肺アスペルギルス症	(臨床雑誌内科 内科疾患最新の治療 明日への指針, 南江堂, 東京, pp.1007-1009所収)2014
1068	吉田将孝, 泉川公一	感染症内科	Ⅲ部1.抗真菌薬2).aキャンディン系薬の特徴	(竹末芳生, 三嶋廣繁(編): 侵襲性カンジダ症, 医学ジャーナル社, 大阪, pp.132-137所収)
1069	吉田将孝, 泉川公一, 河野 茂	感染症内科	6.呼吸器科・慢性呼吸器疾患	(亀井克彦(編): 目で見る真菌と真菌症, 医学ジャーナル社, 大阪, pp.94-108所収)2014
1070	宮崎義継, 渋谷和俊, 杉田 隆, 泉川公一, 高倉俊二, 石野敬子, 金子幸弘, 大野秀明	感染症内科	Cryptococcus gattii感染症の取扱指針	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「地域流行型真菌症の疫学調査, 診断治療法の開発に関する研究」平成23-25年度 総合研究報告書 p.99-100. 2014
1071	河野 茂, 宮崎義継, 三嶋廣繁, 谷口修一, 渋谷和俊, 榎村浩一, 比留間政太郎, 望月隆, 亀井克彦, 川上和義, 宮崎泰可, 山越 智, 掛屋弘	感染症内科	真菌感染症の病態解明及び検査・治療法の確立とサーベイランスに関する研究	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 平成25年度 総括・分担研究年度終了報告書河野茂担当分: p1-4, 宮崎泰可担当分: p.61-66, 2014
1072	穂山大治, 趙 成三, 西岡健治, 前川拓治, 久富一輝, 坂本一郎, 原村田寛明, 大神敬子, 佐伯和信, 弦本敏行, 原 哲也	手術部	胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術中に生じたKounis症候群の1例	長崎医学会雑誌 89: 44-48, 2014
1073	前川拓治	手術部	超音波ガイド下腕神経叢ブロックをより安全に行うために必要な血管走行についての知識	日本ペインクリニック学会誌 21(4): 489-498, 2014
1074	前川拓治	手術部	拡張型心筋症の周術期管理	麻酔 63(1): 21-30
1075	原 哲也, 穂山大治	手術部	高齢者に特有の病態	(澄川耕二編, 高齢者の周術期管理, 克誠堂, 東京, pp. 31-46所収) 2014
1076	村田寛明, 境 徹也	手術部	腕神経叢ブロック. インターベンショナル痛み治療ガイドライン	(日本ペインクリニック学会インターベンショナル痛み治療ガイドライン作成チーム編, 真興交易, 東京, pp. 27-28所収)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1077	村田寛明	手術部	末梢静脈路確保の基本とトラブルシューティング	(レジデントノート 16(1) 羊土社, 東京, pp. 45-52所収) 2014
1078	趙 成三, 前川拓治	手術部	V. 周術期における口腔ケアとリハビリテーション, 1. 口腔ケア. (一For Professional Anesthesiologists—高齢者の周術期管理 澄川耕二編	克誠堂出版, 東京, pp. 335-347 所収) 2014
1079	趙 成三, 前川拓治	手術部	V. 吸入麻酔薬の臓器保護作用と毒性, 3. 虚血肝・腎保護作用	(一For Professional Anesthesiologists—吸入麻酔 山陰道明編 克誠堂出版, 東京, pp. 163-177所収)
1080	前川拓治, 澄川耕二	手術部	第1部 全身管理の基礎 5. 全身管理に用いる薬	(TEXT 麻酔・蘇生学 土肥修司, 澄川耕二編 南山堂, 東京, pp. 135-142所収) 2014
1081	酒井亜輝子, 村田寛明, 井上陽香, 樋田久美子, 一ノ宮大雅, 原 哲也	手術部	Pecs blockとデクスメトミジンによる鎮静で乳腺腫瘍切除術を行った90歳代女性2症例	日本臨床麻酔学会誌 34(6): 340, 2014
1082	中尾秋葉, 西岡健治, 吉崎真依, 一ノ宮大雅, 柴田伊津子, 原 哲也	手術部	体外循環下に肝臓全摘出・再移植を必要とした下大静脈原発性腫瘍切除術の麻酔管理	日本臨床麻酔学会誌34(6): 333, 2014
1083	境 徹也, 村田寛明, 原 哲也	手術部	膀胱全摘術後に陰部鼠径部痛をきたした1症例	日本臨床麻酔学会誌 34(6): 280, 2014
1084	柴田伊津子, 吉富修, 前川拓治, 趙成三, 原 哲也	手術部	GLP-1アナログがブタのスタン心筋の回復に与える影響	麻酔 63: 48, 2014
1085	吉田 操, 戸坂真也, 戸坂玲子, 前川拓治, 趙 成三, 原 哲也	手術部	レミフェンタニルの併用が人工心肺を用いた開心術後の急性腎傷害発生率に与える影響	麻酔 63: 49, 2014
1086	山本裕梨, 荒木寛, 諸岡秋葉, 穂山大治, 吉富修, 原 哲也	手術部	高二酸化炭素血症が気絶心筋の回復に与える影響	麻酔 63: 55, 2014
1087	一ノ宮大雅, 前川拓治, 関野元裕, 山本裕梨, 趙成三, 原 哲也	手術部	生体部分肝移植後の凝固・線溶動態についての検討—ROTEMを用いて—	麻酔 63: 124, 2014
1088	山下春奈, 西岡健治, 濱田 梢, 原 哲也	手術部	麻酔導入時に誤嚥した幽門側胃切除術後の患者の麻酔経験	蘇生 33(3): 198, 2014
1089	荒木 寛, 趙 成三, 山下和範, 長谷敦子, 澄川耕二	救命救急センター	大学病院一施設における予期せぬ在院死亡症例と院内緊急コール体制の検討	蘇生 33(2): 69-73, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1090	猪熊孝実, 長谷敦子, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山下和範, 山梨啓友, 齊藤信夫, 田	救命救急センター	悪寒戦慄を伴う高熱, 全身性皮疹で来院した日本紅斑熱の1例	日本臨床救急医学会雑誌 17(3): 481-485, 2014
1091	高橋国宏, 田中克己, 平野明喜	救命救急センター	ZoneII屈筋腱損傷における一次修復と後療法	形成外科 57(7): 735-744, 2014
1092	山下和範, 長谷敦子	救命救急センター	挿管する; 適応、手技とコツ, 挿管チューブと喉頭鏡	救急医学 38(8): 884-887, 2014
1093	泉野浩生, 山野修平, 赤松 望, 安藝敬生, 前山美和, 田崎 修	救命救急センター	【ICUにおける早期経腸栄養をめぐる】早期経腸栄養施行時のNSTの役割(解説/特集)	ICUとCCU 38(8): 561-565, 2014
1094	田崎 修	救命救急センター	救急医療の概念と救急システム	(土肥修司, 澄川耕二(編): TEXT麻酔・蘇生学, 南山堂, 東京, pp. 375-377所収)
1095	田崎 修	救命救急センター	感染症	(嶋津岳士(編): 目で見る救命救急医療, 日本臨床社, 大阪, pp. 99-109所収)
1096	長谷敦子	救命救急センター	CO2ナルコーシス	(今日の治療指針 2014, 医学書院, pp. 34-35所収) 2014
1097	平尾朋仁	救命救急センター	意識障害をきたす疾患	(土肥修司, 澄川耕二(編): TEXT麻酔・蘇生学, 南山堂, 東京, pp. 408-410所収)
1098	平尾朋仁	救命救急センター	外傷	(土肥修司, 澄川耕二(編): TEXT麻酔・蘇生学, 南山堂, 東京, pp.410-417所収) 2014
1099	山野修平	救命救急センター	中毒の診断治療	(土肥修司, 澄川耕二(編): TEXT麻酔・蘇生学, 南山堂, 東京, pp.417-426所収) 2014
1100	山野修平	救命救急センター	熱傷	(土肥修司, 澄川耕二(編): TEXT麻酔・蘇生学, 南山堂, 東京, pp.427-430所収) 2014
1101	河野 茂, 田崎修, 長谷敦子	救命救急センター	救急医療教育室; マンツーマンで地域の救急医療を学ぶ	長崎県医師会報 821(6): pp.80-83, 2014
1102	長谷敦子	救命救急センター	教育が救急医療を変える	長崎医学同窓会133: pp.17-18, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1103	平尾朋仁, 吉矢和久, 松田宏樹, 射場治郎, 若井聡智, 岸正司, 藤見聡, 定光大海, 嶋津岳士, 田崎修	救命救急センター	重症頭部外傷の予後予測式の検証-多施設前向き研究-	交通事故医療に関する一般研究助成研究報告書集 pp.201-228, 2014
1104	田崎修, 井上健一郎, 山下和範, 上木智博, 猪熊孝実, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山野修平, 泉野浩生	救命救急センター	救命センターの開設前後における外傷患者に関する地域網羅的解析	第42回日本救急医学会雑誌 25(8):373, 2014
1105	平尾朋仁, 竹田昭子, 永田泉, 田崎修	救命救急センター	臓器提供施設における移植医療関連費の費用分配(インセンティブ付与の新たな試み)	日本脳神経外科救急学会雑誌 18(3): 319, 2014
1106	平尾朋仁, 上木智博, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 山下和範, 田崎修	救命救急センター	外傷性急性脳腫脹の発症関連因子の解明	日本救急医学会雑誌 25(8): 453, 2014
1107	平尾朋仁, 竹田昭子, 上木智博, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 山下和範, 松尾孝之, 田崎修	救命救急センター	長崎大学病院における臓器提供の現状-提供側の負担軽減への取り組みと選択肢提示について-	日本救急医学会雑誌 25(8): 457, 2014
1108	田島吾郎, 塩崎忠彦, 泉野浩生, 山野修平, 猪熊孝実, 平尾朋仁, 山下和範, 長谷敦子, 田崎修	救命救急センター	ドクターカーによる病院前心肺蘇生における脳局所酸素飽和度モニタリングシステム	日本救急医学会雑誌 25(8): 452, 2014
1109	山野修平, 泉野浩生, 植木郁子, 前山美和, 田島純子, 田嶋真理子, 佐藤加代子, 樋口則英, 花田浩和, 川崎英二	救命救急センター	摂食障害患者におけるNST介入の有用性について	静脈経腸栄養 29(1): 583, 2014
1110	山野修平, 上木智博, 泉野浩生, 猪熊孝実, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山下和範, 村上友則, 田崎修	救命救急センター	長崎大学病院救命救急センターにおけるAutopsy Imagingの有用性について	日本救急医学会雑誌 25(8): 459, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1111	赤松紀彦, 森永芳智, 山野修平, 賀来敬仁, 原田陽介, 細萱直希, 長岡健太郎, 右山洋平, 山田康一, 松田淳一, 山本善裕, 田崎修, 河野茂, 柳原克紀	救命救急センター	全自動核酸増幅システム(BDMAX)を用いた当院救命救急センターにおけるMRSAアクティブ・サーベイランス	日本臨床微生物学雑誌 23(4): 279, 2014
1112	佐々木亮, 米花伸彦, 宮島衛, 坂平英樹, 末吉孝一郎, 土谷飛鳥, 山野修平, 橋口尚幸, 木村昭夫	救命救急センター	Proteqt(Prophylaxis of Tetanus by Quick Test) study中間報告(第2報)	日本外傷学会雑誌 28(2): 169, 2014
1113	岡本百々子, 山野修平, 平尾朋仁, 上木智博, 泉野浩生, 田島吾郎, 猪熊孝実, 山下和範, 田崎修	救命救急センター	硫酸ミスト吸入によるARDSに対しPCPSを用いて救命し得た一例	日本救急医学会雑誌 25(8): 631, 2014
1114	泉野浩生, 山野修平, 植木郁子, 田嶋真理子, 樋口則英, 前山美和, 花田浩和, 川崎英二, 安武亨	救命救急センター	医師の卵はいつ栄養に目覚めるか	静脈経腸栄養 29(1): 310, 2014
1115	泉野浩生, 上木智博, 山野修平, 平尾朋仁, 田島吾郎, 猪熊孝実, 山下和範, 長谷敦子, 田崎修	救命救急センター	早期経腸栄養と早期経口摂取に向けての取り組み	日本救急医学会雑誌 25(8): 529, 2014
1116	松永亜希子, 吉岡佳世, 大山祐介, 川上悦子, 戸北正和, 泉野浩生, 田崎修	救命救急センター	「人工気道管理中における統一した加温加湿管理への取り組み」~フローシート導入後の有効性の検討~	日本呼吸療法医学会学術総会プログラム・抄録集. 36: 156, 2014
1117	中道志織, 西岡健治, 川口千穂, 古賀嘉人, 瀬崎昌代, 吉富修, 深堀由紀子, 長井一浩, 原哲也, 宮崎泰司	細胞療法部	当院における貯血式自己血全血製剤のマクロアグリゲートの発生頻度に関する実態調査	日本輸血細胞治療学会誌 60(2),396,2014
1118	長井一浩, 原田浩, 熊谷敦史, 宇佐俊郎, 高槻光寿, 江口晋, 大津留晶, 山下俊一, 宮崎泰	細胞療法部	自家樹状細胞免疫療法によって細胆管癌を制御し得たHIVキャリアの1症例	日本輸血細胞治療学会誌 60(1),94,2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1119	金高賢悟,小林慎一郎,堺裕輔,曾山明彦,山之内孝彰,高槻光寿,黒木保,江口晋,大木岳志,山本雅一,長井一浩,朝比奈泉,大脇敏之,高木亮,金井信雄,大和雅之,岡野光夫	細胞療法部	細胞シートトランスポートシステムの構築に向けて 遠距離施設間における口腔粘膜上皮細胞シートの輸送試験	日本外科学会雑誌 115(suppl 2),442,2014
1120	三浦桂一郎,住田吉慶,梅林真由美,中谷佑哉,長井一浩,Zhong Weijian,朝比奈泉	細胞療法部	骨髄濃縮液による骨組織再生の試み BMP-2との相乗効果の検討	日本口腔科学会雑誌 63(1),103,2014
1121	小林正学,下平滋隆,長井一浩,小笠原正浩,高橋秀徳,阿部浩文,谷井貢,岡本正人,辻谷俊一,芝本雄太,長屋昌樹,米満吉和	細胞療法部	The DC-vaccine study group at the Japan Society of Innovative Cell Therapy(J-SICT) 切除不能膵臓癌に対する樹状細胞ワクチン療法	多施設共同研究 日本癌治療学会誌 49(3),1028,2014
1122	小林正学,坂部知代,阿部浩文,谷井貢,高橋秀徳,芝本雄太,小笠原正浩,辻谷俊一,小井戸薫雄,長井一浩,下平滋隆,岡本正人,米満吉和,長屋昌	細胞療法部	The DC-vaccine study group at the Japan Society of Innovative Cell Therapy(J-SICT) 切除不能な進行・再発胆道癌65例に対する人工抗原を用いた樹状細胞ワクチン療法	日本癌治療学会誌 49(3),2077,2014
1123	岩本はる香,木下克美,山下隆司,江川佐登子,藤井実,中園一郎,長井	細胞療法部	PC-HLAの長期使用症例を経験して 血液事業 37(2),378,2014	血液事業 37(2),378,2014
1124	齊藤美保,黒石さゆり,萩原絹子,松本武浩,栗原慎太郎,長井一浩,藤原卓,宮崎泰司	細胞療法部	看護師がエラーを未然に防止した事例の検証	薬剤の指示間違いに関する「優良レポート」より医療の質・安全学会誌 9(Suppl),227,2014
1125	矢野倫太郎,原哲也	集中治療部	嘔声	(稲田英一編:麻酔科研修ノート, 診断と治療社, 東京, pp. 446-447所収) 2014
1126	錦戸雅春, 岩田隆寿, 望月保志, 酒井英樹	泌尿器科	【透析・腎移植のすべて】腎移植 手術透析歴が永く廃用性萎縮膀胱例	腎と透析 76(増刊): 595-597,2014
1127	藤岡真知子, 西野友哉, 辻清和, 牟田久美子, 川崎智子, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 田口尚, 河野茂	泌尿器科	腎生検が活動性評価に有用であった ANCA関連血管炎の一例	日本腎臓学会誌 56(6): 686, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1128	崎村直史, 西野友哉, 上野茉央, 牟田久美子, 川崎智子, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 田口尚, 河野茂	泌尿器科	原因検索に苦慮した急性肉芽腫性尿管間質性腎炎の一例	日本腎臓学会誌 56(6): 697, 2014
1129	中西裕美, 鹿子木桂, 岩田隆寿, 木原敏晴, 望月保志, 宮田康好, 錦戸雅春, 酒井英樹, 木村直江	泌尿器科	腎周囲に発生した血管筋脂肪腫の一例	西日本泌尿器科 76巻(増刊): 118, 2014
1130	望月保志, 中西裕美, 浅井昭宏, 光成健輔, 杠葉美樹, 鹿子木桂, 岩田隆寿, 松尾朋博, 木原敏晴, 大庭康司郎, 宮田康好, 錦戸雅春, 酒	泌尿器科	分子標的療法時代における転移性腎癌に対する逐次交替療法の検討 長崎大学における経験と治療成績	西日本泌尿器科 76(増刊): 116, 2014
1131	望月保志, 岩田隆寿, 中西裕美, 木原敏晴, 酒井英樹, 錦戸雅春, 浦松正, 西野友哉	泌尿器科	腎移植後蛋白尿に関する臨床的検討	日本移植学会総会プログラム抄録集 50回: 351, 2014
1132	望月保志, 岩田隆寿, 錦戸雅春, 酒井英樹	泌尿器科	移植医療と感染症 腎移植と感染症 感染症も拒絶反応もないフォローアップを目指して	日本化学療法学会雑誌 62(Suppl.A): 202-203, 2014
1133	梅根隆介, 西野友哉, 久原拓哉, 北村峰昭, 森篤史, 北村里子, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 錦戸雅春, 田口尚, 河野茂	泌尿器科	Mitomycin Cによる溶血性尿毒症症候群をきたした一例	日本腎臓学会誌 56(6): 689, 2014
1134	中村忠博, 原澤仁美, 樋口則英, 北原隆志, 西野友哉, 錦戸雅春,	泌尿器科	腎移植後、腎機能低下患者における酸化マグネシウム長期投与例の血清マグネシウム値および薬識調査	日本腎臓病薬物療法学会誌 3(2Suppl): 134, 2014
1135	速見浩士, 榎田英樹, 中川昌之, 錦戸雅春, 酒井英樹, 西一彦, 江藤正俊, 井上享, 佐藤文憲, 三股浩光, 大城吉則, 齋	泌尿器科	分子標的薬による透析患者における進行性腎癌治療の実態調査	九州泌尿器科・血液浄化部門共同研究日本泌尿器科学会総会 102回: 607, 2014
1136	岩田隆寿, 望月保志, 錦戸雅春, 酒井英樹	泌尿器科	当科における内シャントグラフト抜去症例の検討	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 765, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1137	梅根隆介, 西野友哉, 久原拓哉, 北村峰昭, 北村里子, 山下裕, 廣瀬弥幸, 浦松正, 小畑陽子, 錦戸雅	泌尿器科	Mitomycin Cによる血栓性微小血管障害症をきたした一例	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 747, 2014
1138	錦戸雅春, 松尾祐三, 下前英司, 廣瀬建, 古賀成彦, 前田兼徳, 原口哲, 来山敏夫, 菅典義, 福田寛典, 宮崎伸一郎, 丸田直基, 望月保志,	泌尿器科	血液透析患者の腎性貧血における既存ESA製剤からエポエチンベータペゴル(ミルセラ)注への変更後の有効性と安全性の検討(第2報)	日本透析医学会雑誌 47巻(Suppl.1): 546, 2014
1139	宮田康好, 浅井昭宏, 光成健輔, 岩田隆寿, 松尾朋博, 大庭康司郎, 望月保志, 錦戸雅春, 酒井英樹	泌尿器科	血液透析患者の尿路癌に対する化学療法の見直し	日本透析医学会雑誌 47(Suppl.1): 469, 2014
1140	法村大輔, 竹島史直, 佐藤賀昭, 中越亨, 大仁田賢, 磯本一, 中尾一	光学医療診療部	Enterococcus faecalis 感染に起因した上行結腸粘膜下膿瘍, 肝膿瘍と門脈・上腸門膜静脈血栓症を併発した1例	日本消化器病学会雑誌 111(6): 1135-1140, 2014
1141	松島加代子, 磯本一, 竹島史直, 中尾一彦, 平山壽哉	光学医療診療部	【最新胃癌学-基礎と臨床の最新研究動向-】胃癌の分子生物学と発癌機序 発癌機序 H.pylori感染粘膜とマイクロ	日本臨床 72(suppl-1): 131-134, 2014
1142	南ひとみ, ト部繁俊, 山口直之, 磯本一, 中尾一彦, 井上晴洋	光学医療診療部	【食道内視鏡外科術-必修技術-】良性疾患の手術 食道アカラシアに対する内視鏡的食道筋層切開術(POEM)の実践	手術 68(6): 771-775, 2014
1143	西山仁, 宿輪三郎, 荻原久美, 村田朋哉, 後藤高介, 吉田亮, 東俊太郎, 山口直之, 大仁田賢, 磯本一, 竹島史直, 中	光学医療診療部	【大腸T1(SM)癌に対する内視鏡治療の適応拡大】大腸T1(SM)深部浸潤癌に対する完全摘除生検としてのEMR/ESD 私はこう考える 積極的な立場から	胃と腸 49(7): 1049-1050, 2014
1144	松島加代子, 磯本一, 石居公之, 東俊太郎, 塩田純也, 西山仁, 竹島史直, 宿輪三郎, 中尾一彦, 中山敏幸, 田畑和宏, 中島正洋, 福岡順也	光学医療診療部	【小腸潰瘍の鑑別診断】小腸疾患の診断における拡大観察の意義 炎症性腸疾患における回腸末端の内視鏡拡大観察は必要か	胃と腸 49(9): 1309-1316, 2014
1145	山口直之, 福田浩子, 磯本一, 南ひとみ, 松島加代子, 赤澤祐子, 大仁田賢, 竹島史直, 宿輪三郎, 中尾一彦	光学医療診療部	抗血小板薬内服継続下および抗凝固薬・ヘパリン置換法下大腸ESDの治療成績-PGAフェルト+フィブリン糊被覆法を用いた新たな後出血予防対策	INTESTINE 18(5): 507-515, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1146	山口直之, 磯本一, 中尾一彦, 大和雅之	光学医療診療部	【スキルアップESD】代表的な食道ESD後狭窄の予防法	消化器内視鏡 26(9): 1264-1270, 2014
1147	安井順一, 川崎英二, 原口愛, 池岡俊幸, 植木郁子, 赤澤諭, 堀江一郎, 古林正和, 阿比留教生, 山崎浩則, 川上純	生活習慣病予防診療部	発症時に複数の膵島関連自己抗体の同時出現を認めた急性発症1型糖尿病の1例	糖尿病57 (2): 108-112, 2014
1148	堀江一郎, 川崎英二, 坂中亜衣, 前山美和, 高島美和, 花田浩和, 川上純	生活習慣病予防診療部	妊娠初期に妊娠糖尿病と診断され、適切な栄養指導により妊娠中期に耐糖能が正常化した妊婦の臨床像	糖尿病と妊娠14(1): 100-104, 2014
1149	高島治子, 堀江一郎, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 井下尚子, 川上純	生活習慣病予防診療部	非機能性下垂体癌に対してテモゾロミドを投与した1例	Progress in Medicine 34 (11): 2080-2081, 2014
1150	安井佳世, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	ペクチン	Nutrition Care 7 (1): 81-83, 2014
1151	廣佐古裕子, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	ヒアルロン酸	Nutrition Care 7 (2): 189-191, 2014
1152	川崎英二	生活習慣病予防診療部	型糖尿病患者の近親者における複数の自己抗体価による1型糖尿病の予知およびこれらの値の自己抗体リスクスコアへの取り組み	Diabetes Care 2 (1): 10-11, 2014
1153	山元悠子, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	ビフィズス菌	Nutrition Care 7 (3): 298-300, 2014
1154	古谷順也, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	グリチルリチン	Nutrition Care 7 (4): 389-391, 2014
1155	阿比留教生	生活習慣病予防診療部	糖尿病性ケトアシドーシス	今日の治療指針 2014版 686-687,
1156	堀江一郎	生活習慣病予防診療部	インスリン受容体抗体	(門脇 孝(責任編集): 糖尿病研修ノート, 診断と治療社, 東京, pp. 224-227所収)2014
1157	阿比留教生	生活習慣病予防診療部	A-2抗体, ZnT8抗体, その他の抗体	(門脇 孝(責任編集): 糖尿病研修ノート, 診断と治療社, 東京, pp. 226-228所収)2014
1158	川崎英二	生活習慣病予防診療部	認知症を合併した糖尿病患者の治療	長崎県医師会報 817: 79-81, 2014
1159	川崎英二	生活習慣病予防診療部	めざせ! 病態栄養専門師一よりよい栄養管理を行うために	第17回日本病態栄養学会年次学術集会 日本病態栄養学会誌17(Suppl): S-94,

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1160	古谷順也, 本郷涼子, 東るみ, 安井佳世, 廣佐古裕子, 坂中亜衣, 三浦伊代, 山元悠子, 深山侑祐, 前山美和, 高島美和, 花田浩和, 川口サツミ, 松本武浩, 川崎浩二, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	メディカルサポートセンターにおける入院前栄養管理の実際	第17回日本病態栄養学会年次学術集会 日本病態栄養学会誌17(Suppl): S-164, 2014
1161	安井佳世, 花田浩和, 宮崎拓郎, 永安武, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	長崎大学病院における肺移植患者への管理栄養士関わり	第17回日本病態栄養学会年次学術集会 日本病態栄養学会誌17(Suppl): S-89,
1162	泉野浩生, 山野修平, 植木郁子, 田嶋真理子, 樋口則英, 前山美和, 花田浩和, 川崎英二, 安武亨	生活習慣病予防診療部	医師の卵はいつ栄養に目覚めるか	第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会 静脈経腸栄養 29(1): 310, 2014
1163	前山美和, 本郷涼子, 安井佳世, 花田浩和, 田嶋真理子, 田島純子, 松永典子, 樋口則英, 久松徳子, 植木郁子, 吉村映美, 山野修平, 泉野浩生, 日高重和, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	精神科病棟におけるNSTによる栄養管理の効果	第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会 静脈経腸栄養 29(1): 314, 2014
1164	山野修平, 泉野浩生, 植木郁子, 前山美和, 田島純子, 田嶋真理子, 佐藤加代子, 樋口則英, 花田浩和, 川崎英二	生活習慣病予防診療部	摂食障害患者におけるNST介入の有用性について	第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会 静脈経腸栄養 29(1): 583, 2014
1165	堀江一郎, 高島治子, 野崎彩, 原口愛, 安井順一, 池岡俊幸, 赤澤諭, 植木郁子, 安藤隆雄, 今泉美彩, 阿比留教生, 宇佐俊郎, 川上純	生活習慣病予防診療部	甲状腺癌に対する131-I内用療法時の高K血症発症のリスク因子	第87回日本内分泌学会学術総会 日本内分泌学会雑誌 90(1): 275, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1166	阿比留教生, 赤澤諭, 野崎彩, 原口愛, 池岡俊幸, 安井順一, 高島治子, 堀江一郎, 古林正和, 川崎英二, 山崎浩則, 川上純	生活習慣病予防診療部	インターフェロン治療誘発1型糖尿病における治療中断後の抗GAD抗体価とインスリン分泌能の推移	第57回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病57(Suppl.1): S-130, 2014
1167	今泉美彩, 大石和佳, 中島栄二, 世羅至子, 鎌石和男, 山田美智子, 立川佳美, 高橋郁乃, 藤原佐枝子, 杉野圭三, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 川上純, 赤星正純, 飛田あゆみ	生活習慣病予防診療部	小児期に被曝した広島、長崎原爆被爆者における甲状腺調査:甲状腺機能と自己免疫性甲状腺疾患について	第57回日本甲状腺学会学術集会 日本内分泌学会雑誌 90(2): 505, 2014
1168	坂中亜衣, 川崎英二, 高島美和, 前山美和, 東るみ, 花田浩和, 堀江一郎, 川上純	生活習慣病予防診療部	妊娠糖尿病の産後における2型糖尿病発症予測因子の検討	第30回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 糖尿病と妊娠 14(2): S-94, 2014
1169	山崎浩則, 前田真由美, 浅尾加奈子, 大坪敬子, 脇浜直子, 阿比留教生, 古林正和, 田山淳, 林田雅希, 調漸	生活習慣病予防診療部	大学生の腹囲と内臓脂肪面積	CAMPUS HEALTH 51(1): 282-283, 2014
1170	佐藤俊太郎, 木下恵, 中村剛	臨床研究センター	動的推定アルゴリズムを用いたTwo-stage発がんモデルによるリスク推定	長崎医学会雑誌 89(1): 1-7, 2014
1171	崎村千香, 江口晋, 伊東昌子	臨床研究センター	最近の新規女性外科医師数は増えているのか?減っているのか? 全国外科教室でのアンケート結果	日本外科学会雑誌 115(1): 44-49, 2014
1172	松瀬厚人, 福島千鶴, 河野茂	臨床研究センター	【特集:喘息診療最前線】真菌と重症喘息.	Mebio 31: 74-80, 2014
1173	福島千鶴	臨床研究センター	他科から術前評価を依頼された際の注意	(河野茂, 早田宏(編):レジデントのための呼吸器診療マニュアル, 医学書院, 東京, pp. 173-176 所収)2014
1174	高島治子, 堀江一郎, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 井下尚子, 川上純	国際ヒバクシャ医療センター	非機能性下垂体癌に対してテモゾロミドを投与した1例	Progress in Medicine 34(11): 2080-2081, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1175	黒部由佳, 野崎彩, 原口愛, 植木郁子, 堀江一郎, 今泉美彩, 安藤隆雄, 木下直江, 宇佐俊郎, 川上純	国際ヒバクシャ医療センター	びまん性硬化型乳頭癌の一例	日本内分泌学会雑誌 90(2):539, 2014
1176	今泉美彩, 大石和佳, 中島栄二, 世羅至子, 鎌石和男, 山田美智子, 立川佳美, 高橋郁乃, 藤原佐枝子, 杉野圭三, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 川上純, 赤星正純	国際ヒバクシャ医療センター	小児期に被曝した広島、長崎原爆被爆者における甲状腺調査:甲状腺機能と自己免疫性甲状腺疾患について	日本内分泌学会雑誌 90(2):505, 2014
1177	藤江祥子, 高島治子, 野崎彩, 原口愛, 池岡俊幸, 安井順一, 植木郁子, 赤澤諭, 堀江一郎, 古林正和, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 山崎浩則, 川崎英二, 阿比留教	国際ヒバクシャ医療センター	ミトコンドリア脳筋症の合併が疑われた、DKA発症1B型糖尿病の1例	糖尿病 57(4): 315, 2014
1178	池岡俊幸, 野崎彩, 原口愛, 高島治子, 安井順一, 赤澤諭, 植木郁子, 堀江一郎, 古林正和, 安藤隆雄, 阿比留教生, 宇佐俊郎, 川崎英二, 山崎浩則, 木	国際ヒバクシャ医療センター	副腎腫瘍摘出後に高度肥満と血糖コントロールの改善を認めた糖尿病の1例	副腎腫瘍摘出後に高度肥満と血糖コントロールの改善を認めた糖尿病の1例. 糖尿病 57(4): 310, 2014
1179	伊藤達弘, 池岡俊幸, 原口愛, 植木郁子, 堀江一郎, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 安倍邦子, 川崎英二, 川上純	国際ヒバクシャ医療センター	急性心筋梗塞が疑われた甲状腺乳頭癌の心臓浸潤の一例	日本内分泌学会雑誌 90(1): 371, 2014
1180	尾曲久美, 高島治子, 堀江一郎, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 川上純	国際ヒバクシャ医療センター	RI治療後に呼吸苦を伴う頸部腫脹を認めた、バセドウ病合併の甲状腺乳頭癌の1例	日本内分泌学会雑誌 90(1): 312, 2014
1181	堀江一郎, 高島治子, 野崎彩, 原口愛, 安井順一, 池岡俊幸, 赤澤諭, 植木郁子, 安藤隆雄, 今泉美彩, 阿比留教生, 宇佐俊郎, 川上純	国際ヒバクシャ医療センター	甲状腺癌に対する ¹³¹ I内用療法時の高K血症発症のリスク因子	日本内分泌学会雑誌 90(1): 275, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1182	長井一浩, 原田浩, 熊谷敦史, 宇佐俊郎, 高槻光寿, 江口 晋, 大津留 晶, 山下俊一,	国際ヒバクシャ医療センター	自家樹状細胞免疫療法によって細胆管癌を制御し得たHIVキャリアの1症例	日本輸血細胞治療学会誌 60(1): 94, 2014
1183	松本武浩, 宮崎長一郎, 奥平定之, 川崎浩二, 宮下賜一郎	地域医療連携センター	地域医療ICT連携の真価と可能性-長崎県「あじさいネット」における価値ある活用法とその評価-	医療情報学, 34巻, Suppl., 194-197, 2014
1184	林田秀明, 北村雅保, 岩崎理浩, 川崎浩二, 古堅麗子, 林田淑子, 前田隆浩, 齋藤俊行	地域医療連携センター	歯周病細菌に対する血漿抗体価測定 の集団健診における有用性 五島研究	口腔衛生学会雑誌, 64巻2号, 232, 2014
1185	青木美帆, 安藤真紀, 川崎浩二, 福田 実, 本田琢也, 中嶋由紀子, 芦澤和人, 大隈輝美, 峰孝志, 谷口英樹, 石川 啓, 木下明敏, 吉田真一郎, 碓 秀樹, 山口	地域医療連携センター	がん患者・家族アンケート調査に基づく がん診療の現状と課題	日本癌治療学会誌, 49巻3号, 1881, 2014
1186	松本武浩, 川口サツミ, 藤島十代香, 東 るみ, 岡田みずほ, 樋口則英, 廣瀬弥幸, 川崎浩二	地域医療連携センター	ここが大事!質の向上を目指して それぞれの立場から 急性期病院における業務効率化と質向上の取組み メディカルサポートセンターの効果	日本医療マネジメント学会雑誌, 15巻, Suppl., 153, 2014
1187	東 るみ, 古谷順也, 高島美和, 花田浩和, 川口サツミ, 松本武浩, 川崎浩二, 川崎英二	地域医療連携センター	メディカルサポートセンターでの管理栄養士の取組み	日本医療マネジメント学会雑誌, 15巻, Suppl., 229, 2014
1188	小林美香, 熊脇晶子, 川本裕美, 酒見友佳子, 宮地登代子, 川崎浩二	地域医療連携センター	退院支援・退院調整を担う看護師を育成するための教育研修の評価	日本医療マネジメント学会雑誌, 15巻, Suppl., 277, 2014
1189	小川瑞穂, 鍋内哲朗, 遠藤恵里奈, 片岡友美, 本村美奈, 向田圭介, 川崎浩二	地域医療連携センター	ながさき急性期病院パートナーシップの取組み(第2報) 経緯と概要	日本医療マネジメント学会雑誌, 15巻, Suppl., 307, 2014
1190	本村美奈, 鍋内哲朗, 遠藤恵里奈, 片岡友美, 小川瑞穂, 向田圭介, 川崎浩二	地域医療連携センター	ながさき急性期病院パートナーシップの取組み(第1報)	実績と評価. 日本医療マネジメント学会雑誌, 15巻, Suppl., 307, 2014
1191	大町由美子, 山口真美, 川崎浩二, 山口しおり, 松尾琴美, 桑原 彩, 若松真理子, 松本武	地域医療連携センター	長崎大学病院における効率的な患者用パス監査に向けた取組み	日本医療マネジメント学会雑誌, 15巻, Suppl., 323, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1192	中村忠博, 松永典子, 原澤仁美, 樋口則英, 北原隆志, 佐々木均	薬剤部	酸化マグネシウム製剤の長期投与時の適正使用状況と血清マグネシウム値	日本腎臓病薬物療法学会誌 3 (1): 21-26, 2014
1193	室高広, 北原隆志, 伊東弘樹, 入江利行, 野中敏治, 藤井裕史, 松元一明, 山崎博史, 柳原克紀	薬剤部	九州山口地区における基質拡張型βラクタマーゼ産生菌の検出状況と抗菌薬使用状況に関する合同調査	日本環境感染学会誌 29 (1): 32-40, 2014
1194	室高広, 江藤和裕, 能勢誠一, 樋口則英, 中村忠博, 北原隆志	薬剤部	錠剤自動分包機のコンベア作動データ集計システムの構築と有用性評価	医療情報学 33 (6): 321-326, 2014
1195	富田雅人, 宮田倫明, 山口健太郎, 有吉貴美代, 尾崎	薬剤部	軟部肉腫に対する化学療法における新しい制吐療法の有効性	整形外科と災害外科 63 (1): 149-151, 2014
1196	岸川礼子, 室高広, 岡田みずほ, 松本武浩, 樋口則英, 佐々木均, 北原隆志	薬剤部	手術関連クリニカルパスの抗菌薬使用適正化への取り組み	日本クリニカルパス学会誌 16 (3): 249-252, 2014
1197	嶺豊春, 樋口則英, 伊藤直子, 岸川礼子, 佐藤加代子, 中村忠博, 松本武浩, 北原隆志, 佐々木均	薬剤部	電子カルテでの一元管理を可能とした持参薬管理システムの構築	日本病院薬剤師会雑誌 50 (1): 55-59, 2014
1198	樋口則英, 橋詰淳哉, 佐藤加代子, 安藝敬生, 有吉貴美代, 嶺豊春, 中村忠博, 北原隆志, 佐々木均	薬剤部	病棟専任薬剤師による持参薬に関連する薬学的管理の実態調査	日本病院薬剤師会雑誌 50 (5): 559-564, 2014
1199	中村忠博, 佐々木均	薬剤部	【徹底理解! 点眼剤 眼科領域の薬物治療に活かすポイント】知っておきたい! 点眼剤の基礎知識 点眼剤の基本	薬局 65 (5): 1717-1722, 2014
1200	兒玉幸修, 佐々木均	薬剤部	【次世代型感染症ワクチン】マラリアナノパーティクルワクチン	最新医学 69 (4): 852-857, 2014
1201	北原隆志, 中川博雄	薬剤部	北原隆志, 中川博雄:	INFECTION CONTROL 23 (7): 714-716, 2014
1202	樋口則英, 佐々木均	薬剤部	【新薬展望2014】(第III部)治療における最近の新薬の位置付け<薬効別> 新薬の広場 オーファンドラッグ	医薬ジャーナル 50(増刊): 544-549, 2014
1203	樋口則英, 佐々木均	薬剤部	【プロトコルに基づく薬物治療管理 薬剤師による戦略的・継続的マネジメント】継続した薬物治療管理へ向けた地域包括ケアシステムの構築 病院薬剤師の	薬局 65 (8): 2282-2286, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1204	猪熊孝実, 長谷敦子, 泉野浩生, 山野修平, 田島五郎, 平尾朋仁, 山下和範, 山梨啓友, 齊藤信夫, 田崎修	離島・へき地医療学	悪寒戦慄を伴う高熱, 全身性皮疹で来院した日本紅斑熱の1例	日臨救急医学会誌 (JJSEM) Vol17, No.3, 481-485, 2014
1205	前田隆浩	離島・へき地医療学	治療, 第96巻 第1号 (中桶了太, 押淵徹(編))	地域枠入学制度と地域医療教育, 南山堂, 東京 pp.38-42 所収) 2014
1206	三浦亮介, 笠倉和巳, 中野信浩, 前田隆浩, 八代拓也, 西山千春	離島・へき地医療学	「PU.1は形質細胞様樹状細胞において, CII TA第3プロモーター制御を介してMHC class II 発現に寄与する」	第37回日本分子生物学会, 2014年11月27日, パシフィコ横浜
1207	小屋松 淳, 清水悠路, 永吉真子, 玉井慎美, 有馬和彦, 青柳 潔, 前田隆浩	離島・へき地医療学	「アルカリフォスファターゼと末梢血CD34陽性細胞との関係-The Nagasaki Island Study-」	栃木県総合文化センター特別会議室
1208	清水悠路, 小屋松淳, 永吉真子, 玉井慎美, 有馬和彦, 青柳 潔, 前田隆浩	離島・へき地医療学	「高齢非肥満男性における身長と糖尿病の関係~The Nagasaki Island Study~」	2014年11月6日, 栃木県総合文化センター第2会議室
1209	永吉真子, 清水悠路, 小屋松 淳, 山梨啓友, 玉井慎美, 有馬和彦, 青柳 潔, 前田隆浩	離島・へき地医療学	「離島地域における受動喫煙と末梢動脈硬化との関連」	「離島地域における受動喫煙と末梢動脈硬化との関連」
1210	清水悠路, 佐藤晋平, 永吉真子, 門田耕一郎, 小屋松淳, 山梨啓友, 有馬和彦, 青柳 潔, 前田隆浩	離島・へき地医療学	「TG-HDL比で分類した糖尿病と慢性腎臓病(CKD)との関係」	日本生理人類学会第71回大会, 2014年11月2日, 神戸大学六甲台キャンパス百年記念館2階六甲ホール
1211	清水悠路, 門田耕一郎, 小屋松 淳, 山梨啓友, 有馬和彦, 山崎浩則, 高村昇, 青柳 潔, 前田隆浩	離島・へき地医療学	「離島住民を対象にしたTG-HDL比で分類した糖尿病とヘモグロビン値との関係」	第70回日本生理人類学会, 2014年6月21日, 九州大学大橋キャンパスA会場(多次元デザイン実験棟1階実験ホール)
1212	門田耕一郎, 清水悠路, 永吉真子, 山梨啓友, 小屋松淳, 出口法隆, 塚本和弘, 齋藤俊行, 青柳 潔, 大園恵幸, 前田隆浩	離島・へき地医療学	「ヘルスプロモーション実習が参加住民の健康改善に及ぼす効果についての検討」	和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス第6会場(高度医療人育成センター5階中研修室1, 2014年7月18日)
1213	Bernick Peter, 西郷達雄, 小川さやか, 田山 淳, 調	へき地病院再生支援・教育機構	新入学部生におけるソーシャルサポートと心理的苦痛との関連性の検証.	全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集52回: 94,

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1214	小川さやか, 西郷達雄, 福原視美, Bernick Peter, 田山 淳, 林田雅希, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	新入学生を対象としたうつ予防のための集団認知行動療法.	全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集52回:74, 2014
1215	田山 淳, 西郷達雄, 小川さやか, 中谷直樹, 濱口豊太, 福士 審, 林田雅希, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	過敏性腸症候群の大学生における修業状況 心身症のモデル病態における修業上の問題.	全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集52回:44, 2014
1216	古林正和, 山崎浩則, 田山 淳, 黒木優子, 前田真由美, 大坪敬子, 阿比留教生, 林田雅希, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	デュアルスキャンを用いた青年期成人の内臓脂肪面積の評価.	全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集52回:35, 2014
1217	山崎浩則, 田山 淳, 古林正和, 前田真由美, 大坪敬子, 黒木優子, 阿比留教生, 林田雅希, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	青年期成人の内臓脂肪と生活習慣の関連性.	全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集52回:34, 2014
1218	山崎浩則, 古林正和, 阿比留教生, 川上 純, 田山 淳, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	青年期成人の内臓脂肪と生活習慣の関連性.	糖尿病57(Suppl1):463, 2014
1219	山崎浩則, 浅雄加奈子, 田山 淳, 小川さやか, 川上 純, 阿比留教生, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	3ヵ月間の減量教室でみた、体重と腹囲と内臓脂肪面積の推移 DUALSCANの導入.	糖尿病57(5):379, 2014
1220	浅雄加奈子, 山崎浩則, 中垣内真樹, 前田真由美, 大坪敬子, 小川さやか, 西郷達雄, 田山 淳, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	3ヶ月間の減量教室(ススムピック)でみた体重と腹囲と内臓脂肪面積の推移—DUALSCANの導入—.	第43回九州地区大学保健管理研究協議会報告書 77-79, 2014
1221	古林正和, 山崎浩則, 浅雄加奈子, 阿比留教生, 田山 淳, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	3ヶ月間の減量教室でみた体重と腹囲と内臓脂肪面積の推移—デュアルスキャンの導入—.	長崎県総合公衆衛生研究会誌 (JOURNAL OF NAGASAKI PUBLIC HEALTH SOCIETY) 46:18-19, 2014
1222	山崎浩則, 古林正和, 前田真由美, 大坪敬子, 浅雄加奈子, 阿比留教生, 田山 淳, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	青年期成人の内臓脂肪と生活習慣の関連性.	長崎県総合公衆衛生研究会誌 (JOURNAL OF NAGASAKI PUBLIC HEALTH SOCIETY) 46:20-21, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1223	大坪敬子, 林田雅希, 前田真由美, 山崎浩則, 玉井慎美, 浅雄加奈子, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	新入学短期留学生の活動性結核への対応について.	CAMPUS HEALTH 51(1):228-230, 2014
1224	山崎浩則, 前田真由美, 浅雄加奈子, 大坪敬子, 脇浜直子, 阿比留教生, 古林正和, 田山 淳, 林田雅希, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	大学生の腹囲と内臓脂肪	CAMPUS HEALTH 51(1):282-283, 2014
1225	田山 淳, 西郷達雄, 小川さやか, Peter Bernick, 福原視美, 濱口豊太, 富家直明, 中谷直樹, 林田雅希, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	うつ予防を目的とした集団認知行動療法の効果ーハイリスクな大学新入生への介入ー.	CAMPUS HEALTH 51(1):455-457, 2014
1226	山崎浩則, 古林正和, 田山 淳, 阿比留教生, 調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	青年期成人の内臓脂肪と生活習慣の関連性.	第2回デュアルインピーダンス法を用いた内臓脂肪測定法研究会会議録 2:9-9, 2014
1227	井上 祥, 内門大丈, 浜本史子, 和泉俊一郎, 玉井康之, 中桶了太, 飯田 洋, 稲森正彦, 後藤英司	へき地病院再生支援・教育機構	湘南いなほクリニックにおける医学部2年生への地域医療教育.	医学教育45(Suppl):112, 2014
1228	芦澤和人	がん診療センター	キャンサーボードー放射線科医が主役ー	画像診断34(2):137, 2014
1229	芦澤和人	がん診療センター	「肺を立体でみる」習慣が身に付く教科書 Medical Library 書評・新刊案内	週間医学界新聞 3070: 6, 2014
1230	芦澤和人, 岸本卓巳, 岡本賢三	がん診療センター	特集:じん肺症の画像診断をめぐって 石綿肺	日本胸部臨床12(73):1416-1423, 2014
1231	芦澤和人	がん診療センター	特集:胸部画像のとらえ方 胸部CTの所見のとおり方と鑑別のポイント3)呼吸器	呼吸器内科26(5):357-359, 2014
1232	長山拓希, 芦澤和人, 末吉英純, 坂本一郎, 上谷雅孝	がん診療センター	呼吸機能障害を来す病態の画像・2 肺血栓塞栓症	呼吸と循環62(2)別冊: 154-164, 2014
1233	林 秀行, 芦澤和人, 上谷雅孝	がん診療センター	mosaic patternの鑑別	画像診断 34: 196-199, 2014
1234	林 秀行, 芦澤和人, 上谷雅孝	がん診療センター	肺動脈内の陰影欠損	画像診断 34: 200-203, 2014
1235	芦澤和人, 林 秀行, 上谷雅孝	がん診療センター	【ビギナーのための胸部画像診断-Q&A アプローチ】シルエットサイン シルエットサインの基本について教えて下さい	画像診断 34: 818-820, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1236	芦澤和人, 林 秀行, 上谷雅孝	がん診療センター	【ビギナーのための胸部画像診断-Q & A アプローチ】シルエットサイン シルエットサインの応用にはどのようなものがありますか?	画像診断 34: 821-823, 2014
1237	芦澤和人	がん診療センター	病理像との対比と参考症例に学ぶ 胸部の画像診断: 2. 奇形・縦隔・胸膜 他	Atlas Series CT/MR 編 ベクトル・コア, 東京, 2014
1238	芦澤和人	がん診療センター	職業性石綿ばく露による肺・胸膜病変の経過観察と肺がん・中皮腫発生に関する研究.	厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)平成25年度分担研究報告書, 2014
1239	林 秀行, 石丸英樹, 坂本一郎, 末吉英純, 西田暁史, 村上友則, 坂本綾美, 長山拓希, 峯 聡美, 上谷雅孝	がん診療センター	肝外側副路からの血流を有する肝細胞癌におけるB-TACEの有用性	第43回日本IVR学会, P231 2014
1240	西田暁史, 伊東昌子, 河野美香, 中田朋子, 芦澤和人, 上谷雅孝	がん診療センター	健常女性における骨密度およびジオメトリの縦断的検討	第34回日本骨形態計測学会 2014
1241	磯本一郎, 瀬川景子, 石山彩乃, 林秀行, 西田暁史, 進藤美智子, 安倍邦子, 矢野 洋	がん診療センター	腹部CT・MRIで指摘された乳腺疾患の検討	第28回 日本腹部放射線学会, 2014
1242	奥村祐太, 在田修二, 小河原大樹, 中野倫孝, 岩間映二, 鈴木紳介, 徳永えり子, 芦澤和人, 上野真一, 馬場英司	がん診療センター	がん医療の「均てん化」と「集約化」: 九州がんプロ韓国研修から考える日韓の医療モデルと社会的基盤の差異	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 O3-8-6, 2014
1243	安藤真紀, 青木美帆, 土屋暁美, 中嶋由紀子, 中川博雄, 本田琢也, 小林和真, 福田 実, 川崎浩二, 芦澤和人	がん診療センター	外来化学療法室オリエンテーションにおけるがん相談専門員の役割	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 O2-12-5, 2014
1244	小林和真, 藤田文彦, 虎島泰洋, 南恵樹, 金高賢吾, 高槻光寿, 本田琢也, 黒木 保, 芦澤和人, 江口 晋	がん診療センター	Imatinibによる診断的治療が奏功し, 治癒切除が得られた小腸GISTの一例	第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 P2-36-4, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1245	小河原大樹, 在田修二, 奥村祐太, 中野倫孝, 岩間映二, 鈴木紳介, 徳永えり子, 上野真一, 馬場英司, 芦澤和人	がん診療センター	がん医療の「均てん化」と「集約化」九州がんプロ韓国研修から考える 日韓の医療モデルと社会的基盤の差異	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1134, 2014
1246	青木美帆, 安藤真紀, 芦澤和人, 川崎浩二, 福田 実, 本田琢也, 中嶋由紀子, 大隈輝美, 峰 孝志, 谷口英樹, 石川 啓, 木下明敏, 吉田真一郎, 山口広之, 碓秀樹	がん診療センター	がん患者・家族アンケート結果調査に基づくがん診療の現状と課題とがん患者・家族の抱える就労問題	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1881, 2014
1247	中嶋由紀子, 矢野洋, 青木美帆, 安藤真紀, 萩原絹子, 本田琢也, 福田 実, 芦澤和人	がん診療センター	長崎大学病院における「がん地域連携パス」への取組	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1125, 2014
1248	中嶋由紀子, 安藤恵美, 青木美帆, 安藤真紀, 寺岡征太郎, 萩原絹子, 本田琢也, 福田 実, 芦澤和人	がん診療センター	がん患者カウンセリング料に関する実態調査 - 医師と看護師の認識の違い -	第52回日本癌治療学会学術集会, 抄録集第49巻第3号 P1889, 2014
1249	土屋暁美, 中村絵理花, 鈴木一枝, 川田満栄, 宮本美樹子, 森 寿知, 青木美帆, 安藤真紀, 中嶋由紀子, 中川博雄, 本田琢也, 小林和真, 福田 実, 芦澤和人	がん診療センター	がん化学療法におけるDocetaxel先発医薬品と後発医薬品の比較: 第52回日本癌治療学会学術集会,	抄録集第49巻第3号 P2352, 2014
1250	國弘 遵, 松本武浩, 廣瀬弥幸, 石田清美, 白石好子, 芦澤和人, 浅田真瑞, 河野 茂, 横山哲也	がん診療センター	長崎大学病院院内がん登録における肝細胞癌の生存率分析	第40回日本診療情報管理学会, 2014
1251	國弘 遵, 松本武浩, 廣瀬弥幸, 石田清美, 白石好子, 芦澤和人, 浅田真瑞, 河野 茂, 横山哲也	がん診療センター	長崎大学病院院内がん登録におけるケースファインディング	第40回日本診療情報管理学会, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1252	安藤真紀, 福田実, 青木美帆, 本田琢也, 川崎浩二, 川田満栄, 安藤恵美, 土屋暁美, 中嶋由紀子, 能勢誠一, 西田暁史, 小河原大樹, 竹本真之輔, 中富克己, 中村洋一, 河野 茂, 芦澤和	がん診療センター	外来化学療法におけるチーム医療～ソーシャルワーカーの取り組み	第55回日本肺癌学会学術集会, P-294 P495 2014 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1253	土屋暁美, 福田実, 本田琢也, 小林和真, 安藤恵美, 鈴木一枝, 中村絵里花, 青木美帆, 安藤真紀, 中川博雄, 元島幸平, 溝口孝輔, 中村太祐, 中嶋由紀子, 中村洋一, 河野茂, 芦澤和人	がん診療センター	外来化学療法におけるチーム医療～外来化学療法室カンファレンス～	第55回日本肺癌学会学術集会, P-293 P495 2014
1254	松本桂太郎, 荻原幸宏, 山崎直哉, 土谷智史, 宮崎拓郎, 下山孝一郎, 谷口大輔, 林秀行, 上谷雅孝, 芦澤和人, 永安武	がん診療センター	小型肺癌の病理学的因子予測における術前3次元CTによる腫瘍体積測定の有効性	第55回日本肺癌学会学術集会, PD-65 P397 2014
1255	崎村千春, 江口晋, 伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	最近の新規女性外科医師数は増えているのか?減っているのか? -全国外科教室でのアンケート結果-	日本外科学会雑誌 115(1): 44-49, 2014
1256	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	骨微細構造と骨力学特性～骨粗鬆症の観点から～第1回骨の研究講演論文集 顎骨の生体を画像から見る.	骨の研究会4-10, 2014
1257	田中伸哉, 山本智章, 森諭史, 遠藤直人, 伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	骨の組織学的形態計測法における日本語用語(2013年版)	日本骨形態計測学会雑誌24(1):1-8, 2014
1258	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	骨構造特性評価法の進歩. 別冊・医学のあゆみ	骨粗鬆症一研究と臨床の最新動向: 77-83, 2014
1259	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	内科診療における椎体骨折評価の実際をみる.	Life Style Medicine 8(Suppl.1): 11-16, 2014
1260	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	特集 骨のバイオイメージングI. 静的イメージング 2.骨のマイクロCT.	The Bone 28(2): 153-157, 2014
1261	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	イバンドロネート	PHARMSTAGE 13(11): 55-60, 2014
1262	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	特集:ステロイド性骨粗鬆症の新ガイドライン ステロイド性骨粗鬆症の画像診断	整形・災害外科57(7): 855-861, 2014
1263	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	ステロイド性骨粗鬆症の骨構造異常.	Clinical Calcium 24(9): 1343-1350, 2014
1264	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	骨構造の評価と骨折リスク.	Current Therapy 32(10): 989-994, 2014
1265	吉岡和佳子, 伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	女性の健康にまつわる新語辞典「ワーク・ライフ・バランス」.	WHITE 2(2): 146-147, 2014
1266	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	シリーズ「ワークライフバランスの視点から医師の働き方を考える」ポジティブ・アクションとは? -日本と海外諸国の	長崎県医師会報 816:62-65, 2014
1267	伊東昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	シリーズ「ワークライフバランスの視点から医師の働き方を考える」ワークライフバランス市民公開講座を開催して.	日本医師会報817: 50-53, 2014

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1268	古島早苗, 恒任章, 池田聡司, 南貴子, 白石亜季, 川浪のぞみ, 坂口能理子, 浅田綾子, 山近史郎, 前村浩二, 柳原克紀	メディカル・ワークライフバランスセンター	肺高血圧予測における右室部位別2DST解析の有用性.	超音波検査技術 39 suppl:89, 2014

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を踏むことを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き・臨床研究に係る利益相反審査に係る手続等について記載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 臨床研究利益相反審査委員会は「臨床研究に係る利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。 申告書により利益相反が明らかなる場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された臨床研究実施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップも行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）	

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回
---------------------------------------	------

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかなること)。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
<p>・研修の主な内容</p> <p>昨年度は東京医科歯科大学医学部附属病院 細胞治療センターから講師を招聘し「再生医療等の安全性確保等に関する法律」についての講演会を行った。</p> <p>また、本院臨床研究センター主催で「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に係る研修会を実施した。</p>	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかなること)。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院の「最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する。」という基本理念のもと、医師としての人間性の涵養とプライマリ・ケアの基本診療能力の修得を達成する。

2 研修の実績

研修医の人数	74人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大園 恵幸	内科	教授	38年	
阿比留 教生	内科	准教授	25年	
中村 英樹	内科	講師	23年	
白石 裕一	内科	講師	16年	
辻野 彰	内科	教授	26年	
西野 友哉	内科	教授	18年	
尾長谷 靖	内科	准教授	23年	
中尾 一彦	内科	教授	32年	
前村 浩二	内科	教授	29年	
宮崎 泰司	内科	教授	29年	
有吉 紅也	内科	教授	29年	
永安 武	外科	教授	28年	
山之内 孝彰	外科	講師	19年	
江口 晋	外科	教授	23年	

高槻 光寿	外科	講師	21年
尾崎 誠	外科	教授	24年
平野 明喜	外科	教授	40年
松尾 孝之	外科	教授	26年
江石 清行	外科	教授	32年
小澤 寛樹	精神科	教授	30年
森内 浩幸	小児科	教授	31年
宇谷 厚志	皮膚科	教授	33年
酒井 英樹	泌尿器科	教授	32年
増崎 英明	産婦人科	教授	38年
北岡 隆	眼科	教授	32年
原 哲也	麻酔科	教授	23年
高橋 晴雄	耳鼻いんこう科	教授	38年
上谷 雅孝	放射線科	教授	34年
田崎 修	救急科	教授	25年
藤原 卓	歯科	教授	32年
吉田 教明	歯科	教授	29年
朝比奈 泉	歯科	教授	32年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護・研修の期間・実施回数 平成26年6月20日～平成26年10月17日（全5回）・研修の参加人数 延べ60名
研修の主な内容 看護部専門コース 災害救急期看護
<ul style="list-style-type: none">・研修の期間・実施回数 平成26年6月24日～平成26年10月28日（全5回）・研修の参加人数 延べ163名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 治験と看護師の役割・研修の期間・実施回数 平成26年6月19日～平成26年11月20日（全5回）・研修の参加人数 延べ15名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 摂食・嚥下リハビリテーション・研修の期間・実施回数 平成26年6月11日～平成26年12月10日（全6回）・研修の参加人数 延べ269名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア・研修の期間・実施回数 平成26年6月28日～平成26年7月5日（全2回）・研修の参加人数 延べ445名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 腎不全看護・研修の期間・実施回数 平成26年9月10日～平成27年1月7日（全5回）・研修の参加人数 延べ19名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護部専門コース 放射線治療看護・研修の期間・実施回数 平成26年6月11日～平成26年12月8日（全7回）・研修の参加人数 延べ124名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 糖尿病ケア ・研修の期間・実施回数 平成26年5月19日～平成26年10月20日（全6回） ・研修の参加人数 延べ127名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護 ・研修の期間・実施回数 平成26年6月27日～平成26年11月21日（全6回） ・研修の参加人数 延べ195名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 感染管理 ・研修の期間・実施回数 平成26年6月13日～平成26年12月12日（全6回） ・研修の参加人数 延べ93名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 褥創対策 ・研修の期間・実施回数 平成26年5月14日～平成26年11月7日（全6回） ・研修の参加人数 延べ173名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 周手術期看護 ・研修の期間・実施回数 平成26年6月4日～平成26年12月5日（全5回） ・研修の参加人数 延べ57名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 急変対応シミュレーション ・研修の期間・実施回数 平成26年6月27日～平成26年10月31日（全5回） ・研修の参加人数 延べ74名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース シミュレータ教育指導者養成 ・研修の期間・実施回数 平成26年6月5日～平成26年12月4日（全7回） ・研修の参加人数 延べ26名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 鳥居 時政	
閲覧担当者氏名	総務課長 浜村 博	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要 長崎大学広報戦略本部において「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき法人文書開示請求手続きを行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2.) 現状
管理責任者氏名	病院長 増崎 英明
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 薬剤部長 佐々木 均 感染制御教育センター長 泉川 公一 ME機器センター長 林 誠 総務課長 浜村 博 医事課長 吉井 孝博 医療支援課長 砂山 優智

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科	病院日誌は総務課、処方せんは薬剤部、エックス線写真は放射線部、その他は各診療科・電子カルテ及びカルテ室で管理・保管している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制	医療支援課	

	の確保状況		
--	-------	--	--

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御教育センター，医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御教育センター，医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御教育センター，医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御教育センター，医療支援課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

平成26年度安全管理部研修会開催状況

安全管理部

H27.3.31現在

	研修内容	開催日	eラーニング	研修講師名(所属)	受講人員
1	平成26年度 第一回医療安全研修会 ①「診療録について」 ②「医療事故防止対策マニュアルとポケットマニュアルについて」	平成26年7月10日 台風の為中止 (DVD) 平成26年7月17日 平成26年8月11日 790人	1284人	①栗原慎太郎(安全管理部GRM) ②齊藤美保(安全管理部GRM)	2074人
2	平成26年度 第二回医療安全研修会 ①「新システム移行への注意点について」 ②麻薬取扱い上の注意点について」	平成26年12月9日 (DVD) なし 467人	1520人	①栗原慎太郎(安全管理GRM) ②龍恵美(薬剤部 麻薬室長)	1987人
3	平成26年度 第三回医療安全研修会 ①あなたの常識は、ワタシの常識ではない！！ —報道事例から学ぶ「安全管理に必要な新しい視点2015」	平成27年1月8日 (DVD) 平成27年1月13日 平成27年1月16日 902人	1089人	①古川裕之先生 山口大学医学部附属病院 薬剤部長	1991人
4	平成26年度 第四回医療安全研修会 『抗がん剤曝露対策～北里大学病院での取り組み～』 ①「抗がん剤曝露についての基礎知識」 ②「通院治療における抗がん剤曝露状況と予防対策」 ③「実際に抗がん剤で汚染されたら～スピルキットの使い方～	平成27年3月12日 (DVD) なし 268人	944人	①佐々木治一郎 先生 北里大学病院 集学的がん診療センター長/教授 ②佐藤 久子 先生 北里大学病院 集学的がん診療センター/通院治療室 ③高尾 真紀 先生 北里大学病院 血液内科病棟 化学療法認定看護師	1212人
	合計				7264人

平成26年度 KYT研修会 出席状況

医師	部署別	①	②	③	④	⑤	計
		7月1日	7月8日	7月14日	8月12日	8月19日	
	研修医(医科)	8	9	10	9	7	43
	研修医(歯科)	6	3	5	5	5	24
中央診療部門	薬剤部	1	1	1	1	1	5
	臨床検査部門	3	2	3	1	2	11
	放射線部門	0	2	0	0	4	6
	臨床工学部門	1	1	1	1	0	4
	リハビリ部	0	0	1	0	0	1
	歯科衛生室	0	0	1	0	1	2
	言語療法士	0	0	0	0	0	0
	視能訓練士	0	0	0	2	0	2
看護部		9	18	15	18	19	79
計		28	36	37	37	39	177

リンクナース	8	8	8	8	6	38
--------	---	---	---	---	---	----

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 医療安全管理に関する基本的考え方2) 医療事故防止委員会及びその他の組織に関する基本事項3) 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針4) 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針7) 患者等からの相談への対応に関する基本方針8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 24回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 医療事故防止委員会 (月 1 回開催)<ul style="list-style-type: none">・ 院内インシデント・アクシデント報告等情報収集・ 医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進・ 医療事故防止のための教育及び研修等の決定2) リスクマネージャー会議 (月 1 回開催)<ul style="list-style-type: none">・ インシデント・アクシデントレポートの分析の報告	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：別紙のとおり (安全管理研修会 4回, K Y T研修会 5回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 医療事故防止対策マニュアルの改訂2) インシデントレポート報告システムの改良3) 安全管理部部員等による院内巡視4) 医療安全ポケットマニュアルの改訂5) 安全管理部カンファレンス (週 1 回実施)	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員：専任 (3) 名 兼任 (10) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 医療事故防止委員会の運営支援2) インシデントレポートの分析3) リスクマネージャーとの連絡調整4) 安全管理に関する教育・研修5) 安全管理に関する情報の収集6) 事故等に関する確認と指導	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 院内感染対策委員会の設置2) 職員研修の実施3) 病院感染発生時の対応4) 院内感染対策マニュアルの策定5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明6) その他の病院における院内感染対策の推進 <p style="text-align: right;">以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開ICTラウンド等の報告、承認を行う。</p> <p>委員長：病院長、他委員数10名、計11名全員の出席をもって開催される。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①平成26年7月10日(台風のため中止)・ 7月17日開催・第1回院内感染対策講習会 感染対策を忘れられがちな疾患 感染制御教育センター塚本美鈴医師</p> <p>②平成 26 年 8 月 19 日・第 2 回院内感染対策講習会 針刺し・切創、粘膜・皮膚曝露予防は職場風土の改善から～全国エイズ拠点病院調査から学ぶ～ 神戸大学医学部附属病院看護部 李宗子</p> <p>③平成 26 年 10 月 31 日・第 3 回院内感染対策講習会 1. エボラ出血熱の臨床 感染症内科 古本朗嗣医師 2. 長崎大学病院の対応と感染制御 感染制御教育センター 泉川公一医師</p> <p>④平成 26 年度 12 月 9 日・第 4 回院内感染対策講習会 手袋・マスク・エプロンの使い方 感染制御教育センター 田代将人医師</p> <p>その他、清掃、看護補助業務を行うものに対しては年に1回程度別途実習を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを他職種からなるICTチームでラウンドし、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。</p>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 「麻薬取扱い上の注意点について」（講師：薬剤部麻薬室室長） 実施日：平成26年12月9日、イントラネット動画研修、受講人員：_1895_ 人 (86 %)</p> <p>② 「アナタの常識は私の常識ではない！！－報道事例から学ぶ『安全管理に必要な新しい視点2015』」（講師：山口大学医学部附属病院薬剤部長） 実施日：平成27年1月8日、イントラネット動画研修、受講人員：_1987_ 人 (91 %)</p> <p>③ 「抗がん剤曝露対策～北里大学病院での取り組み～」(講師：北里大学病院病院長補佐) 実施日：平成27年3月12日、イントラネット動画研修、受講人員：_1334_ 人 (57 %)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 医薬品の採用・購入に関する事項2) 医薬品の管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理)3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項4) 患者に対する服薬指導に関する事項5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い6) 病棟、中央診療部門における医薬品の管理7) 他施設 (病院等、薬局等) との連携に関する事項8) 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等9) 薬剤投与のための機器使用1 0) 放射性医薬品の管理1 1) 臨床検査薬の管理1 2) 造影剤の管理、使用1 3) 院内製剤の取り扱いについて1 4) 当該手順書の順守状況の確認 <p>実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>【収集方法】 医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。</p> <p>【周知方法】 改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科 (診療科長、医局長)、中央診療部 (部長、副部長等) に対しては、緊急安全性情報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの発信を行っている。緊急安全性情報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、口頭にて周知を図っている。 また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム (DICS) には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。</p>	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 17 回
・ 研修の主な内容： 有効性・安全性に関する事項、使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、 不具合が発生した場合の対応に関する事項、使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無)	
・ 保守点検の主な内容：メーカーが推奨する性能試験、電気的安全試験などを実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容： 日本医療機能評価機構やPMDAなどからの情報を収集し、RMニュースとして各リスク マネージャーへ周知している。また、ME機器センターホームページへも掲載している。 機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能としている。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・日本医療機能評価機構 病院機能評価認定取得 (2003年3月17日～)・ISO9001 認証取得 (2004年12月8日～)・NPO法人イージェーネット 働きやすい病院評価認定取得 (2011年9月1日～)・NPO法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修評価認定取得 (2014年3月1日～)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ホームページ上に、病院の医療に関する情報を病院評価指標として54項目 (高度な医療の提供、難治性疾患の治療、看護師の養成、薬剤師の養成、コメディカルの養成、臨床試験、最後の砦、医療情報の提供、医師派遣) についてその実績を公開している。・ホームページ上に各診療科が行っている診療実績と内容について公開している。・患者向け病院広報誌「ポンペだより」において、「医療最前線」として各診療科における最新の医療について紹介している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 各診療科、中央診療施設、看護部及び事務部からそれぞれ選出された者で組織する「診療実務部」を設置し、院内各部署間の円滑な連携を図っている。	